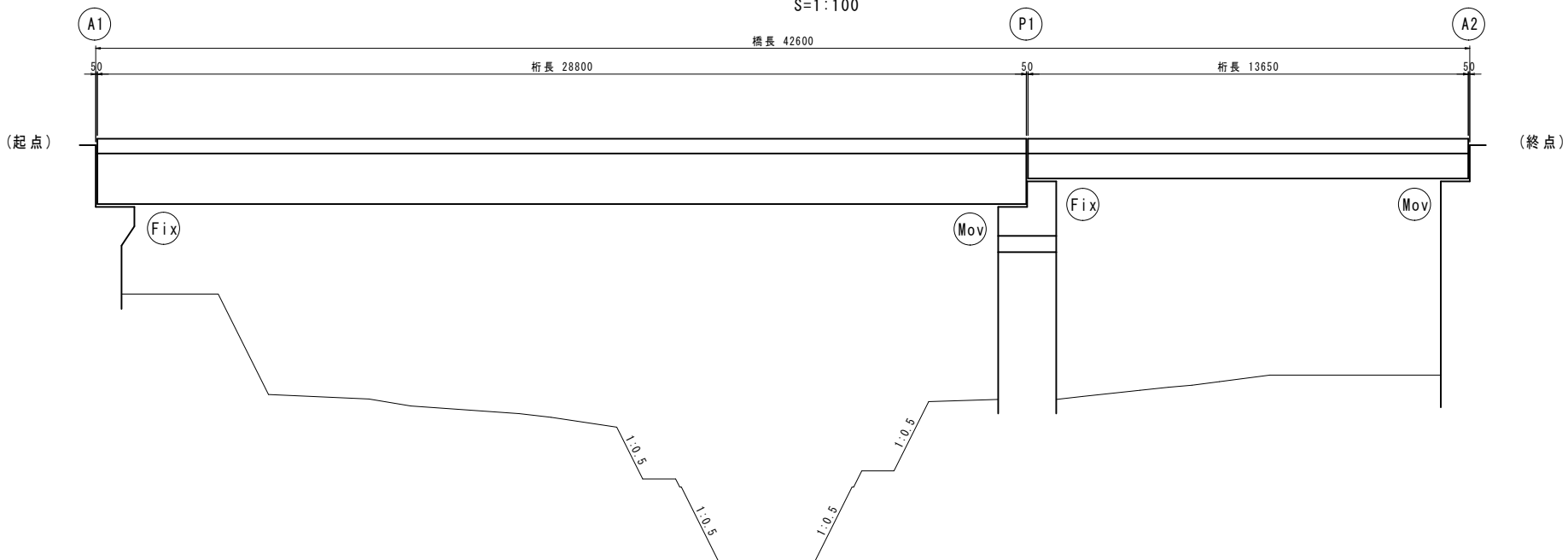
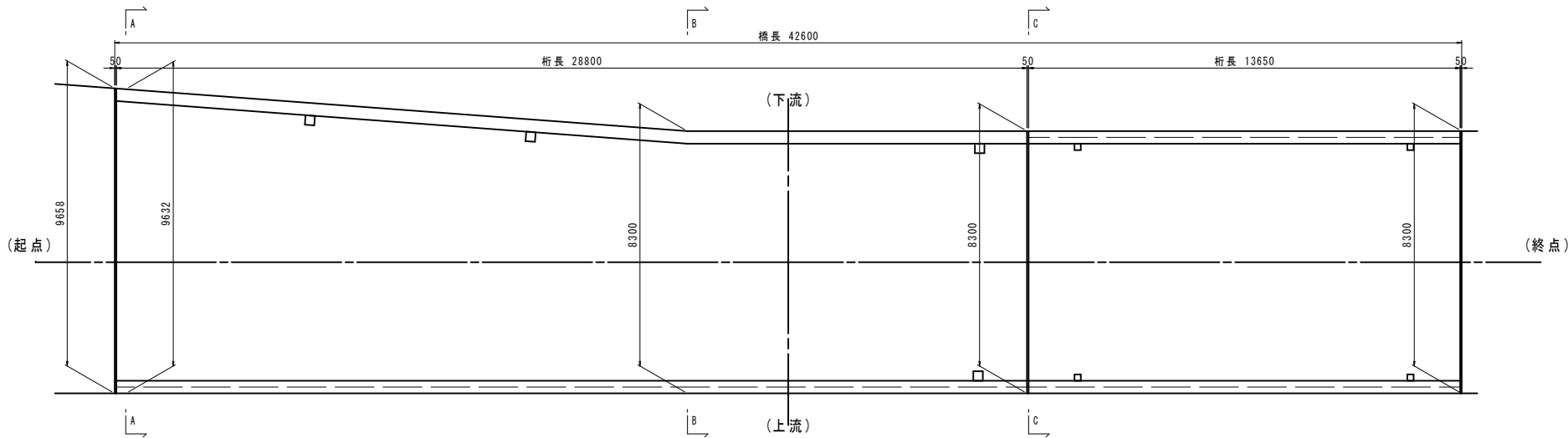


橋梁一般図  
S=1:100

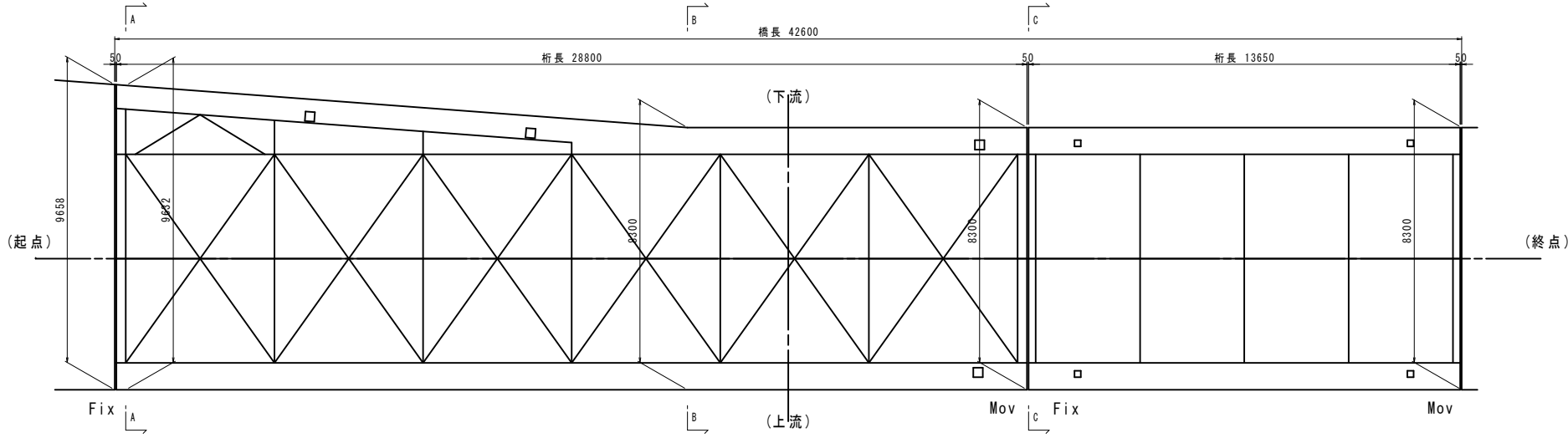
側面図  
S=1:100



橋面図  
S=1:100

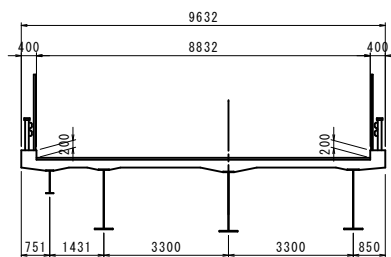


下面図  
S=1:100

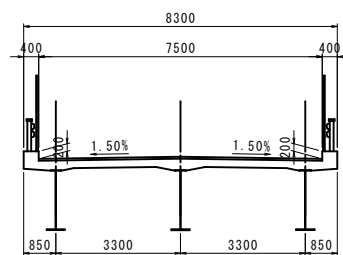


断面図  
S=1:100

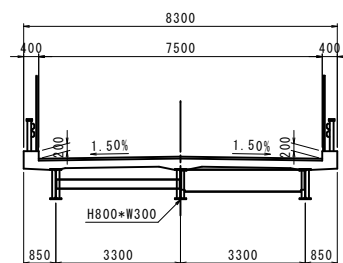
A-A断面



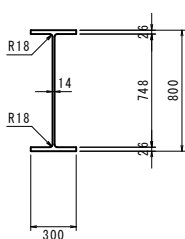
B-B断面



C-C断面



H桁断面図  
S=1:25

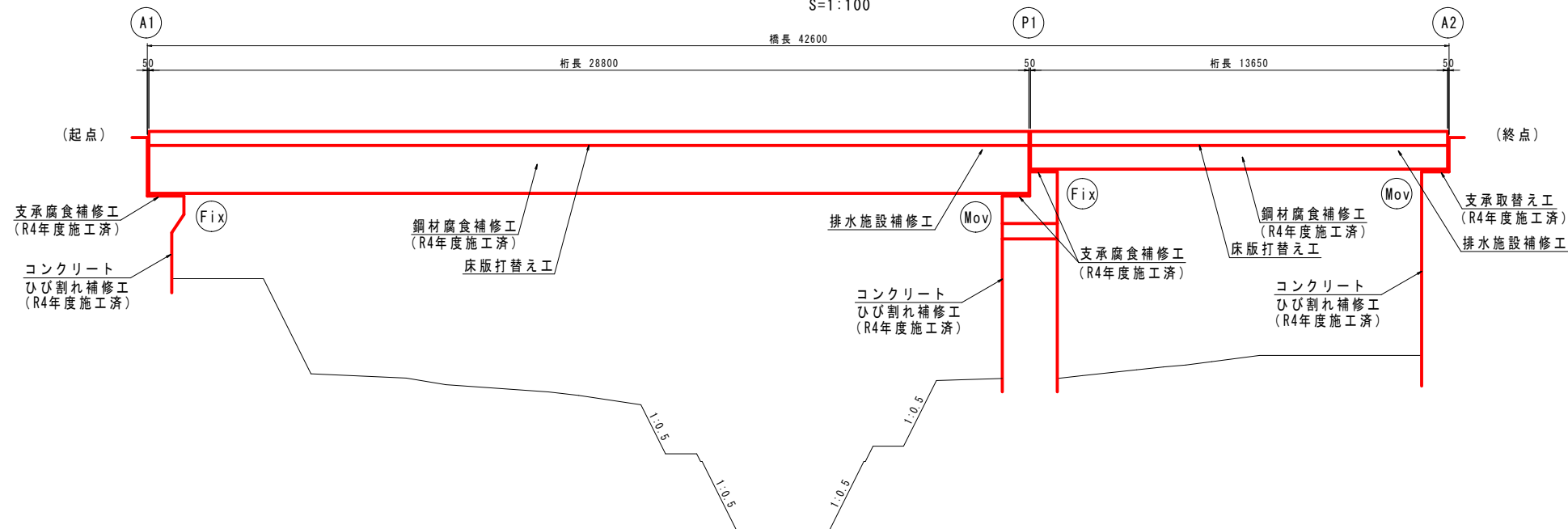


※注記  
1)各寸法は点検結果および実測によるもの。  
施工の際は再度計測し寸法を確認すること。  
2)橋梁前後の構造物及び地形については  
概略位置、形状であり実寸法とは異なる。

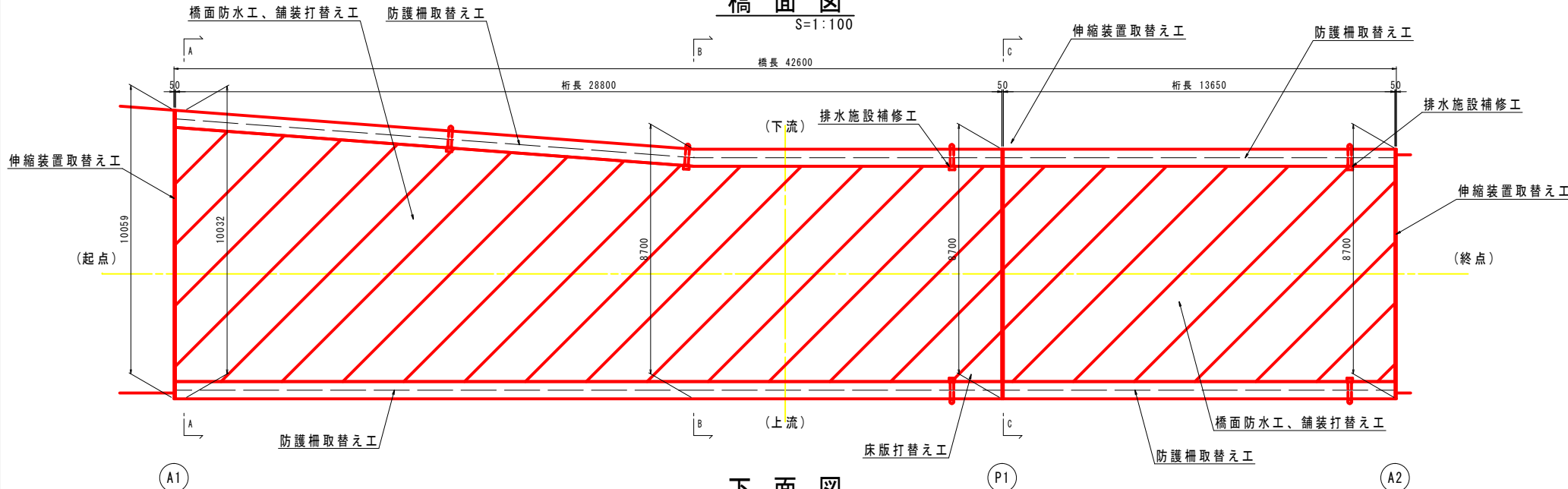
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	橋梁一般図		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	1:100	図面番号	1/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

補修補強一般図 S=1:100  
心経寺橋

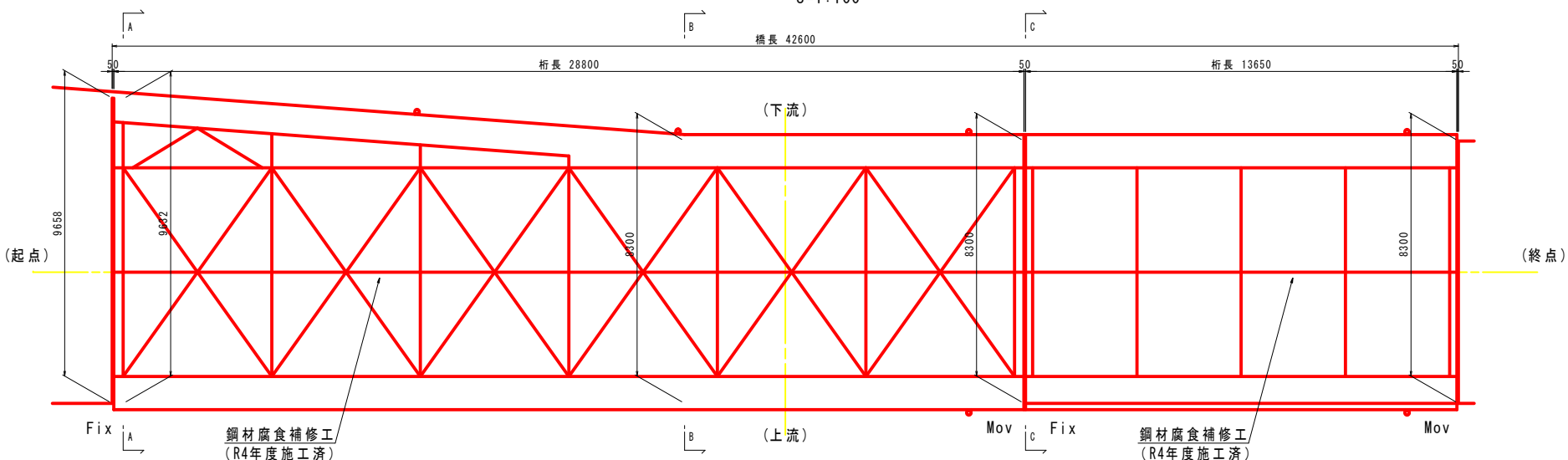
側面図 S=1:100



橋面図 S=1:100

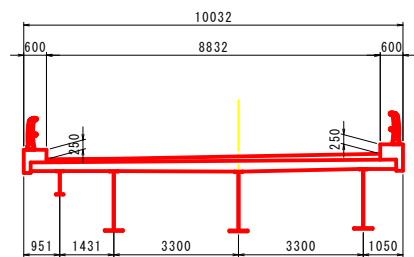


下面図 S=1:100

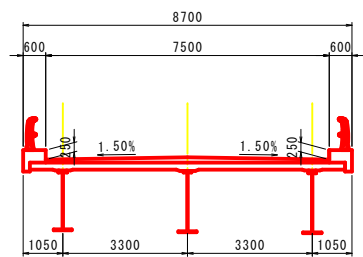


断面図 S=1:100

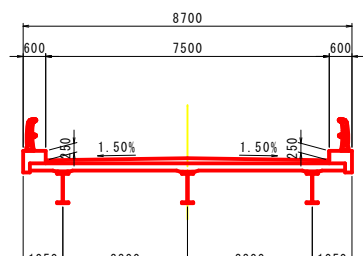
A-A断面



B-B断面



C-C断面

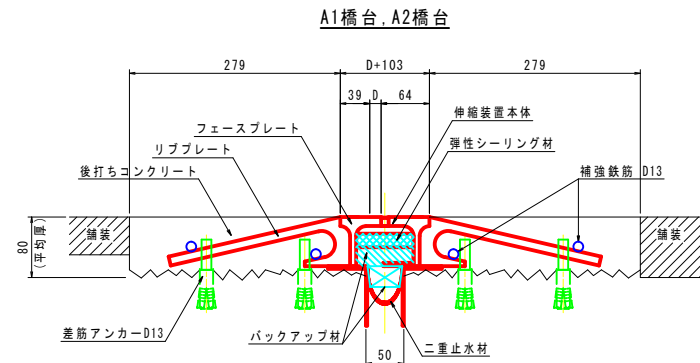


※注記  
1) 各寸法は点検結果および実測によるもの。  
施工の際は再度計測寸法を確認すること。  
2) 橋梁前後の構造物及び地形については  
概略位置、形状であり実寸法とは異なる。

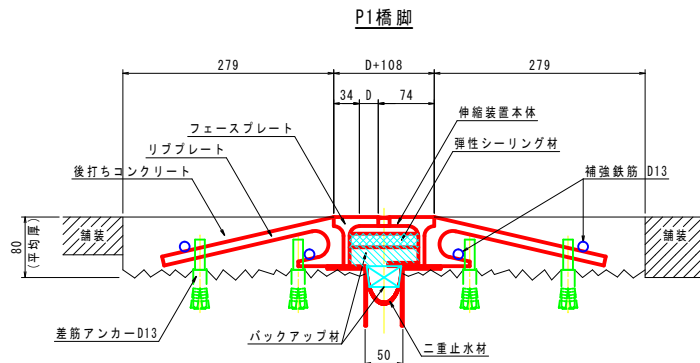
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	補修補強一般図		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:100	図面番号	2/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

伸縮装置取替補修工図

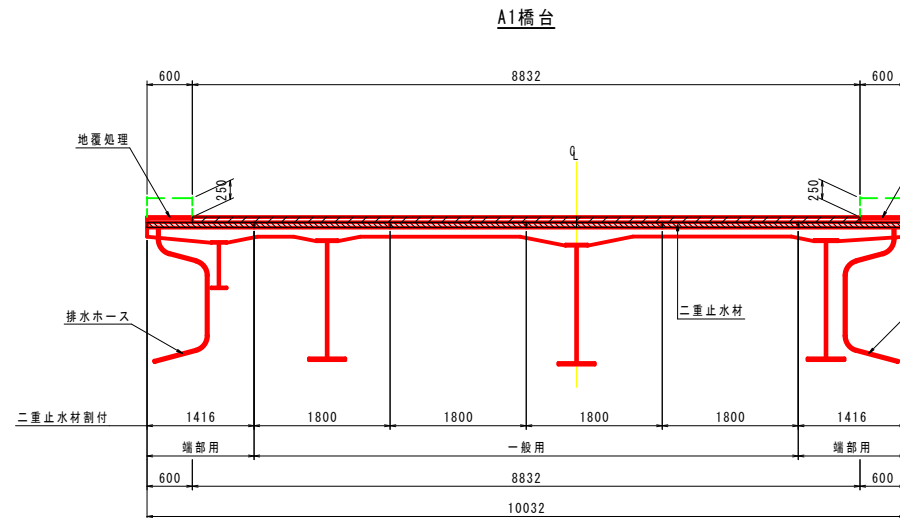
伸縮装置断面図 S=1:5  
伸縮量20mmタイプ



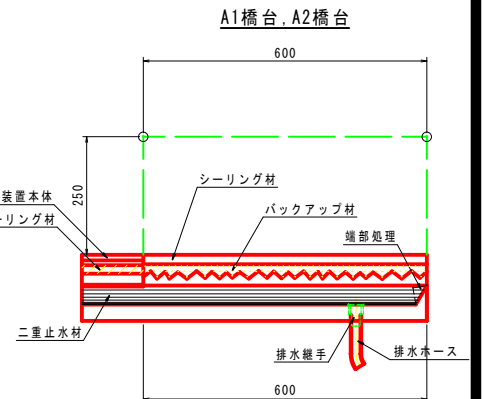
伸縮装置断面図 S=1:5  
伸縮量30mmタイプ



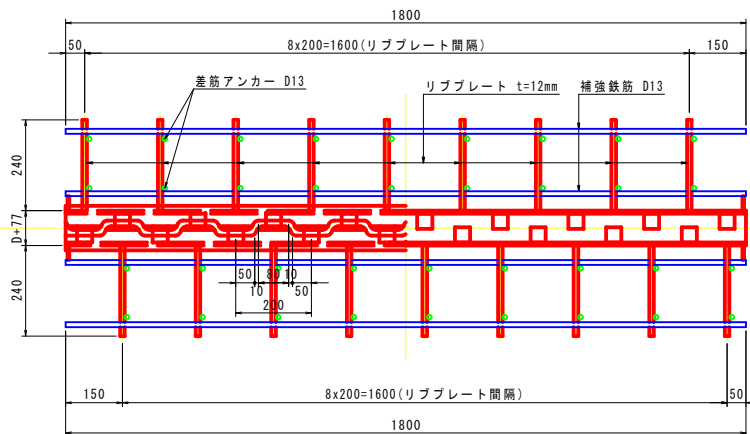
断面図 S=1:50



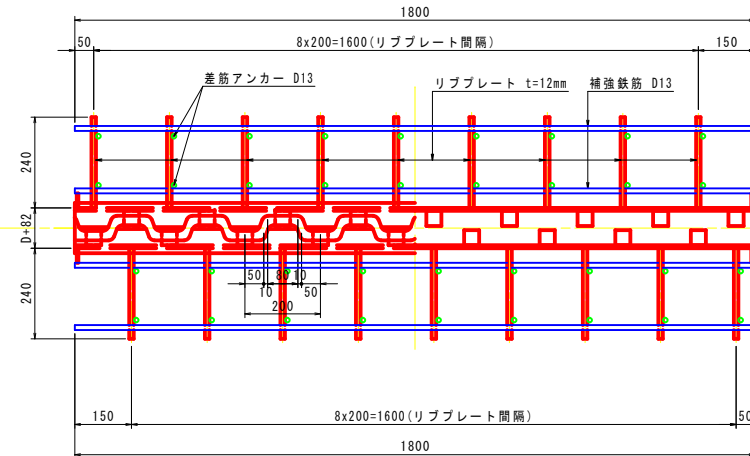
地覆端部詳細図 S=1:8



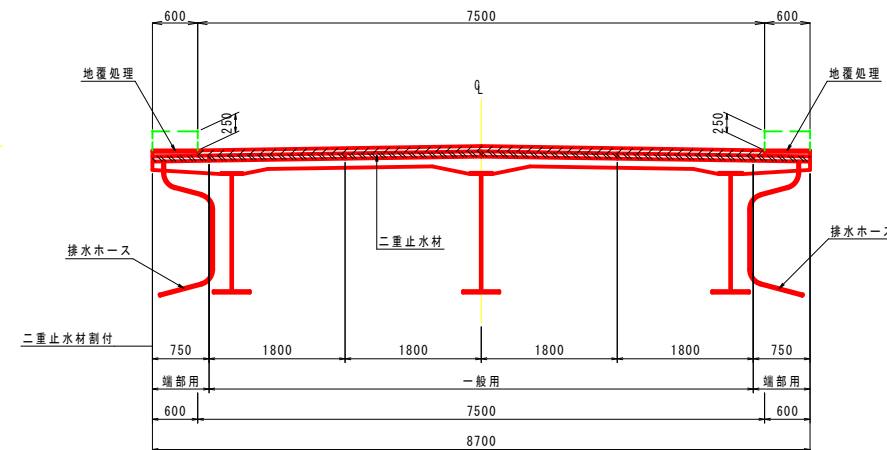
伸縮装置平面図 S=1:10



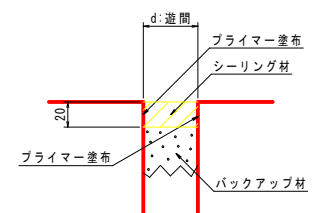
伸縮装置平面図 S=1:10



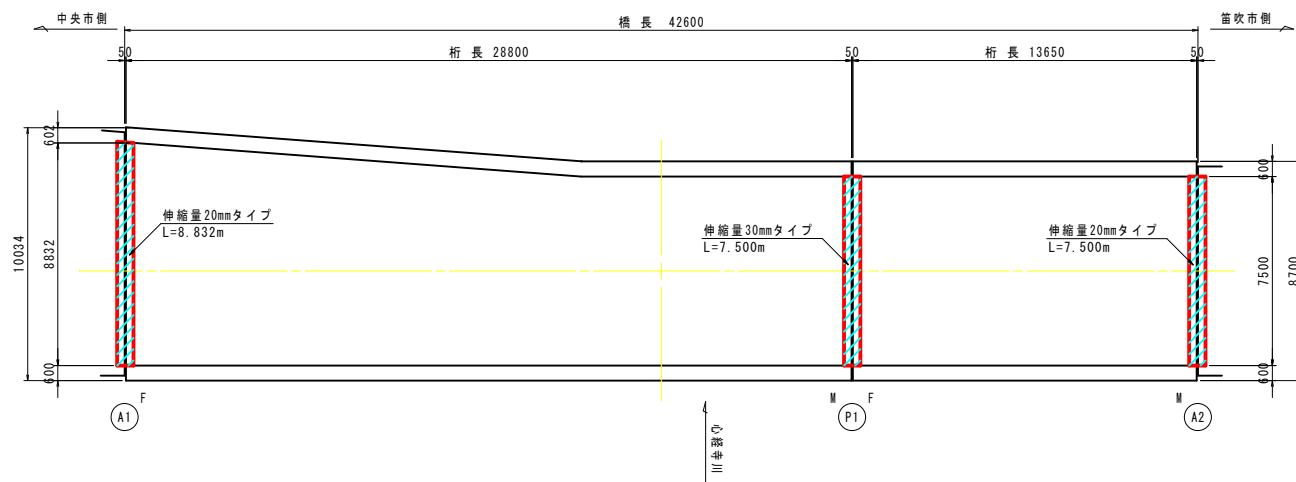
P1橋脚, A2橋台



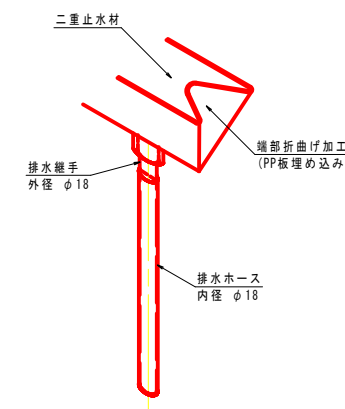
地覆処理要領図



設置位置図 S=1:150

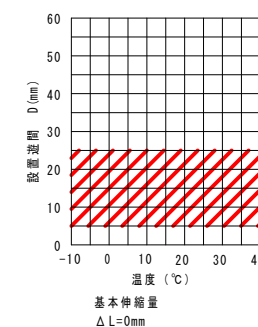


端部排水処理詳細図

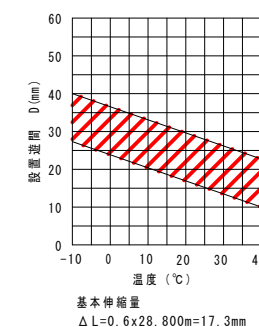


設置表

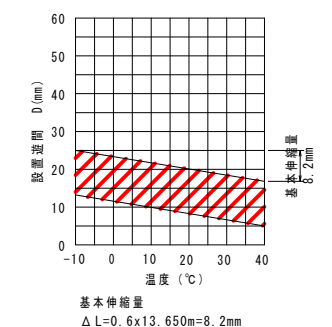
A1橋台



P1橋脚



A2橋台



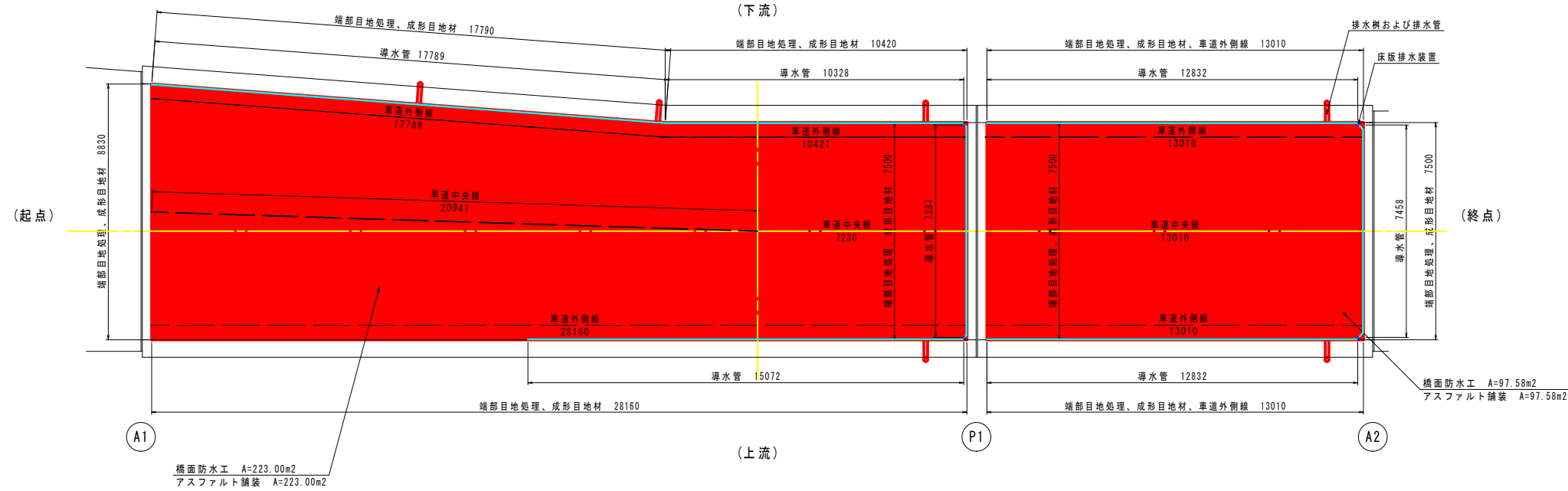
※1 排水ホースは下部工、第三者へかからない位置まで延長すること。  
※2 現地検測の上施工すること。

工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	伸縮装置取替補修工図		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	3/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

## 橋面防水工図

## 橋 面 図

S=1 : 100



数量表

-防水工面積(塗膜系)

$$223.00 + 97.58 = 320.58\text{m}^2$$

一端部目地処理延長

$$17.79 + 10.42 + 8.83 + 7.50 + 28.16$$
$$+ 13.01 + 7.50 + 7.50 + 13.01$$
$$= 113.72\text{m}$$

### -成形目地材延長

113.72m

-導水管延長

$$17.79 + 10.33 + 7.39 + 15.07 + 12.83 + 7.46 + 12.83 = 83.70\text{m}$$

### —床版排水装置

4箇所

-As鋪裝面積

320.58m<sup>2</sup>

-車道外側線

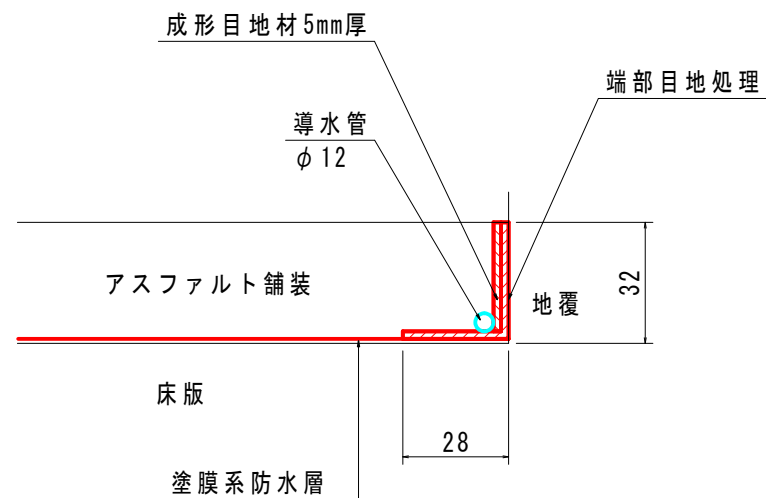
$$17.79 + 10.42 + 28.16 + 13.01 \times 2 = 82.39 \text{ m}$$

-車道中央線

$$20.94 + 7.23 + 13.01 = 41.18 \text{ m}$$

防水層端部処理詳細図 S=FREE

S=FREE

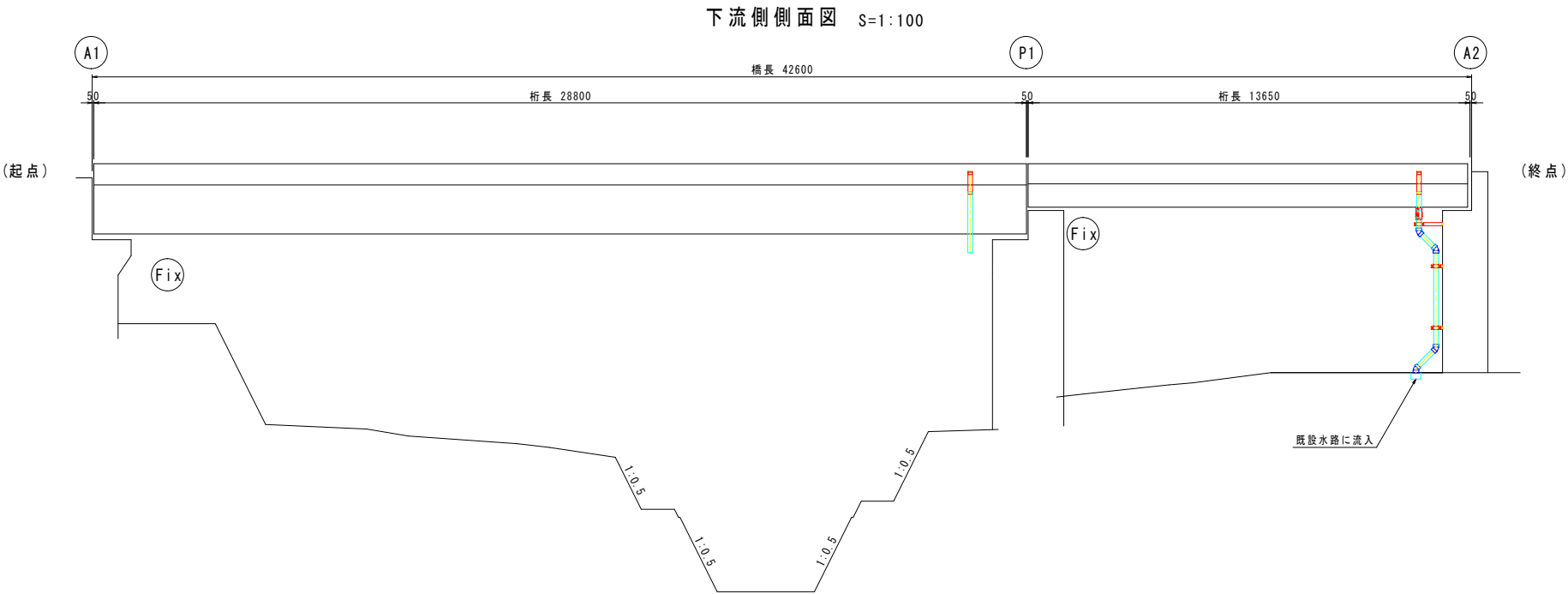
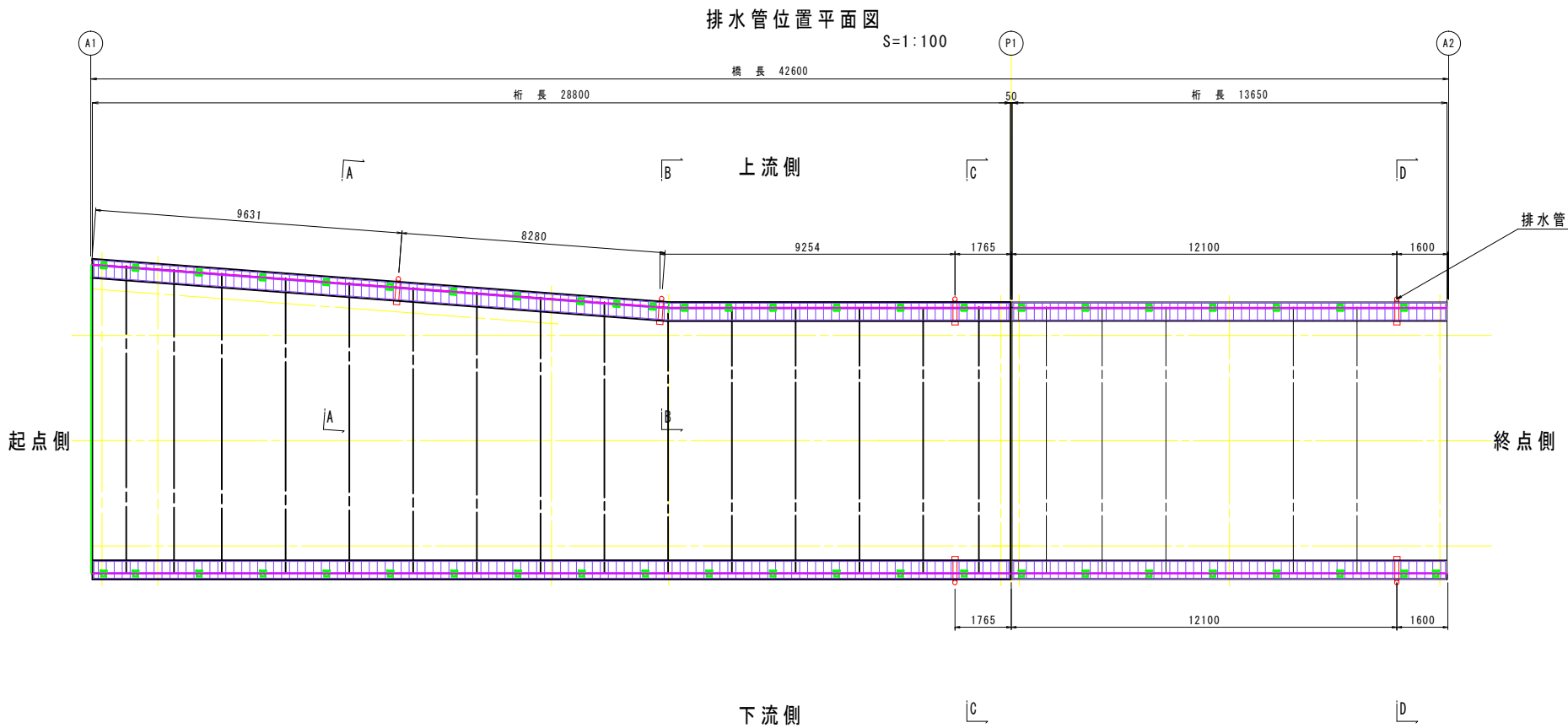


注記)

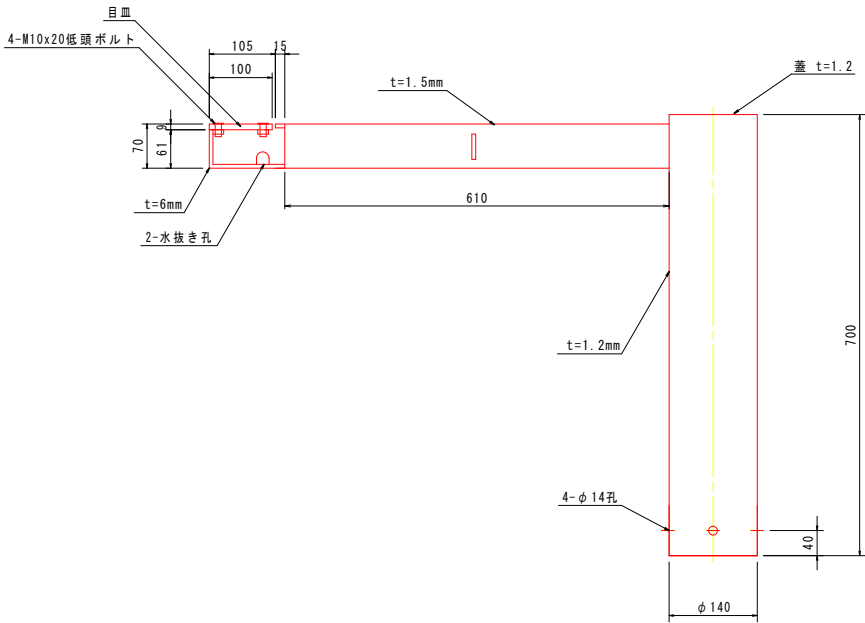
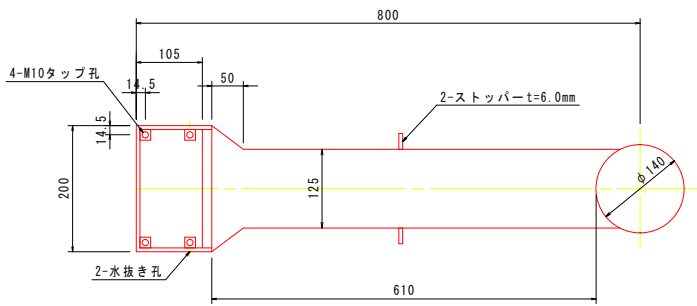
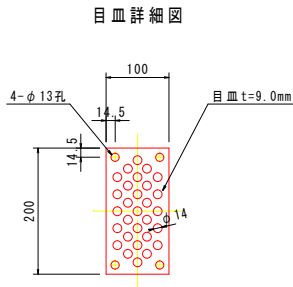
- 1) 各寸法は点検結果および実測によるもの  
施工の際は再度計測し、確認すること
- 2) 防水層施工時は施工面に粉塵が無い事、十分乾燥している事を確認すること
- 3) 舗装を行う前に防水層に気泡、キズが無いことを確認すること  
傷がある場合は補修してから舗装を行うこと
- 4) 各数量は現場状況に合わせて適宜修正すること

工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	橋面防水工図		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	4/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

## 排水施設検討図（その1）



排水柵構造図 S=1:6

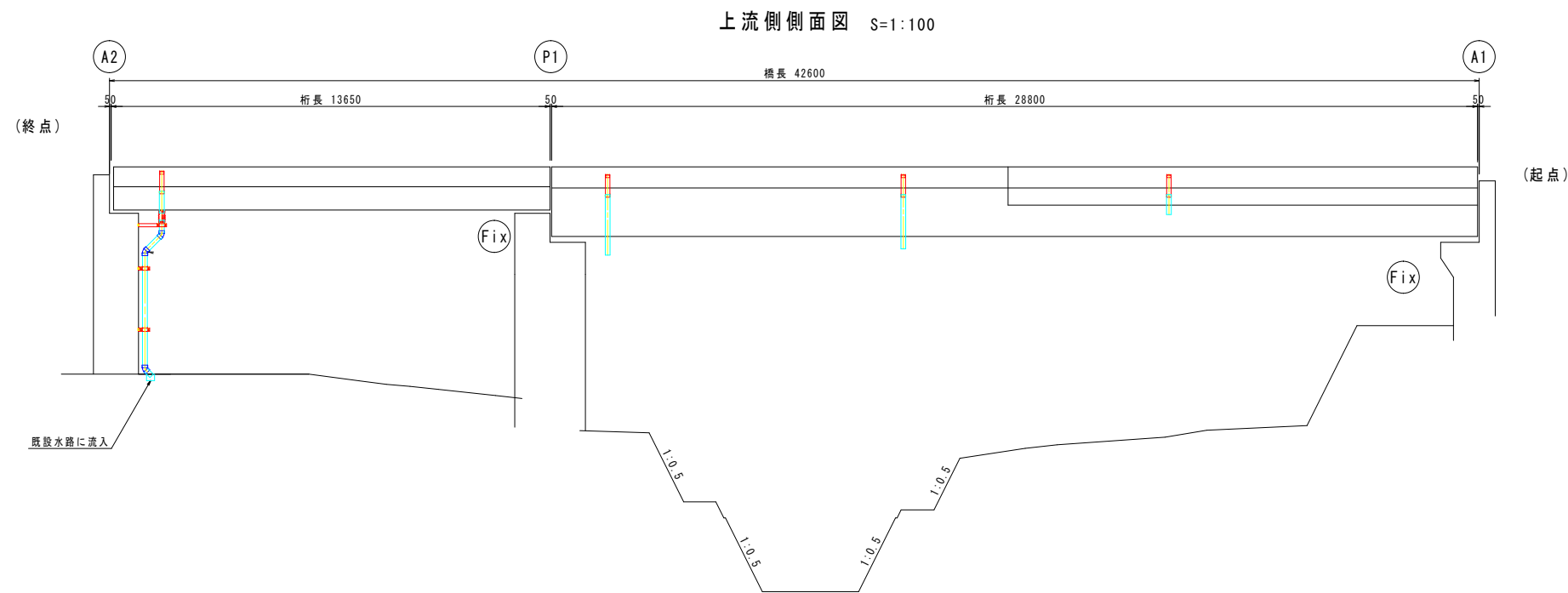


※ 注記

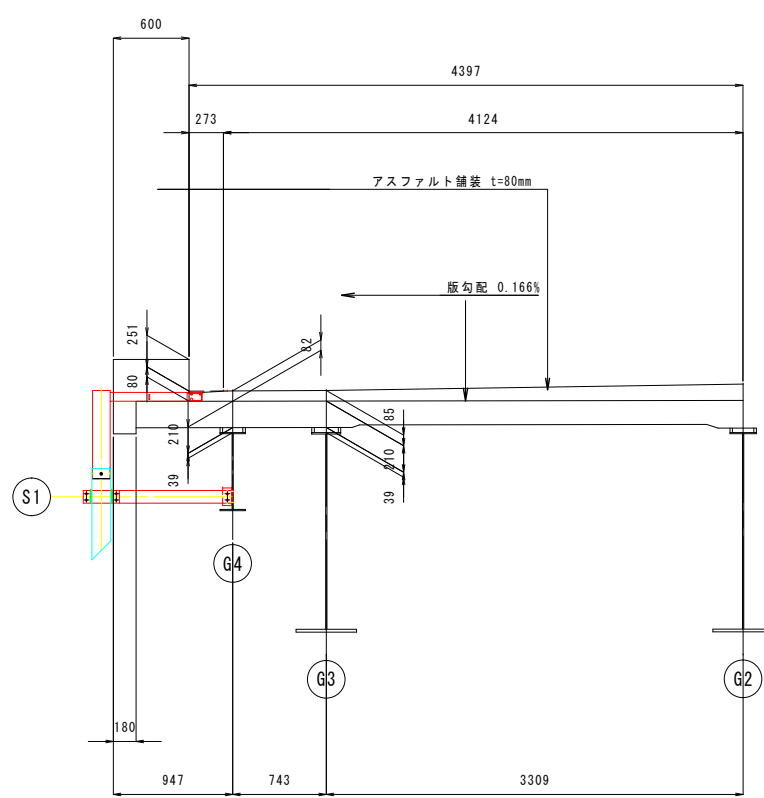
- 1) 各寸法は点検結果および実測によるもの。施工の際は再度計測寸法を確認すること。
- 2) 橋梁前後の構造物及び地形については概略位置、形状であり実寸法とは異なる。
- 3) 排水管下端は中央部では下フランジから400mm下がりと、支間部では脊座面より400mm下がりとする。
- 4) 特記なき材料はすべてSUS304とする。

工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	排水施設検討図（その1）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	5/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

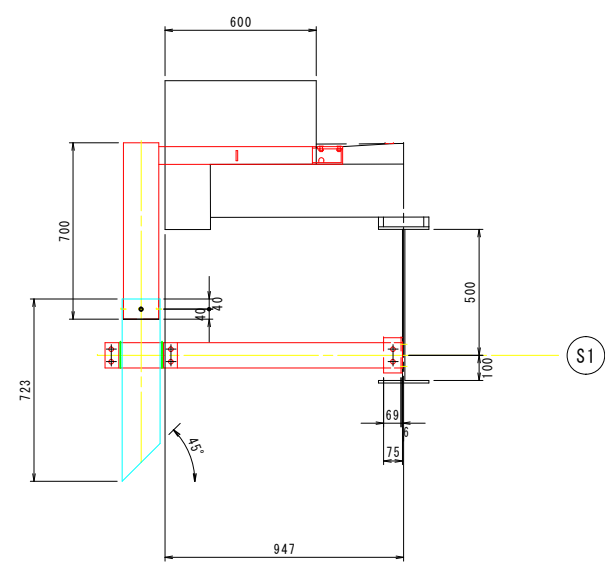
排水施設検討図（その2）



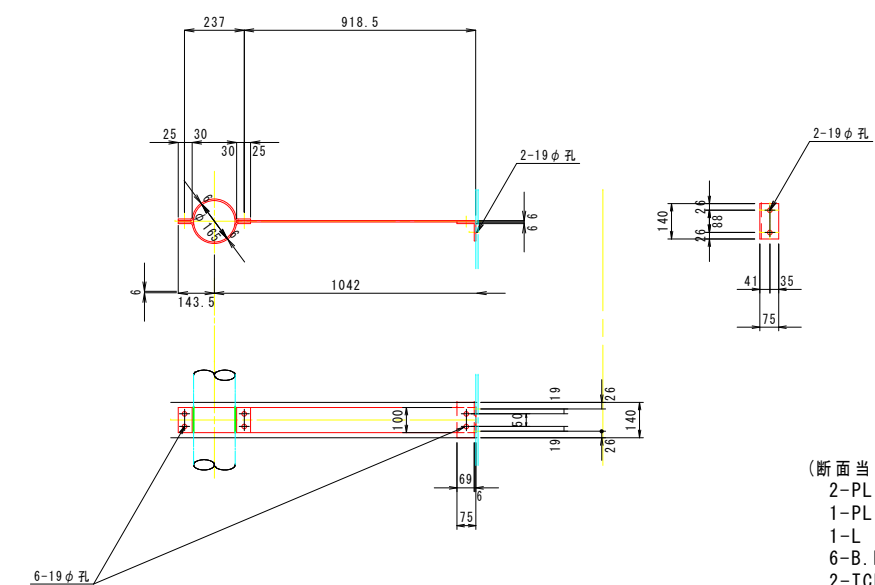
A-A断面図 S=1:30



A-A断面拡大図 S=1:15



S1-詳細図 S=1:15



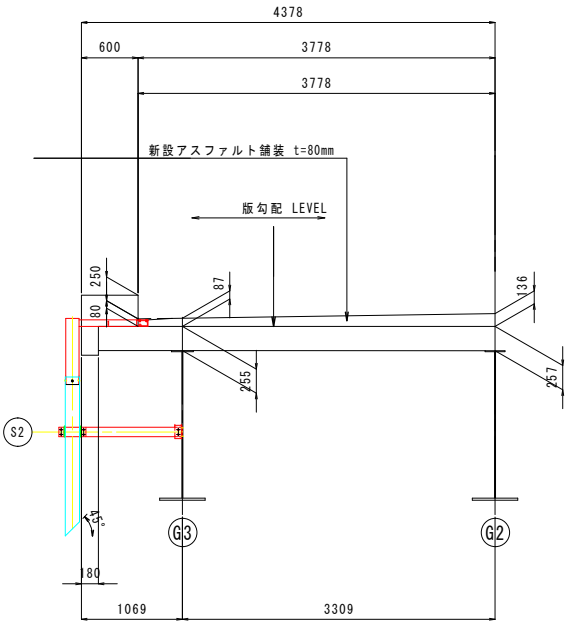
(断面当り)  
2-PL 100 x 6 x 366  
1-PL 100 x 6 x 947  
1-L 75 x 75 x 6 x 140  
6-B.N M16 x 35  
2-TCB M16 x 40 (S10T)

※注記  
1)各寸法は点検結果および実測によるもの。  
施工の際は再度計測し寸法を確認すること。  
2)橋梁前後の構造物及び地形については  
概略位置、形状であり実寸法とは異なる。  
3)排水管下端は支間中央部では下フランジから400mm下がり、  
支間部では沓座面より400mm下がりとする。

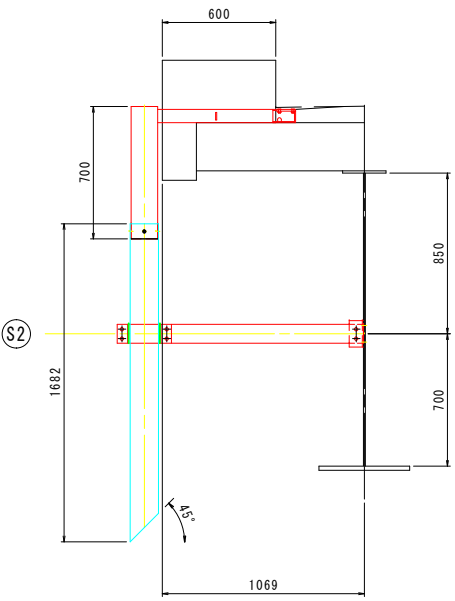
工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	排水施設検討図（その2）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	6/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

## 排水施設検討図（その3）

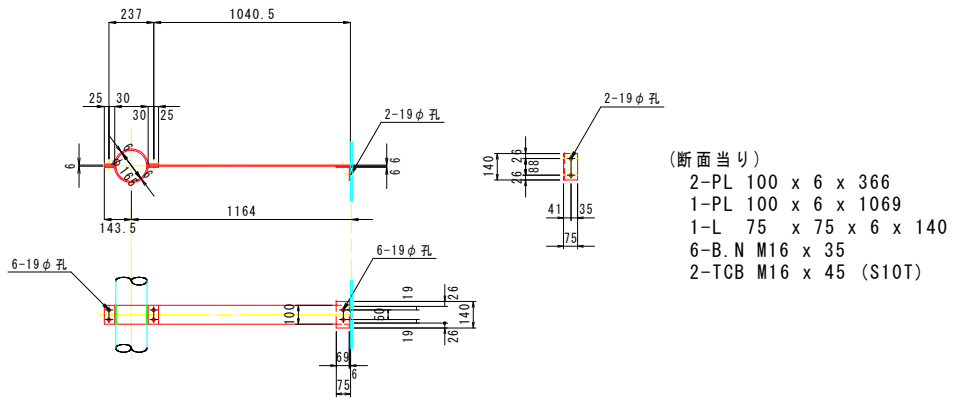
B-B 断面図  
S=1:40



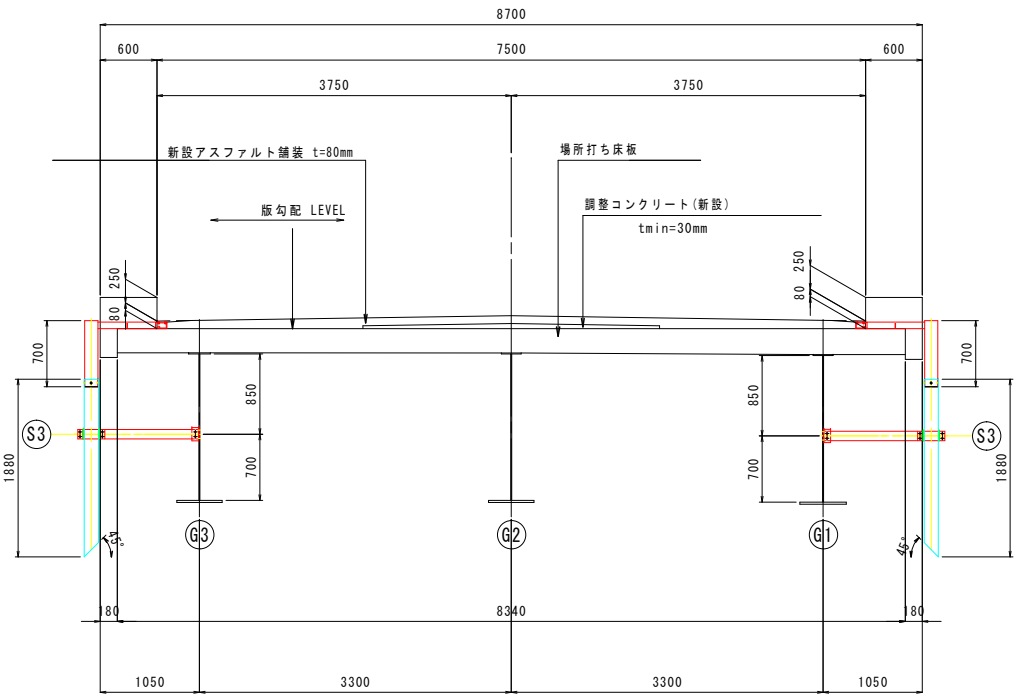
B-B断面拡大図  
S=1:20



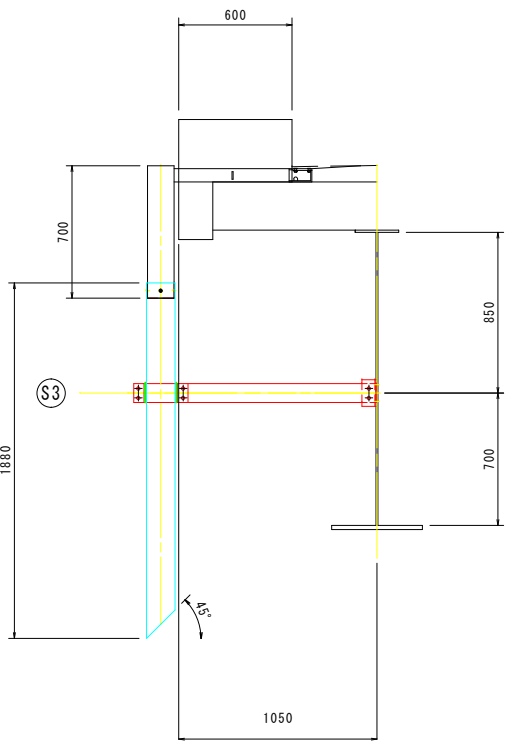
S2-詳細図



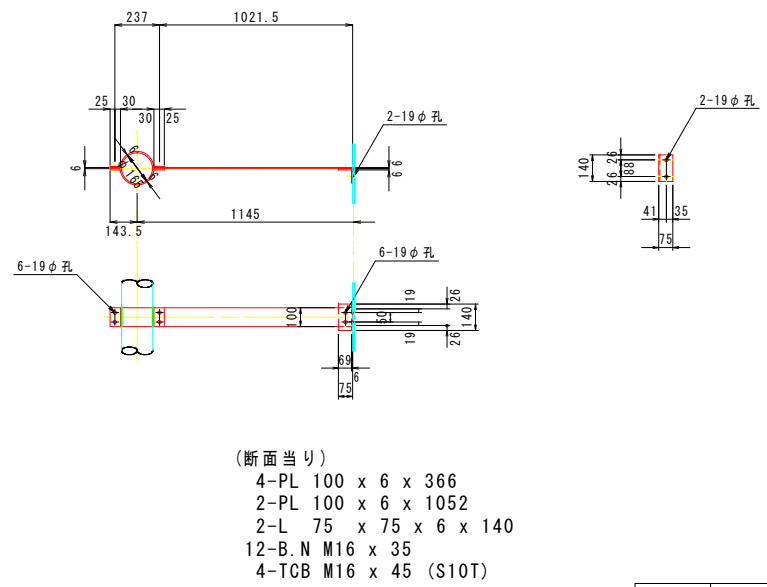
C-C断面図  
S=1:40



C-C断面拡大図  $S=1:20$



S-3詳細図  
S=1:20



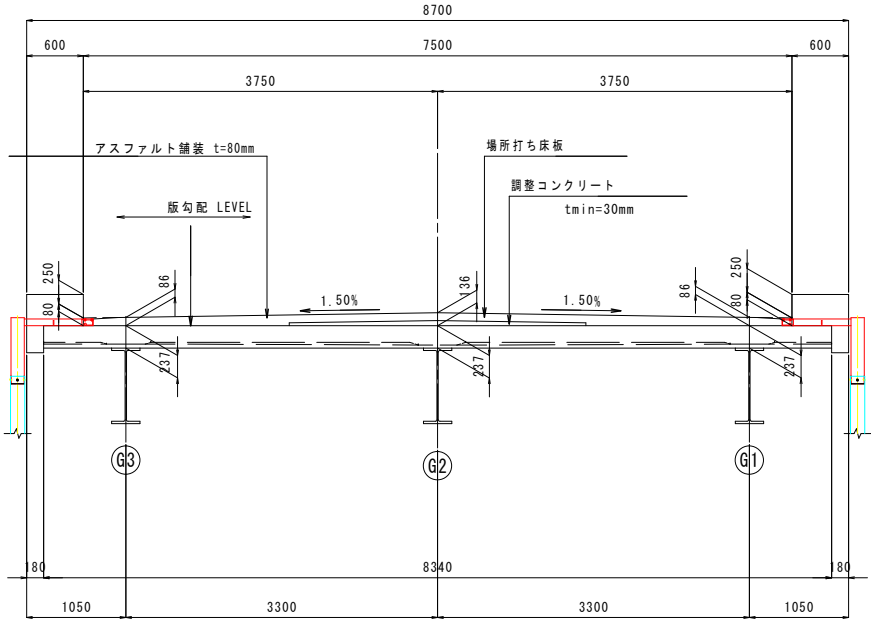
※ 注記

- 1) 各寸法は点検結果および実測によるもの。  
施工の際は再度計測し寸法を確認すること。
- 2) 橋梁前後の構造物及び地形については概略位置、形状であり実寸法とは異なる。
- 3) 排水管下端は支間中央部では下フランジから400mm下がりが、支間部では坐落面より400mm下がりとする。

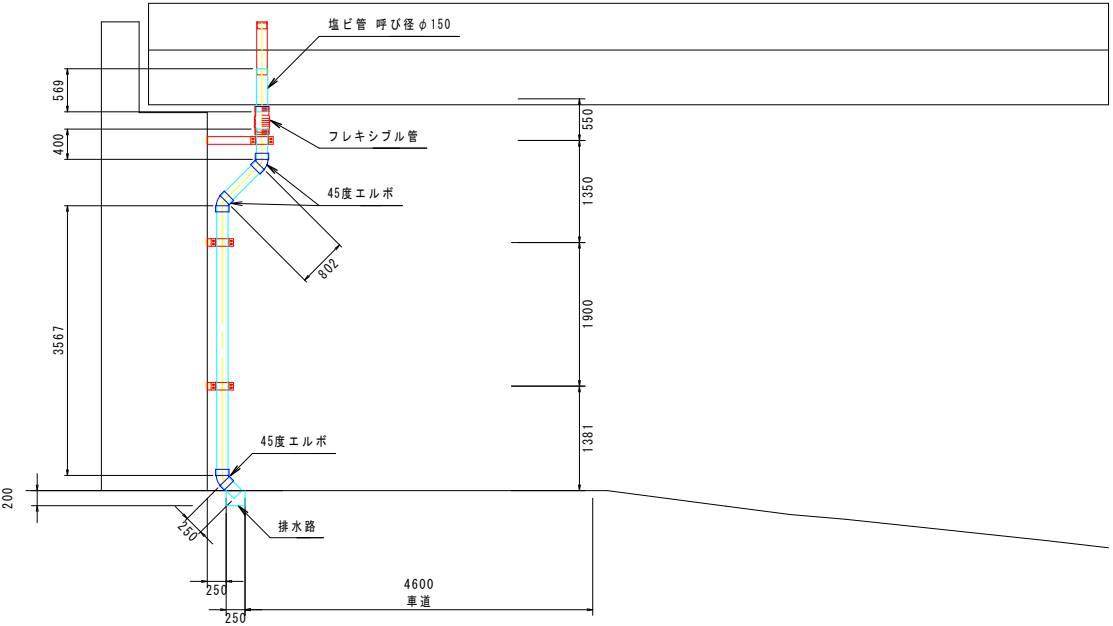
工事名	橋梁補修工事（RS-1）		
図面名	排水施設検討図（その3）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	7/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

## 排水施設検討図（その4）

D-D 断面图  
S=1:40

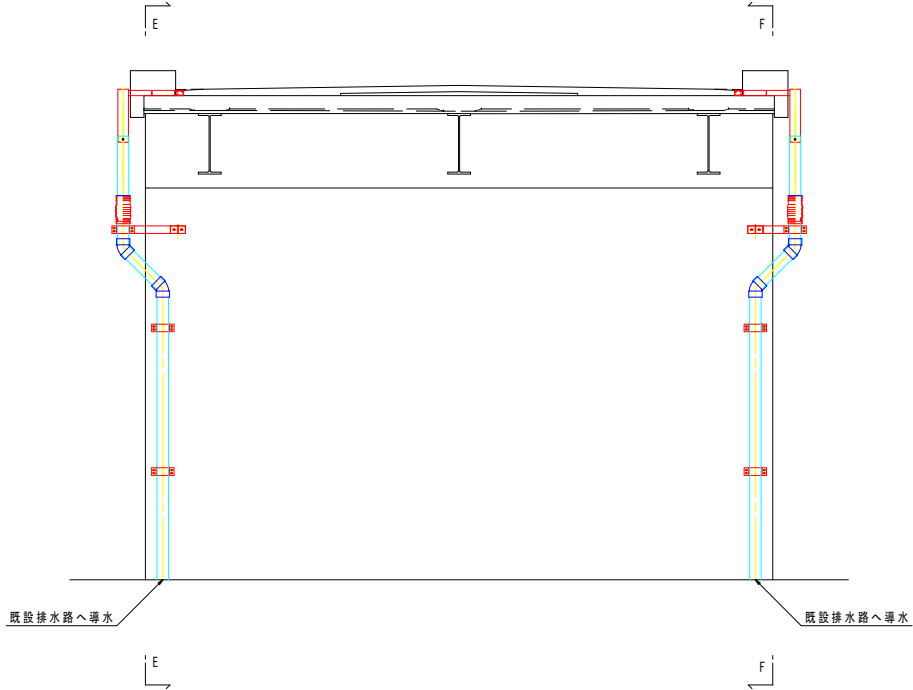


側面図  
(E-E) S=1:50

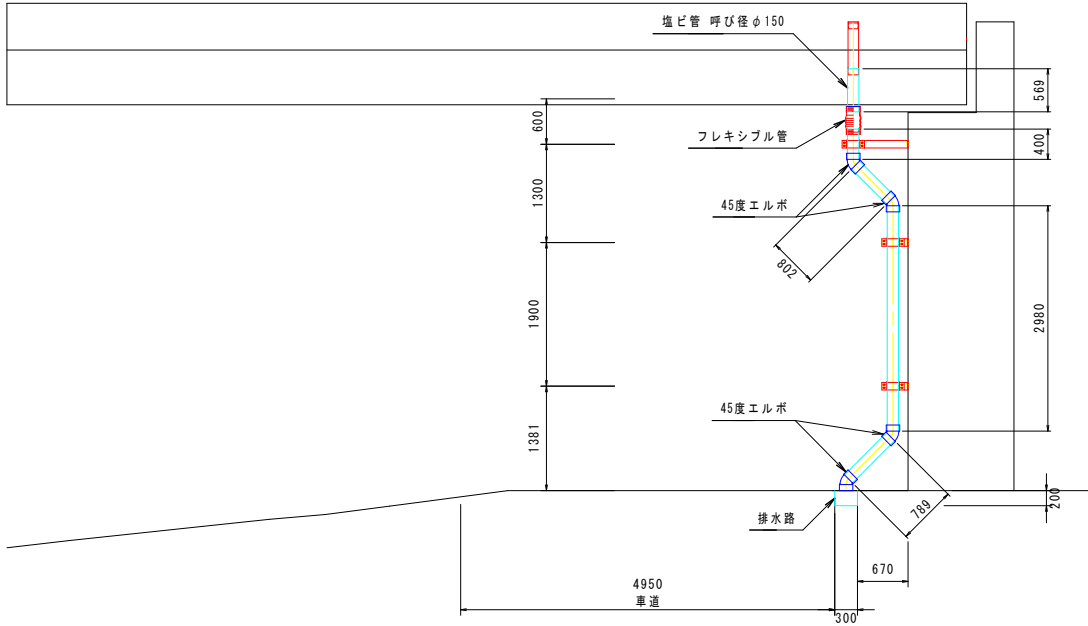


正 面 图

S=1:50



側面図  
(F-F) S=1:50



※ 注記

- 1) 各寸法は点検結果および実測によるもの。  
施工の際は再度計測し寸法を確認すること。
- 2) 橋梁前後の構造物及び地形については  
概略図、形状であり実寸法とは異なる。
- 3) 排水管下端は支間中央部では下フランジから400mm下がりが、  
支間部では脊座面より400mm下がりとする。

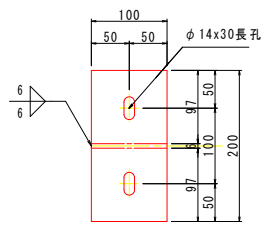
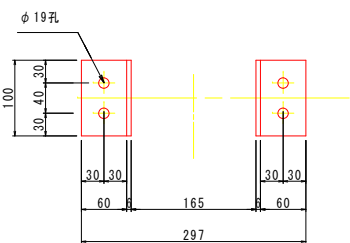
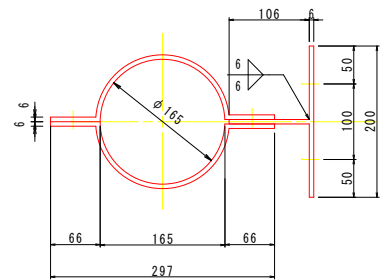
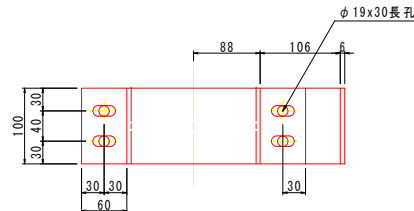
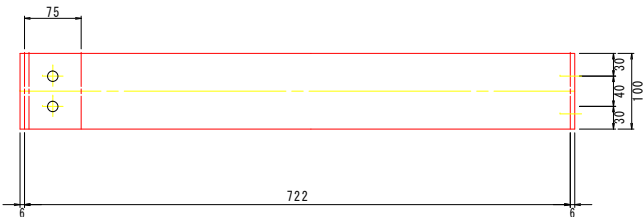
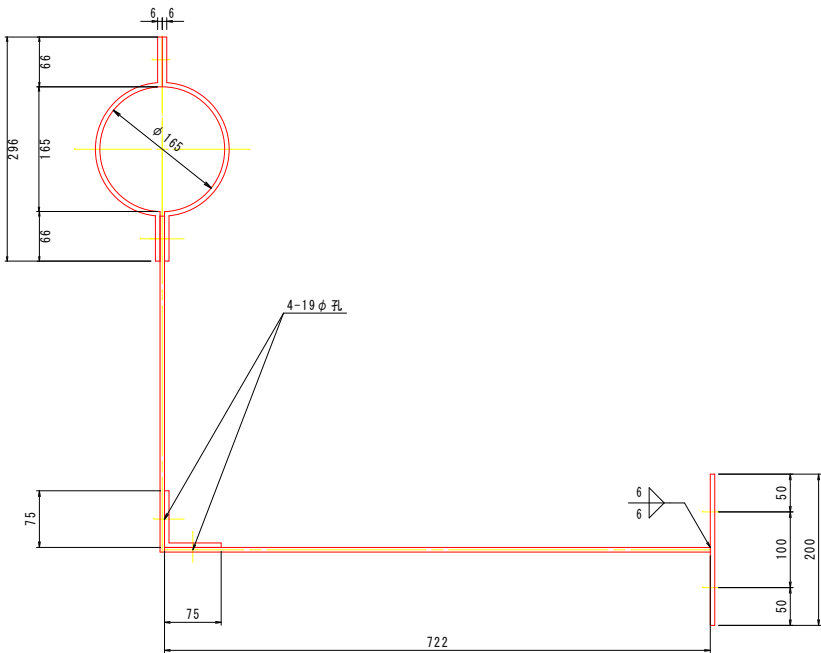
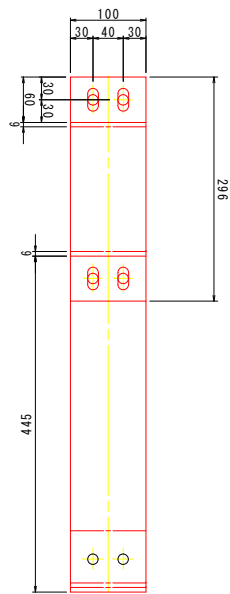
工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	排水施設設計図（その4）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	8/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		



排水施設検討図（その5）

S=1:5

D-D断面  
支持金具構造図



- (断面当り)
- 12 - PL 100 x 6 x 375
  - 4 - PL 100 x 6 x 106
  - 6 - PL 100 x 6 x 200
  - 2 - PL 100 x 6 x 722
  - 2 - PL 100 x 6 x 445
  - 2 - L 75 x 75 x 6 x 100
  - 32 - BN M16 x 40 (2-W)
  - 12 - Anc M12 x 100 (打ち込み式)

注記  
1. 特記なき材質は全てSS400とする。  
2. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。  
付着量は、  
厚さ6mm以上の鋼材については、JIS H8641 HDZ55  
厚さ3mm以上、5mm以下の鋼材については、JIS H8641 HDZ45  
厚さ1mm以上、2mm以下の鋼材およびボルトナット類は、  
JIS H8641 HDZ35とする。

※注記  
1) 各寸法は点検結果および実測によるもの。  
施工の際は再度計測し寸法を確認すること。  
2) 橋梁前後の構造物及び地形については  
概略位置、形状であり実寸法とは異なる。  
3) 排水管下端は支間中央部では下フランジから400mm下がりがり、  
支間部では沓座面より400mm下がりとする。

工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	排水施設検討図（その5）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:5	図面番号	9/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

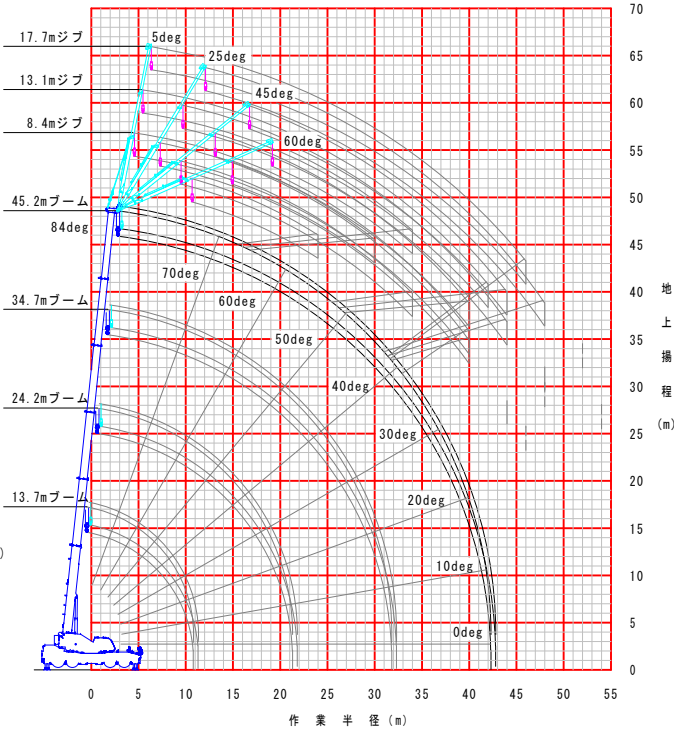
架設計画図(案)

側面図  
S=1:200

特記事項

施工に先立ち、床版のクレーン架設時に既設の電柱及び架空線が支障となる。  
関係機関と協議の上、電柱、架空線の移設を行い、これらに影響ないことが確保された後  
施工を実施されたい。  
また、架空線及び電柱位置は概略の位置であるため、施工時に改めて現地状況を確認し、  
監督員及び関係機関と協議の後、適宜施工方法を決定されたい。

45.2mブーム+ジブ



(注) 1. 上図は、ブームおよびジブのたわみを含んでいません。  
2. 上図は、アウトリガ最大(7.8m)張出状態、カウンタウイト装着状態での図です。

注記)  
山側よりPC床版を架設する際は、既設ブロック積擁壁等の構造物  
十分留意すること。

側面図  
S=1:200

100tラフテレーンクレーン 定格総荷重表											
アウトリガ最大張出 7.8m(全周)											単位(t)
ブーム長さ 作業半径(m)	10.2m	13.7m	17.2m	20.7m	24.2m	27.7m	31.2m	34.7m	38.2m	41.7m	45.2m
12.0	-	-	13.60	14.20	15.40	15.10	14.60	12.80	11.60	10.70	9.60
14.0	-	-	11.60	11.90	11.80	11.50	11.20	11.20	10.30	9.55	8.85
16.0	-	-	-	9.45	9.35	9.05	9.40	8.80	8.95	8.60	8.10
18.0	-	-	-	-	7.60	7.35	7.70	7.15	7.20	7.40	7.35
20.0	-	-	-	-	6.30	6.05	6.35	6.55	5.95	6.35	6.30

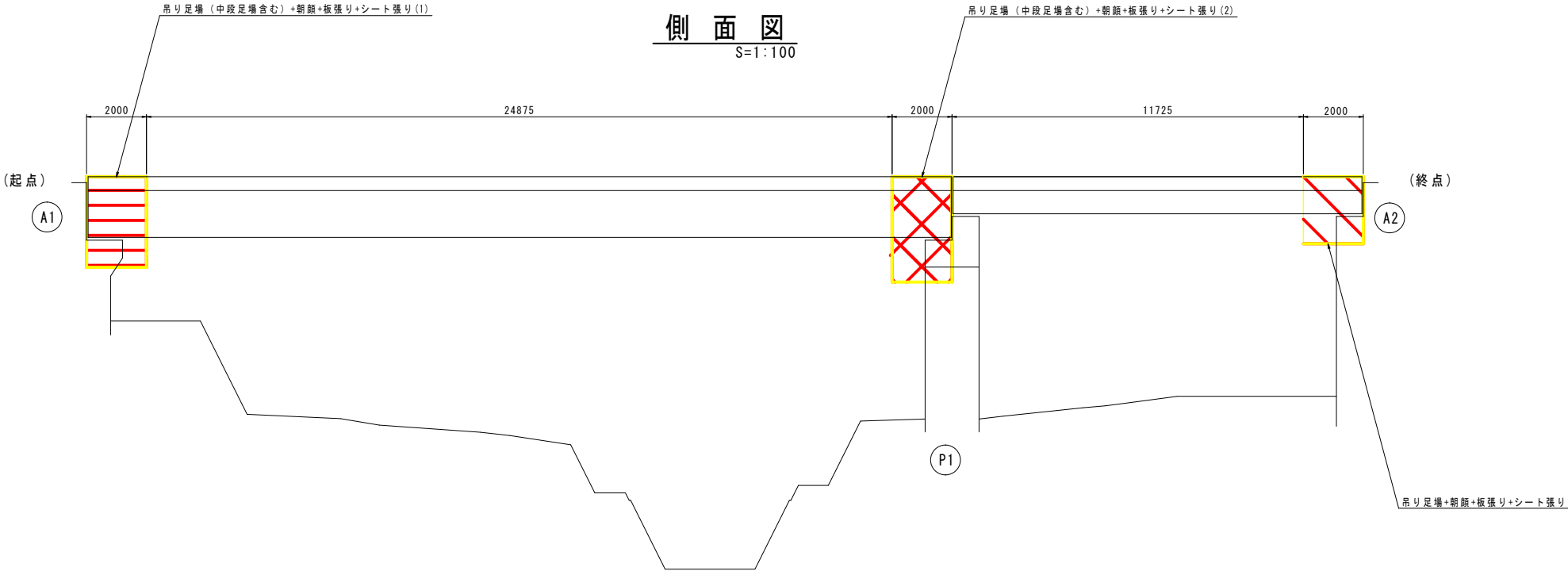
200tラフテレーンクレーン 定格総荷重表								
アウトリガ中間張出 8.0m(全周)								単位(t)
ブーム長さ 作業半径(m)	13.6m	18.1m	22.7m	31.8m	40.9m	45.5m	50.1m	
20.0	-	-	23.90	26.10	27.20	26.20	24.00	
22.0	-	-	-	21.90	23.00	23.60	21.50	
24.0	-	-	-	18.60	19.60	20.20	19.50	
26.0	-	-	-	15.90	16.90	17.40	17.50	
28.0	-	-	-	13.60	14.60	15.10	13.30	
30.0	-	-	-	-	12.60	13.10	11.60	
32.0	-	-	-	-	11.00	11.40	11.60	
34.0	-	-	-	-	9.50	10.00	10.20	
36.0	-	-	-	-	8.30	8.70	8.90	
38.0	-	-	-	-	7.30	7.60	7.80	
40.0	-	-	-	-	-	6.50	6.80	

※200tラフテレーンクレーンは、アウトリガを最大張出にすると8.8mとなり、道路幅員内に  
設置困難であることが考えられるため、中間張出にて行うなど、作業する際は注意されたい。

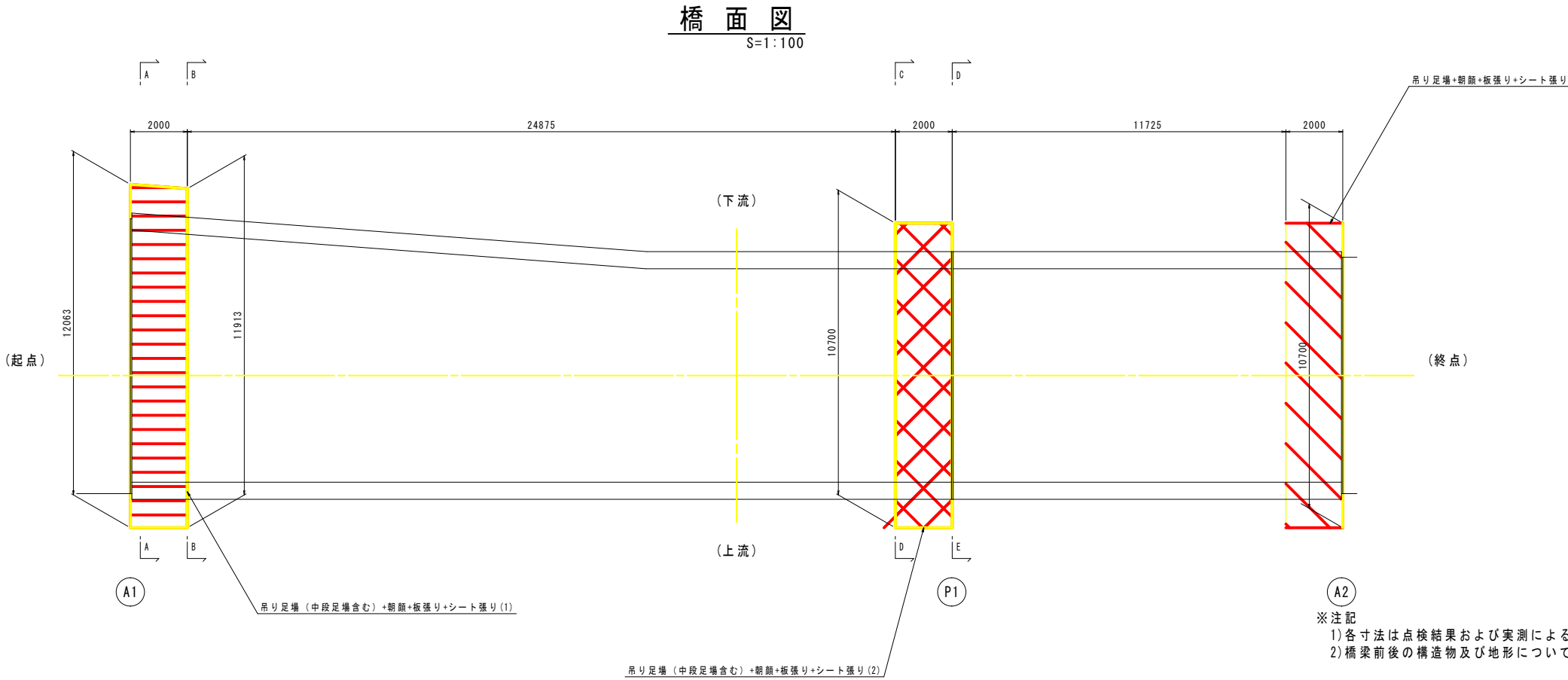
工事名	橋梁補修工事(R5-1)		
図面名	架設計画図(案)		
作成年月日	2020 年 3 月		
尺度	S=1:200	図面番号	10/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業名	甲 府 市		

注意)  
1. 本図は架設計画の参考図である。  
2. 各寸法は点検結果および実測によるもの。  
取付位置、各寸法は現場計測後、最終決定すること。

足場工計画図(案)  
(その1)



足場工数量		数量		摘要
吊り足場 (中段足場含む) + 朝顔+板張り+シート張り (1)	(12.06+11.91)*2.00*1/2	23.97	m2	桁高≧1.5m、A1橋台前
吊り足場 (中段足場含む) + 朝顔+板張り+シート張り (2)	10.70*2.00	21.40	m2	桁高≧1.5m、P1橋脚前
吊り足場+朝顔+板張り+シート張り	10.70*2.00	21.40	m2	桁高<1.5m、2径間目



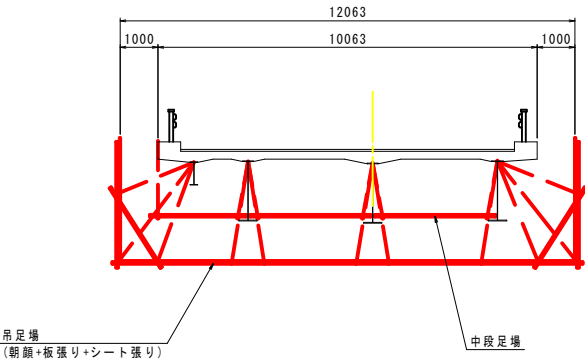
※注記  
1) 各寸法は点検結果および実測によるもの。施工の際は再度計測し寸法を確認すること。  
2) 橋梁前後の構造物及び地形については概略位置、形状であり実寸法とは異なる。

工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	足場工計画図(案)(その1)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:100	図面番号	11/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

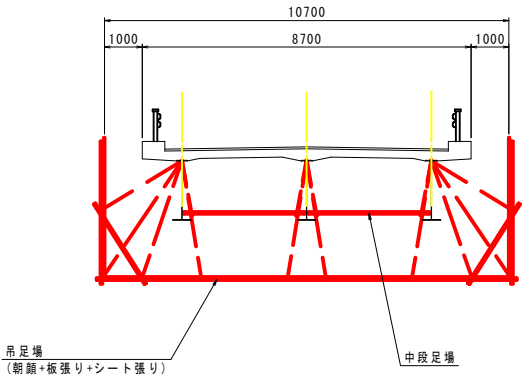
足場工計画図(案)  
(その2)

吊り足場断面図  
S=1:100

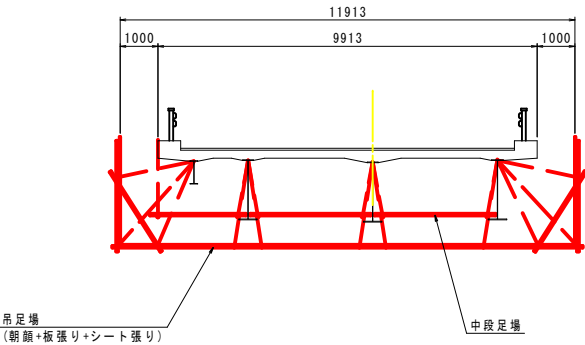
A-A断面



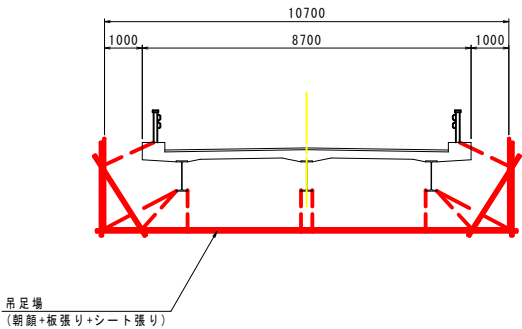
C-C断面



B-B断面



D-D断面



※注記  
1)各寸法は点検結果および実測によるもの。施工の際は再度計測し寸法を確認すること。  
2)橋梁前後の構造物及び地形については概略位置、形状であり実寸法とは異なる。

工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	足場工計画図(案)(その2)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	12/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

## 高欄兼用車両用防護柵取替工図(その1)

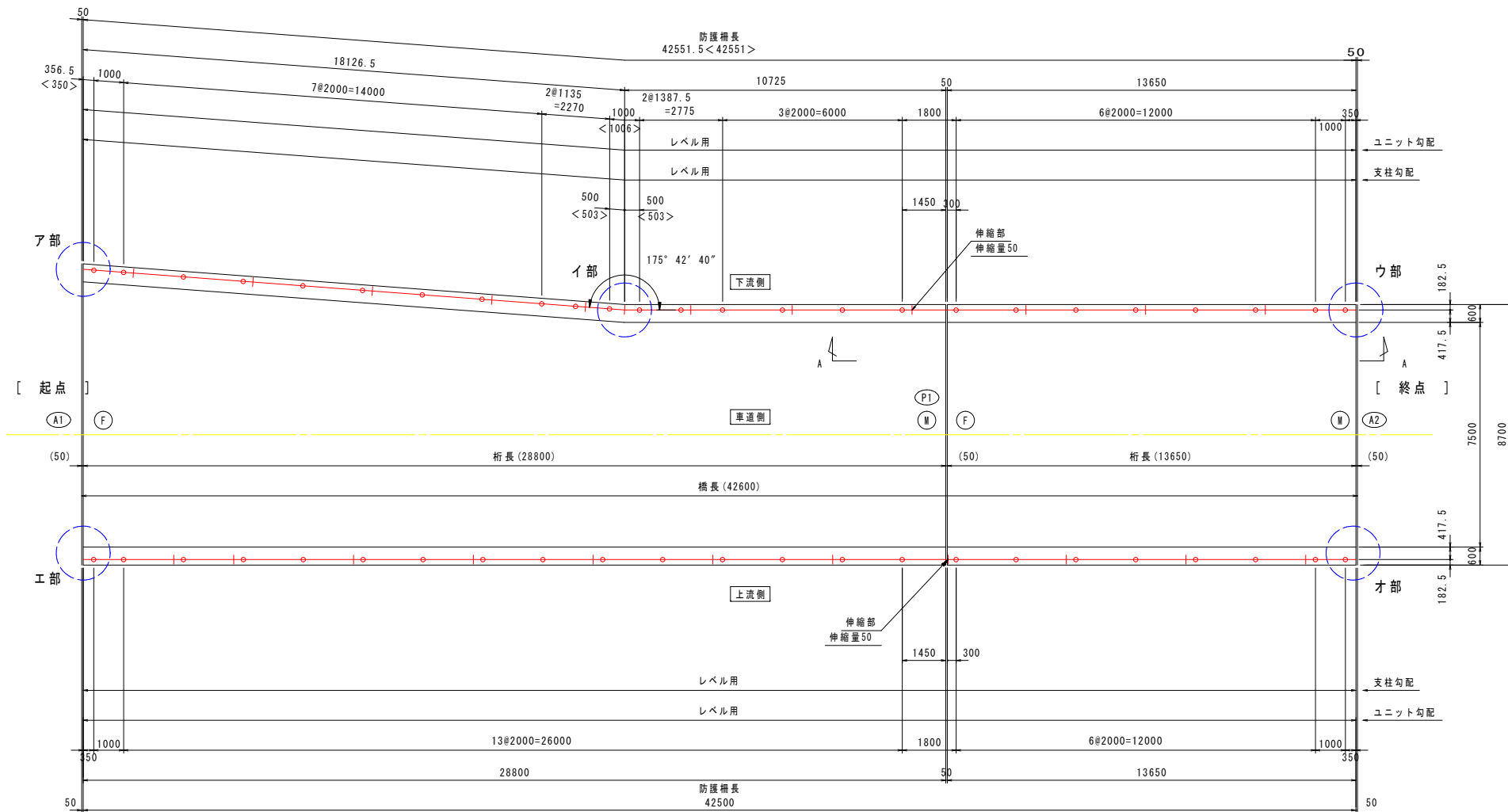
平面图

$$S = 1 / 100$$

**注記**

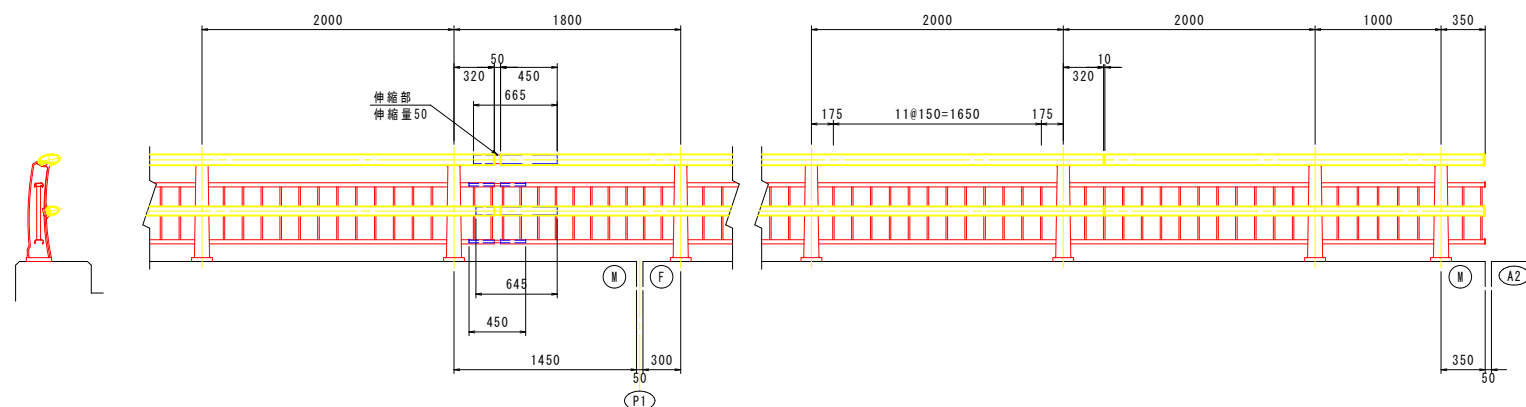
1. 記入寸法はアンカーセンター押さえとし、実長で示す。
2. ( ) 内寸法は水平長を示す。
3. 図中 ○ 印は支柱取付位置を示し、+ 印は横梁材継手部を示す。
4. < > 内寸法は主要横梁センター押さえとし実長で示す。
5. 最終の橋梁改修図を確認の上、製作の事。

防護柵総延長 85M051.5  
[全てレベル用]

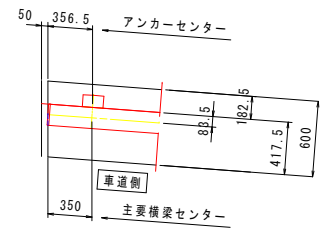


姿 図  $S=1/30$

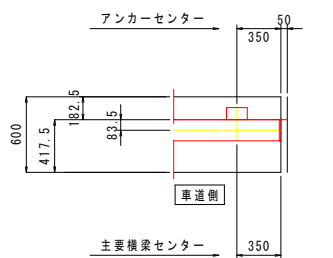
矢視 A-A



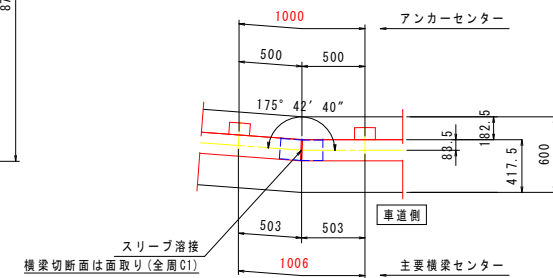
ア部詳細図 S=1/30



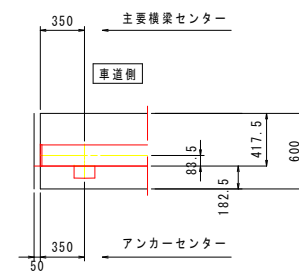
ウ部詳細図 S=1/30



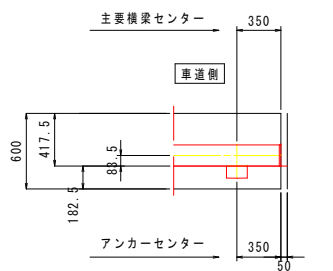
イ部詳細図 S=1/30



工部詳細図 S=1/30



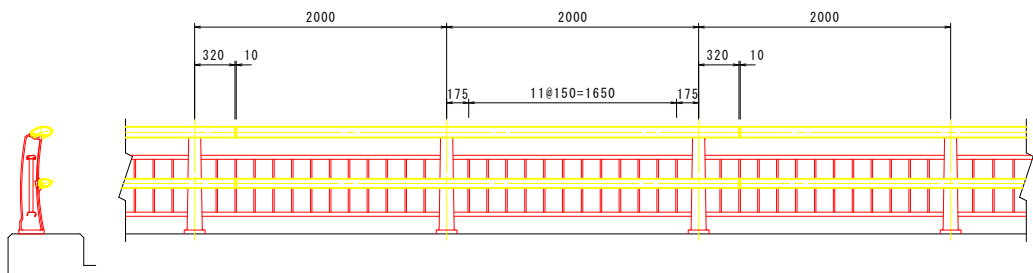
才部詳細図 S=1/30



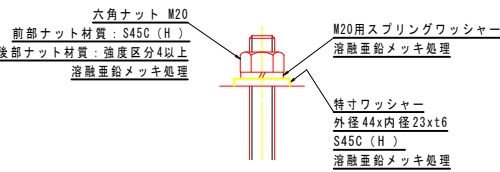
工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	高欄兼用車両用防護柵取替工図（その1）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	13/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

高欄兼用車両用防護柵取替工図(その2)

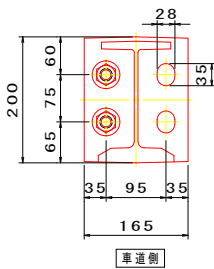
姿 図 S=1/30



アンカーナット締め付け部 S=1/3

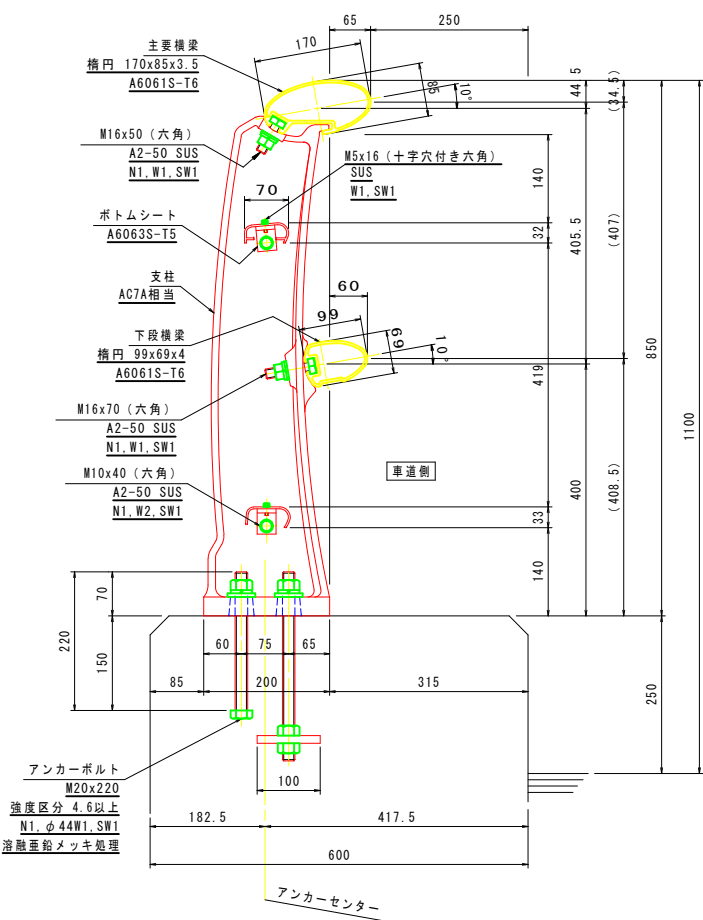


断面B-B

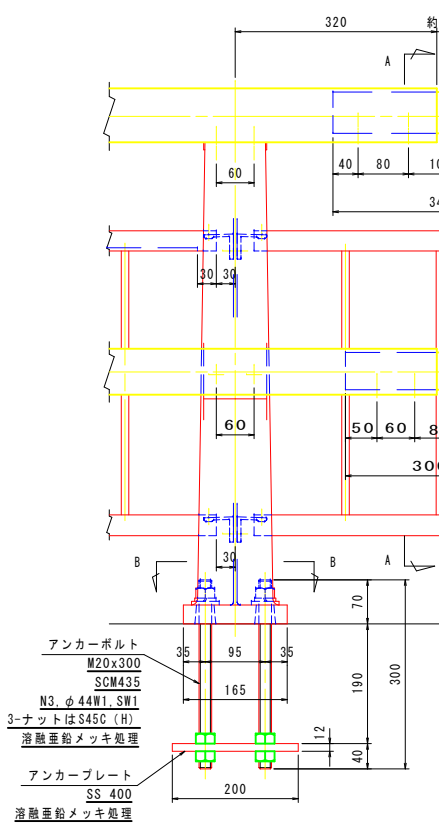


高欄兼用  
車両防護柵取付詳細図  
種別 C種

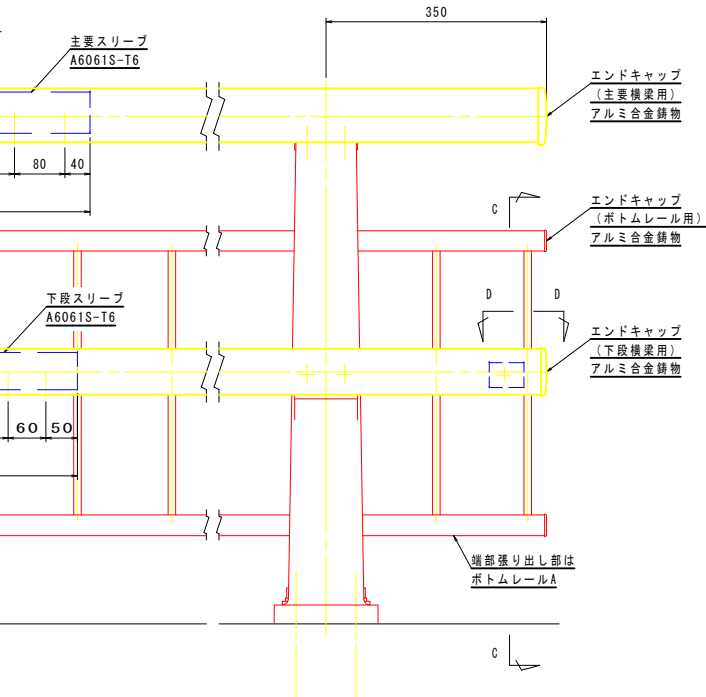
S=1/6



継手部



端 部

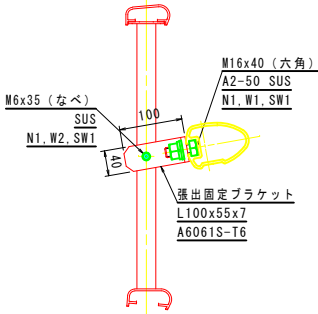


- 注 記
- 表面仕様  
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
  - 本防護柵の設計仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）による。
  - 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0～2.5%勾配に使用とする。
  - 強度区分の表記なきボルト類はA2-50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。
- コンクリート強度  $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}$  以上

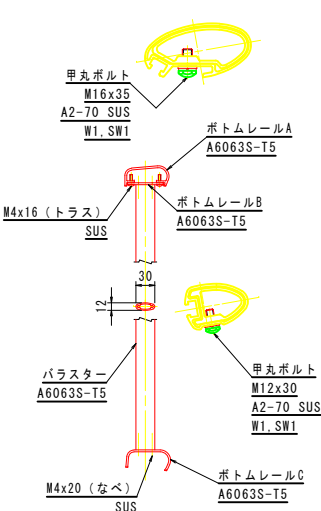
断面D-D



断面C-C

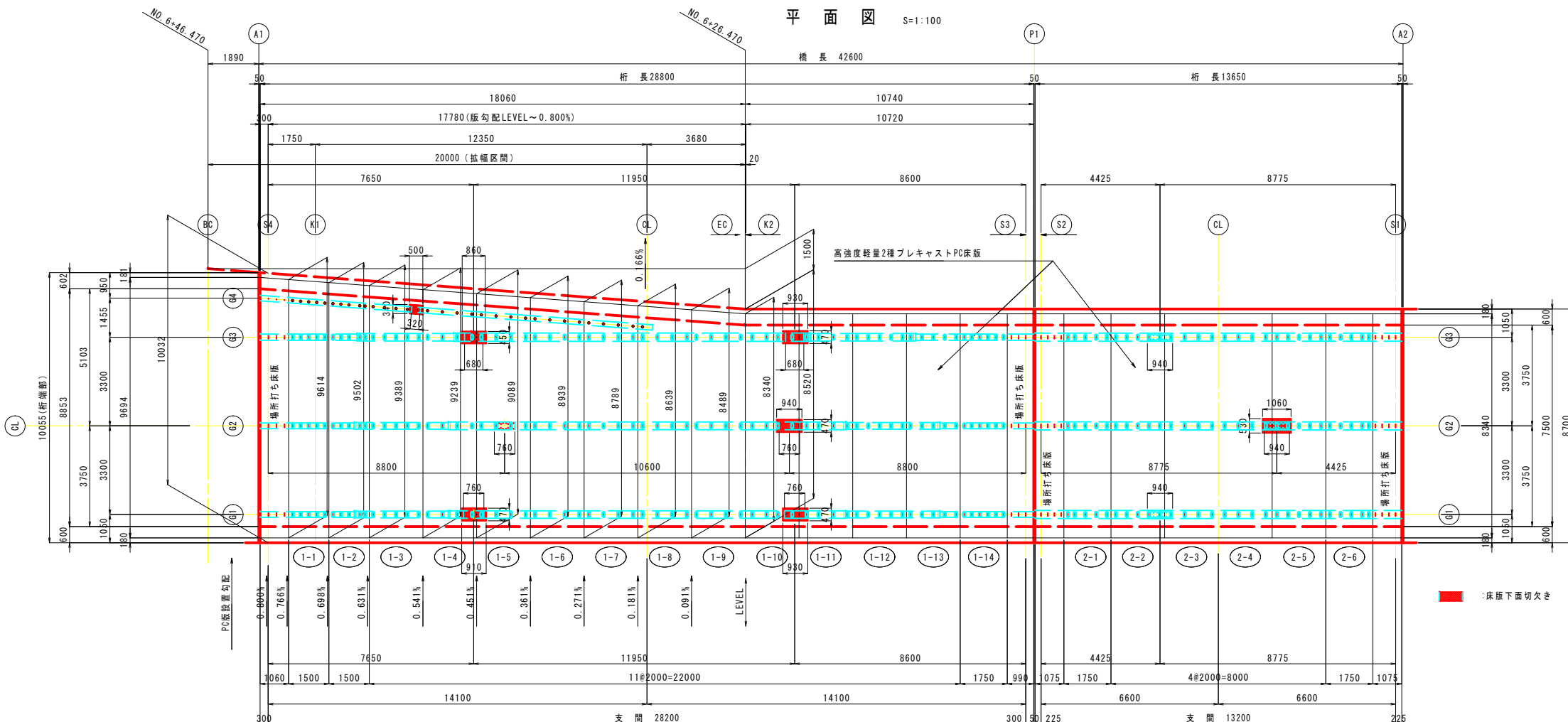


断面A-A



工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高欄兼用車両用防護柵取替工図(その2)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	14/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

## 高強度軽量2種プレキャストPC床版割付け図



PC版内訳	G4桁側	G3桁側	G2桁側	G1桁側	備 考
1-1					端部版
1-2					拡幅調整版
1-3	切欠き10mm				拡幅切欠き版
1-4		切欠き10mm		切欠き10mm	拡幅切欠き版
1-5		切欠き10mm		切欠き10mm	拡幅切欠き版
1-6					拡幅版
1-7					拡幅版
1-8					拡幅版
1-9	---				拡幅版
1-10	---	切欠き10mm	切欠き10mm	切欠き10mm	切欠き版
1-11	---	切欠き10mm	切欠き10mm	切欠き10mm	切欠き版
1-12	---				標準版
1-13	---				標準版
1-14	---				端部版
2-1	---				端部版
2-2	---				標準版
2-3	---				標準版
2-4	---		切欠き20mm		切欠き版
2-5	---		切欠き20mm		切欠き版
2-6	---				端部版

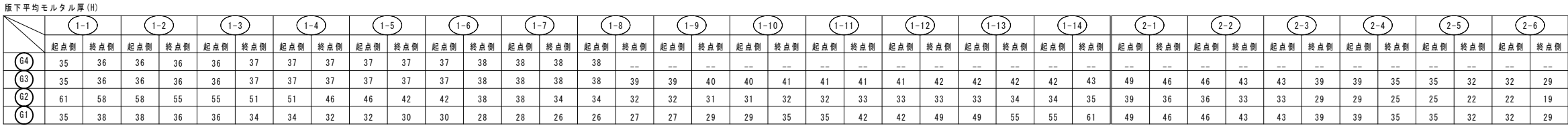
### 材料強度及び許容応力

コンクリート (N/mm <sup>2</sup> )		高強度軽量2種 プレキャストPC床版	
設計基準強度		50	
設計圧縮強度		38.5	
プレストレス導入時圧縮強度		36.0	
許容曲げ 圧縮応力度	プレストレス導入直後	21.0	
	設計荷重作用時	17.0	
許容曲げ 引張応力度	プレストレス導入直後	0	
	設計荷重作用時	0	
P C 鋼 材 (N/mm <sup>2</sup> )		SWPR7BL 1S15.2mm	SBPR19L 1S21.8mm
引 張 強 度		1850	1800
降 伏 点 応 力 度		1600	1600
許容引張 応力度	緊 張 作 業 時	1440	1440
	プレストレス導入直後	1295	1260
	設計荷重作用時	1110	1080
緊 張 作 業 時 応 力 度		1350	1340
鉄 筋 (N/mm <sup>2</sup> )		SD345	
引 張 強 度		490	
降 伏 点 応 力 度		345	
許 容 引 張 応 力 度		120	

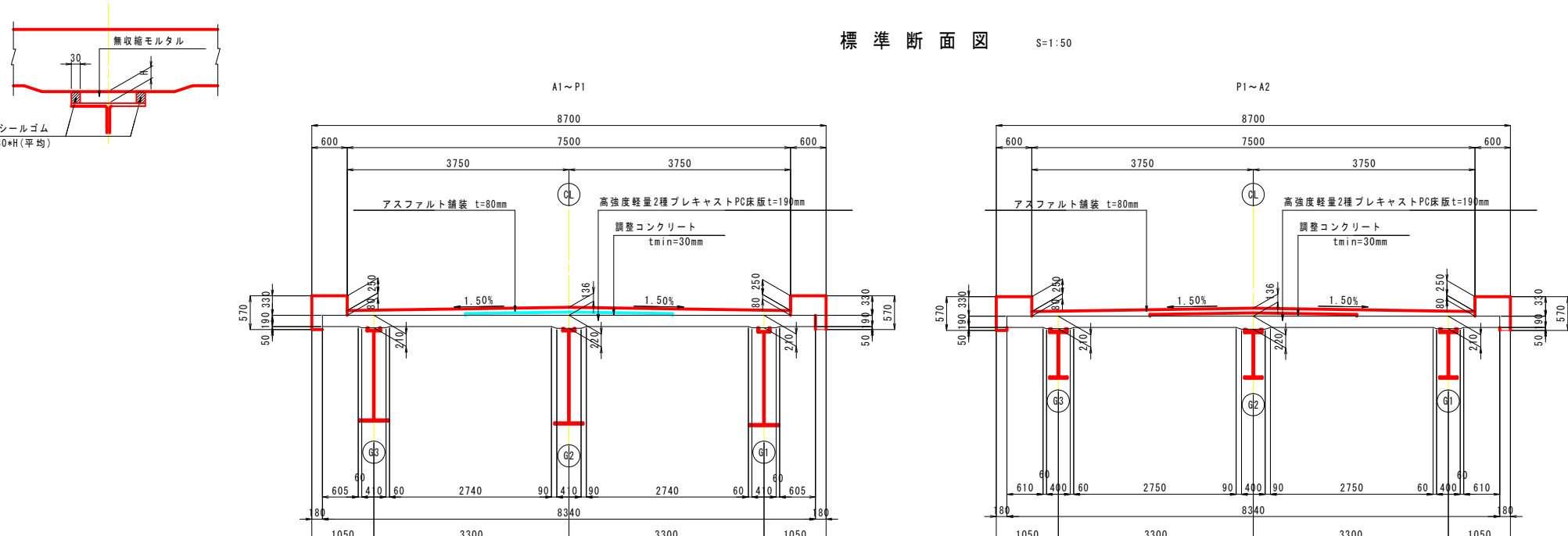
(1)使用コンクリートは、高強度軽量コンクリート2種であること。

(2)人工軽量骨材は、練混ぜ直前の含有率が2%以下であること。

(3) 単位体積質量は、 $18.0\text{kN/m}^3$ 以下であること。

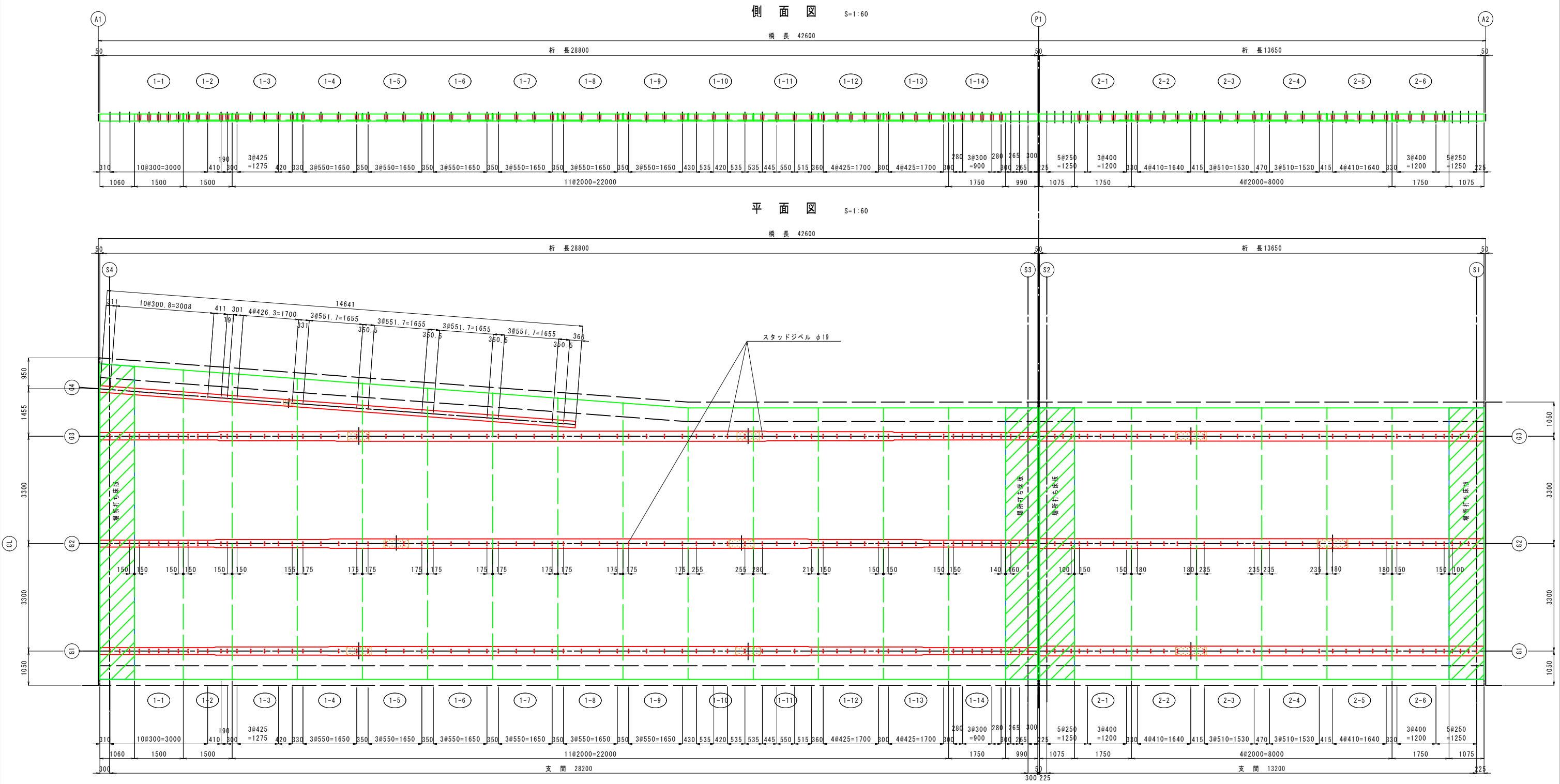


標準断面図  $S=1:5$

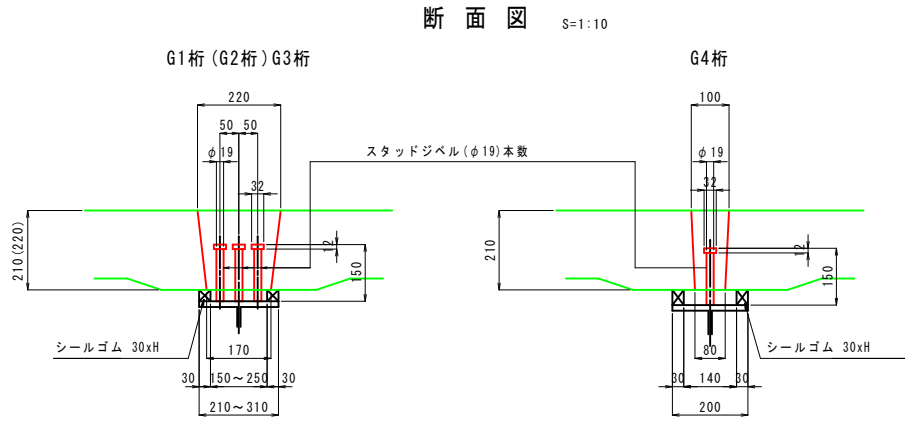


工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版割付図		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:100	図面番号	15/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

スタッドジベル配置図



注：スタッドジベルが添接板ボルト等に干渉する場合、適宜移動し対処する。



スタッドジベル (φ19) 本数			
	A1～P1	P1～A2	合計
G4桁	35	--	35
G3桁	207	108	315
G2桁	207	108	315
G1桁	207	108	315
合計	656	324	980

工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	スタッドジベル配置図		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	16/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

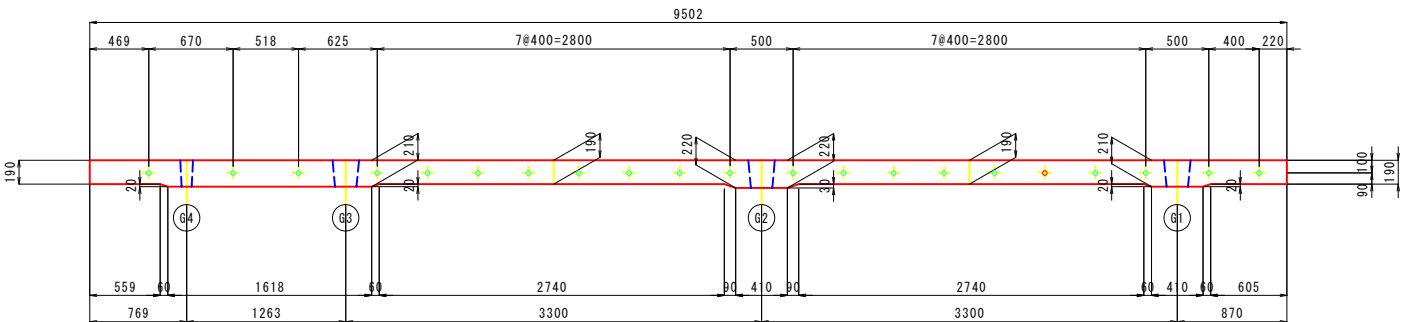


高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その1)

(端部版:1-1)

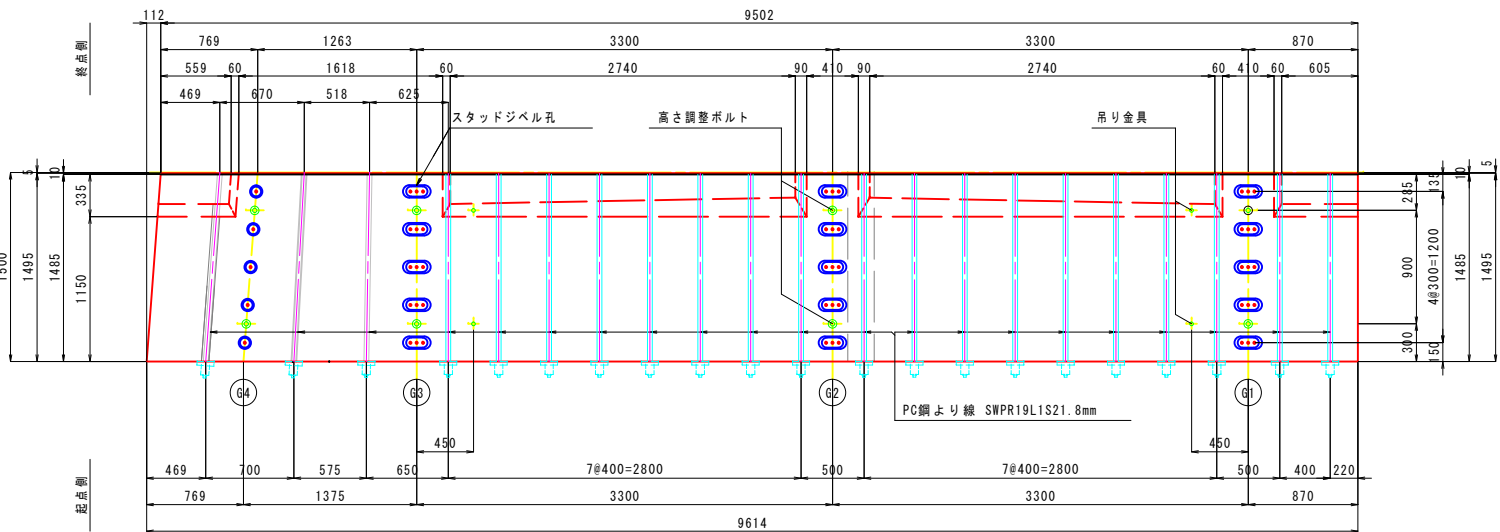
断面図(終点側)

S=1:30



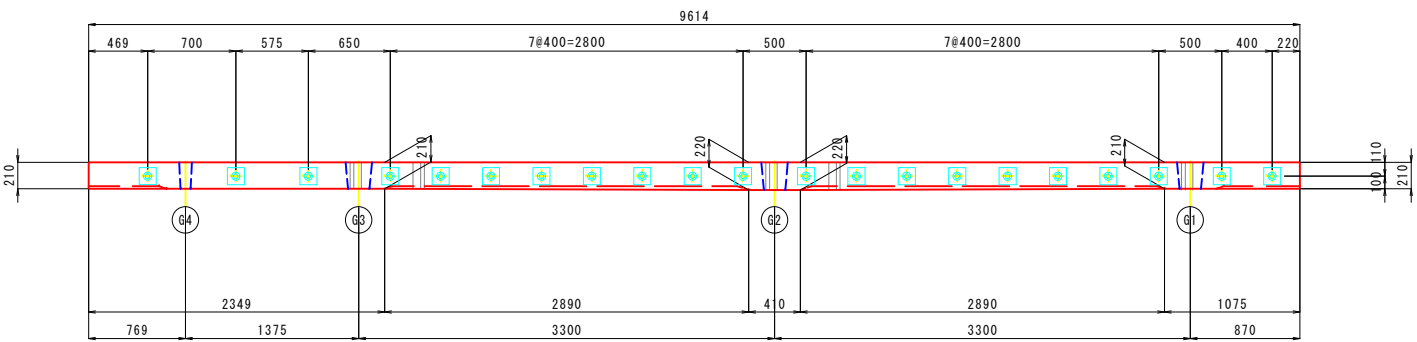
平面図

S=1:30

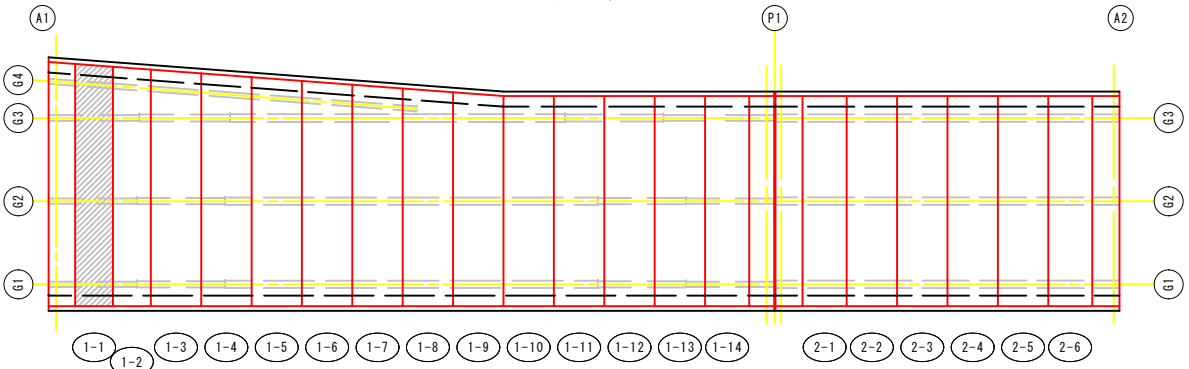


断面図(起点側)

S=1:30



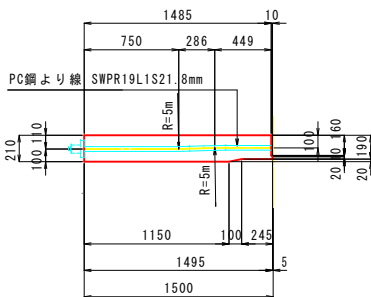
位置図



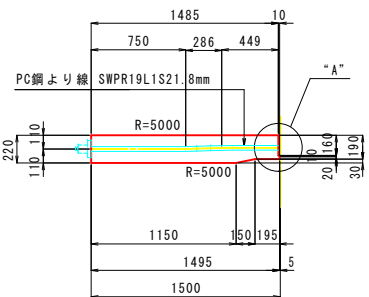
側面図

S=1:30

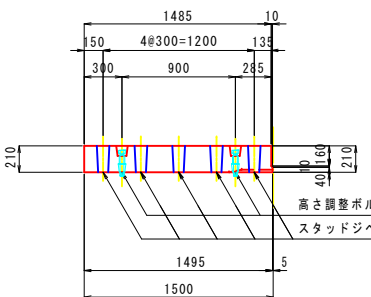
標準部 (G1, G3, G4 桁側)



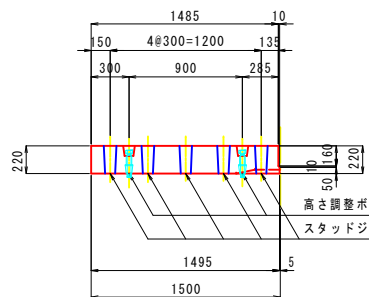
標準部 (G2 桁側)



支点部 (G1, G3, G4 桁側)

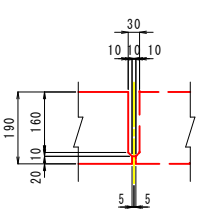


支点部 (G2 桁側)



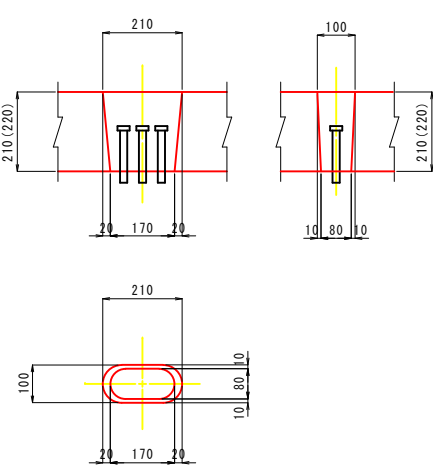
“A”部

S=1:10



スタッドジベル孔詳細図

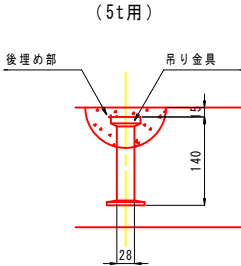
S=1:10



注: ( ) 内寸法は、G2桁側を示す。

吊り金具詳細図

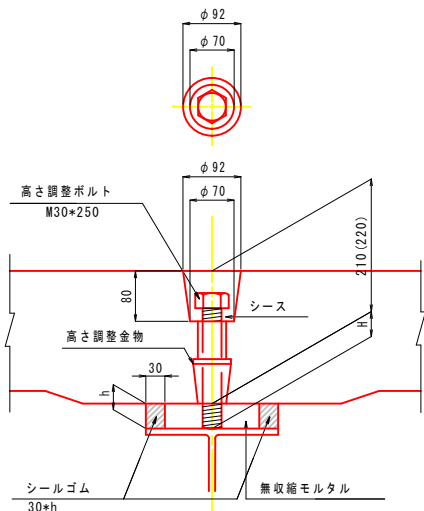
S=1:6



注) 取付金具は、メッキ仕様とする。

高さ調整金具詳細図

S=1:6



注: hの寸法については、“高強度軽量2種プレキャストPC床版割付図”参照。

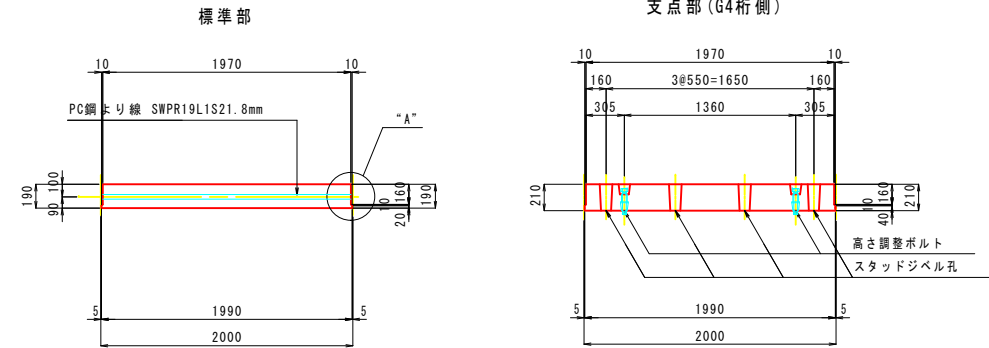
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その1)		
作成年月日	2020年3月		
縮尺	図示	図面番号	17/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業所名	甲府市		



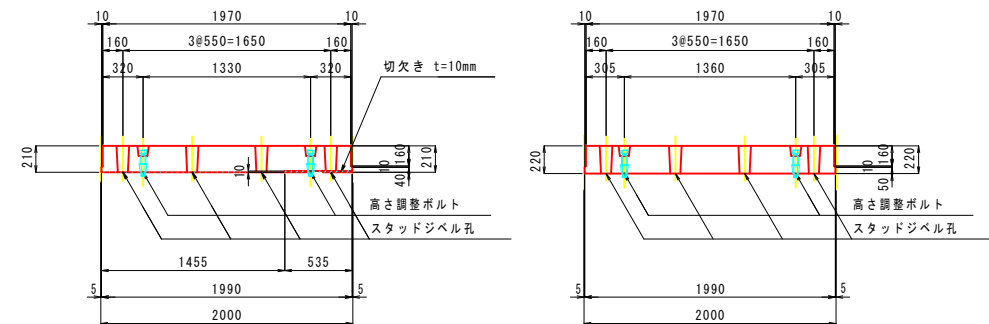


(拡幅切欠き版:1-4)

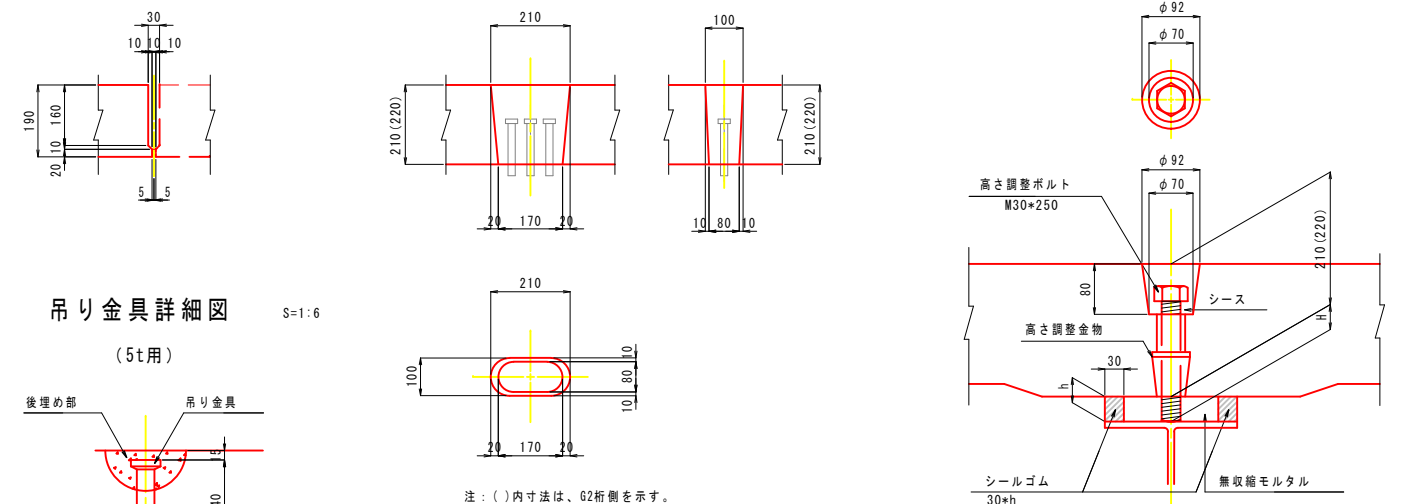
側 面 図 S=1:30



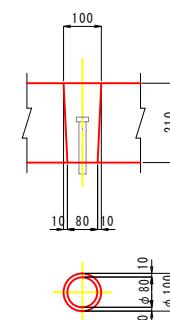
支点部 (G2桁側)



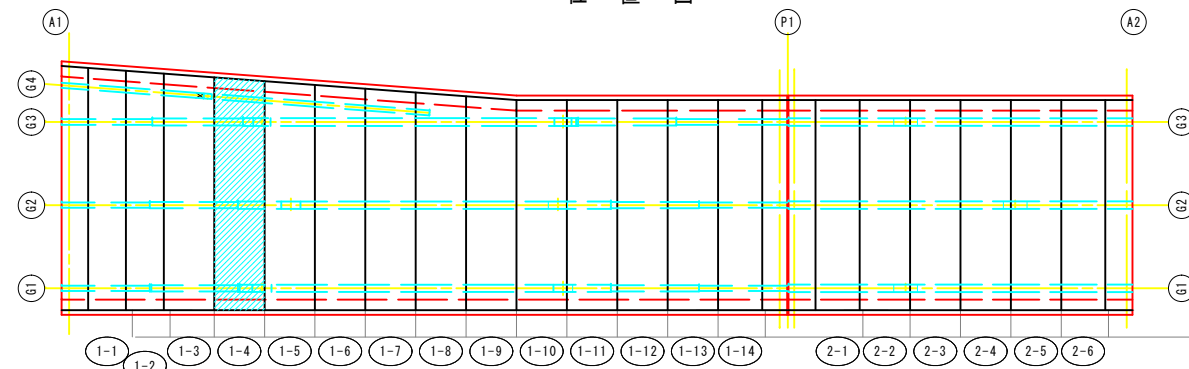
高さ調整金具詳細図 S=1:6



G4桁側



注) 取付金具は、メッキ仕様とする。



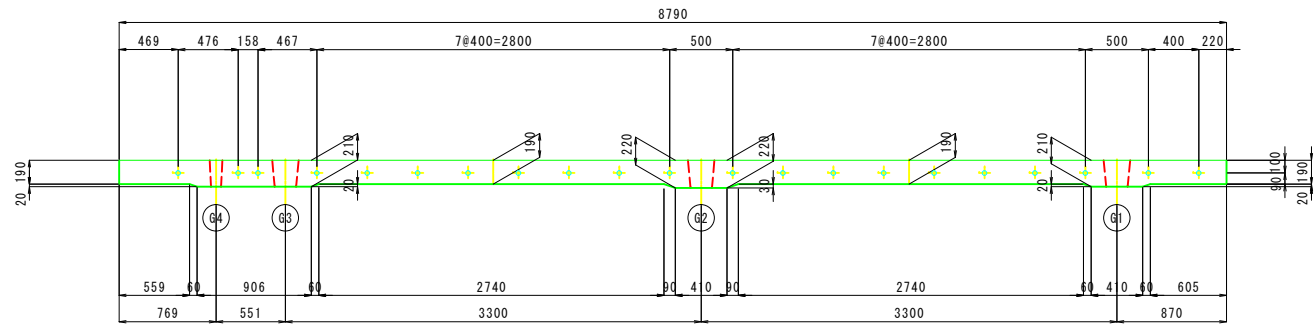
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャスト PC版橋梁図 (その4)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	20/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		



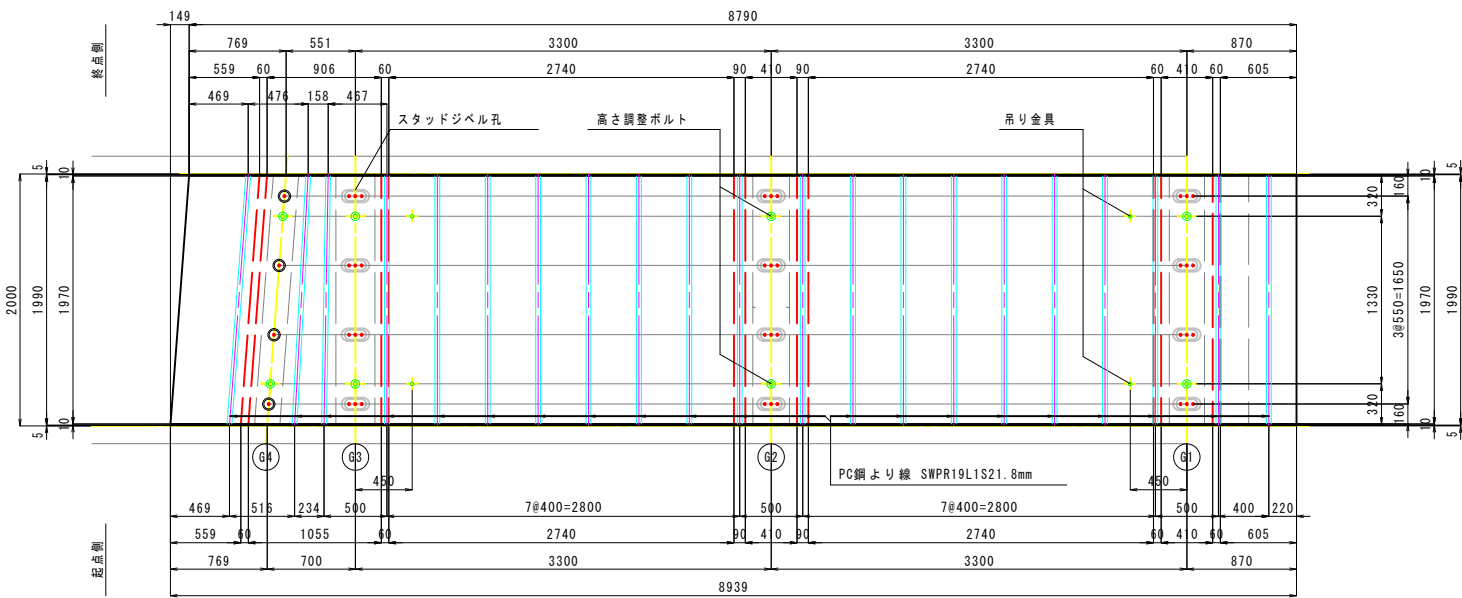
高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その6)

(拡幅版:1-6)

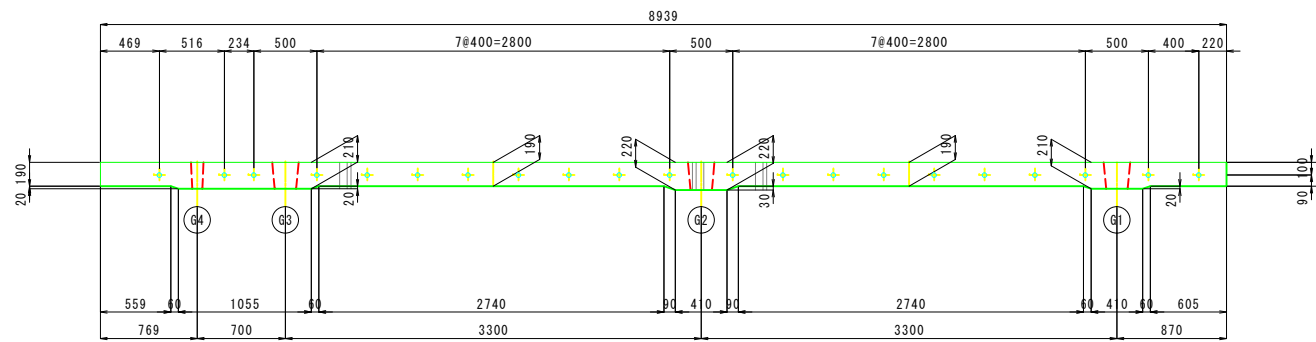
断面図(終点側) S=1:30



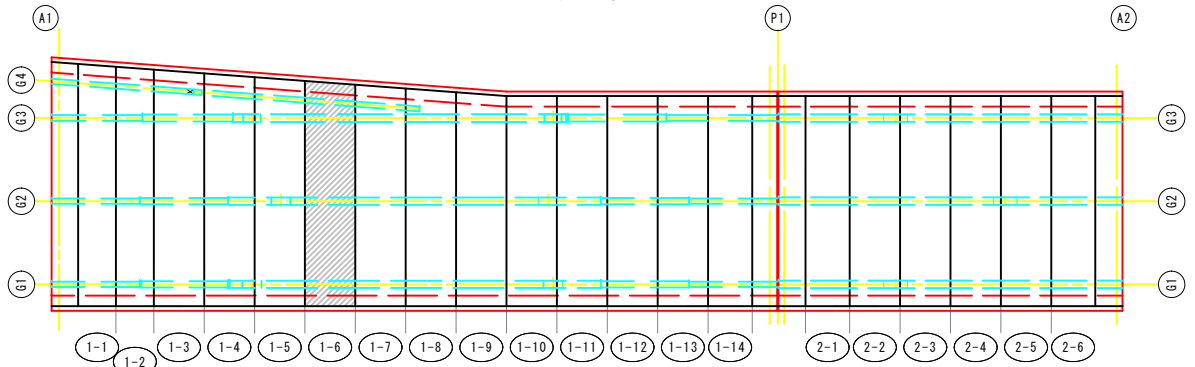
平面図 S=1:30



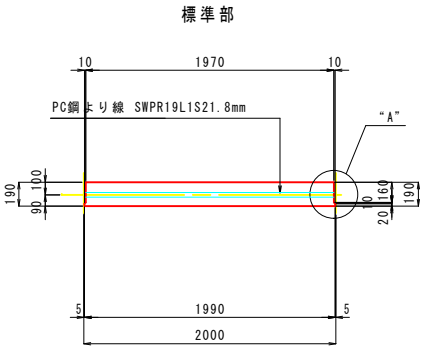
断面図(起点側) S=1:30



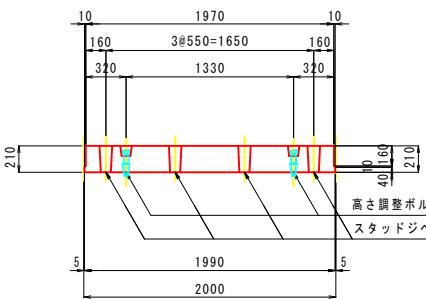
位置図



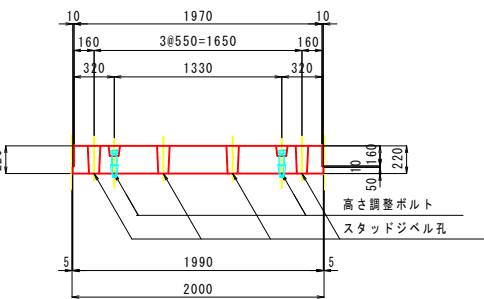
側面図 S=1:30



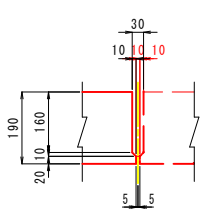
支点部 (G1, G3, G4桁側)



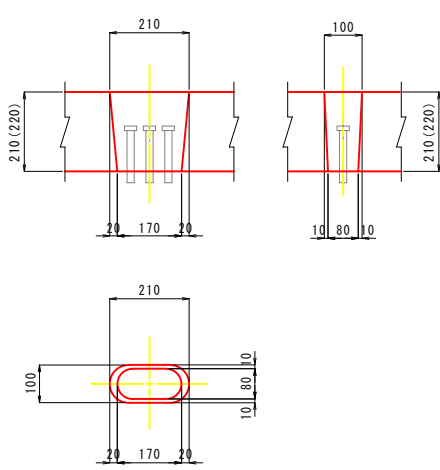
支点部 (G2桁側)



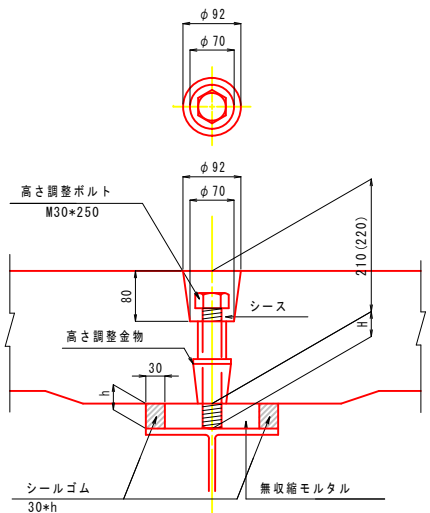
“A”部 S=1:10



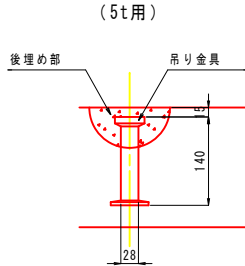
スタッドジベル孔詳細図 S=1:10



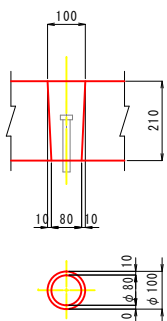
高さ調整金具詳細図 S=1:6



吊り金具詳細図 S=1:6



G4桁側



注: hの寸法については、“高強度軽量2種プレキャストPC床版割付図”参照。

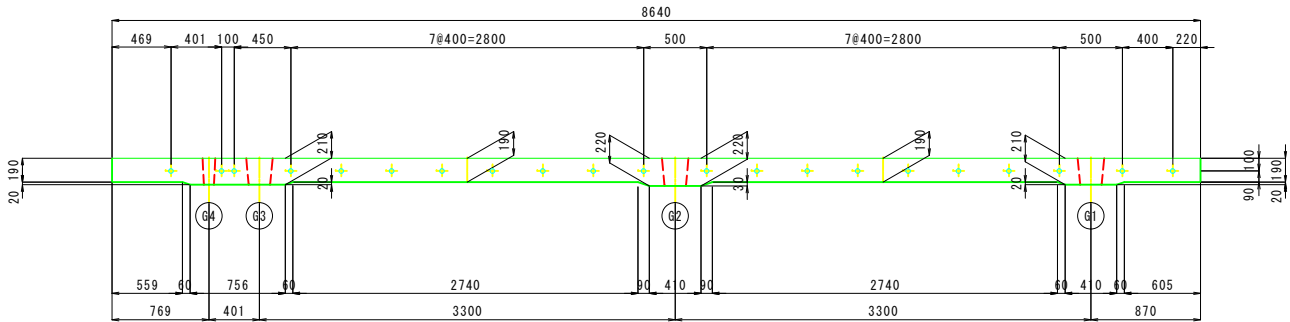
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その6)		
作成年月日	2020年3月		
縮尺	図示	図面番号	22/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		



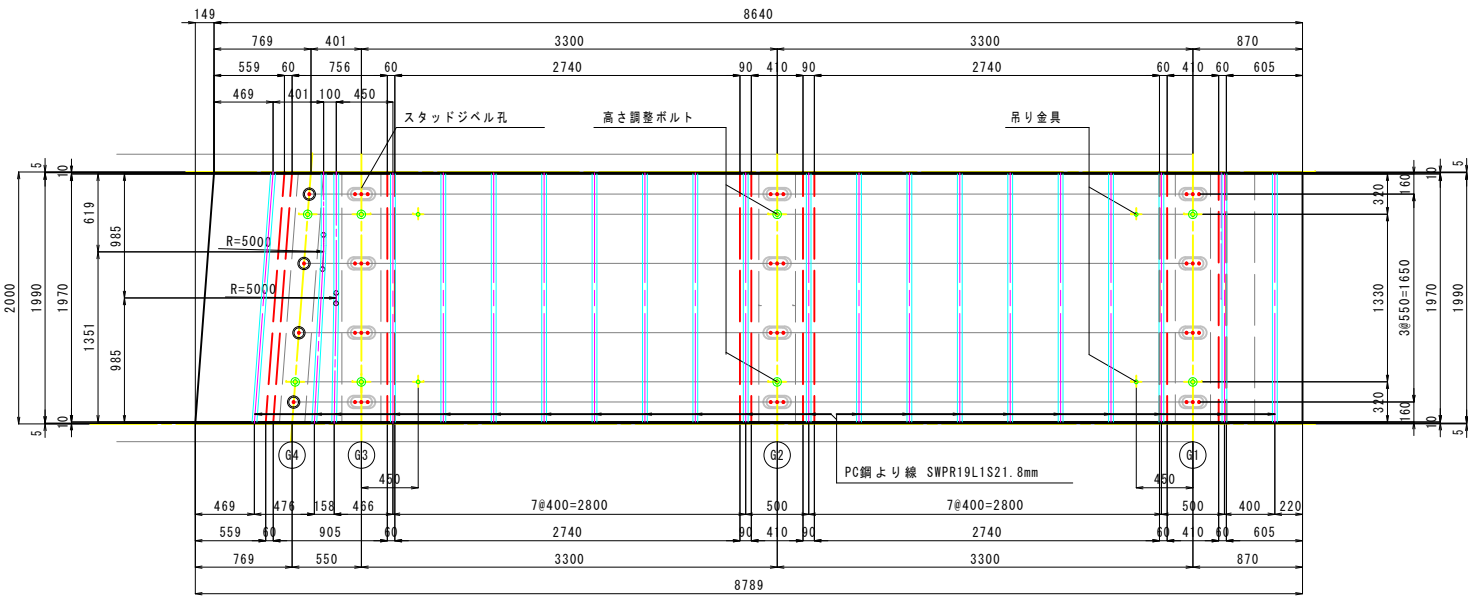
高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その7)

(拡幅版:1-7)

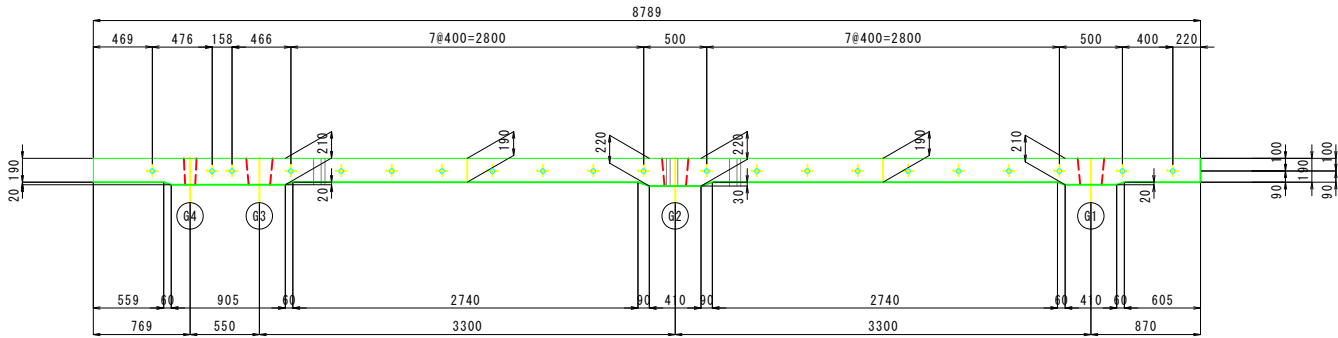
断面図(終点側) S=1:30



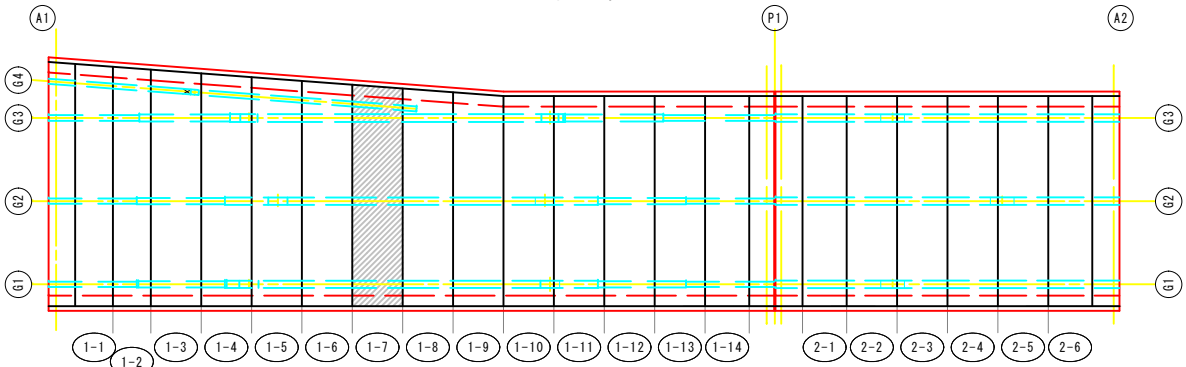
平面図 S=1:30



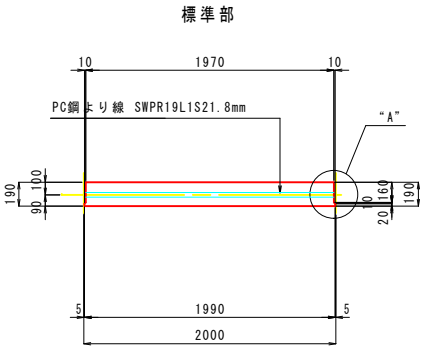
断面図(起点側) S=1:30



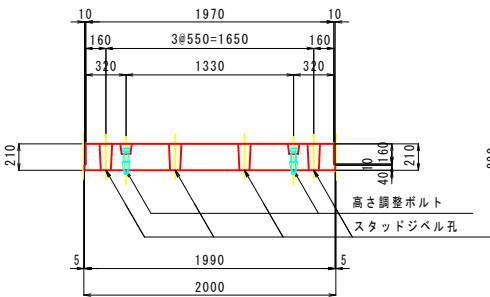
位置図



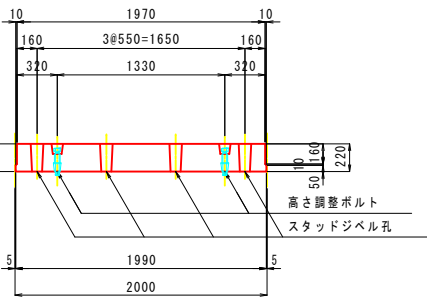
側面図 S=1:30



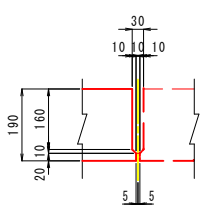
支点部 (G1, G3, G4桁側)



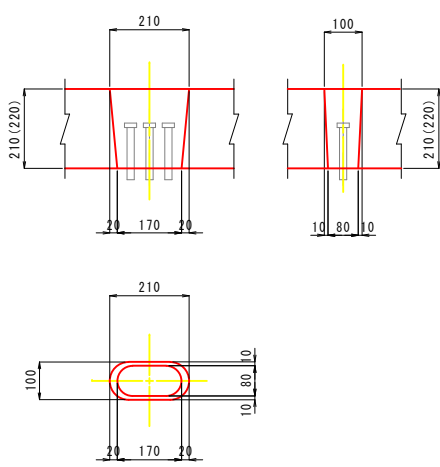
支点部 (G2桁側)



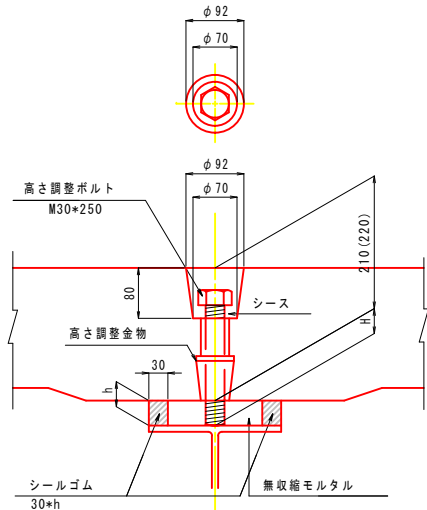
“A”部 S=1:10



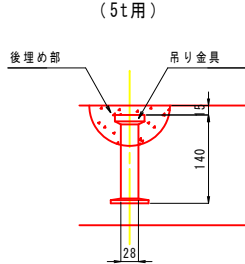
スタッドジベル孔詳細図 S=1:10



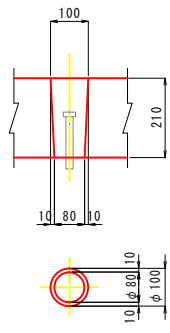
高さ調整金具詳細図 S=1:6



吊り金具詳細図 S=1:6



G4桁側

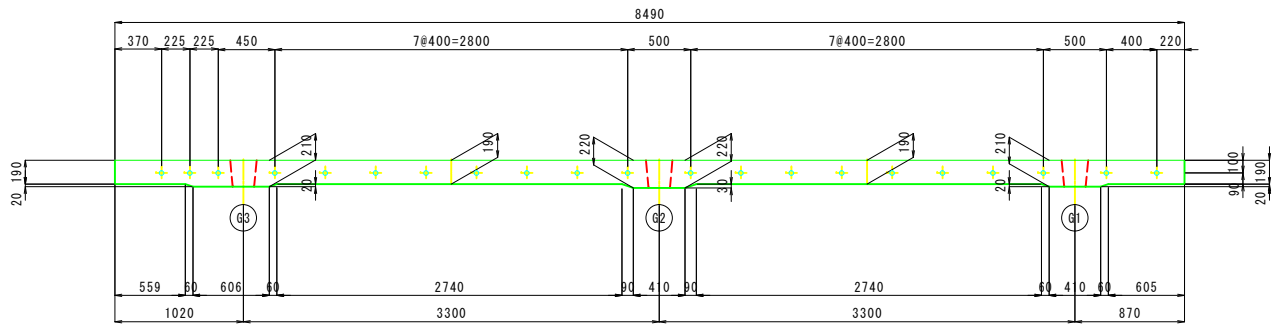


工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その7)		
作成年月日	2020年3月		
縮尺	図示	図面番号	23/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

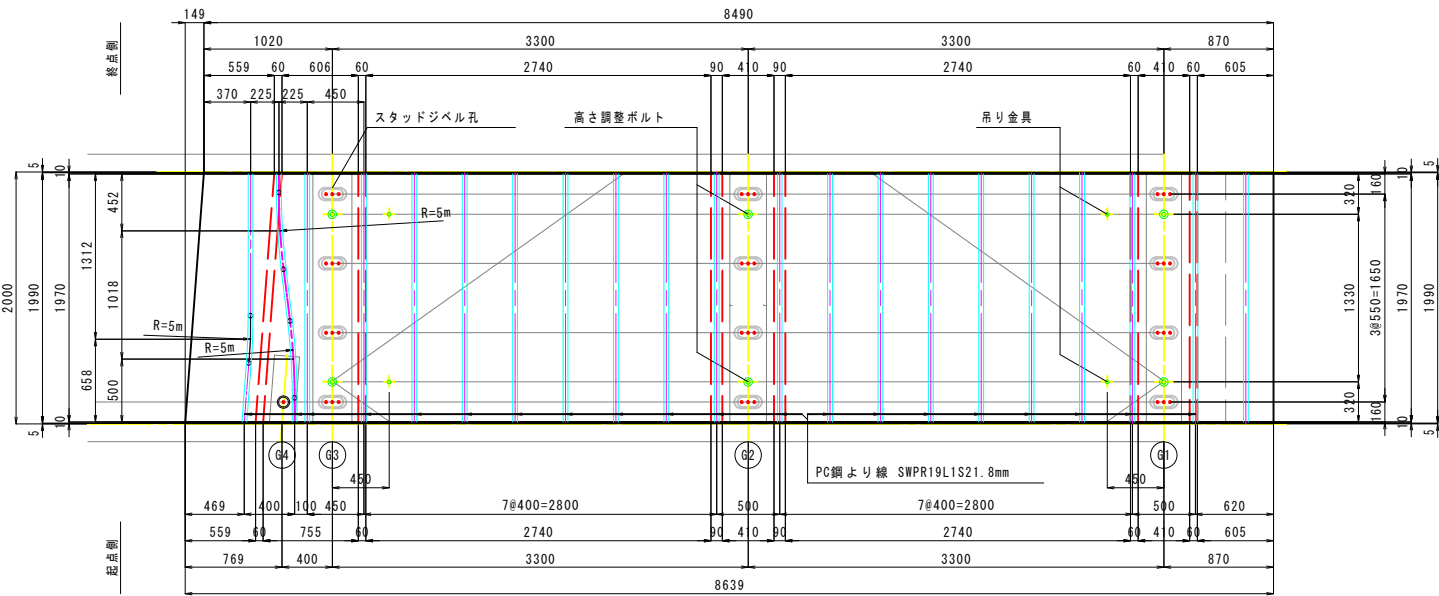
高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その8)

(拡幅版:1-8)

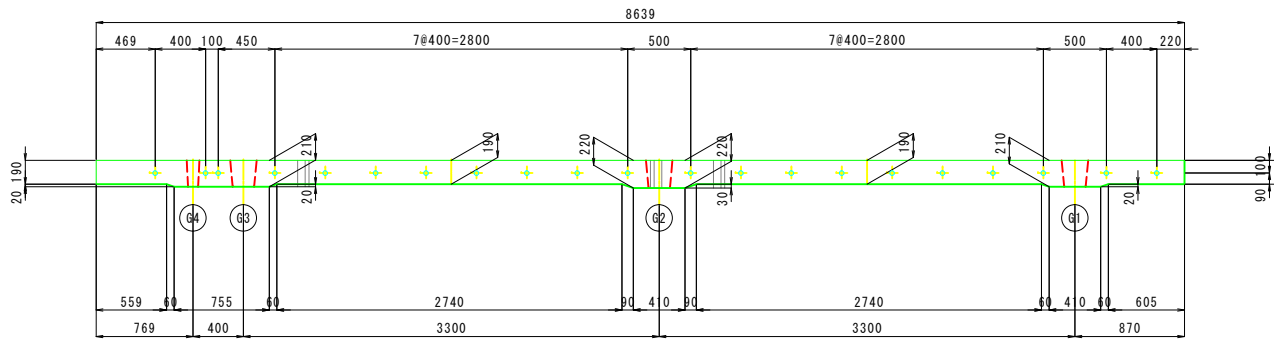
断面図(終点側) S=1:30



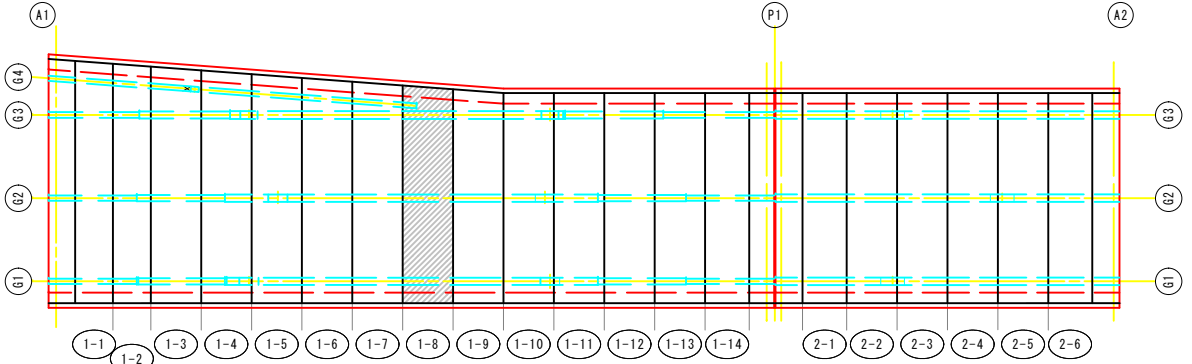
平面図 S=1:30



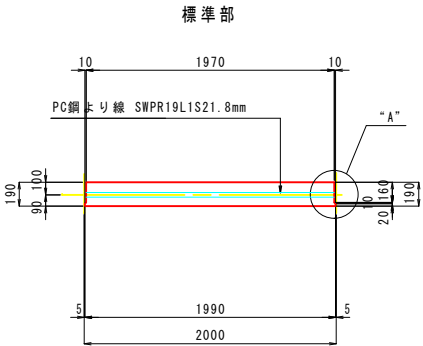
断面図(起点側) S=1:30



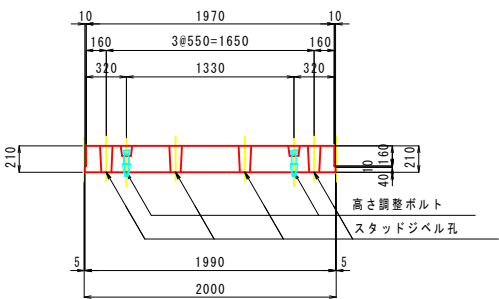
位置図



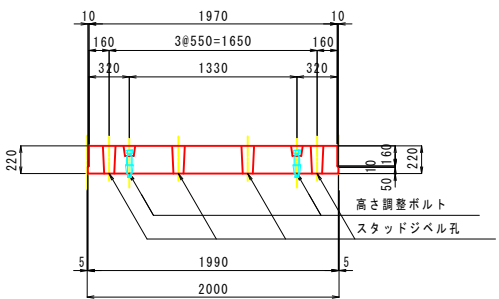
側面図 S=1:30



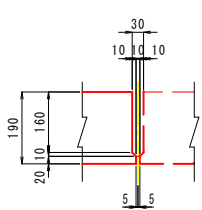
支点部(G1, G3桁側)



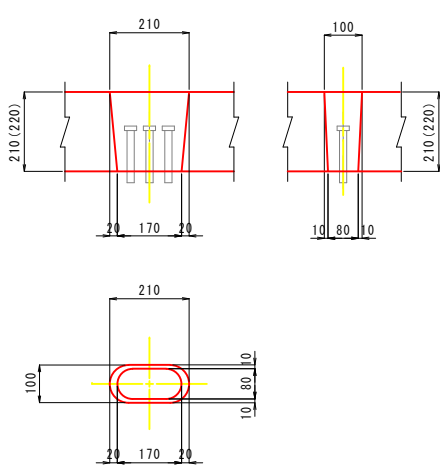
支点部(G2桁側)



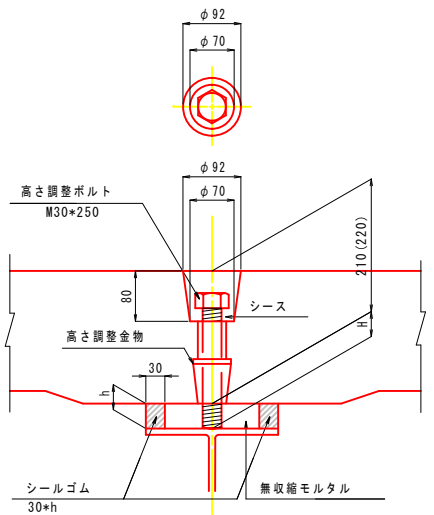
“A”部 S=1:10



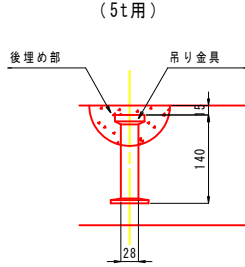
スタッドジベル孔詳細図 S=1:10



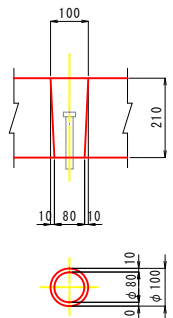
高さ調整金具詳細図 S=1:6



吊り金具詳細図 S=1:6



G4桁側



工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その8)		
作成年月日	2020年3月		
縮尺	図示	図面番号	24/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業所名	甲府市		



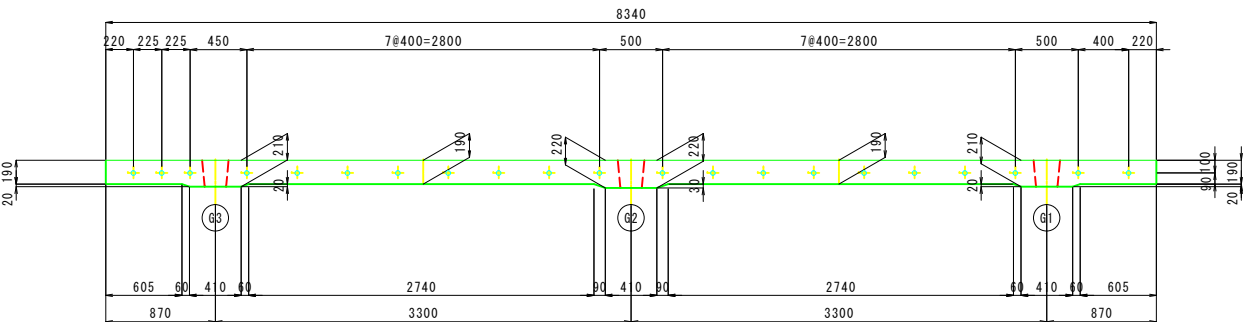




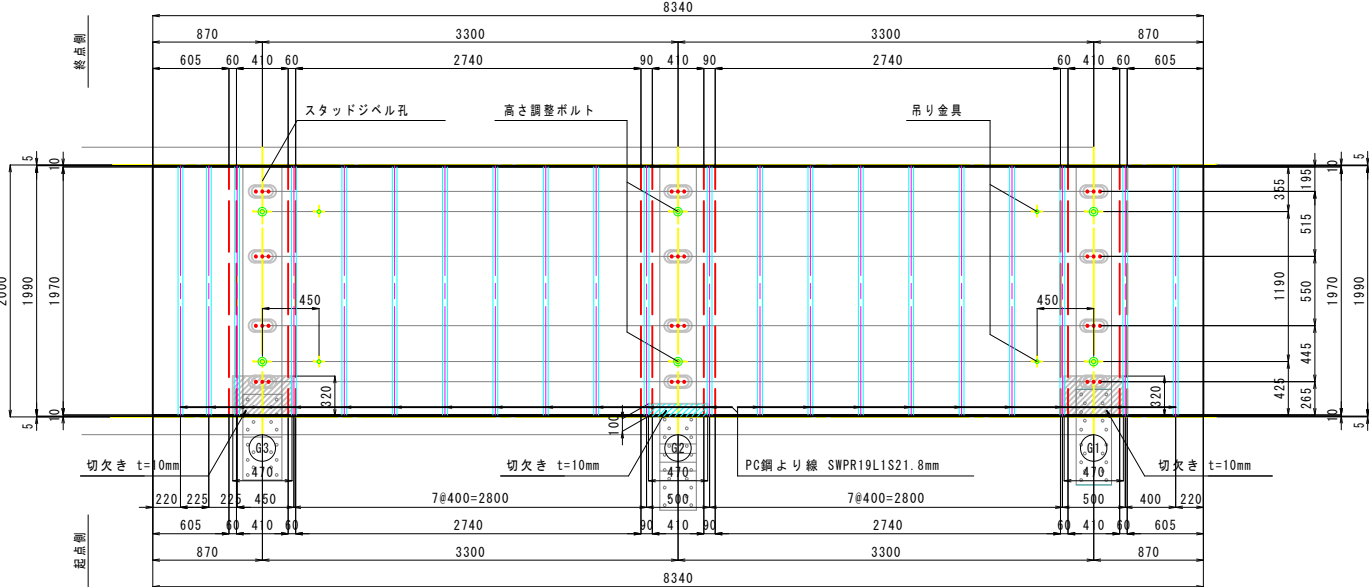
高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その11)

(切欠き版:1-11)

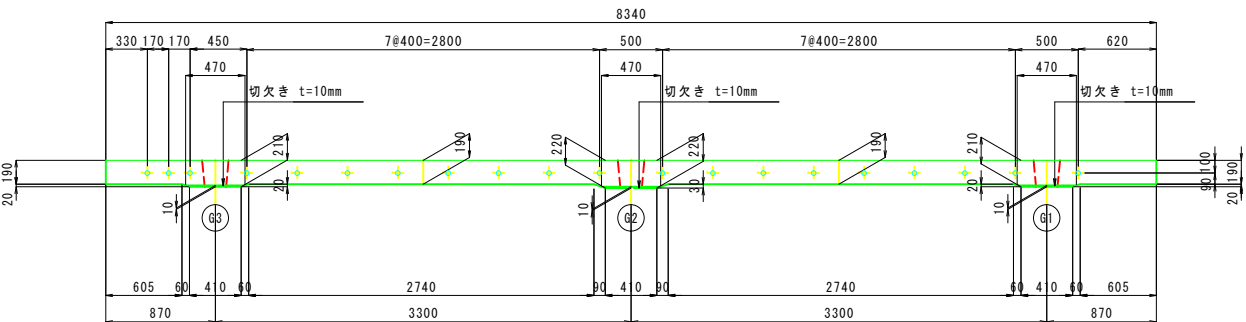
断面図(終点側) S=1:30



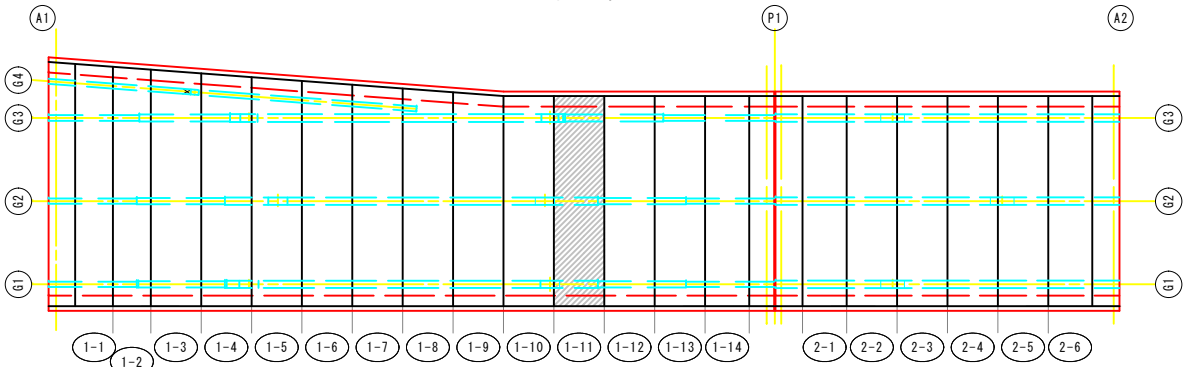
平面図 S=1:30



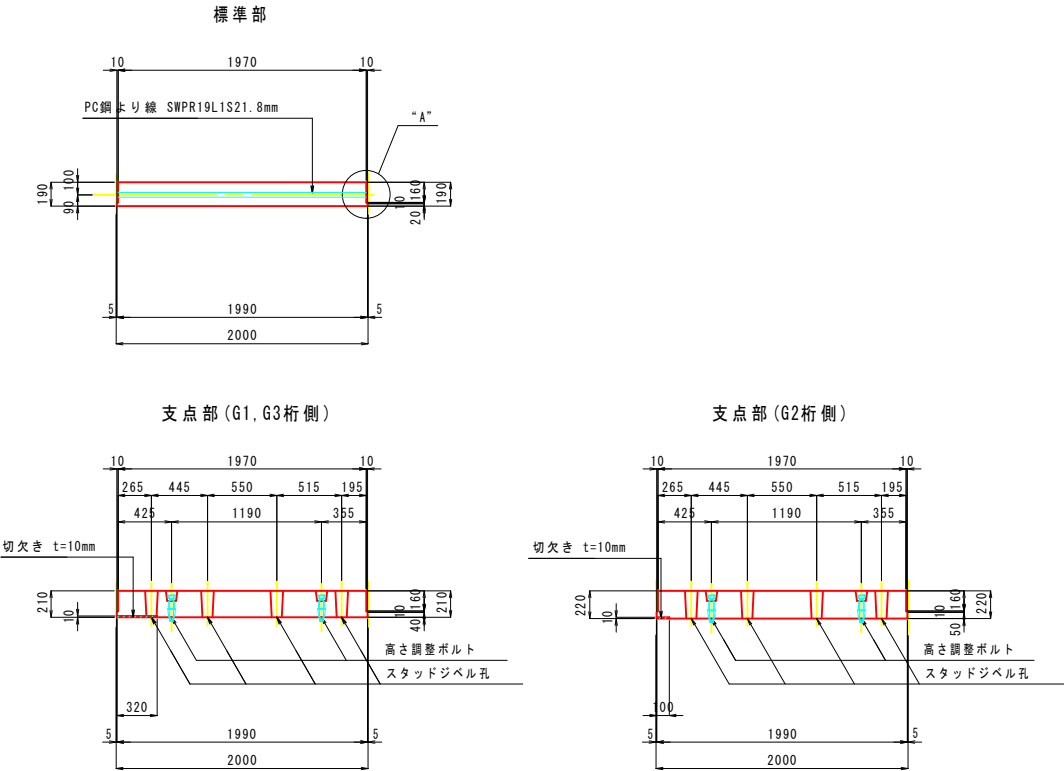
断面図(起点側) S=1:30



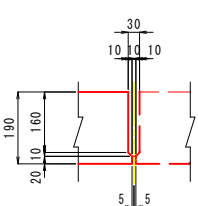
位置図



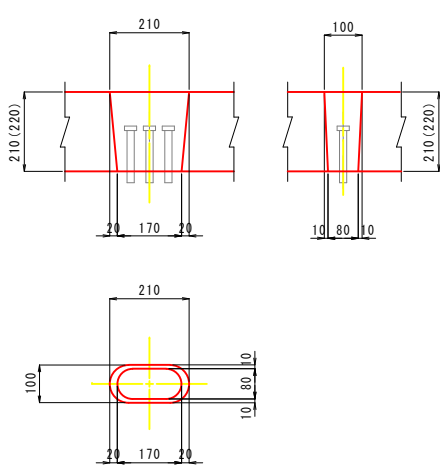
側面図 S=1:30



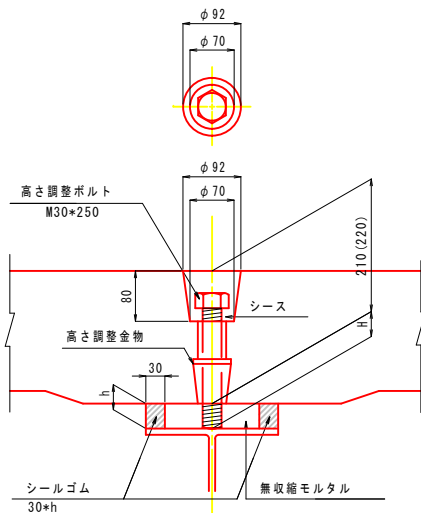
“A”部 S=1:10



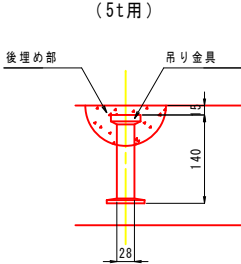
スタッドジベル孔詳細図 S=1:10



高さ調整金具詳細図 S=1:6



吊り金具詳細図 S=1:6



注：( ) 内寸法は、G2桁側を示す。

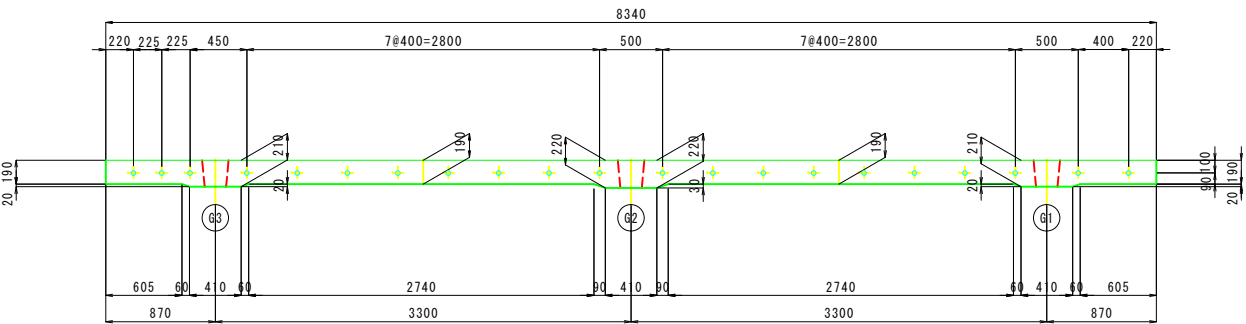
注) 取付金具は、メッキ仕様とする。

工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その11)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	27/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

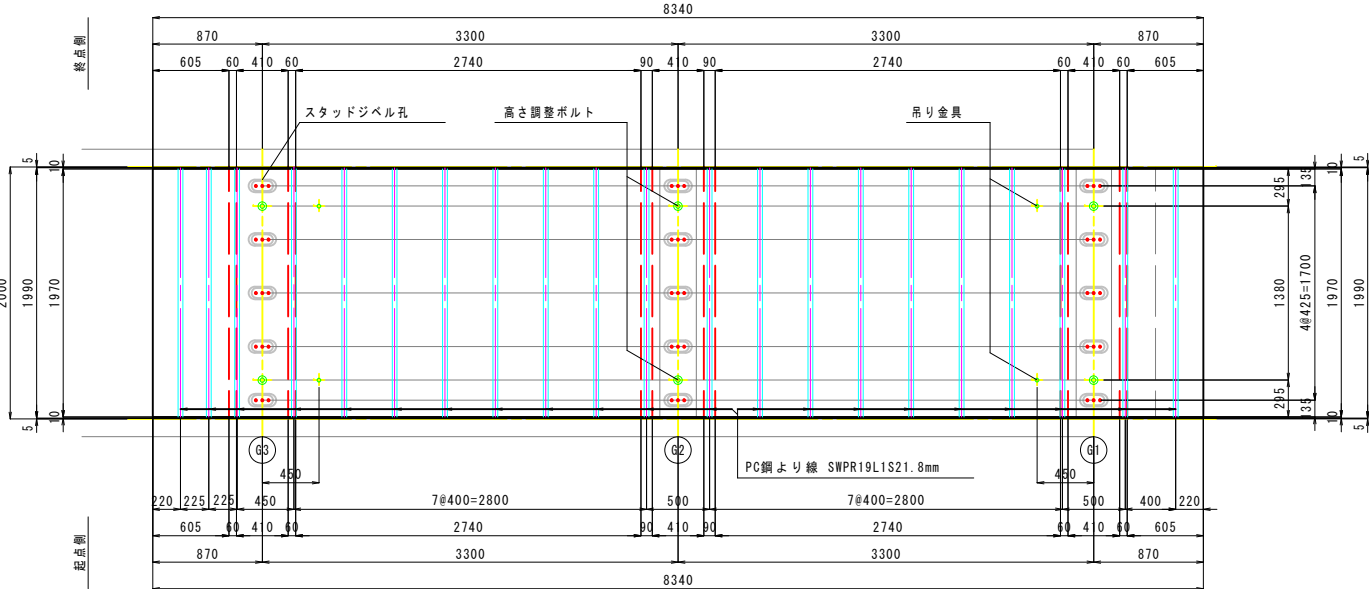
高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その12)

(標準版:1-12,1-13)

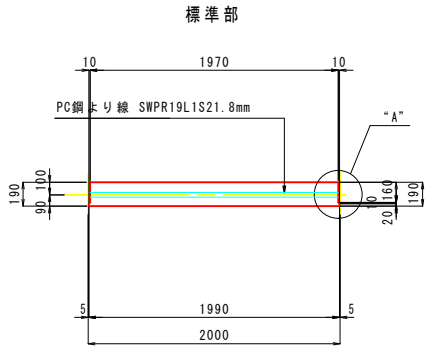
断面図 S=1:30



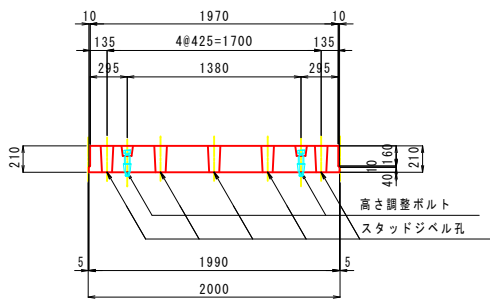
平面図 S=1:30



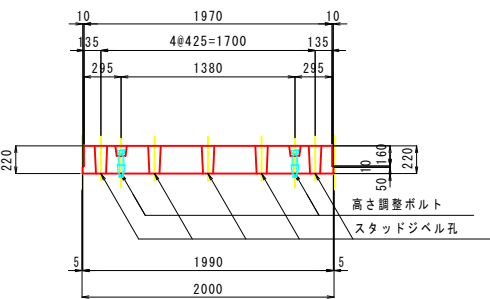
側面図 S=1:30



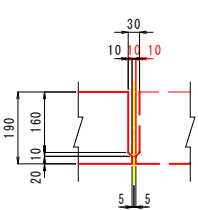
支点部 (G1, G3桁側)



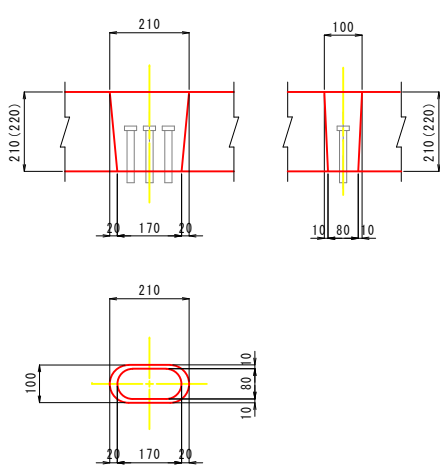
支点部 (G2桁側)



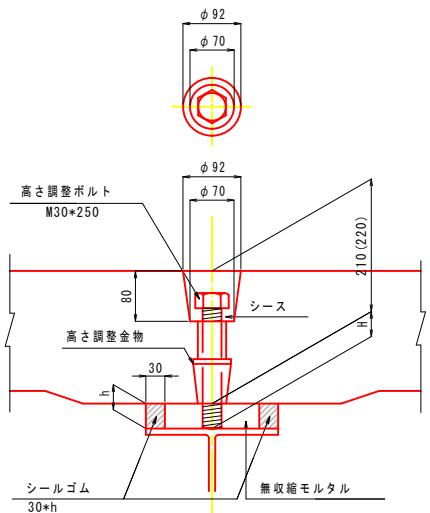
“A”部 S=1:10



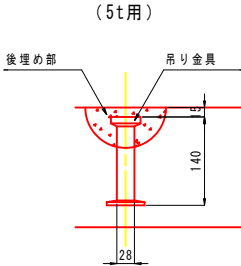
スタッドジベル孔詳細図 S=1:10



高さ調整金具詳細図 S=1:6



吊り金具詳細図 S=1:6

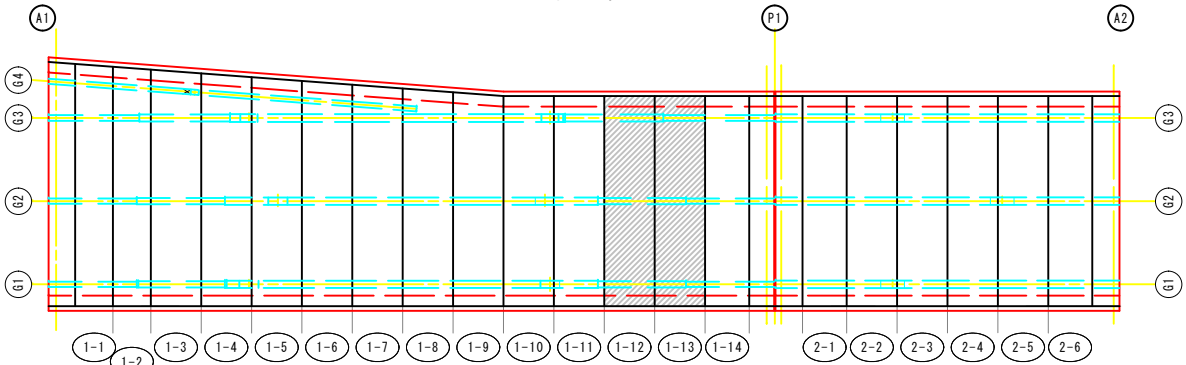


注：( ) 内寸法は、G2桁側を示す。

注) 取付金具は、メッキ仕様とする。

注：hの寸法については、“高強度軽量2種プレキャストPC床版割付図”参照。

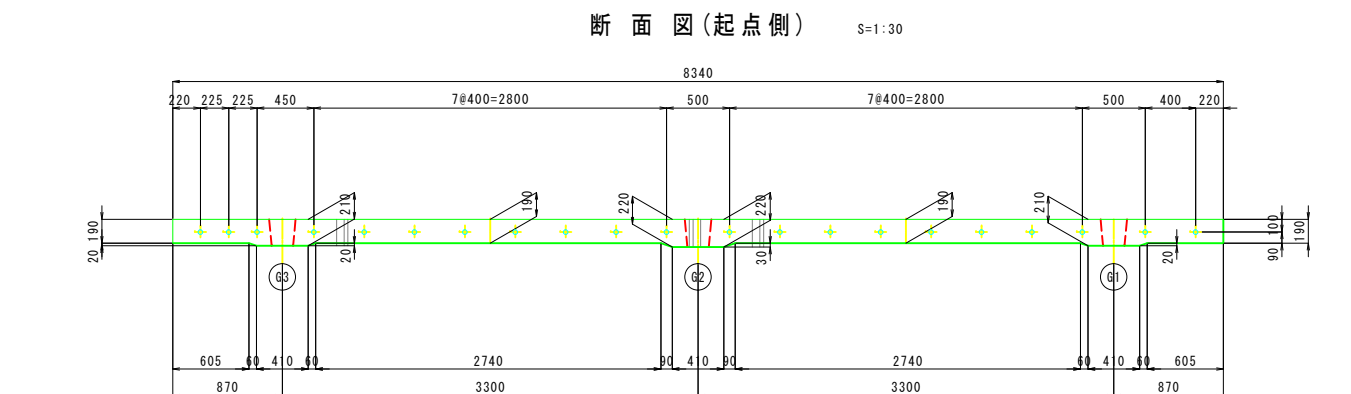
位置図



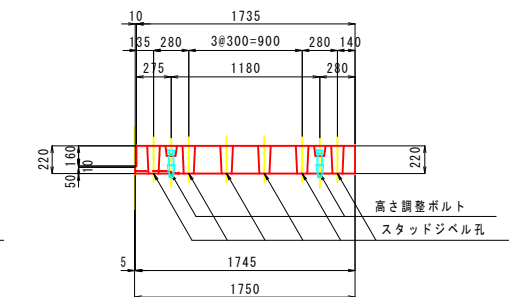
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その12)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	28/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

(端部版:1-14)

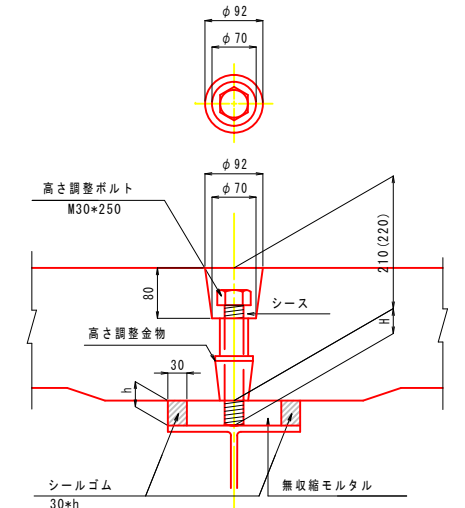
側 面 図 S=1:30



支点部 (G2桁側)



高さ調整金具詳細図 S=1:6



注：（）内寸法は、G2桁側を示す。

注) 取付金具は、メッキ仕様とする。

注：hの寸法については、“高強度軽量2種プレキャストPC床版割付図”参照。

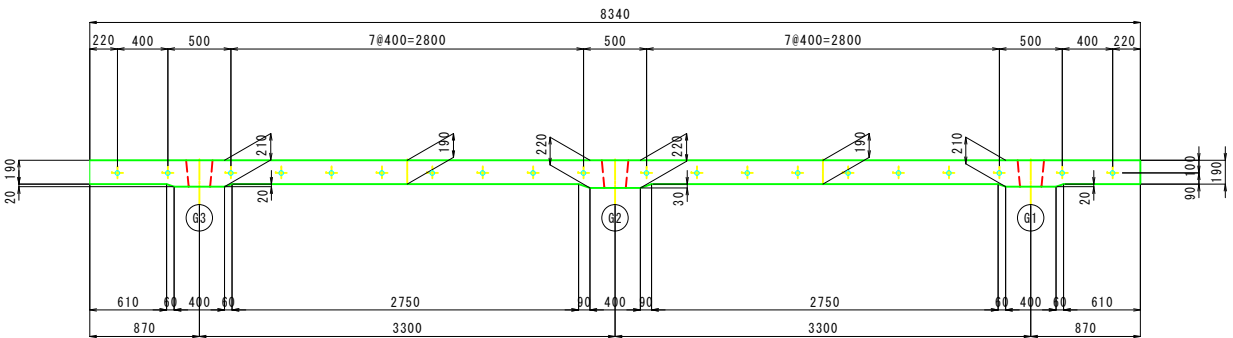
工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	高強度軽量2層プレキャスト PC床版構造図（その13）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	29/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その14)

(端部版:2-1,2-6)

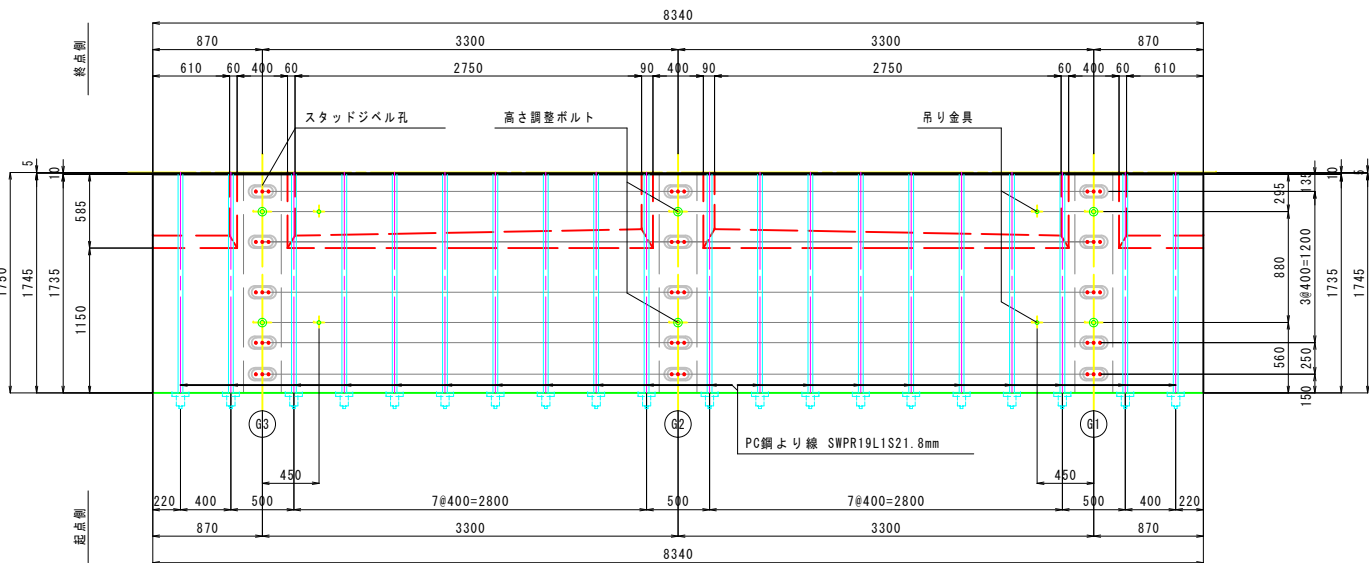
断面図(支間中央側)

S=1:30



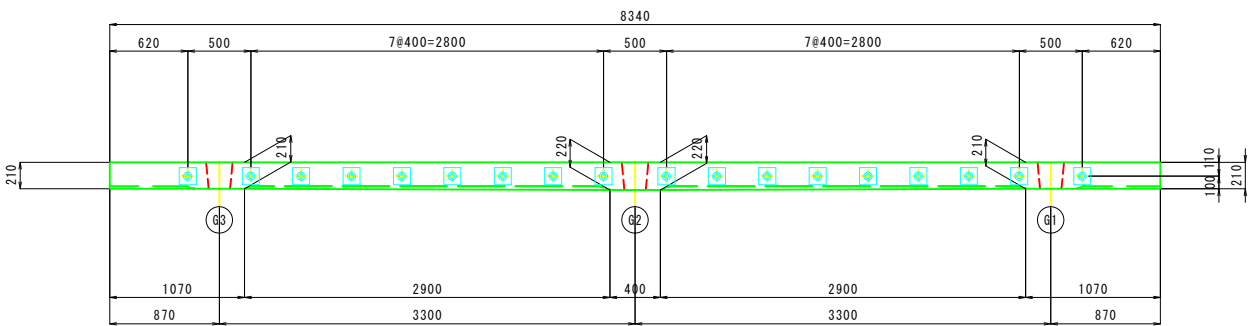
平面図

S=1:30

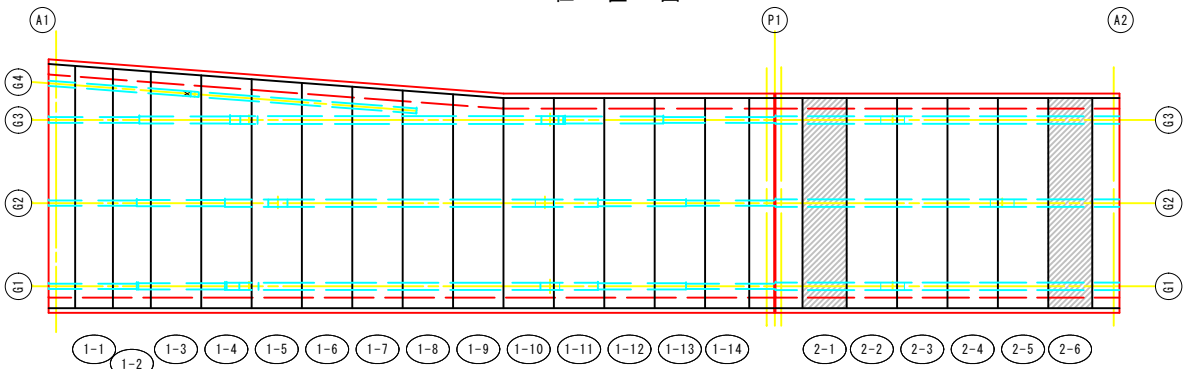


断面図(桁端側)

S=1:30



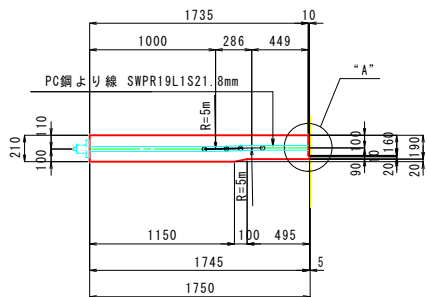
位置図



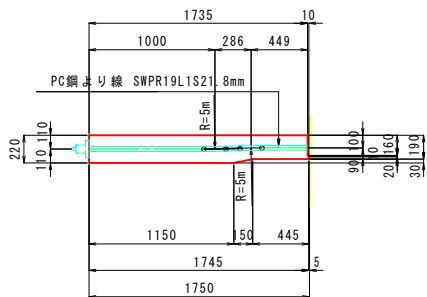
側面図

S=1:30

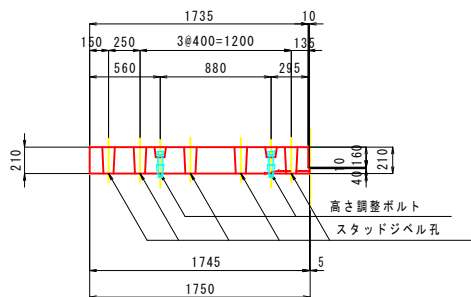
標準部(G1,G3桁側)



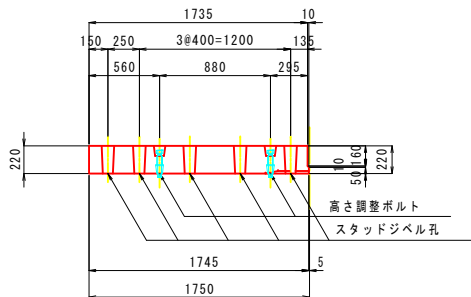
標準部(G2桁側)



支点部(G1,G3桁側)

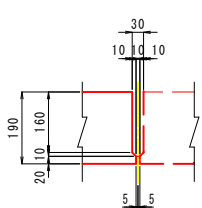


支点部(G2桁側)



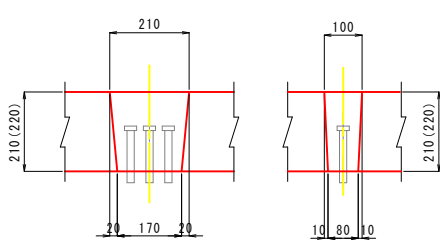
“A”部

S=1:10



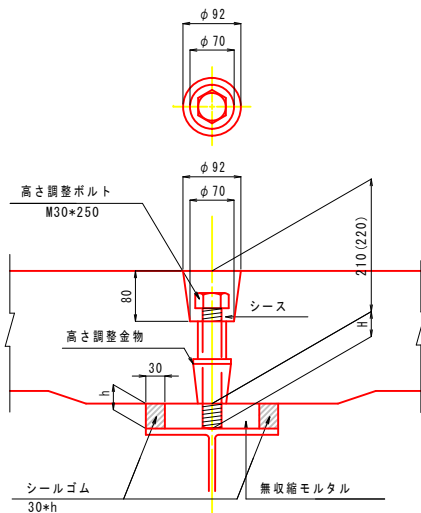
スタッドジベル孔詳細図

S=1:10



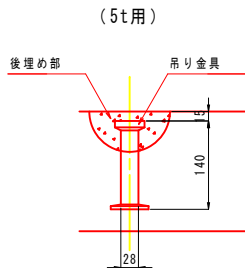
高さ調整金具詳細図

S=1:6



吊り金具詳細図

S=1:6



注: ( ) 内寸法は、G2桁側を示す。

注) 取付金具は、メッキ仕様とする。

注: hの寸法については、“高強度軽量2種プレキャストPC床版割付図”参照。

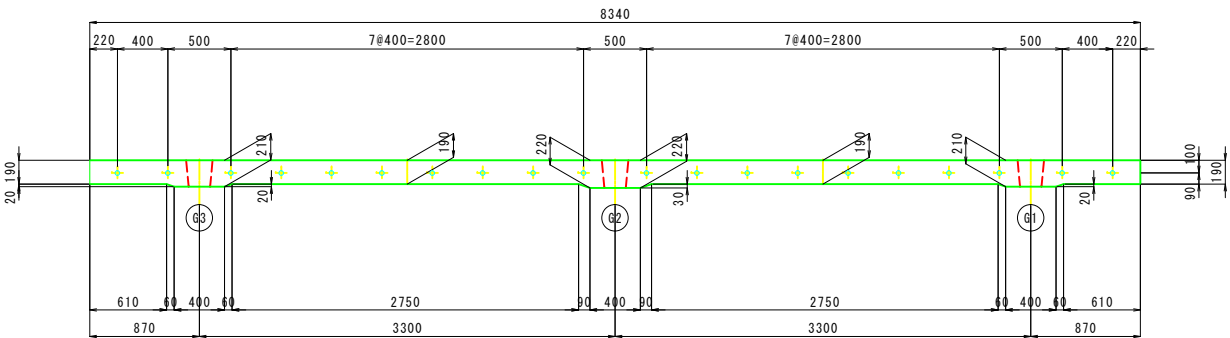
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その14)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	30/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		



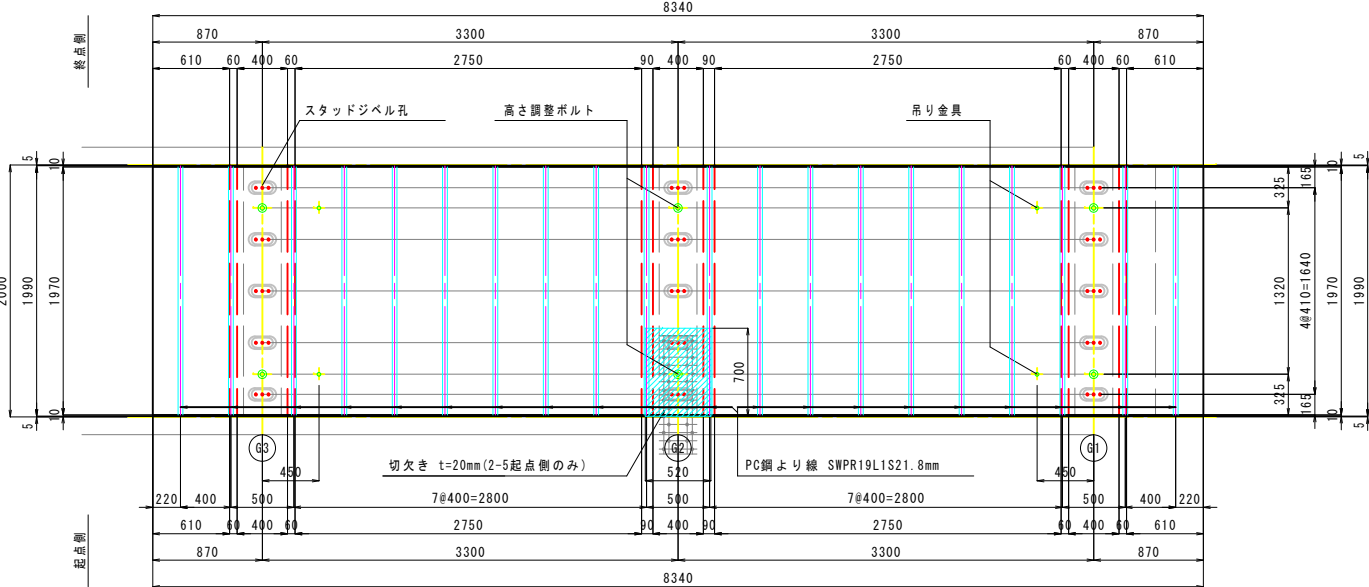
高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その15)

(2-2標準版, 2-5切欠き版)

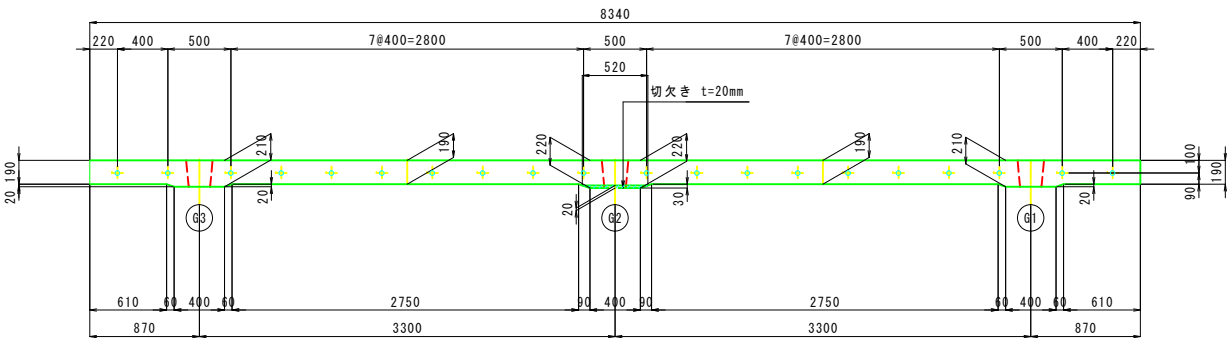
断面図 S=1:30



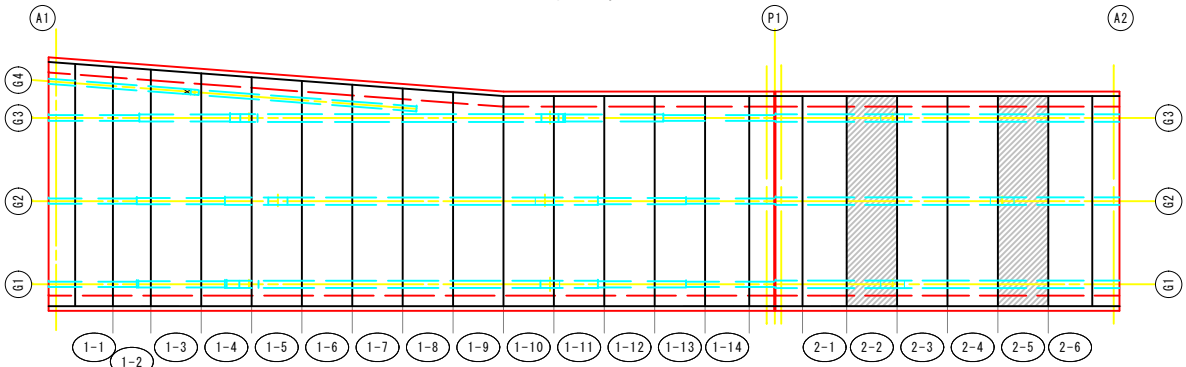
平面図 S=1:30



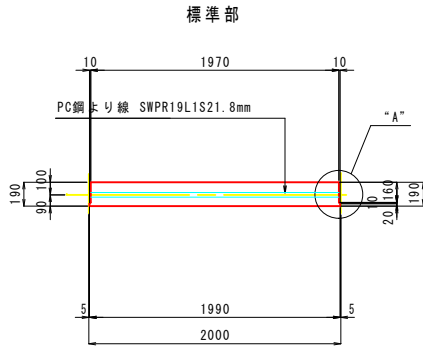
断面図(2-5起点側) S=1:30



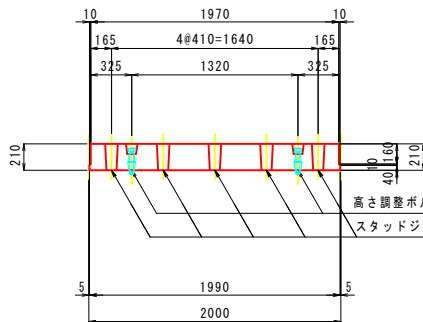
位置図



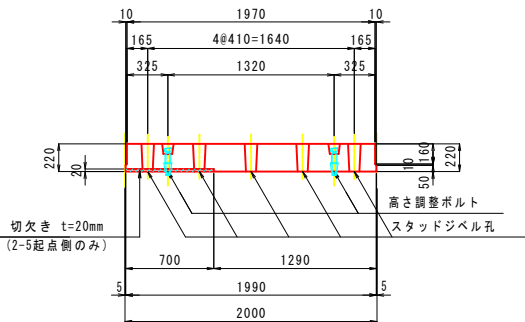
側面図 S=1:30



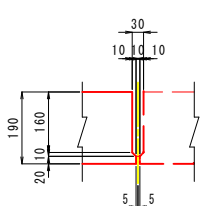
支点部 (G1, G3桁側)



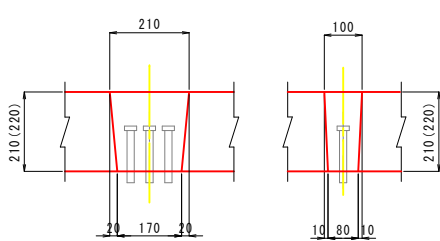
支点部 (G2桁側)



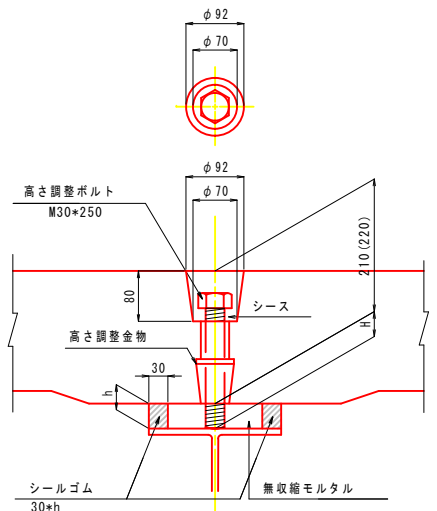
“A”部 S=1:10



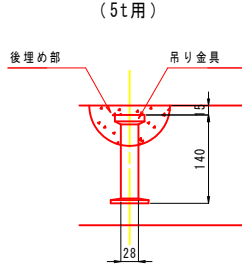
スタッドジベル孔詳細図 S=1:10



高さ調整金具詳細図 S=1:6



吊り金具詳細図 S=1:6



注: ( ) 内寸法は、G2桁側を示す。

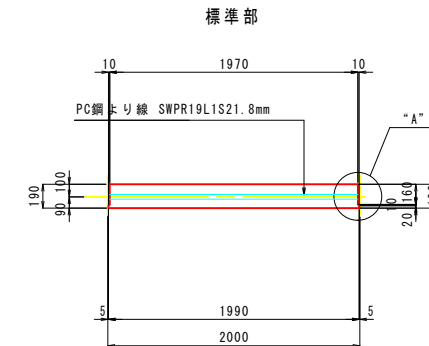
注) 取付金具は、メッキ仕様とする。

注: hの寸法については、“高強度軽量2種プレキャストPC床版割付図”参照。

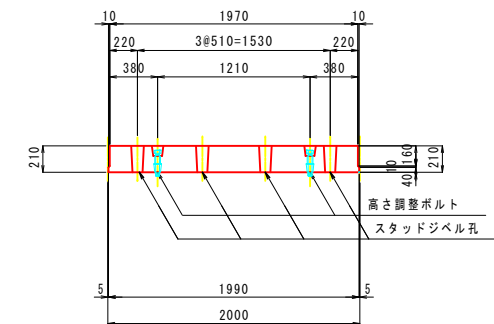
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版構造図(その15)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	31/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

(2-3標準版, 2-4切欠き版)

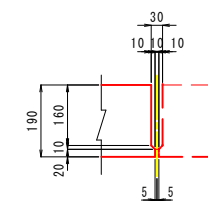
側 面 図 S=1:30



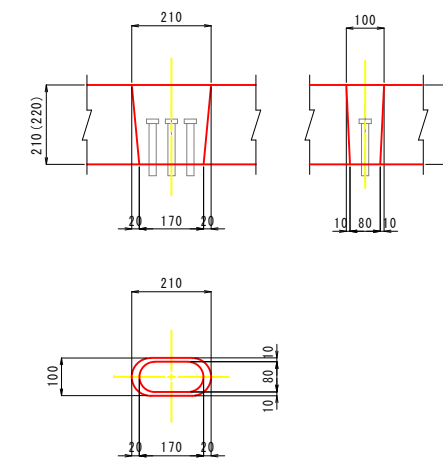
支点部 (G2桁側)



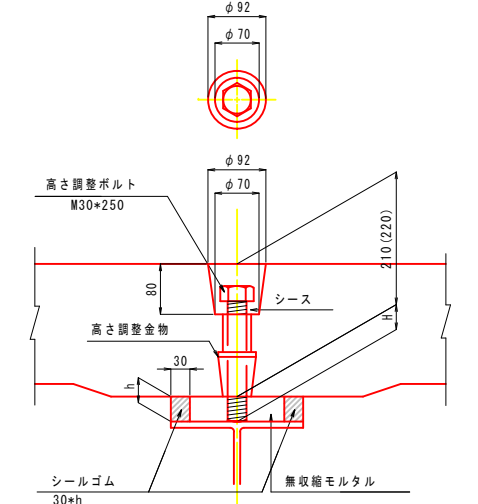
スタッドジベル孔詳細図 S=1:10



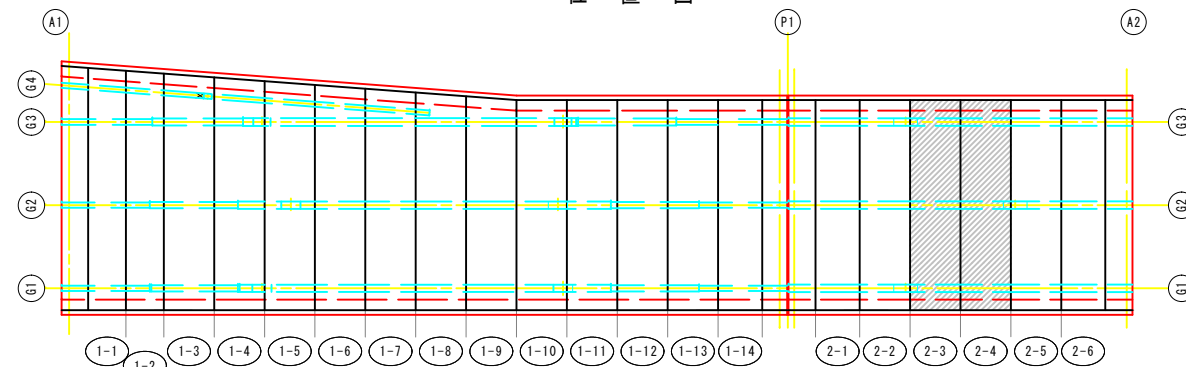
スタッドジベル孔詳細図



高さ調整金具詳細図 S=1:6



注) 取付金具は、メッキ仕様とする。

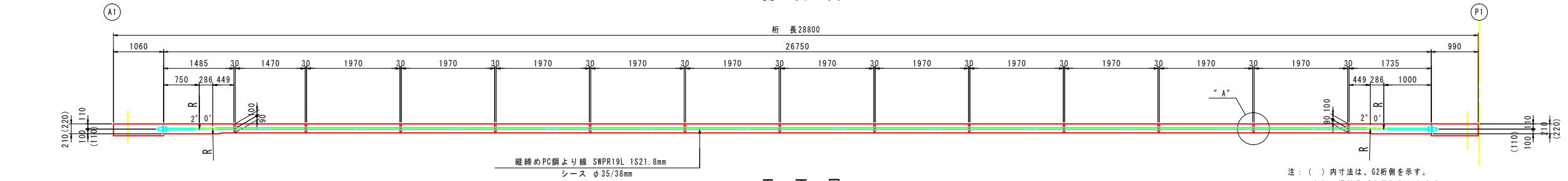


工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2層プレキャスト PC床版構造図(その16)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	32/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

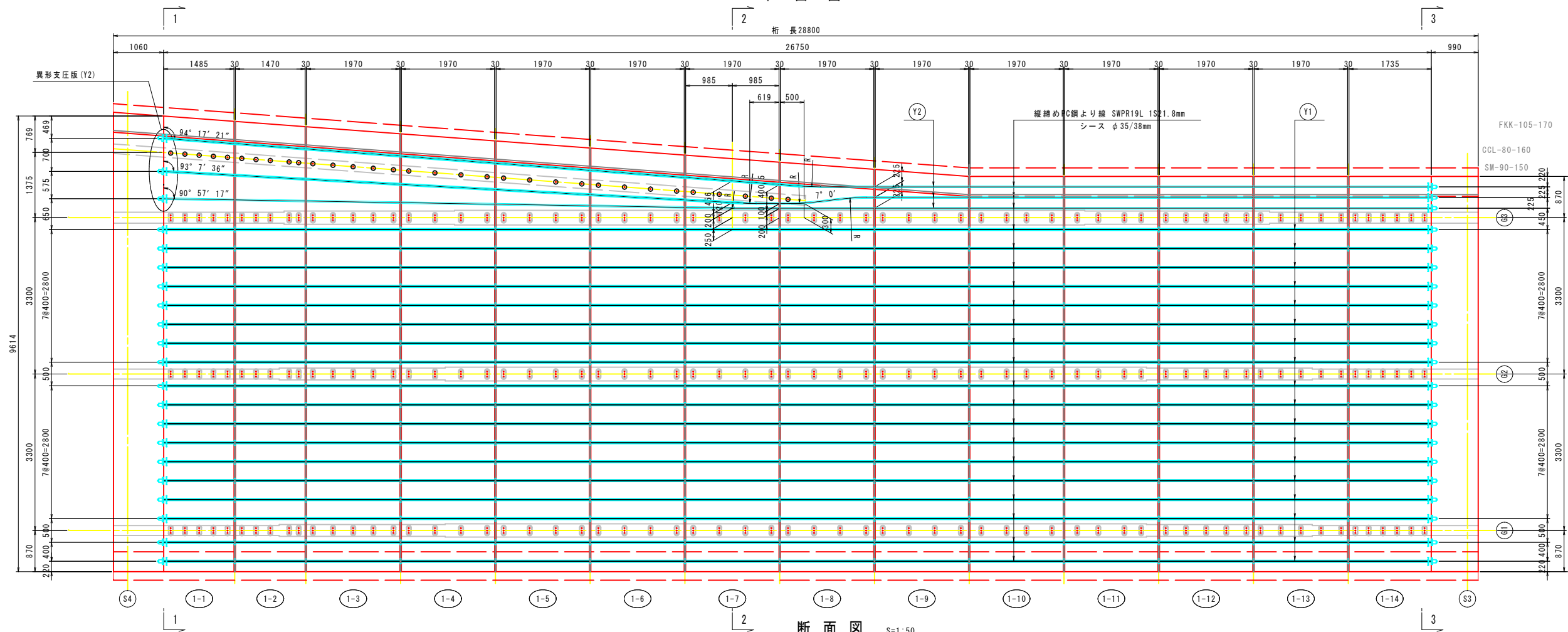


### 縦締め詳細図(その1)

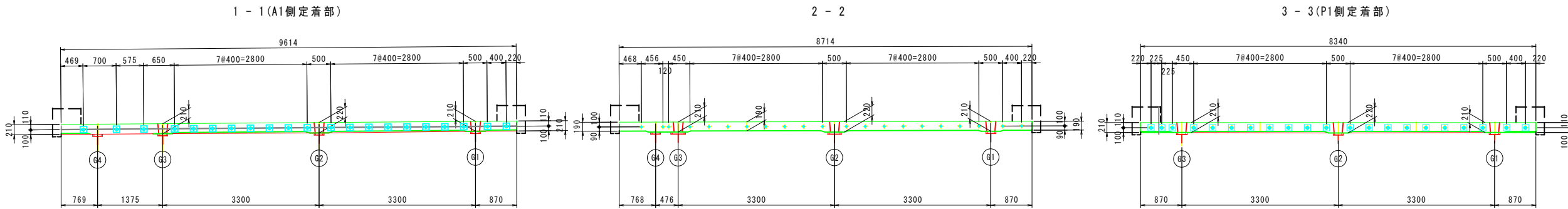
側 面 図 S=1:50



平面图 S=1:50



断面图 S=1:50

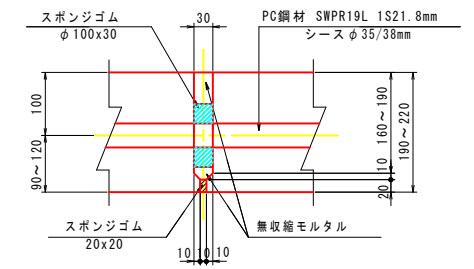


数量表

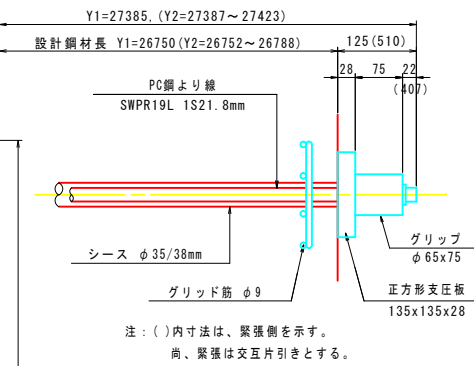
(1橋当り)

配 号	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	備 考
Y1	26750	18	2.482	66.39	1195	
Y2	26771	3	2.482	66.45	199	平均
合 計 (N=21本)					1394 kg	
総延長					561,813 m	

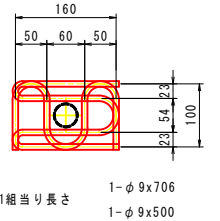
"A"部詳細図 S=1:6



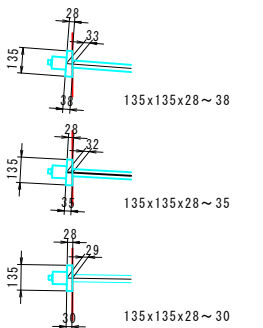
### 定着部詳細図



グリッド筋 S=1:6

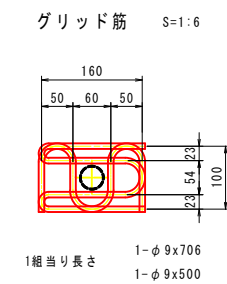
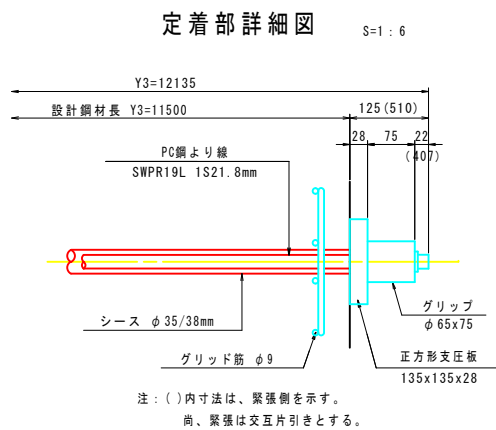
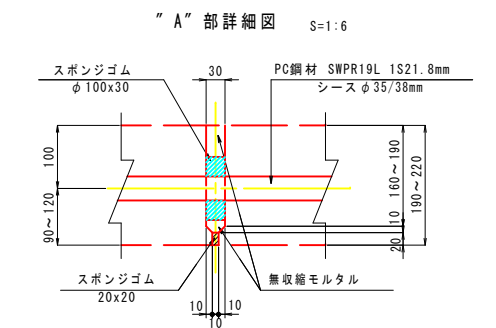
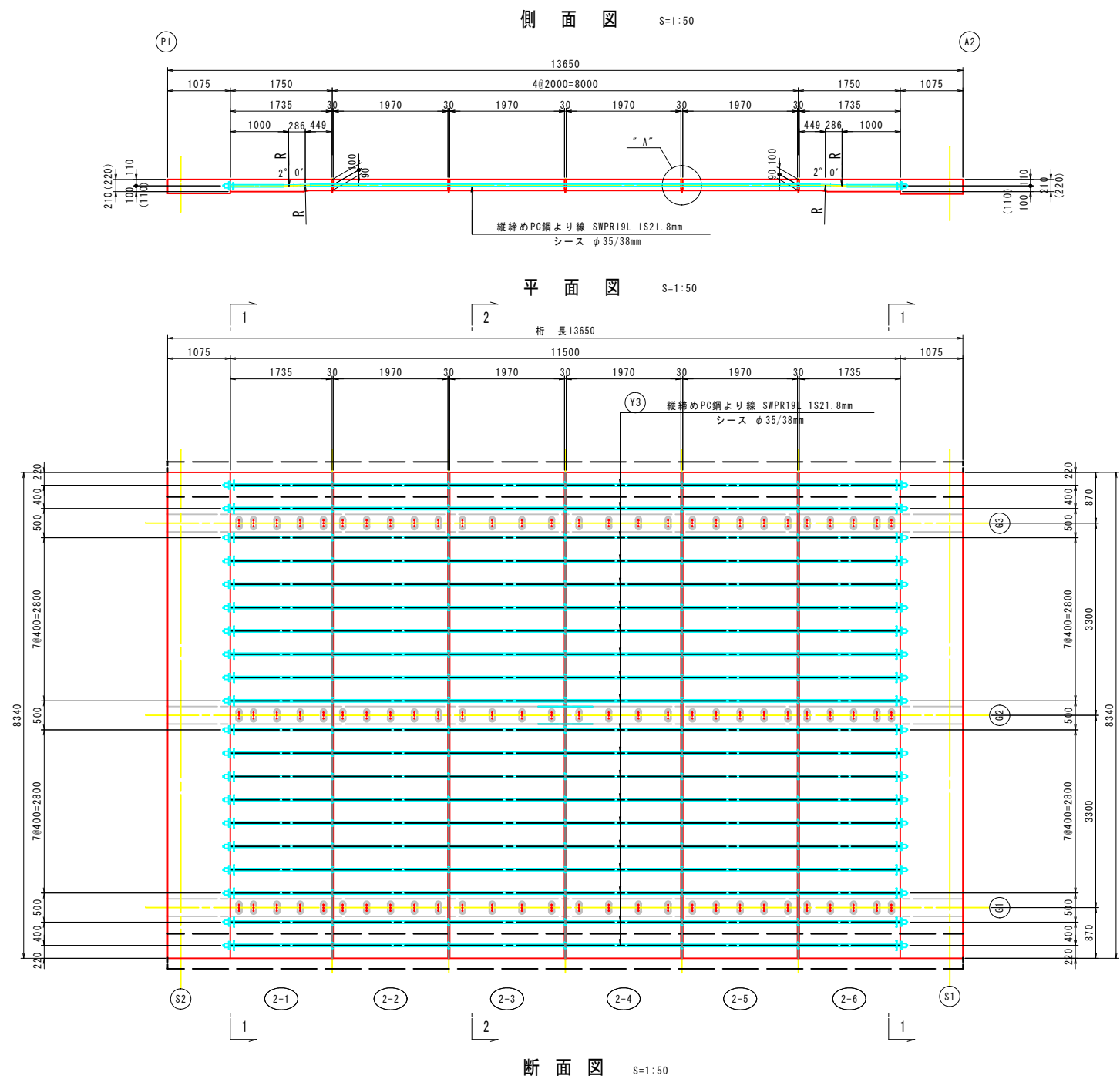


Y2 異形支圧版



工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	縦締め詳細図 (その1)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	33/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

縦締め詳細図(その2)



数量表 (1橋当り)						
記号	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
Y3	11500	20	2.482	28.54	571	
合計(N=20本)					571 kg	
総延長					230.000 m	

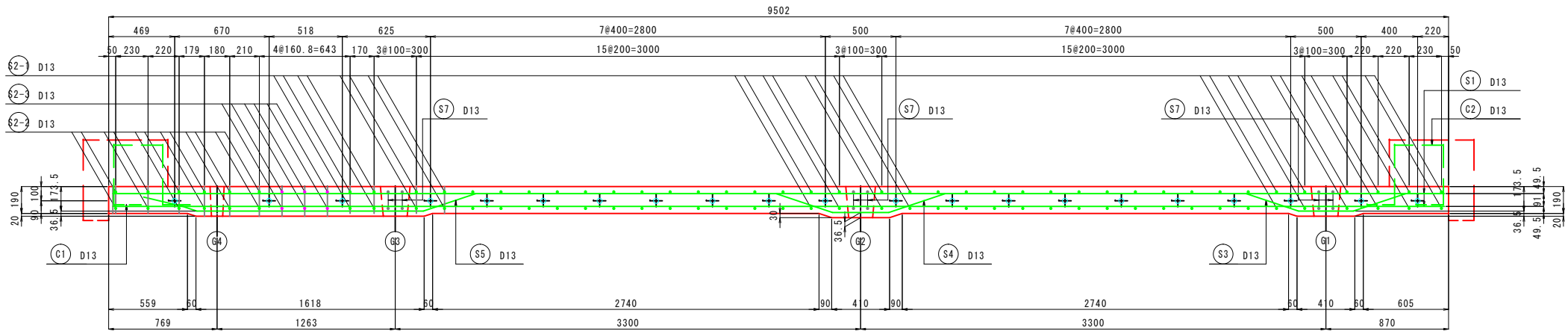
工事名	橋梁補修工事(R5-1)		
図面名	縦締め詳細図(その2)		
作成年月日	2020年3月		
縮尺	図示	図面番号	34/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その1)

(1-1端部版)

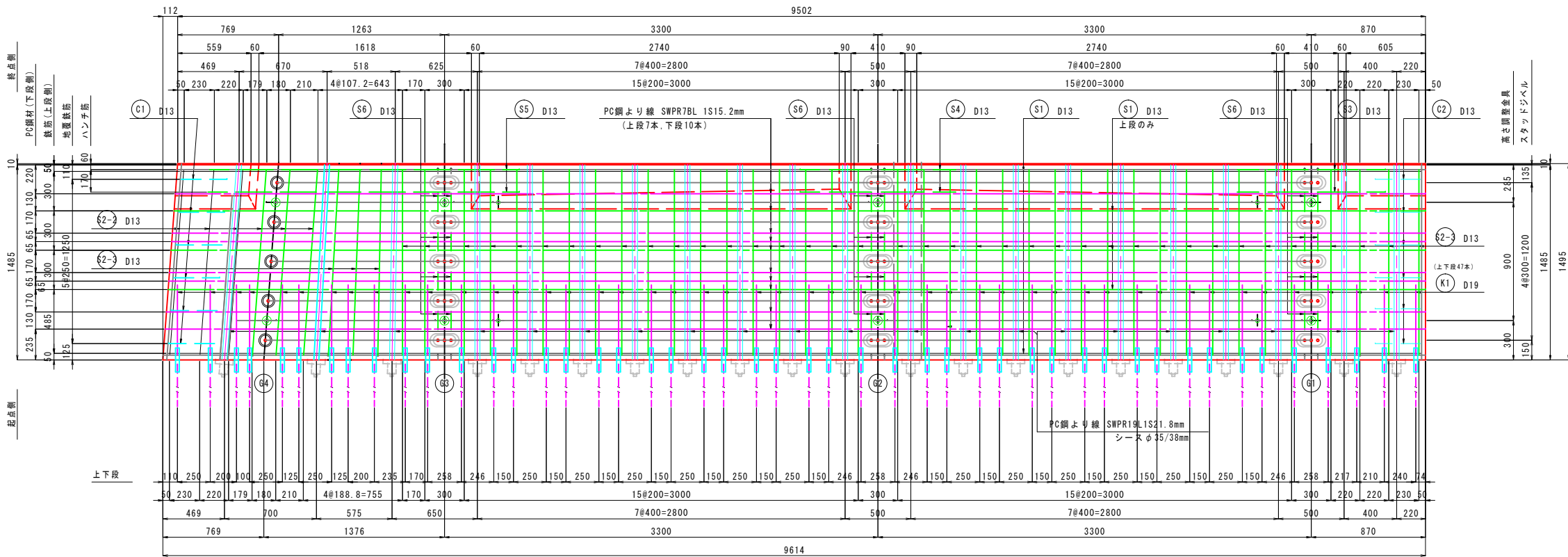
断面図(終点側)

S=1:20



平面図

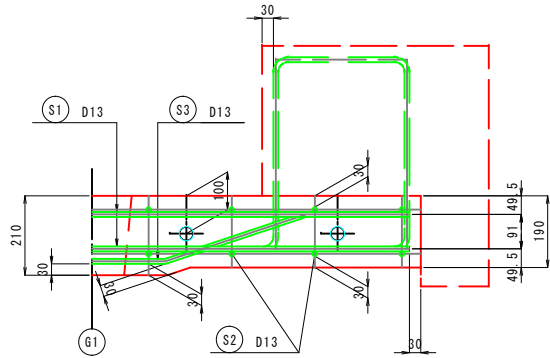
S=1:20



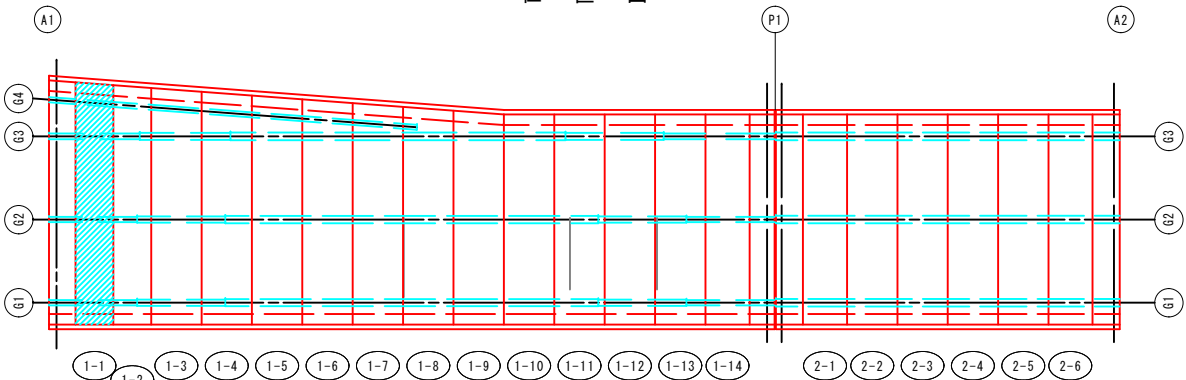
注: 地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対応する。

かぶり詳細図

S=1:10

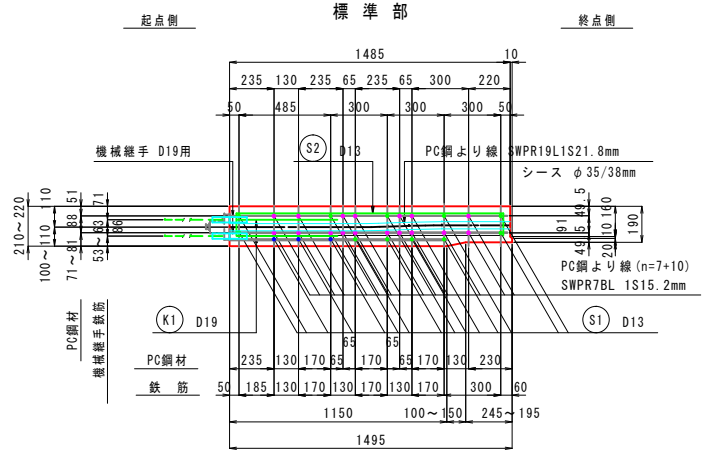


位置図

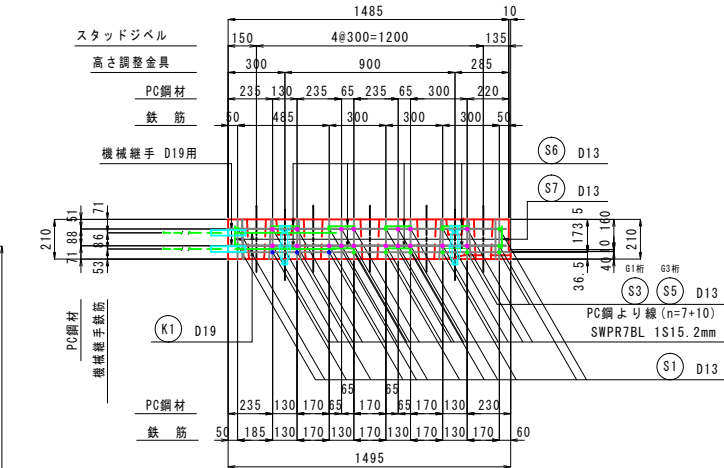


側面図

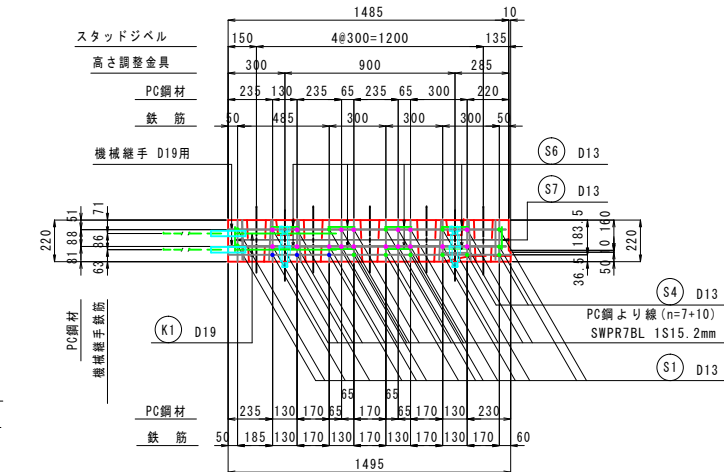
S=1:20



支点部 (G1, G3桁)

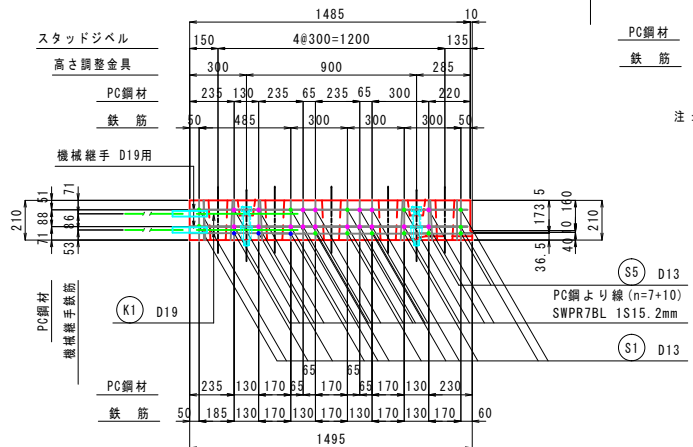


支点部 (G2桁)



注: 下面側S1鉄筋が機械継手と干渉する場合、S1鉄筋を適宜移動し配置する。

支点部 (G4桁)



工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その1)		
作成年月日	2020年3月		
縮尺	S=1:20	図面番号	35/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

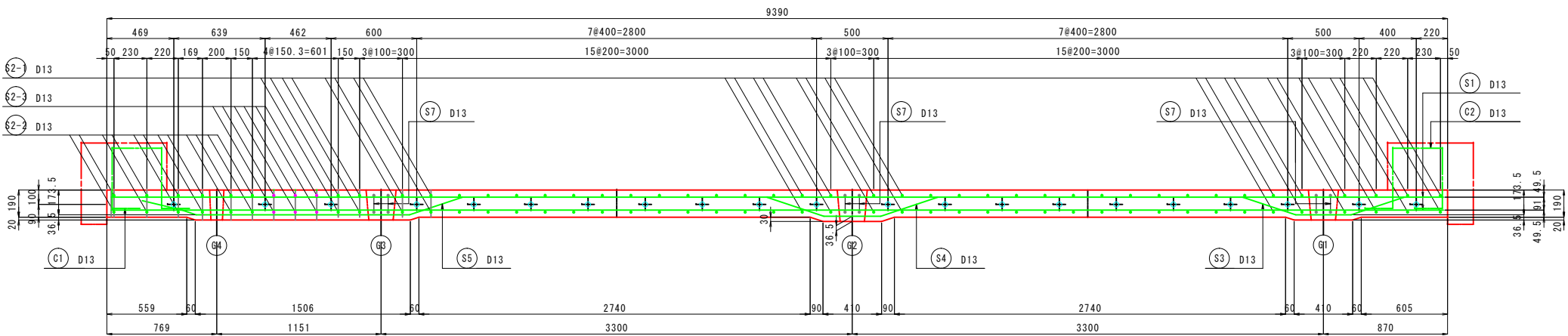
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
園名	高強度軽量2層プレキャスト PC床版配筋園 (その2)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	36/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		



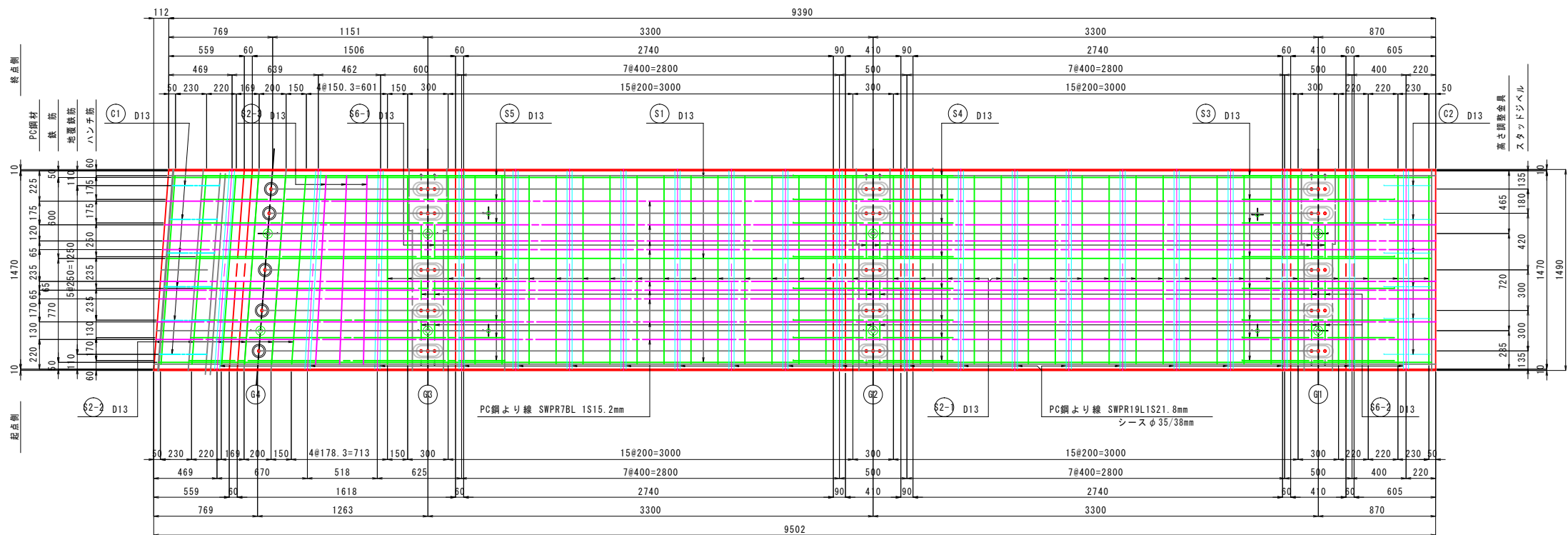
高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その3)

(1-2拡幅調整版)

断面図(終点側) S=1:20

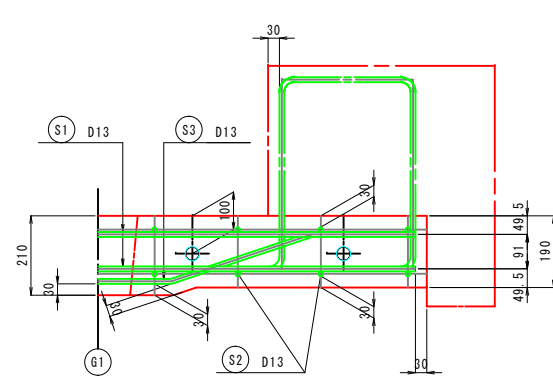


平面図 S=1:20

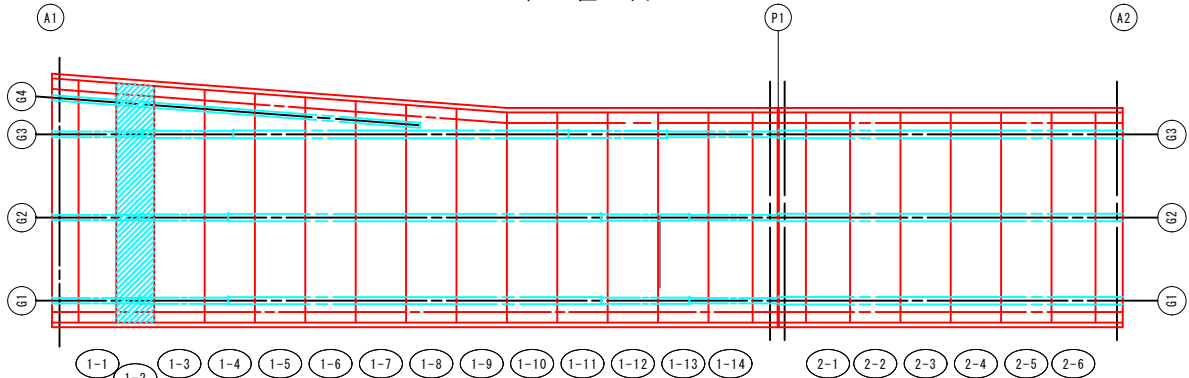


注：地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対処する。

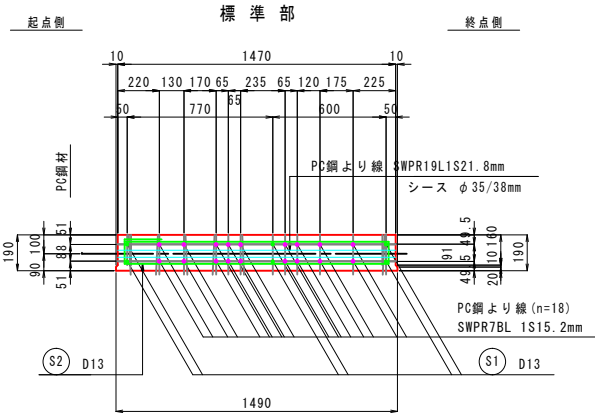
かぶり詳細図 S=1:10



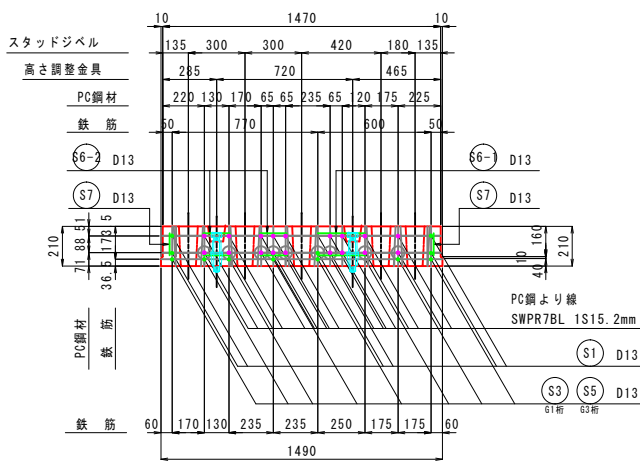
位置図



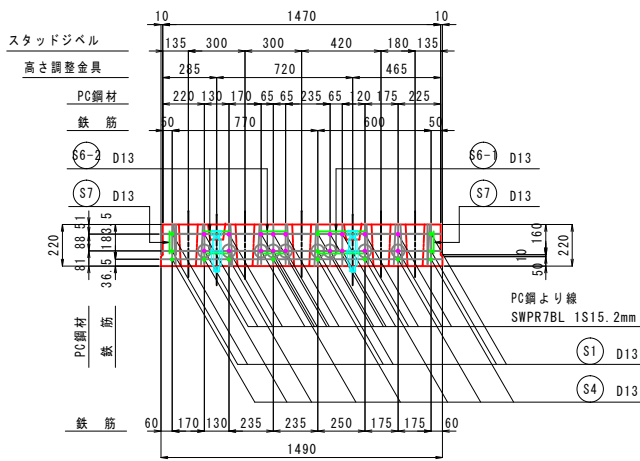
側面図 S=1:20



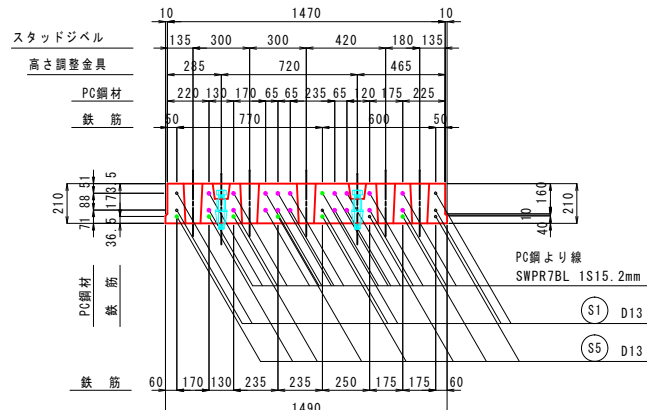
支点部(G1, G3桁)



支点部(G2桁)



支点部(G4桁)

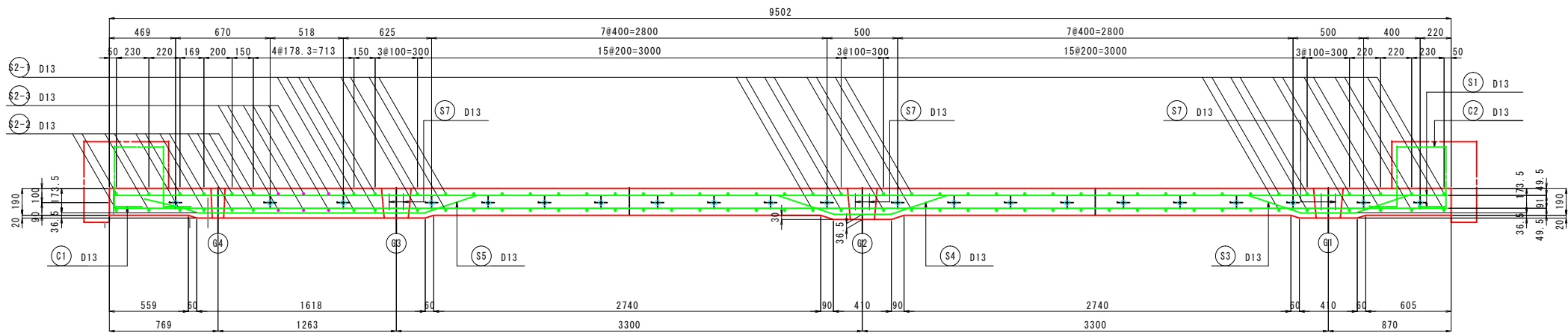


工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その3)		
作成年月日	2020年3月		
縮尺	S=1:20	図面番号	37/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

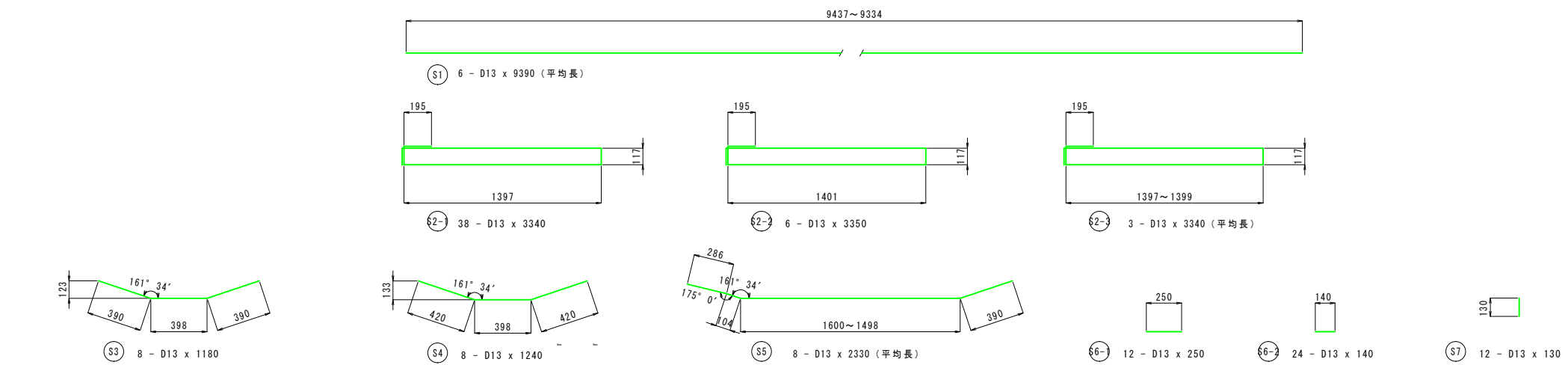
高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その4)

(1-2拡幅調整版)

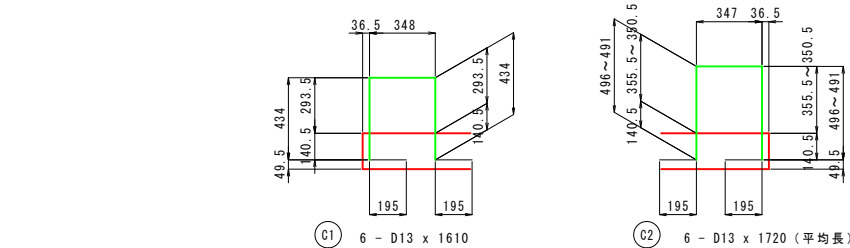
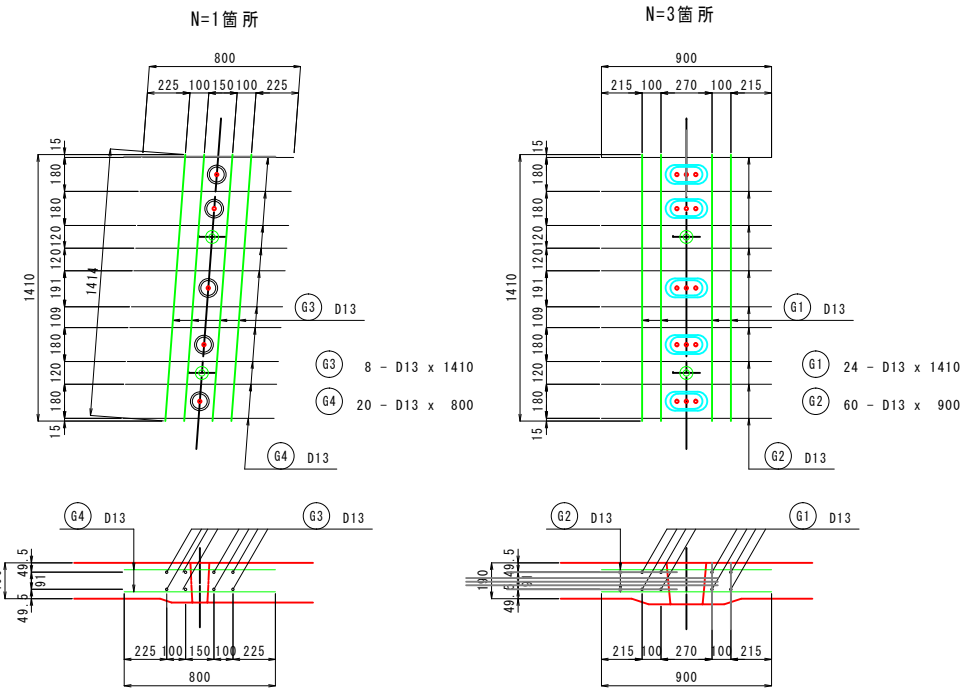
断面図(起点側) S=1:20



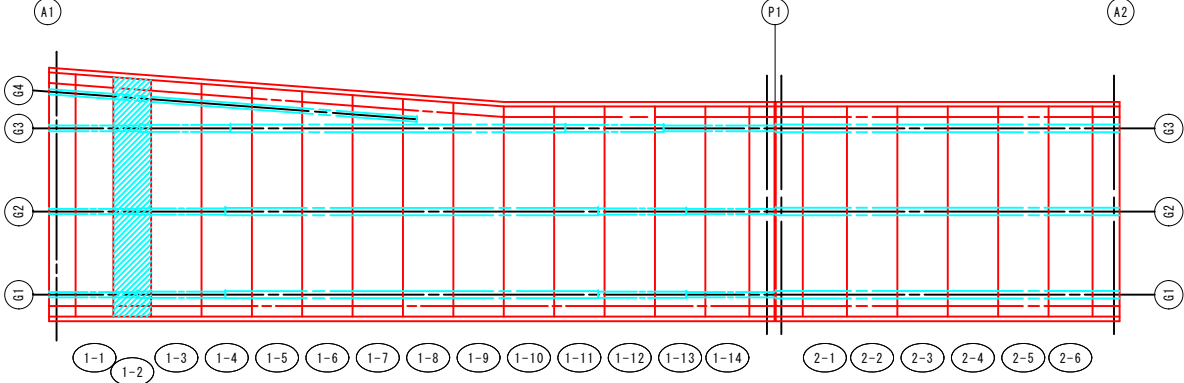
鉄筋加工図 S=1:20



ジベル孔補強筋 S=1:20



位置図



鉄筋表

(板1枚当り)						
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り質量	質量
S1	D13	9390	6	0.995	9.34	56
S2-1	〃	3340	38	〃	3.32	126
S2-2	〃	3350	6	〃	3.33	20
S2-3	〃	3340	3	〃	3.32	10
S3	〃	1180	8	〃	1.17	9
S4	〃	1240	8	〃	1.23	10
S5	〃	2330	8	〃	2.32	19
S6-1	〃	250	12	〃	0.25	3
S6-2	〃	140	24	〃	0.14	3
S7	〃	130	12	〃	0.13	2
					258	kg
G1	D13	1410	24	0.995	1.40	34
G2	〃	900	60	〃	0.90	54
G3	〃	1410	8	〃	1.40	11
G4	〃	800	20	〃	0.80	16
					115	kg
C1	D13	1610	6	0.995	1.60	10
C2	〃	1720	6	〃	1.71	10
					20	kg
					合計 D13	393
						kg

注1):コンクリート設計基準強度  $\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$ 。  
注2):使用鉄筋 SD345。

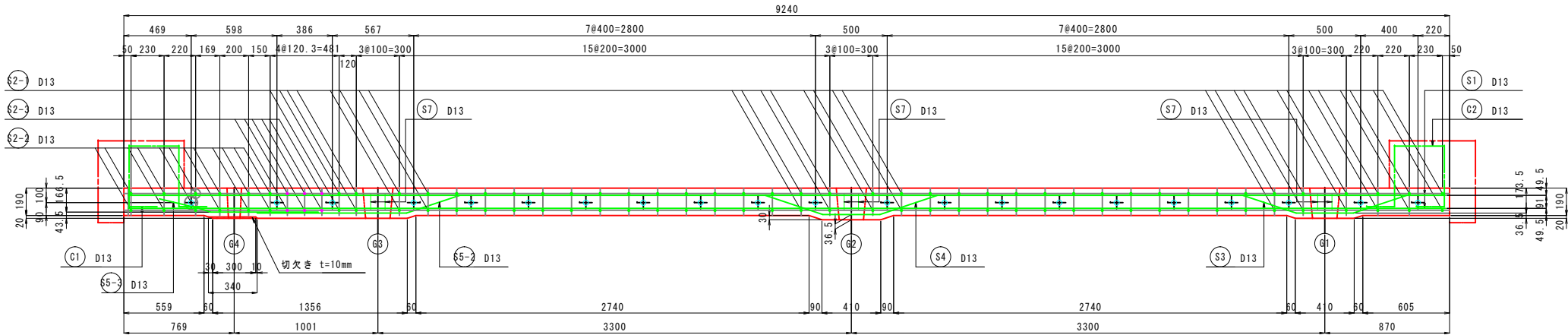
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その4)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	38/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その5)

(1-3拡幅切欠き版)

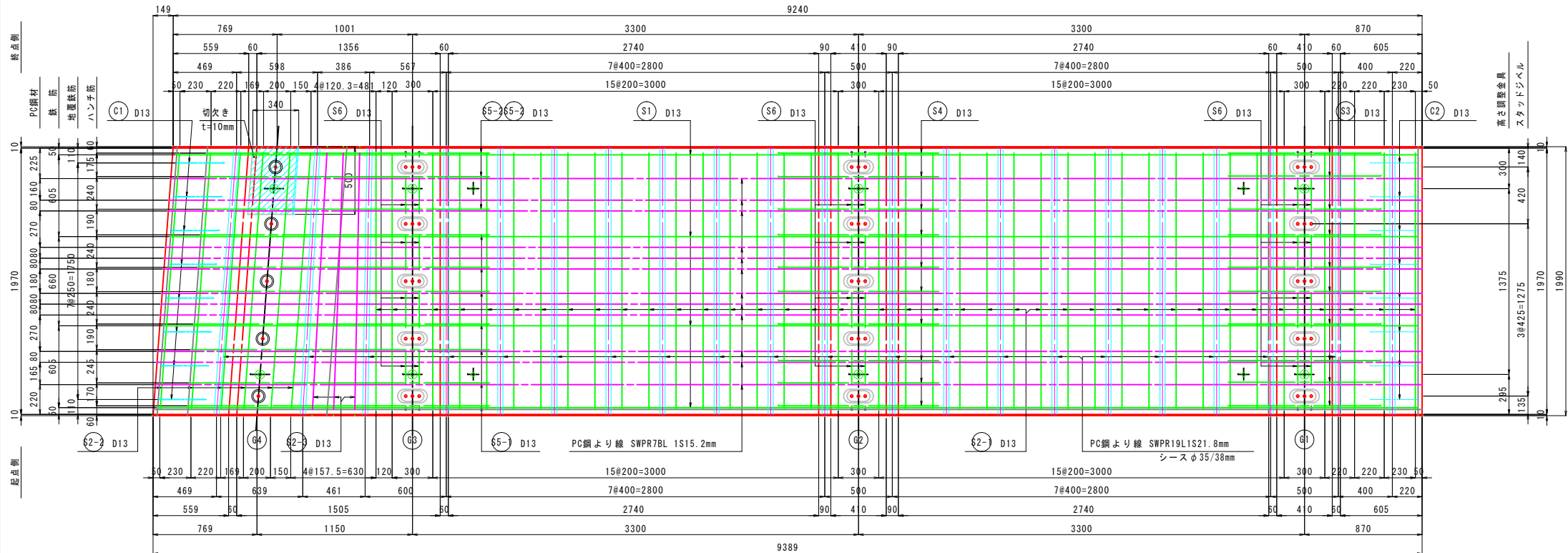
断面図(終点側)

S=1:20



平面図

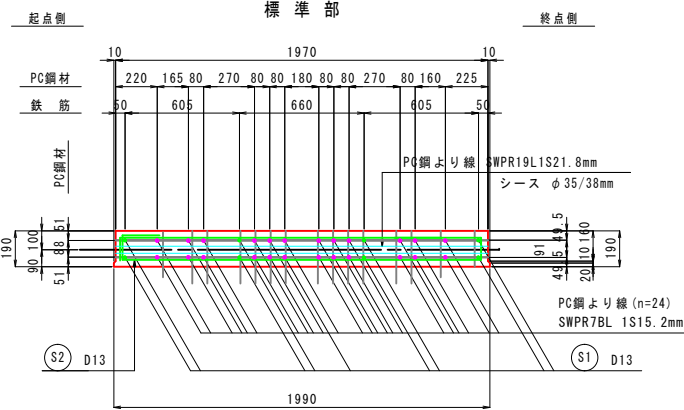
S=1:20



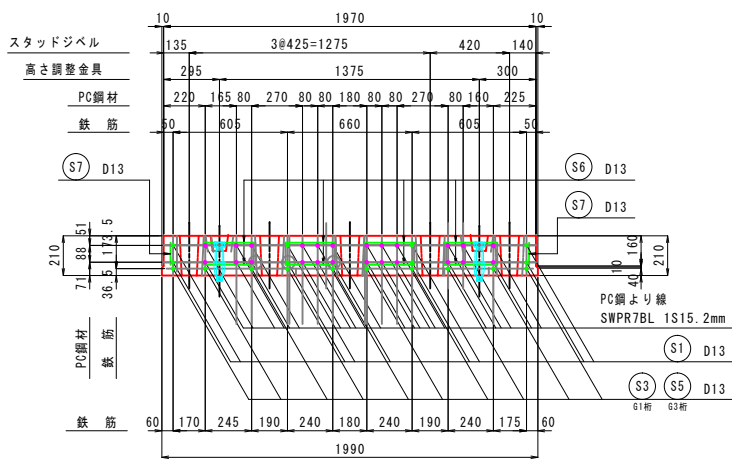
注：地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対峙する。

側面図

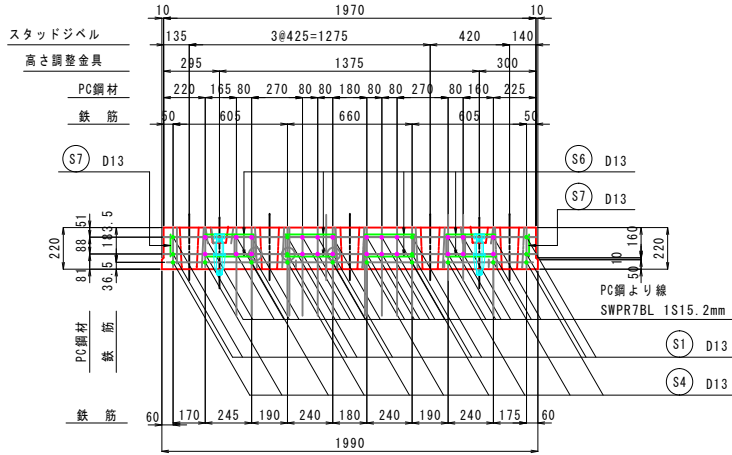
S=1:20



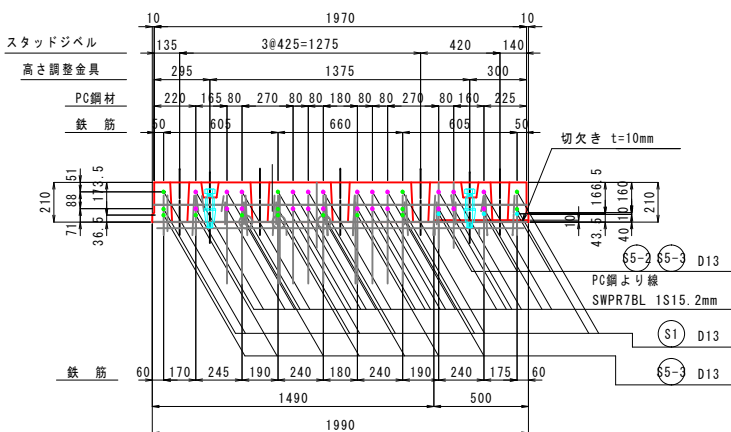
支点部 (G1, G3桁)



支点部 (G2桁)

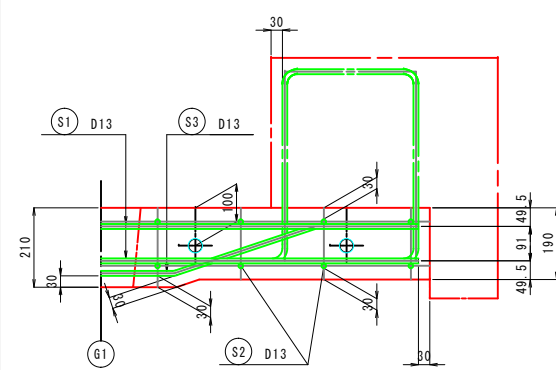


支点部 (G4桁)

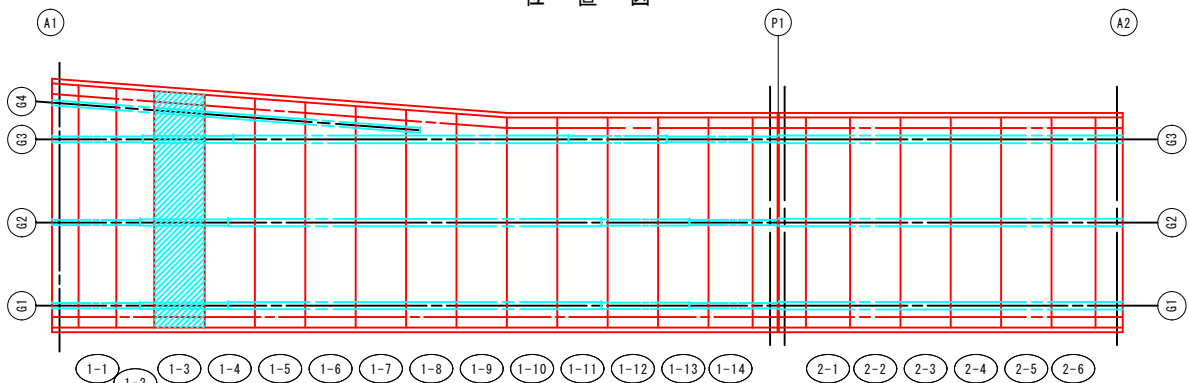


かぶり詳細図

S=1:10



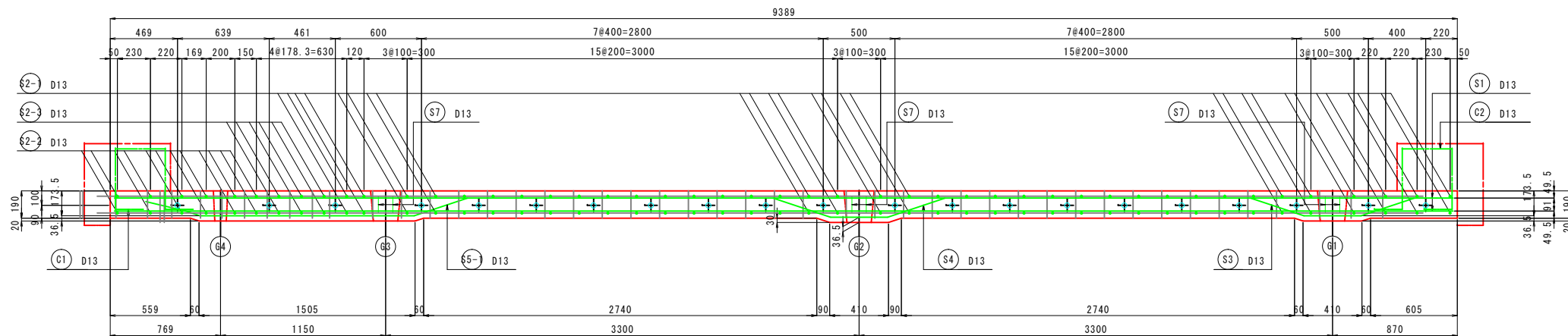
位置図



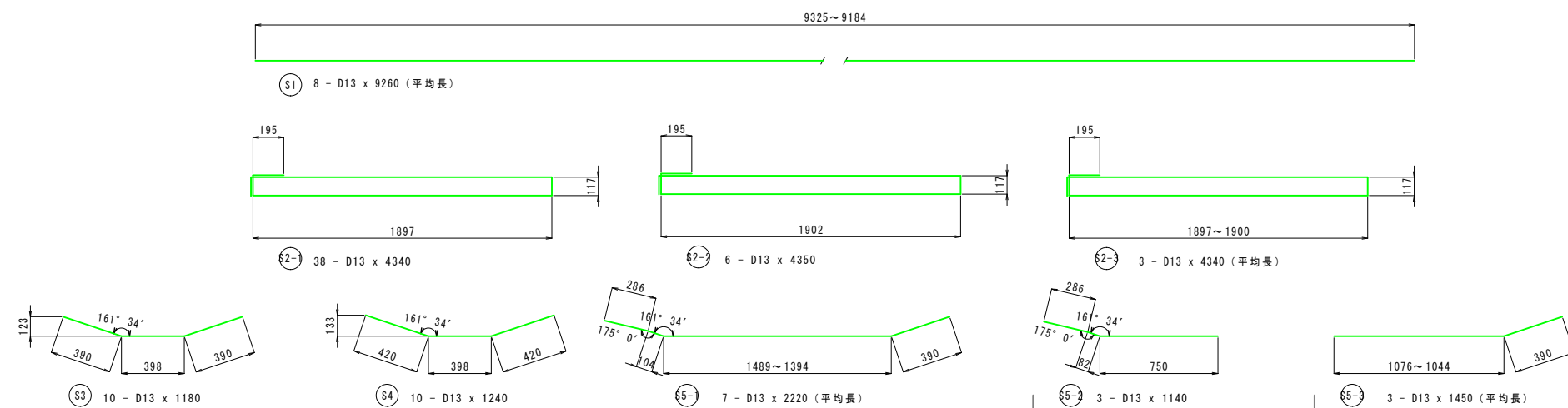
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その5)		
作成年月日	2020年3月		
縮尺	S=1:20	図面番号	39/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業所名	甲府市		

(1-3 拡幅切欠き版)

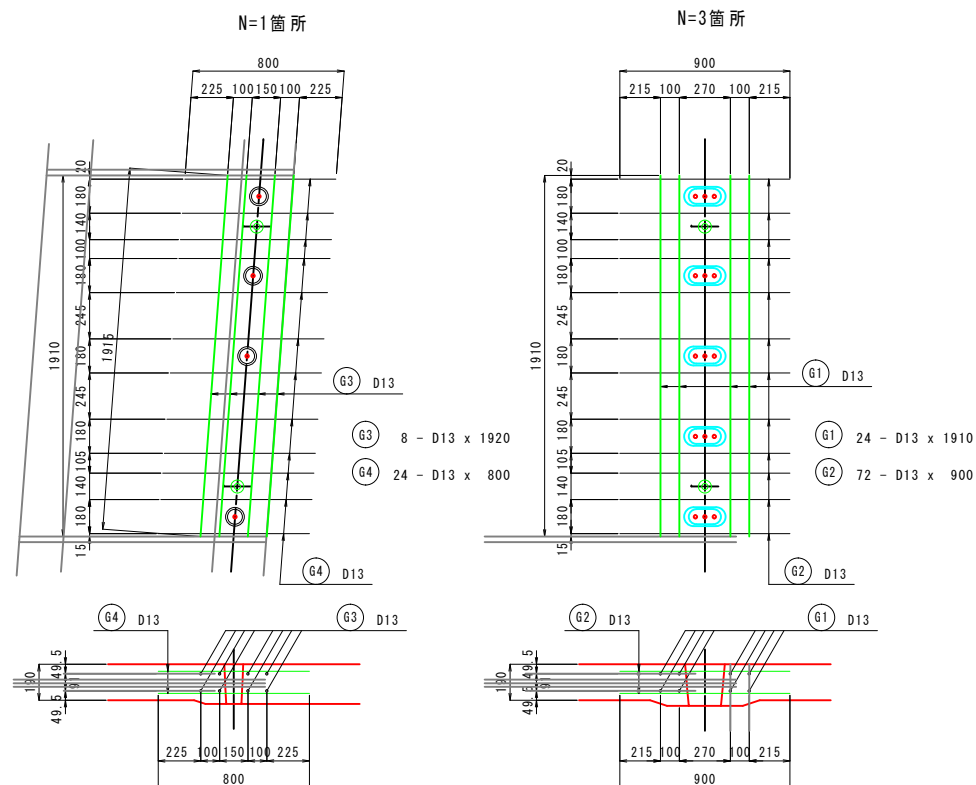
断面図(起点側) S=1:20



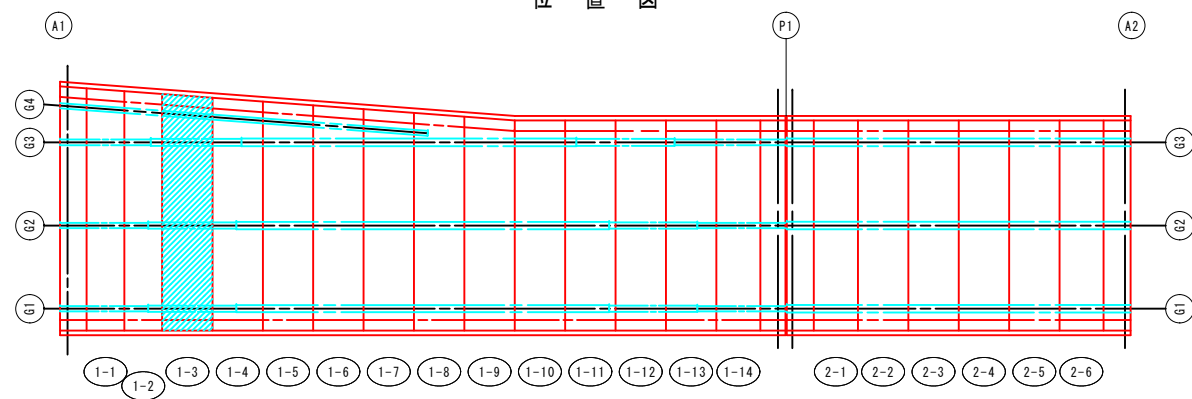
鉄筋加工図 S=1:20



ジベル孔補強筋 S=1:20



位置図



鉄筋表

記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り質量	質 量	描 画	要
S1	D 3	9260	8	0.995	9.21	74		(平均長)
S2-1	〃	4340	38	〃	4.32	164		
S2-2	〃	4350	6	〃	4.33	26		
S2-3	〃	4340	3	〃	4.32	13		(平均長)
S3	〃	1180	10	〃	1.17	12		
S4	〃	1240	10	〃	1.23	12		
S5-1	〃	2220	7	〃	2.21	15		(平均長)
S5-2	〃	1140	3	〃	1.13	3		
S5-3	〃	1450	3	〃	1.44	4		(平均長)
S6	〃	260	48	〃	0.26	12		
S7	〃	130	12	〃	0.13	2		
						337	kg	
G1	D 3	1910	24	0.995	1.90	46		
G2	〃	900	72	〃	0.90	65		
G3	〃	1920	8	〃	1.91	15		
G4	〃	800	24	〃	0.80	19		
						145	kg	
C1	D 3	1610	8	0.995	1.60	13		
C2	〃	1710	8	〃	1.70	14		(平均長)
						27	kg	
合 計 D13						509	kg	

注1):コンクリート設計基準強度  $\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$ 。

注2):使用鉄筋 SD345。

工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	高強度軽量2層プレキャスト PC版配筋図（その6）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	40/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

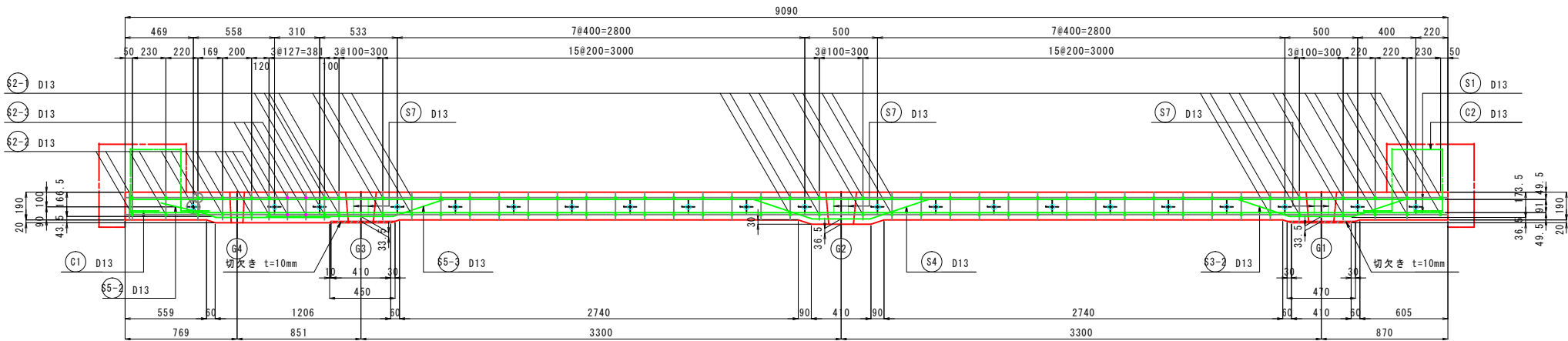


高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その7)

(1-4拡幅切欠き版)

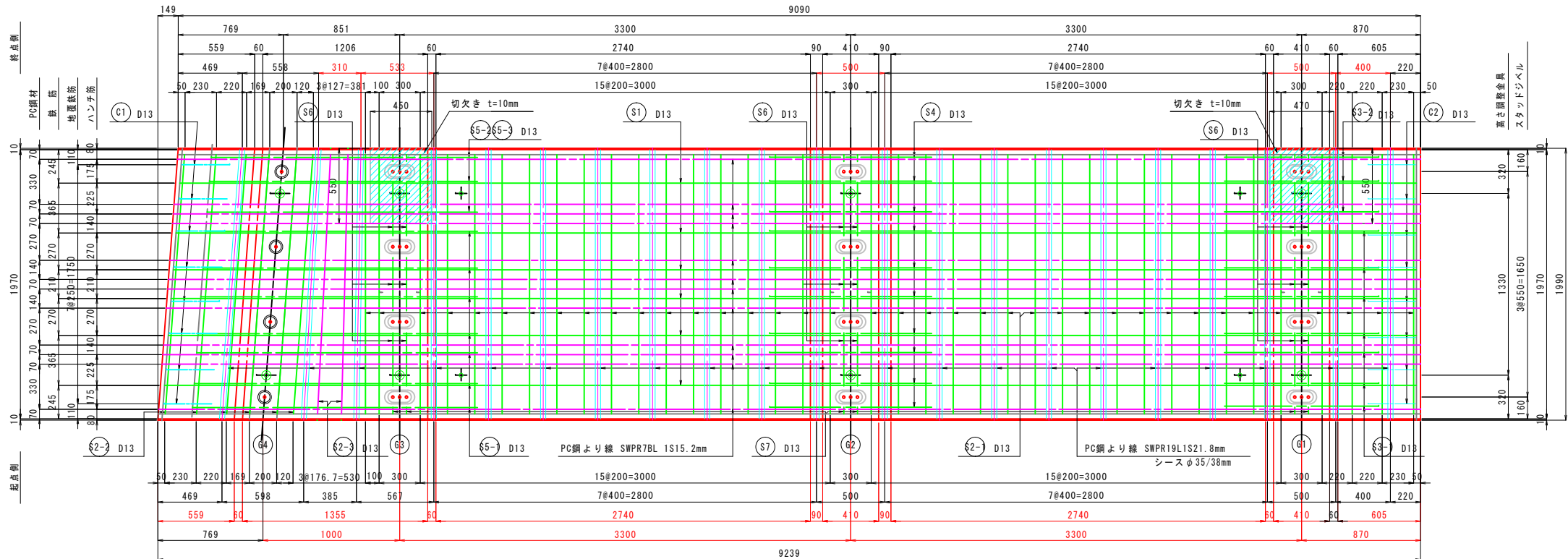
断面図(終点側)

S=1:20



平面図

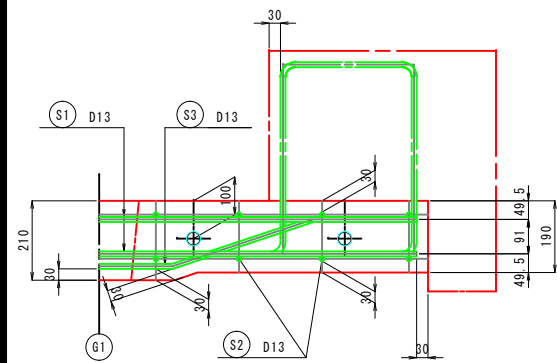
S=1:20



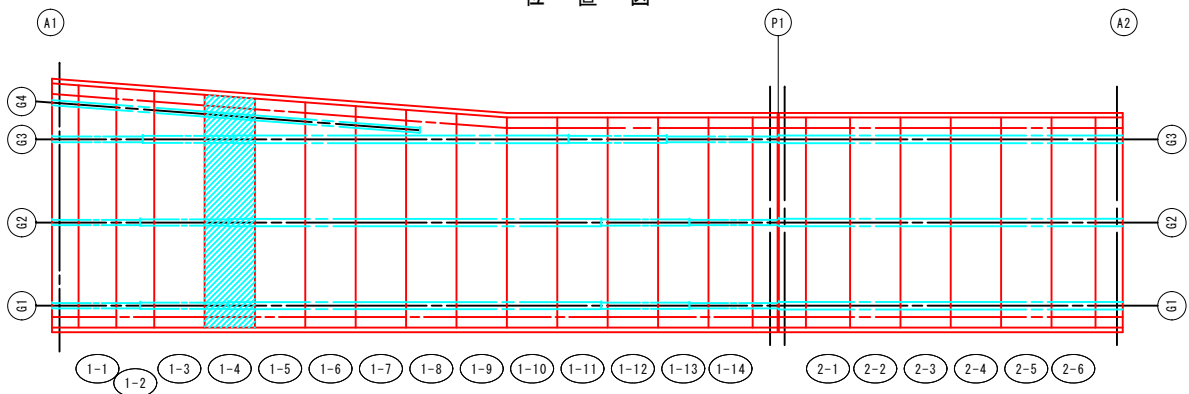
注：地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対処する。

かぶり詳細図

S=1:10

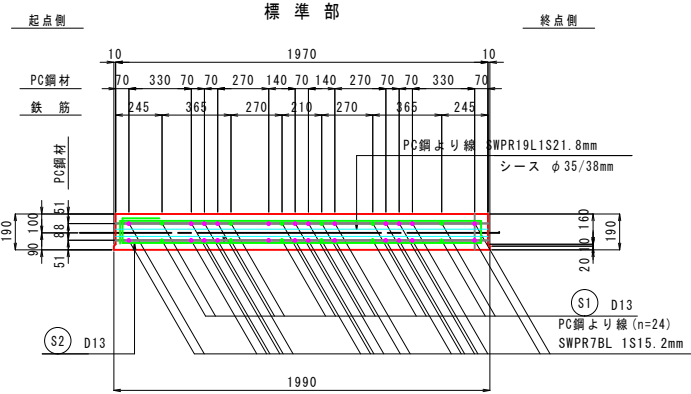


位置図

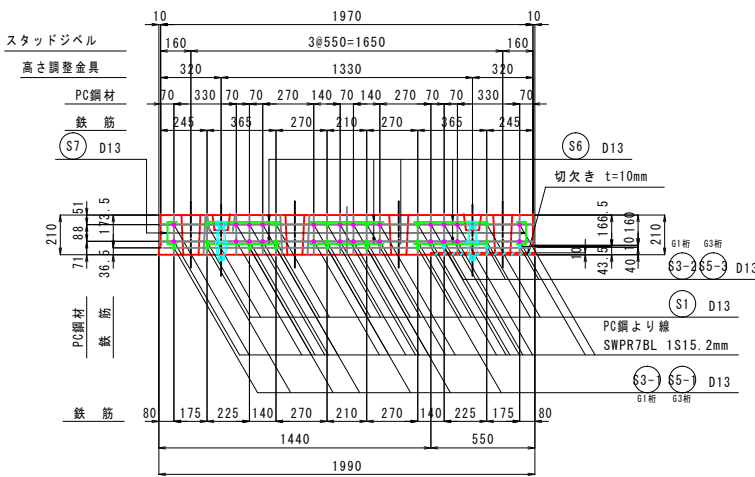


側面図

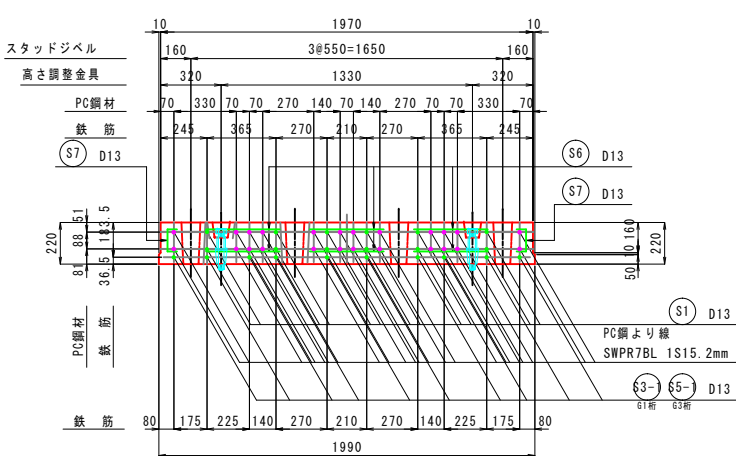
S=1:20



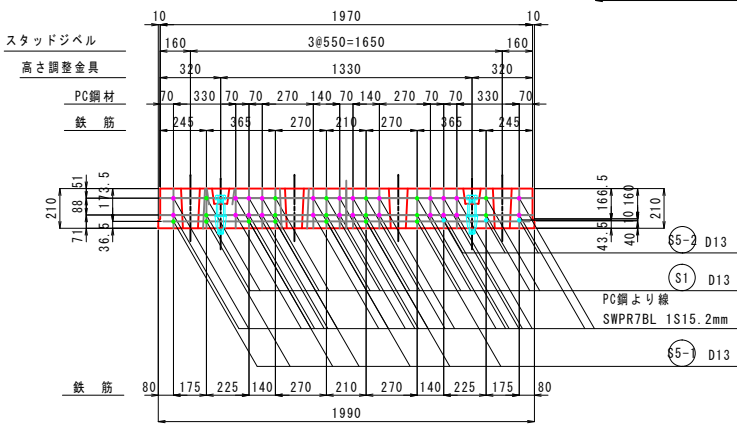
支点部 (G1, G3桁)



支点部 (G2桁)



支点部 (G4桁)



工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その7)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	41/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

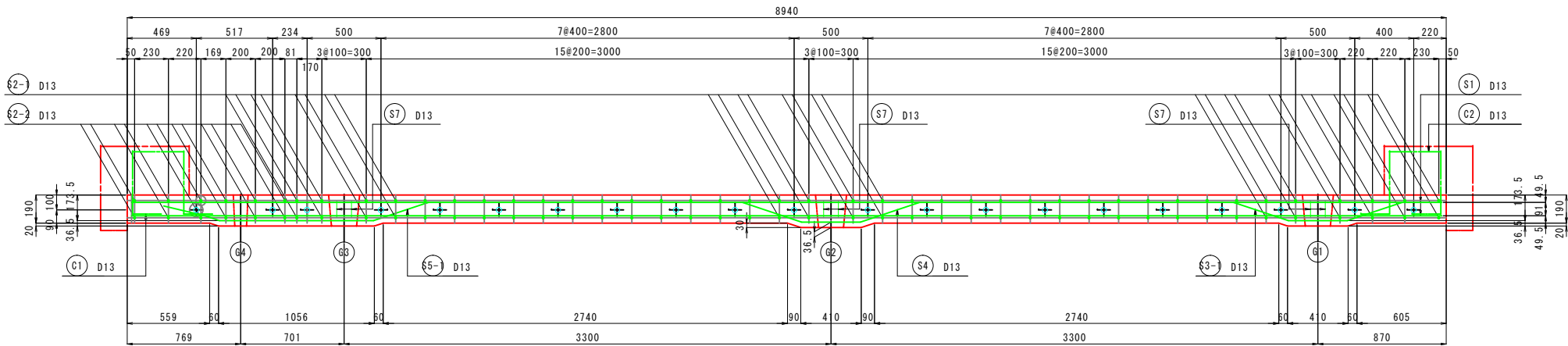


高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その9)

(1-5拡幅切欠き版)

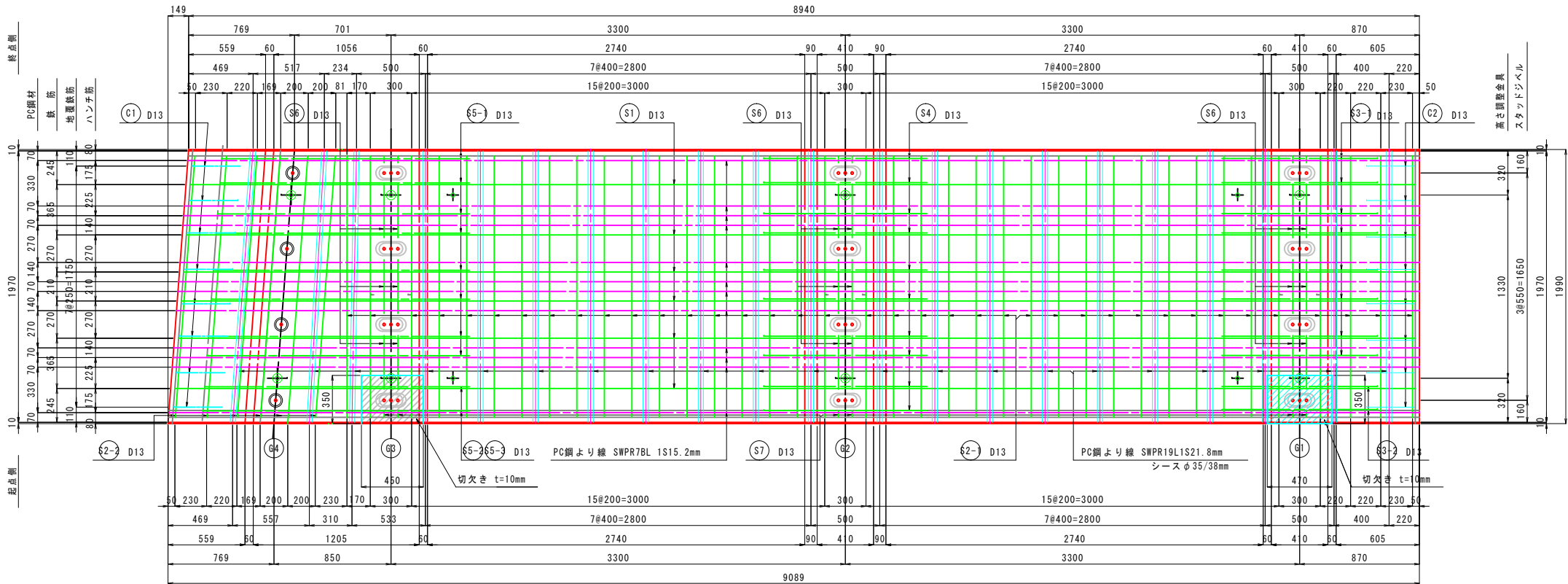
断面図(終点側)

S=1:20



平面図

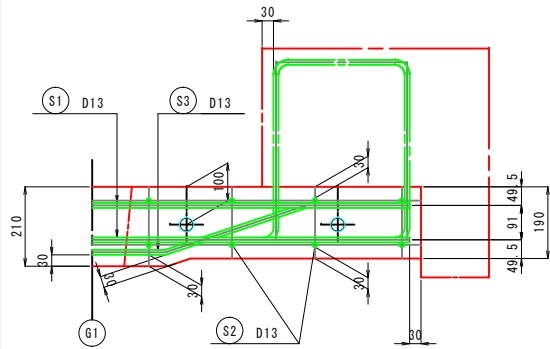
S=1:20



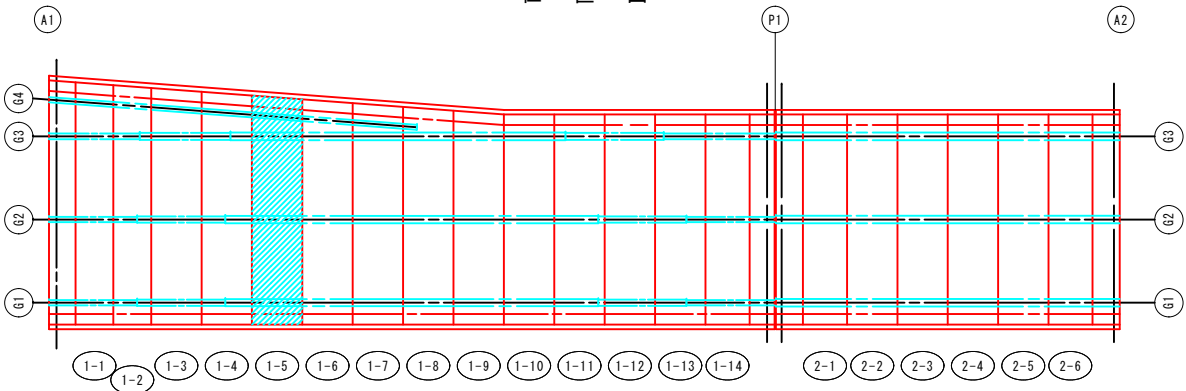
注：地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対処する。

かぶり詳細図

S=1:10

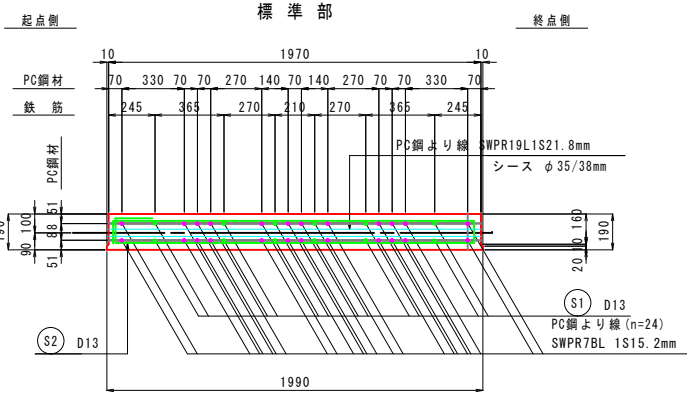


位置図

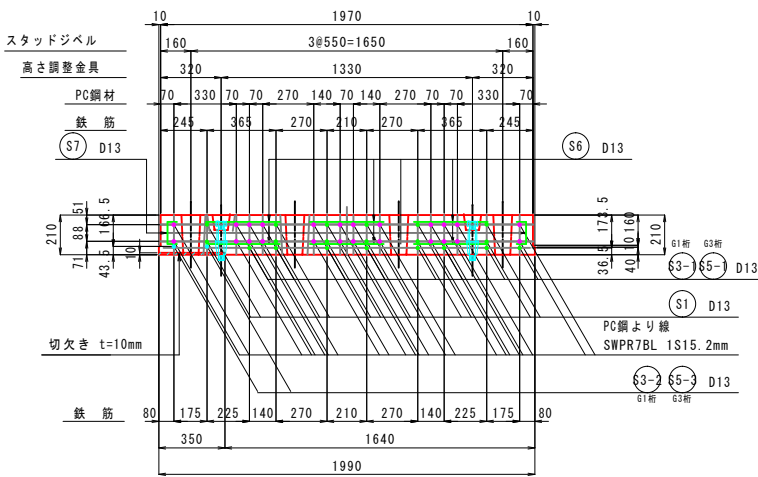


側面図

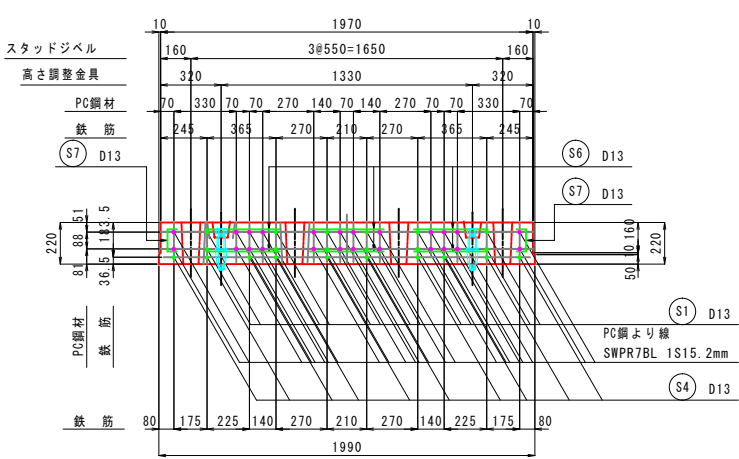
S=1:20



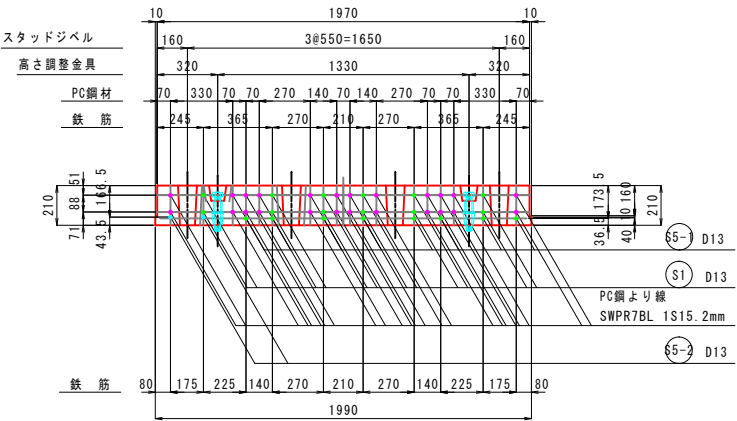
支点部 (G1, G3桁)



支点部 (G2桁)



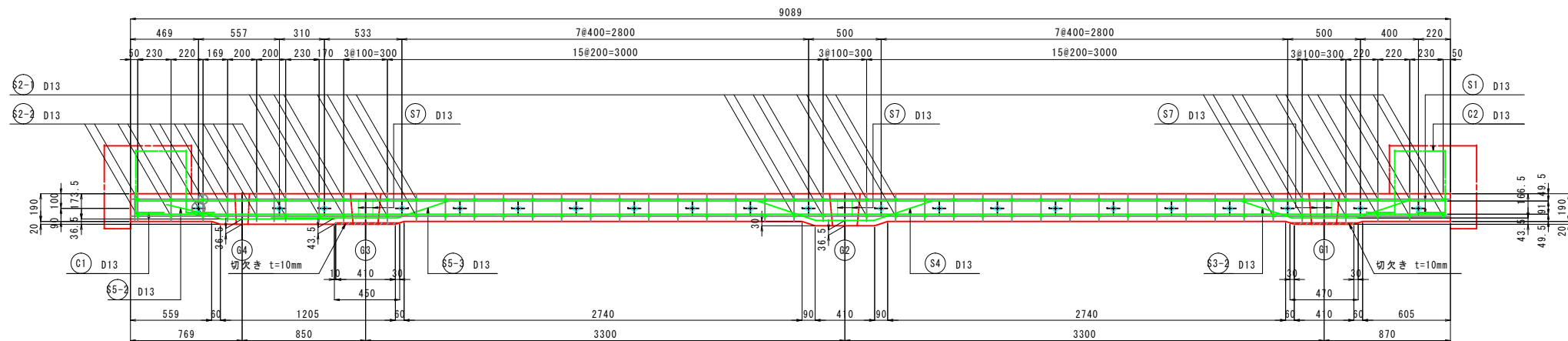
支点部 (G4桁)



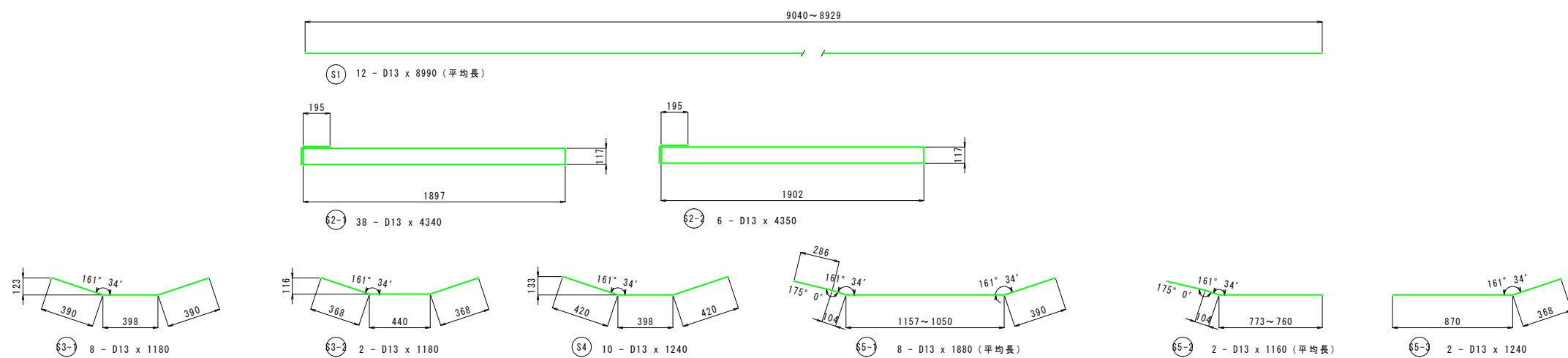
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図 (その9)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	43/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

(1-5 拡幅切欠き版)

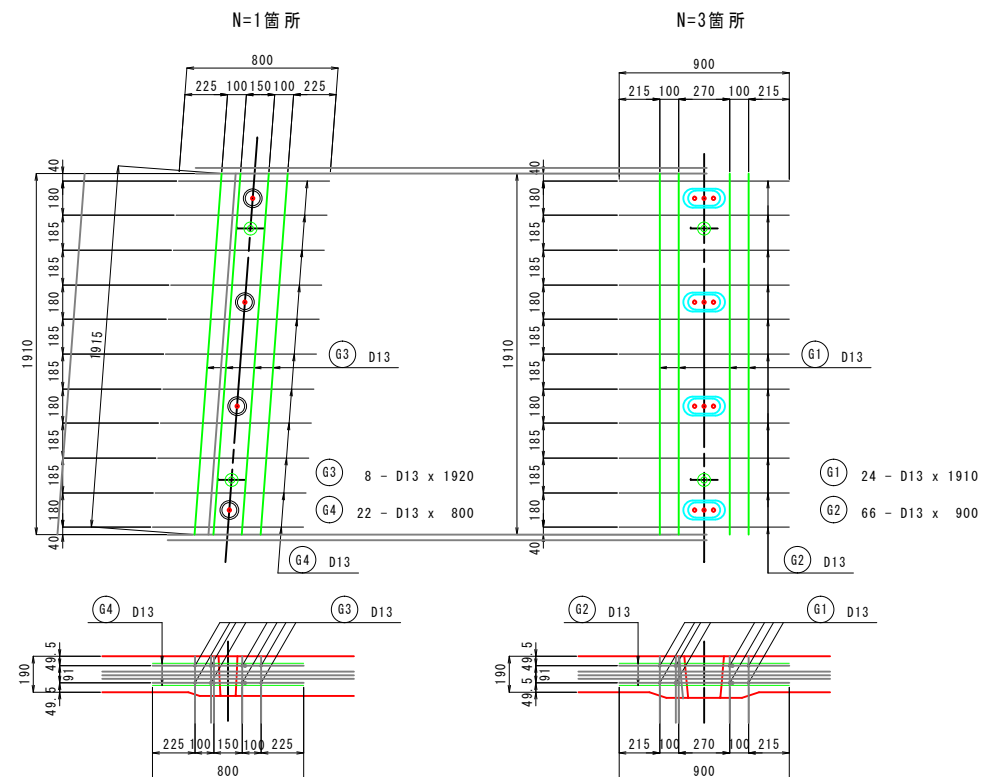
断面図(起点側) S=1:20



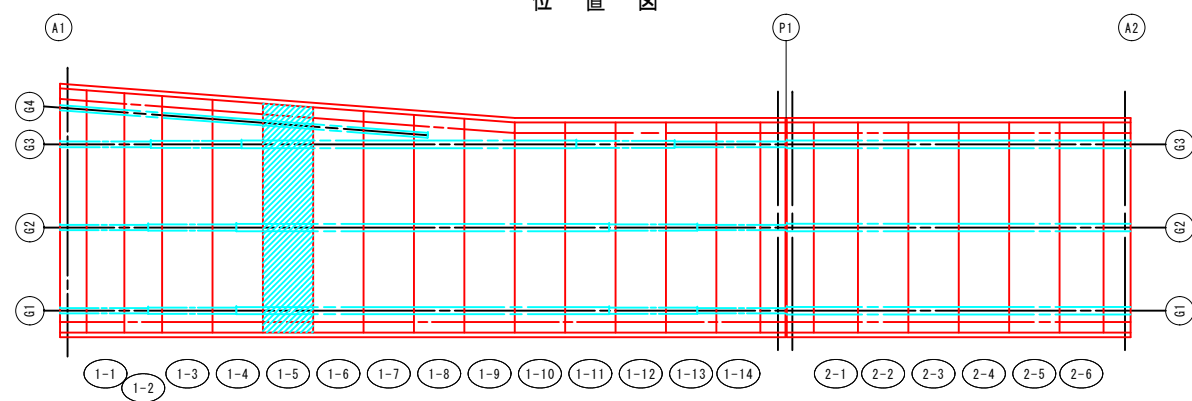
鉄筋加工図 S=1:20




















ジベル孔補強筋 S=1:20



位置図



鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り質量	質量	描 要
S1	D13	8990	12	0.995	8.95	107	 (平均長)
S2-1	φ	4340	38	φ	4.32	164	
S2-2	φ	4350	6	φ	4.33	26	
S3-1	φ	1180	8	φ	1.17	9	
S3-2	φ	1180	2	φ	1.17	2	
S4	φ	1240	10	φ	1.23	12	
S5-1	φ	1880	8	φ	1.87	15	 (平均長)
S5-2	φ	1160	2	φ	1.15	2	 (平均長)
S5-3	φ	1240	2	φ	1.23	2	
S6	φ	390	36	φ	0.39	14	
S7	φ	220	12	φ	0.22	3	
356 kg							
G1	D13	1910	24	0.995	1.90	46	
G2	φ	900	66	φ	0.90	59	
G3	φ	1920	8	φ	1.91	15	
G4	φ	800	22	φ	0.80	18	
138 kg							
G1	D13	1610	8	0.995	1.60	13	
G2	φ	1680	8	φ	1.67	13	 (平均長)
26 kg							
合 計 D13						520	kg

注1):コンクリート設計基準強度  $\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$ 。

注2):使用鉄筋 SD345。

工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2層プレキャスト PC床版配筋図 (その10)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	44/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

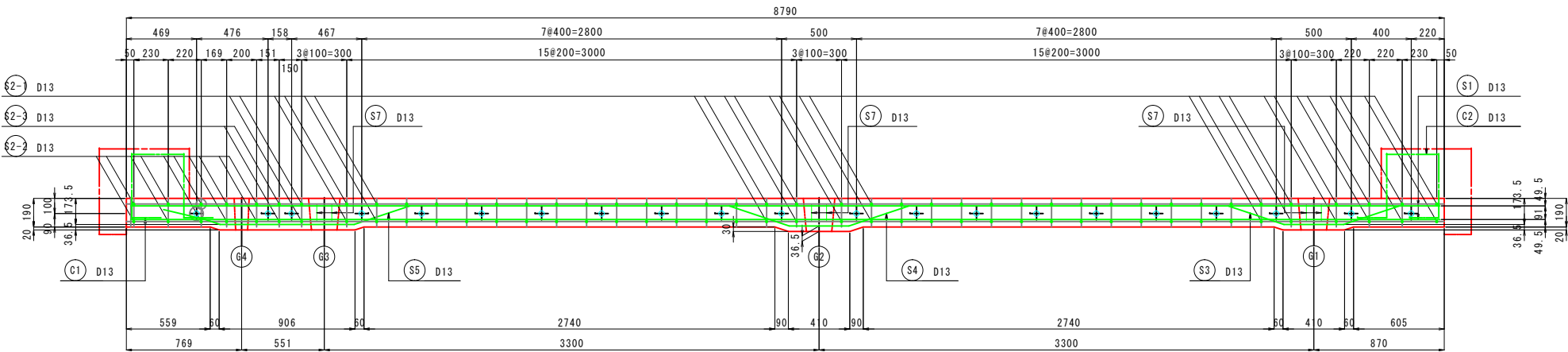


高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その11)

(1-6拡幅版)

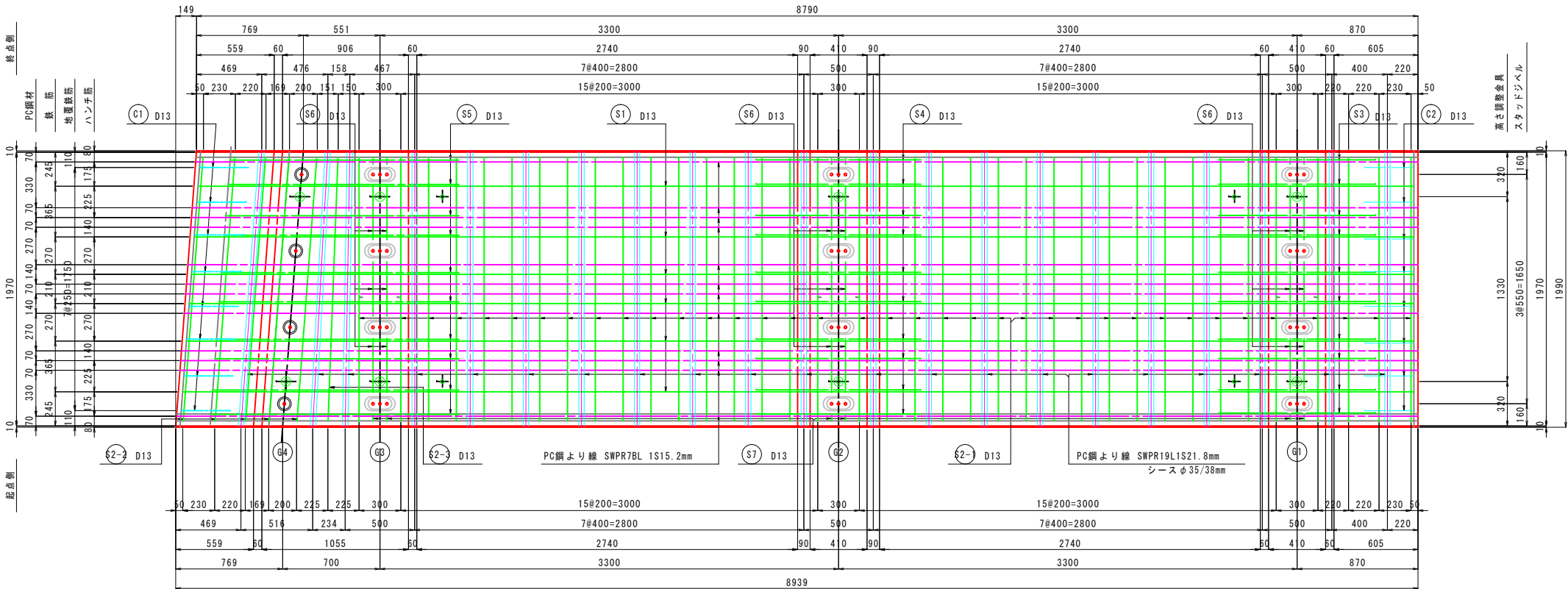
断面図(終点側)

S=1:20



平面図

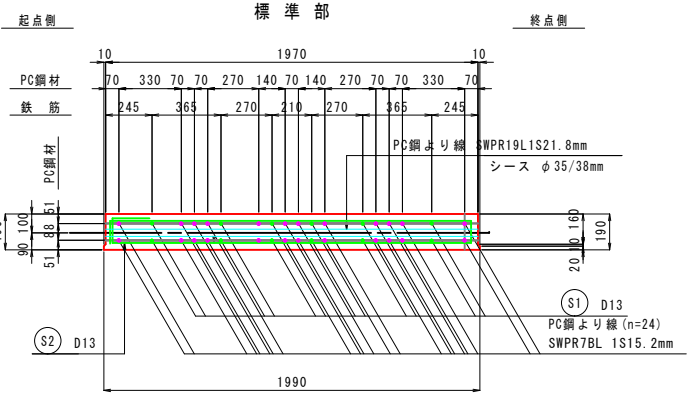
S=1:20



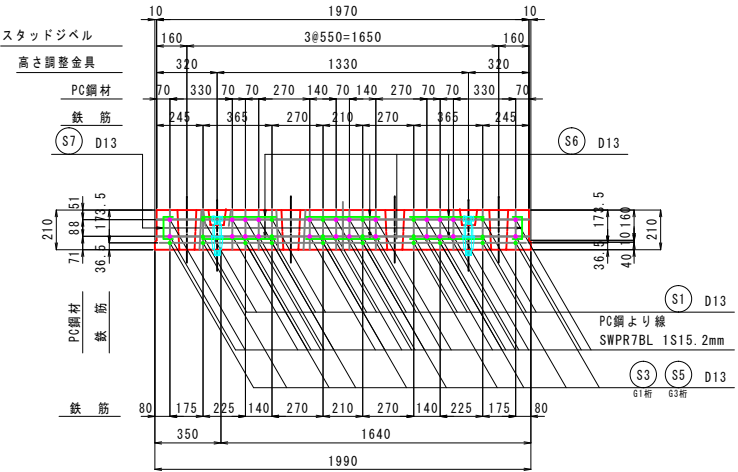
注: 地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対処する。

側面図

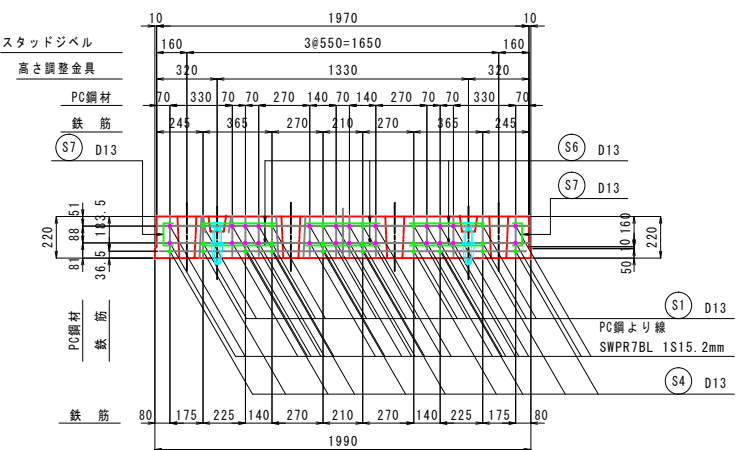
S=1:20



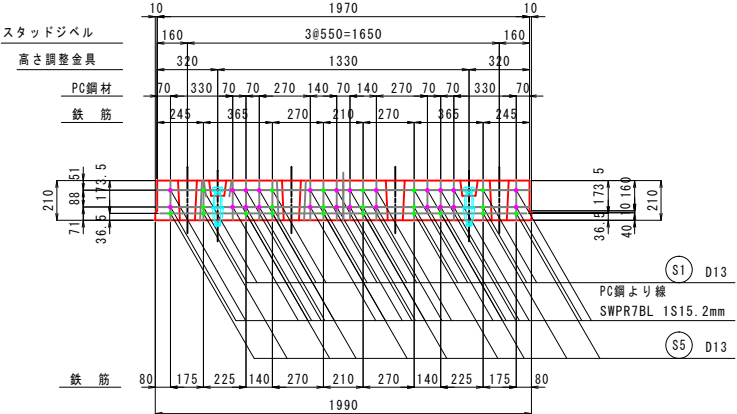
支点部 (G1, G3桁)



支点部 (G2桁)

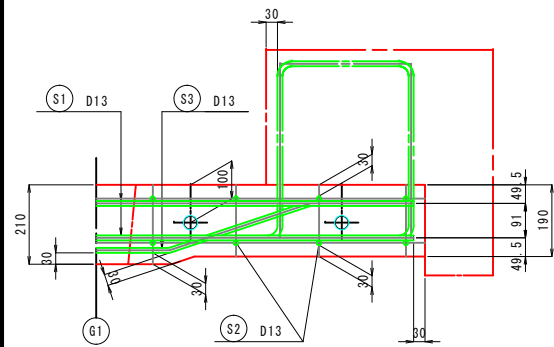


支点部 (G4桁)

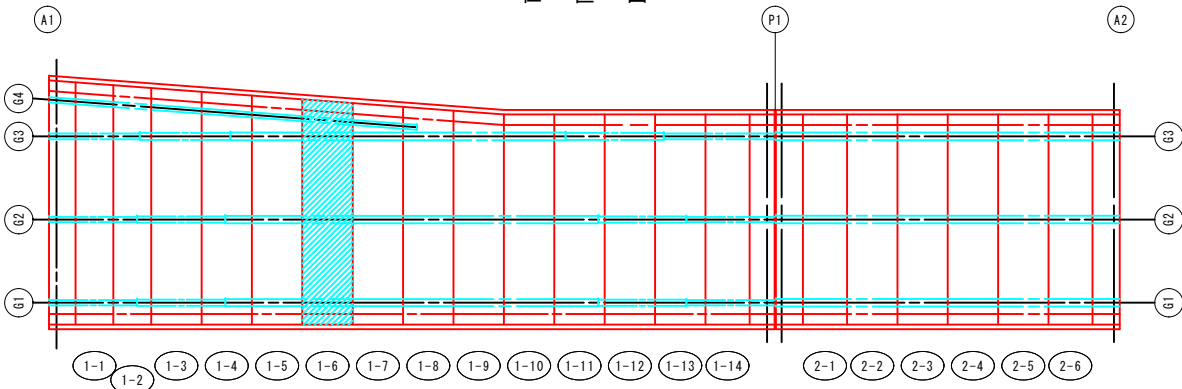


かぶり詳細図

S=1:10

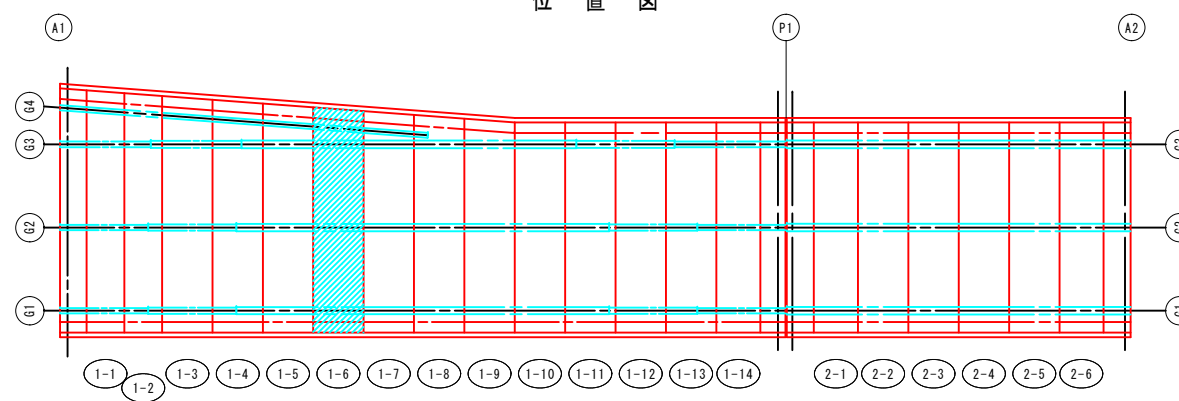
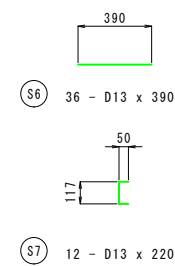


位置図



(1-6 扩幅版)

S=1 : 20



(版1枚当り)

注1):コンクリート設計基準強度  $\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$ 。

注2): 使用鉄筋 SD345。

工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	高強度軽量2種プレキャスト PC床版配筋図（その12）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	46/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その13)

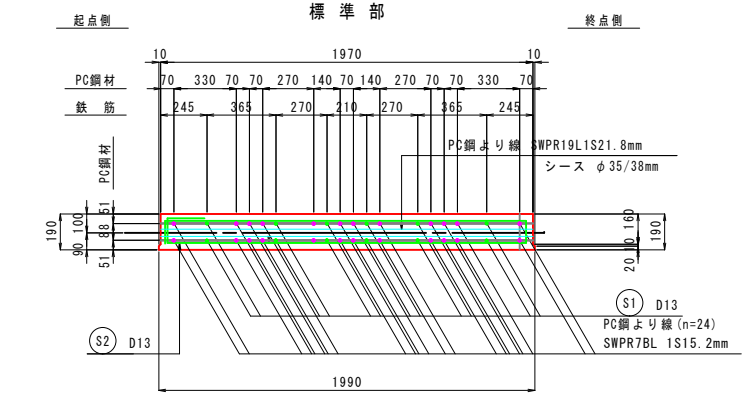
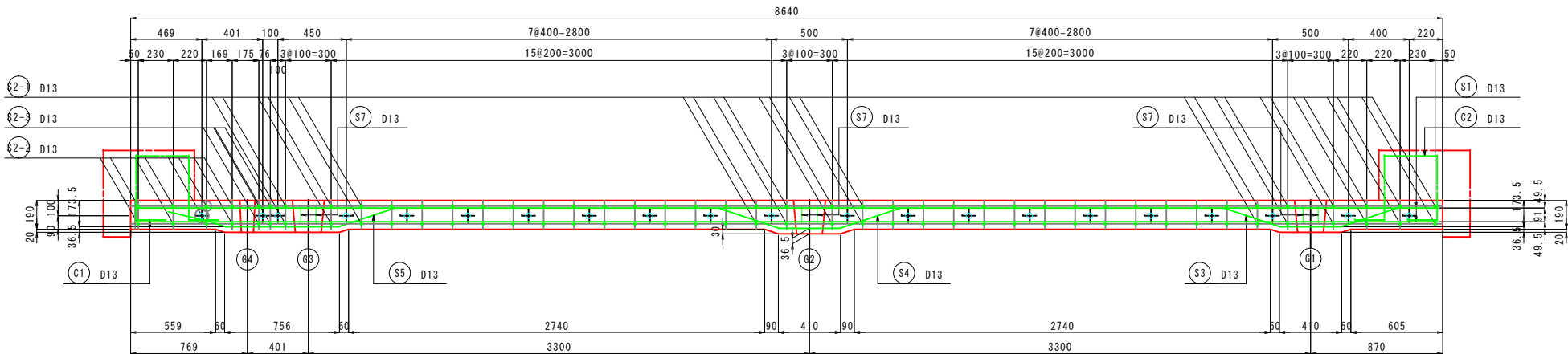
(1-7拡幅版)

断面図(終点側)

S=1:20

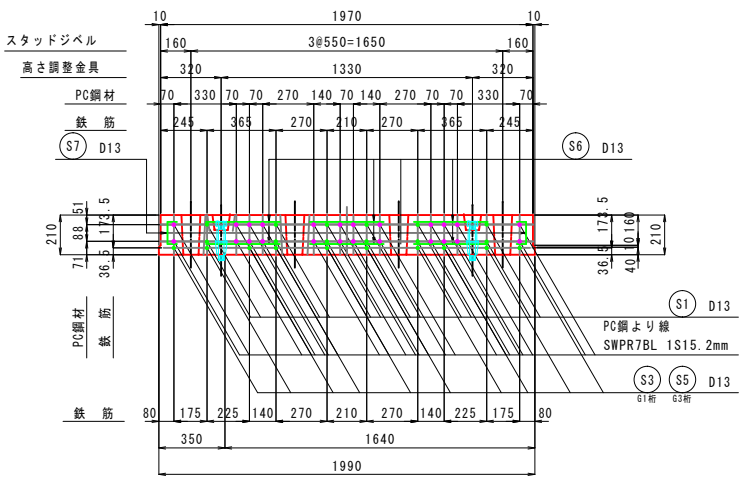
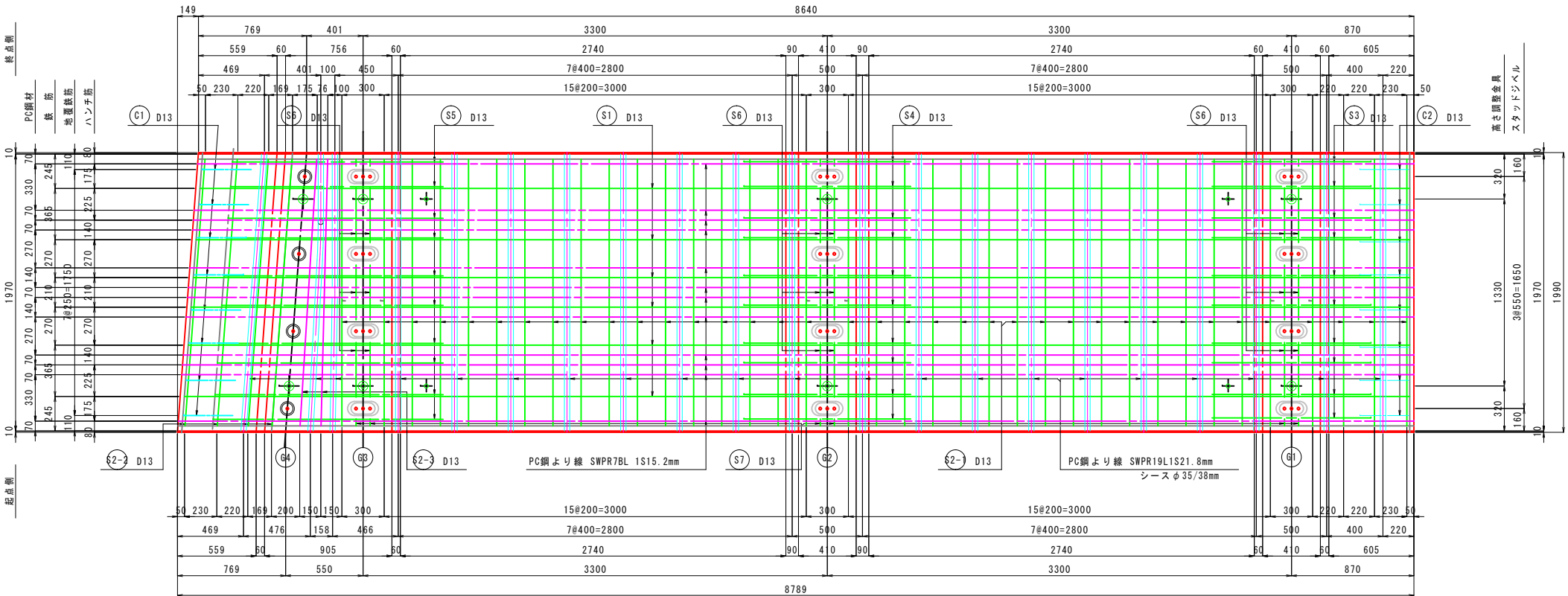
側面図

S=1:20

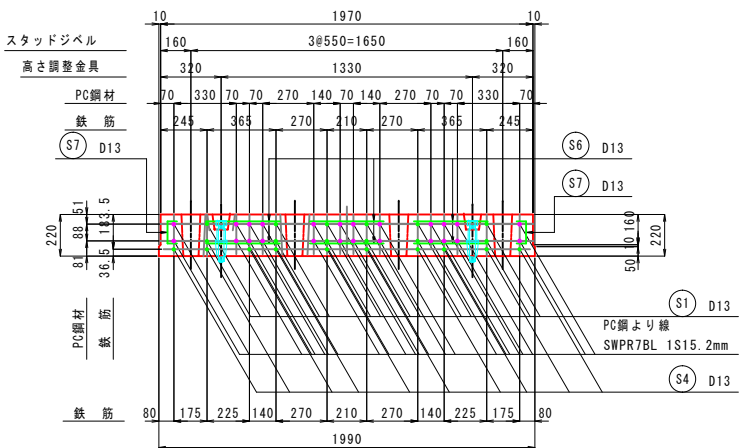


平面図

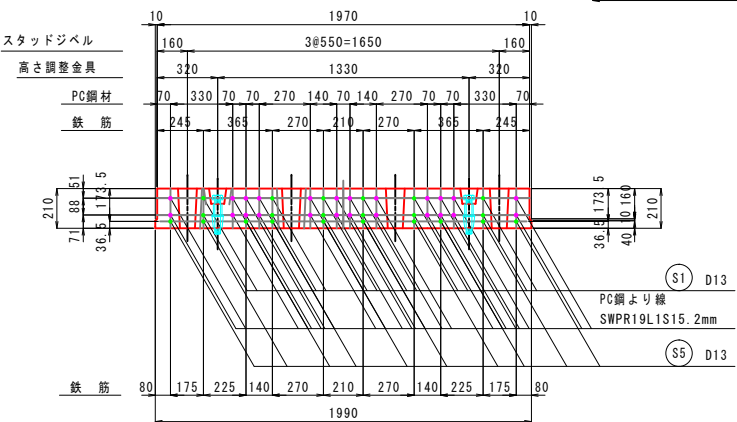
S=1:20



支点部(G2桁)

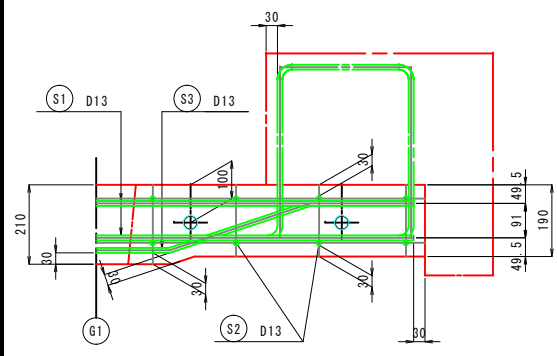


支点部(G4桁)

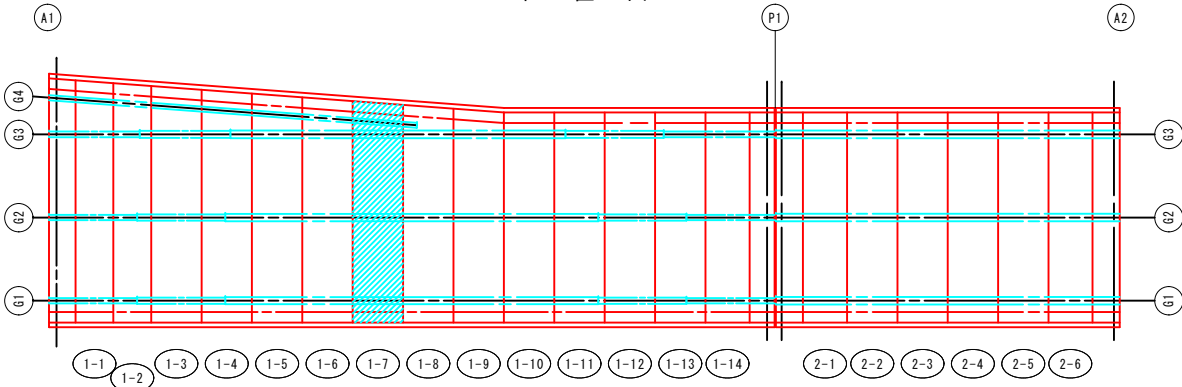


かぶり詳細図

S=1:10



位置図



工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その13)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	47/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		



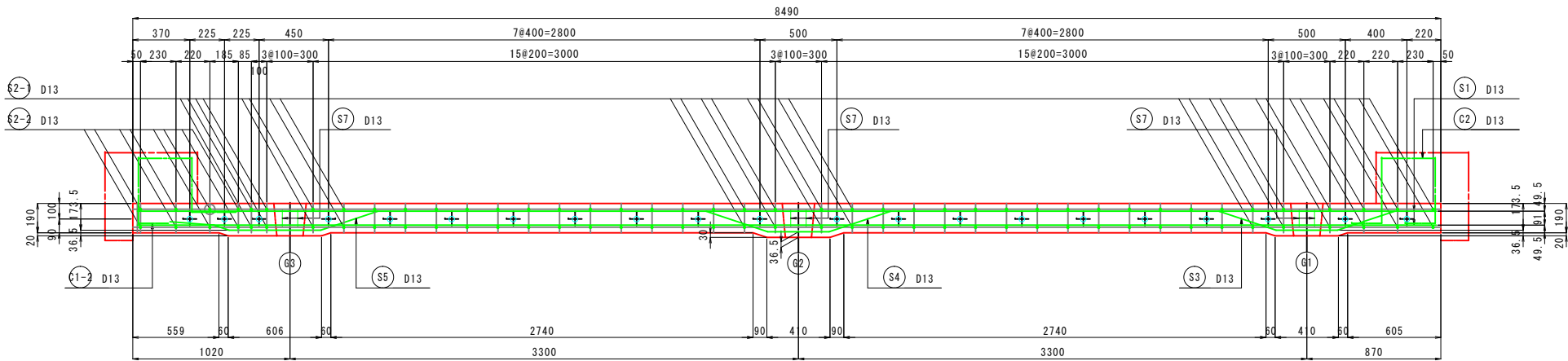


高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その15)

(1-8拡幅版)

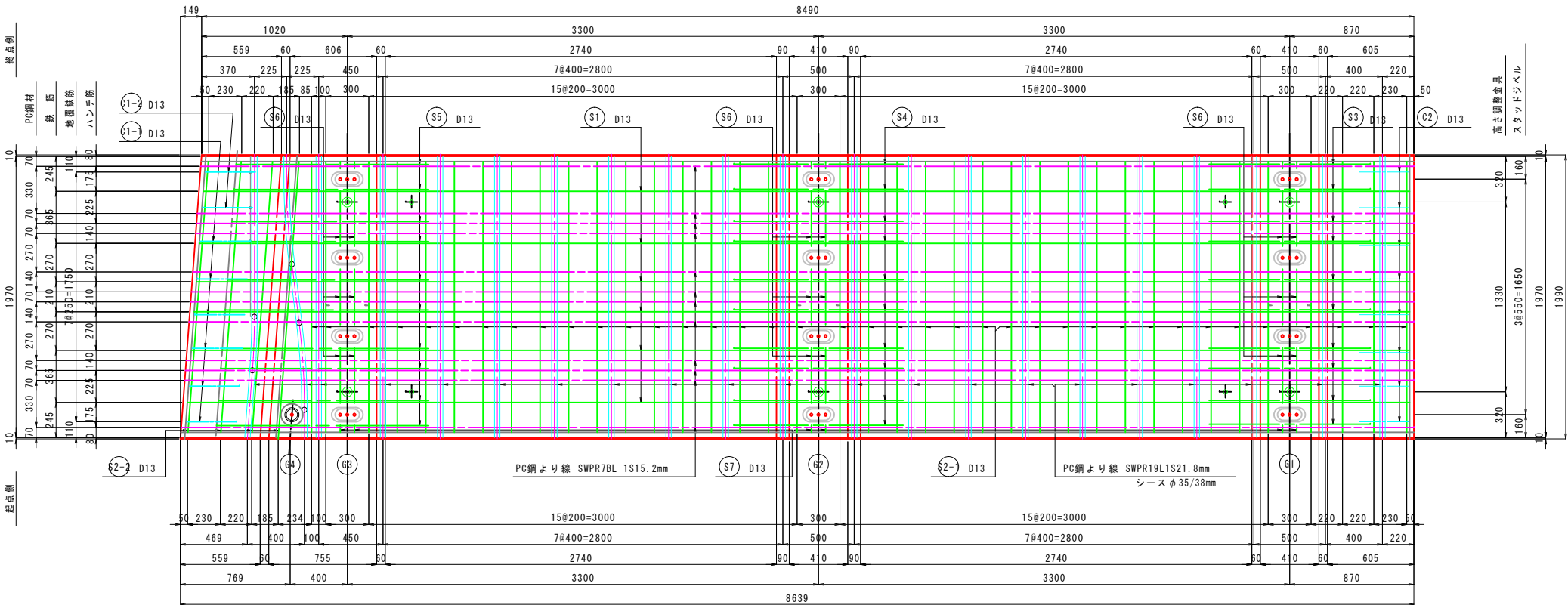
断面図(終点側)

S=1:20



平面図

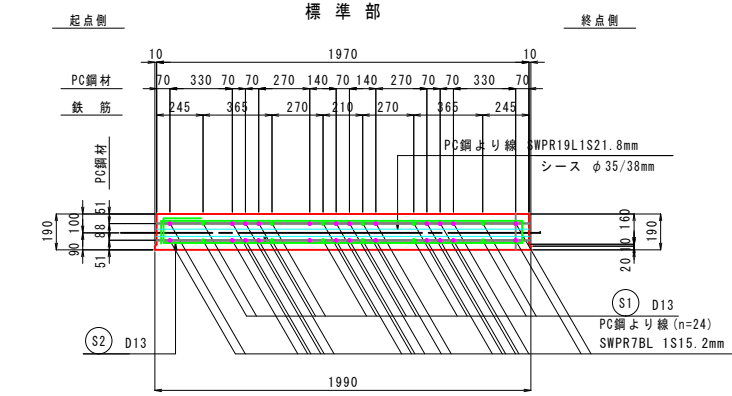
S=1:20



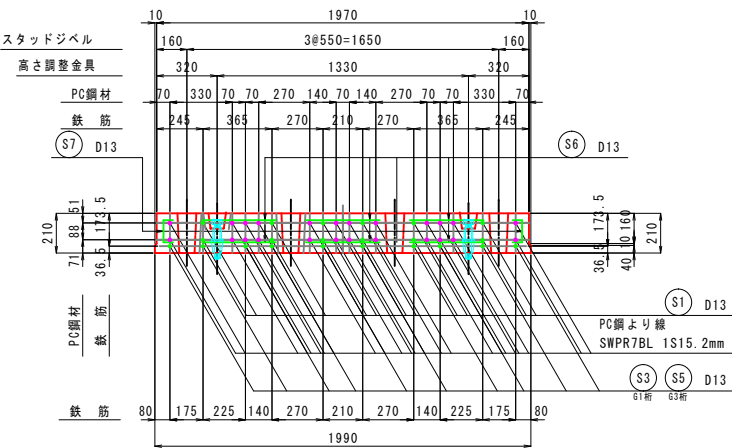
注：地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対処する。

側面図

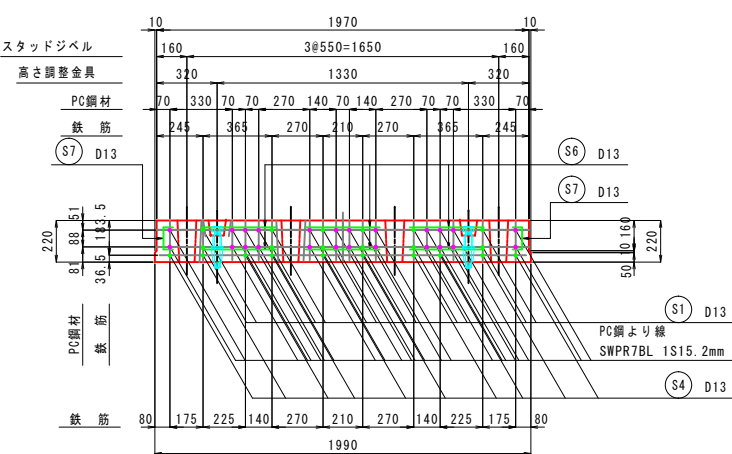
S=1:20



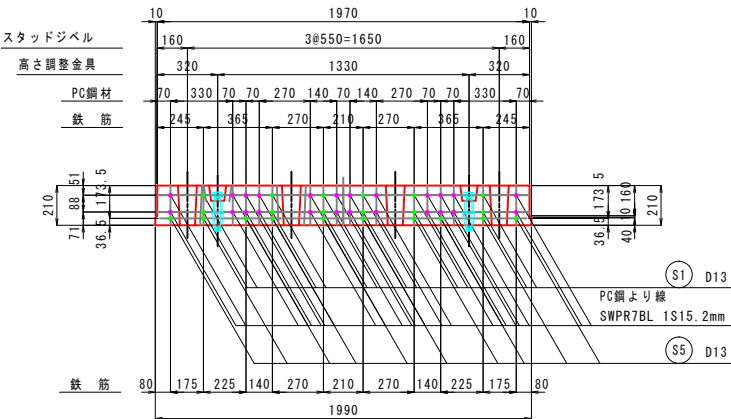
支点部 (G1, G3桁)



支点部 (G2桁)

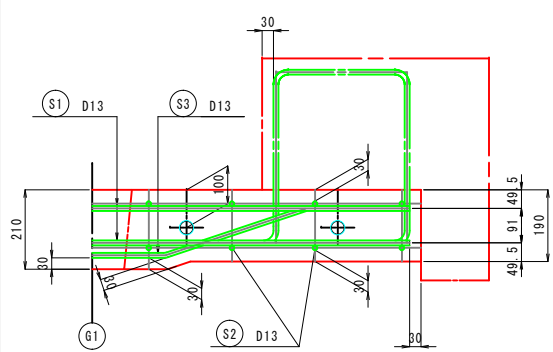


支点部 (G4桁)

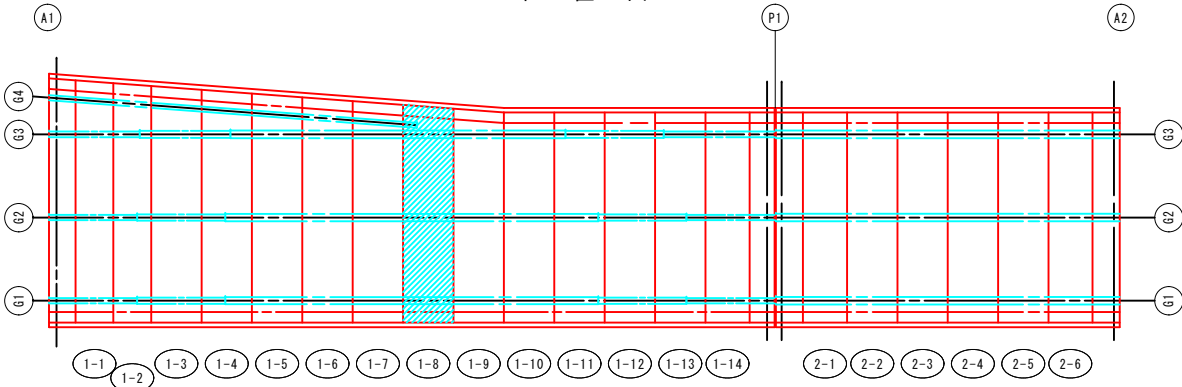


かぶり詳細図

S=1:10



位置図

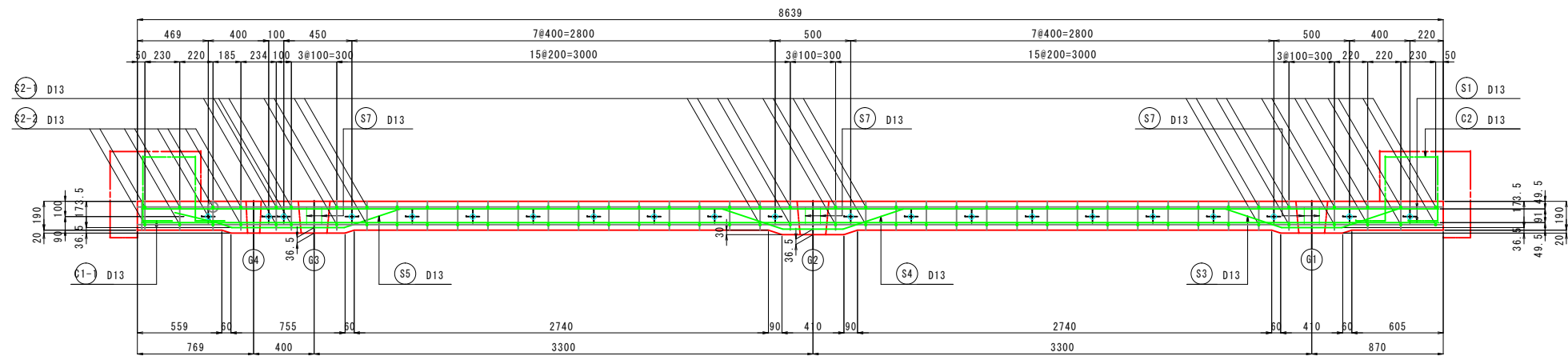


工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その15)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	49/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

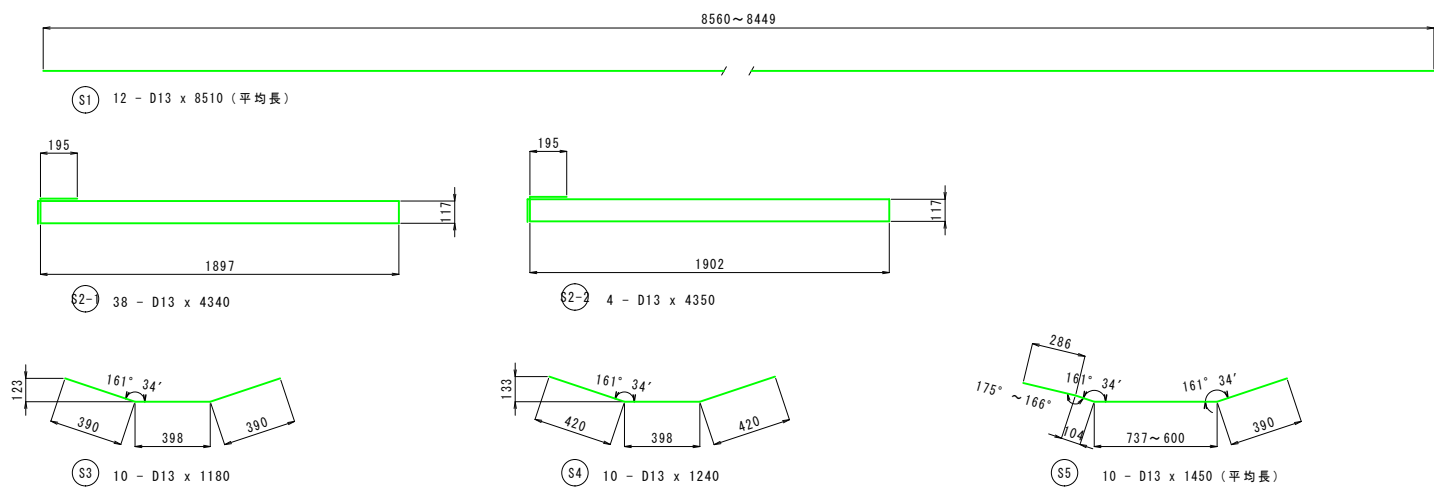
高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その16)

(1-8拡張版)

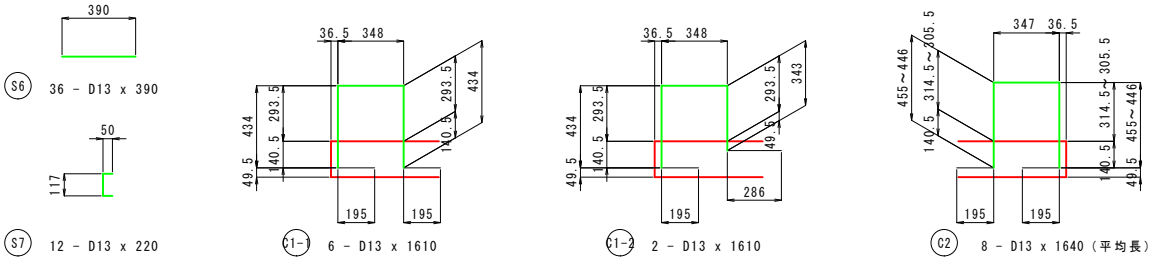
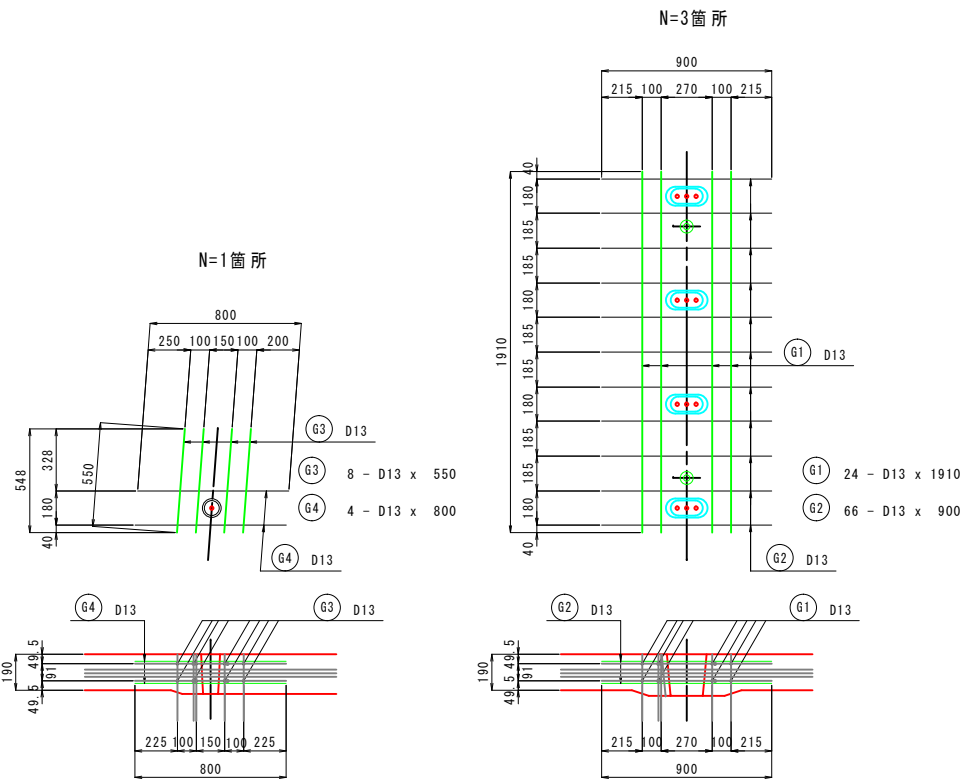
断面図(起点側) S=1:20



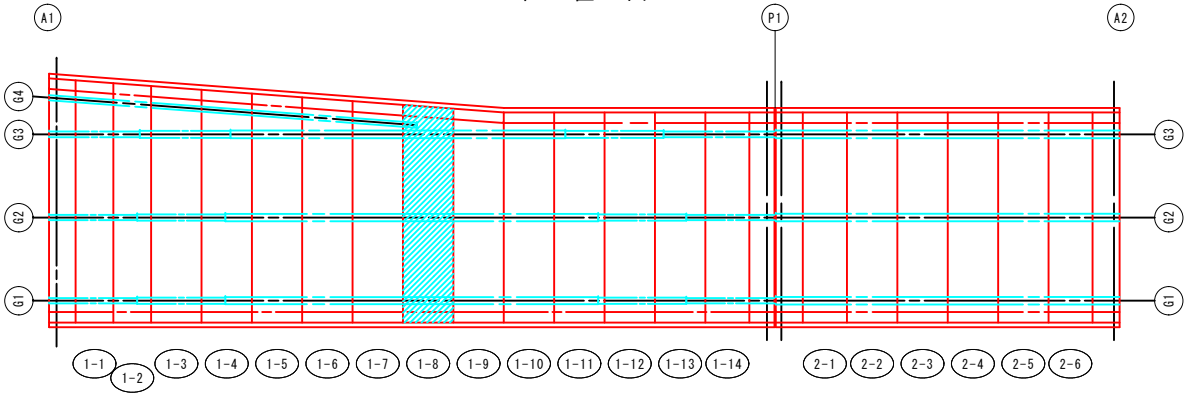
鉄筋加工図 S=1:20



ジベル孔補強筋 S=1:20



位置図



鉄筋表

(板1枚当り)						
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り質量	質量
S1	D13	8510	12	0.995	8.47	102
S2-1	〃	4340	38	〃	4.32	164
S2-2	〃	4350	4	〃	4.33	17
S3	〃	1180	10	〃	1.17	12
S4	〃	1240	10	〃	1.23	12
S5	〃	1450	10	〃	1.44	14
S6	〃	390	36	〃	0.39	14
S7	〃	220	12	〃	0.22	3
					338 kg	
G1	D13	1910	24	0.995	1.90	46
G2	〃	900	66	〃	0.90	59
G3	〃	550	8	〃	0.55	4
G4	〃	800	4	〃	0.80	3
					112 kg	
C1-1	D13	1610	6	0.995	1.60	10
C1-2	〃	1610	2	〃	1.60	3
C2	〃	1640	8	〃	1.63	13
					26 kg	
					合計 D13	476 kg

注1):コンクリート設計基準強度  $\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$ .

注2):使用鉄筋 SD345.

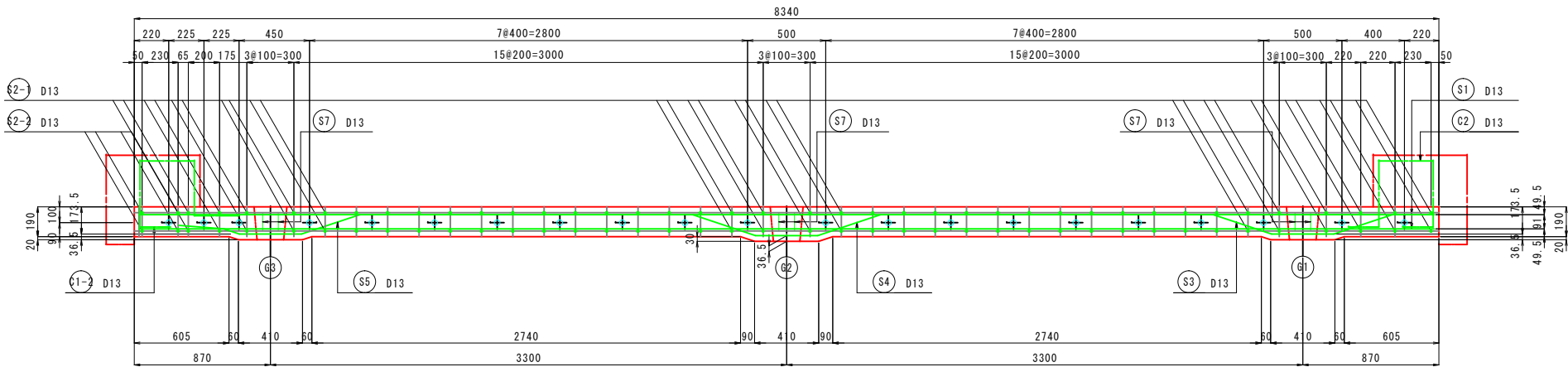
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その16)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	50/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業所名	甲府市		

高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その17)

(1-9拡幅版)

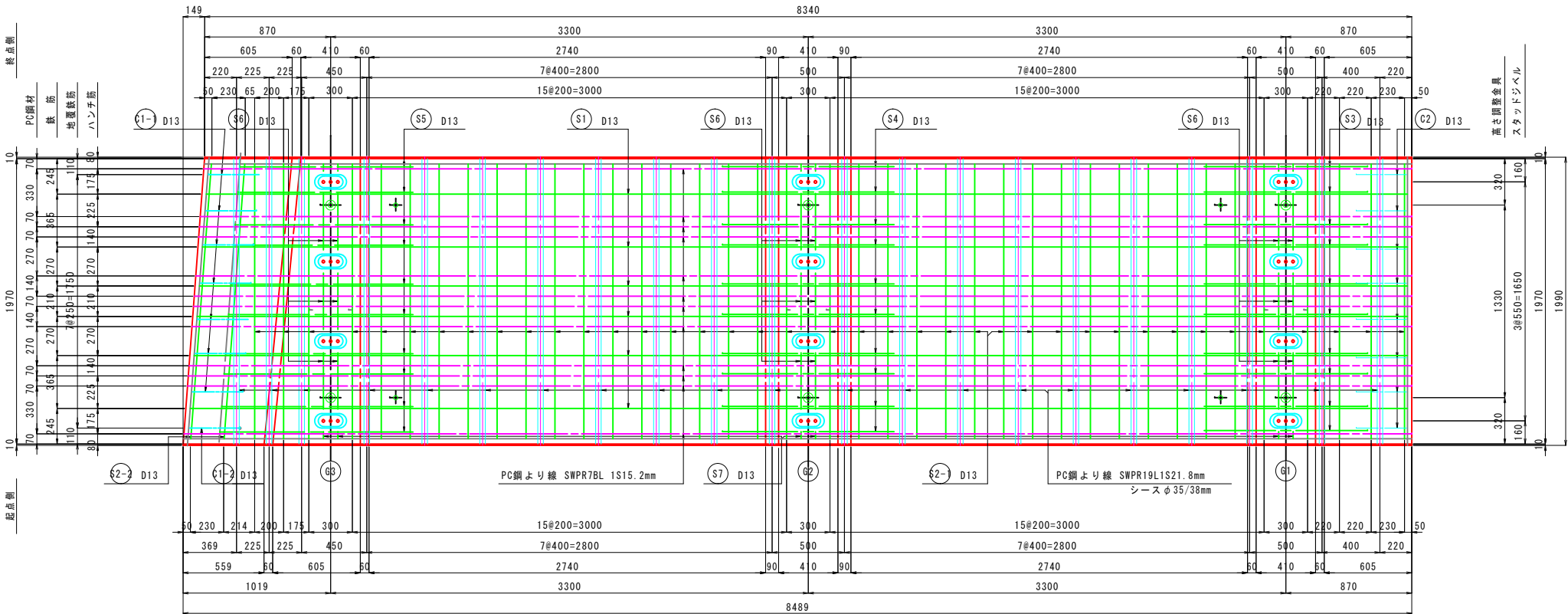
断面図(終点側)

S=1:20



平面図

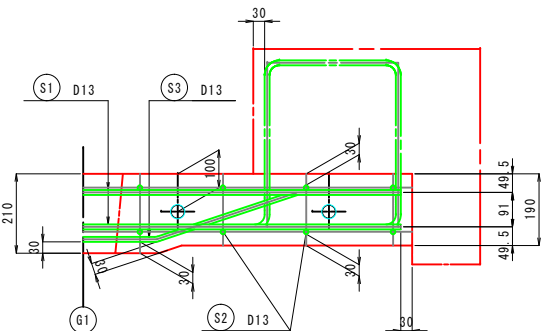
S=1:20



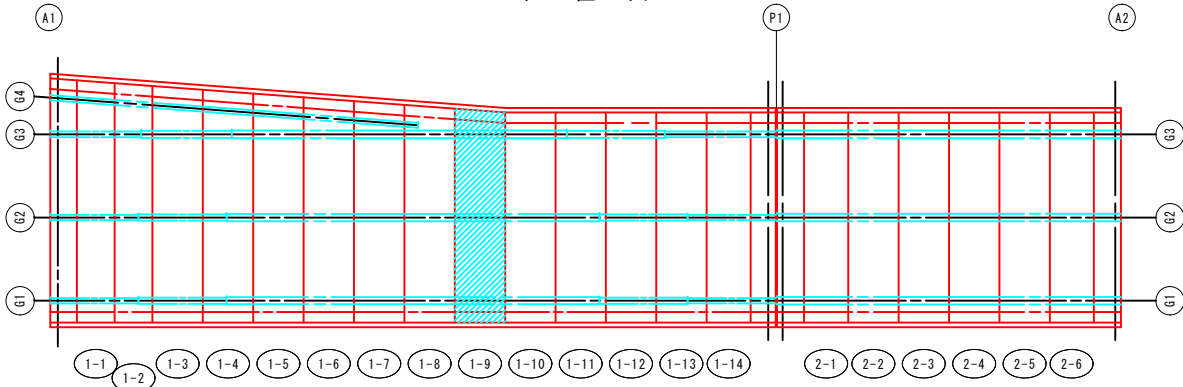
注：地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対処する。

かぶり詳細図

S=1:10

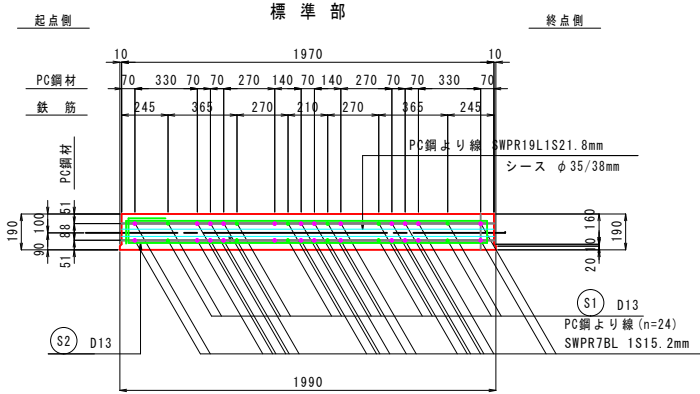


位置図

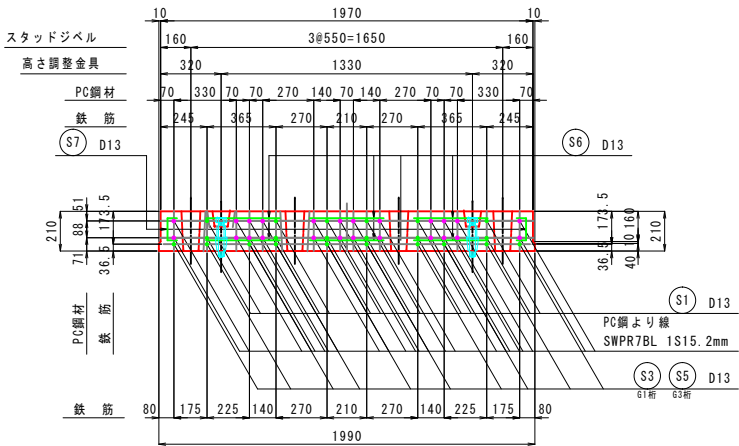


側面図

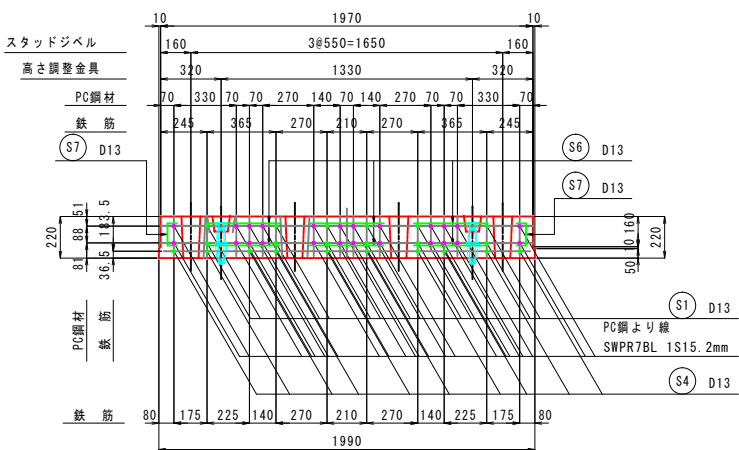
S=1:20



支点部 (G1, G3桁)



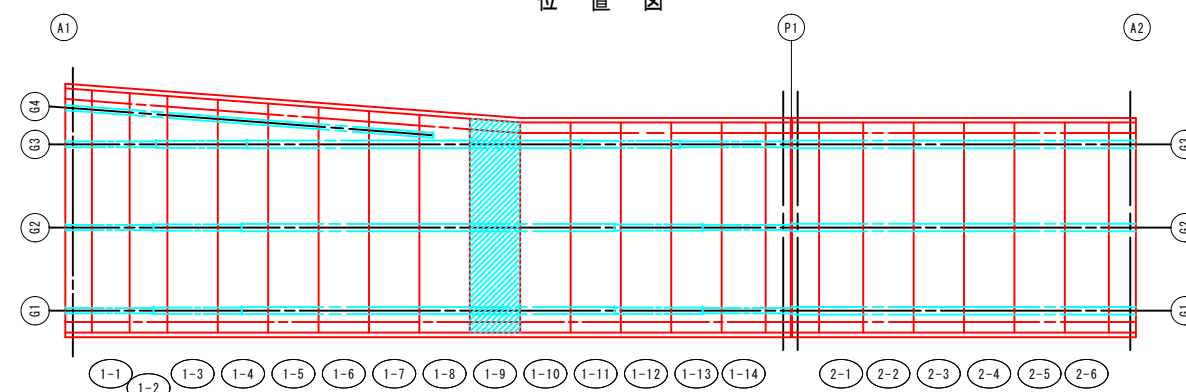
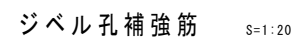
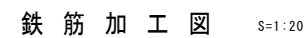
支点部 (G2桁)



工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その17)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	51/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

(1-9 扩幅版)

S=1 : 20



(版1枚当り)

注1):コンクリート設計基準強度  $\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$ 。

注2):使用鉄筋 SD345。

工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	高強度軽量2種プレキャスト PC床版配筋図（その18）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1/20	図面番号	52/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

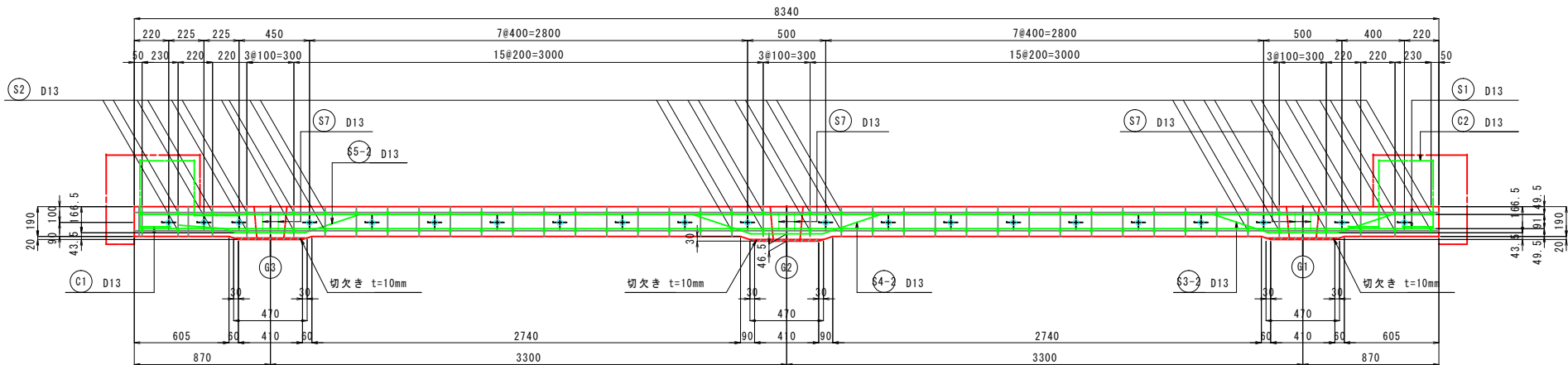


高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その19)

(1-10切欠き版)

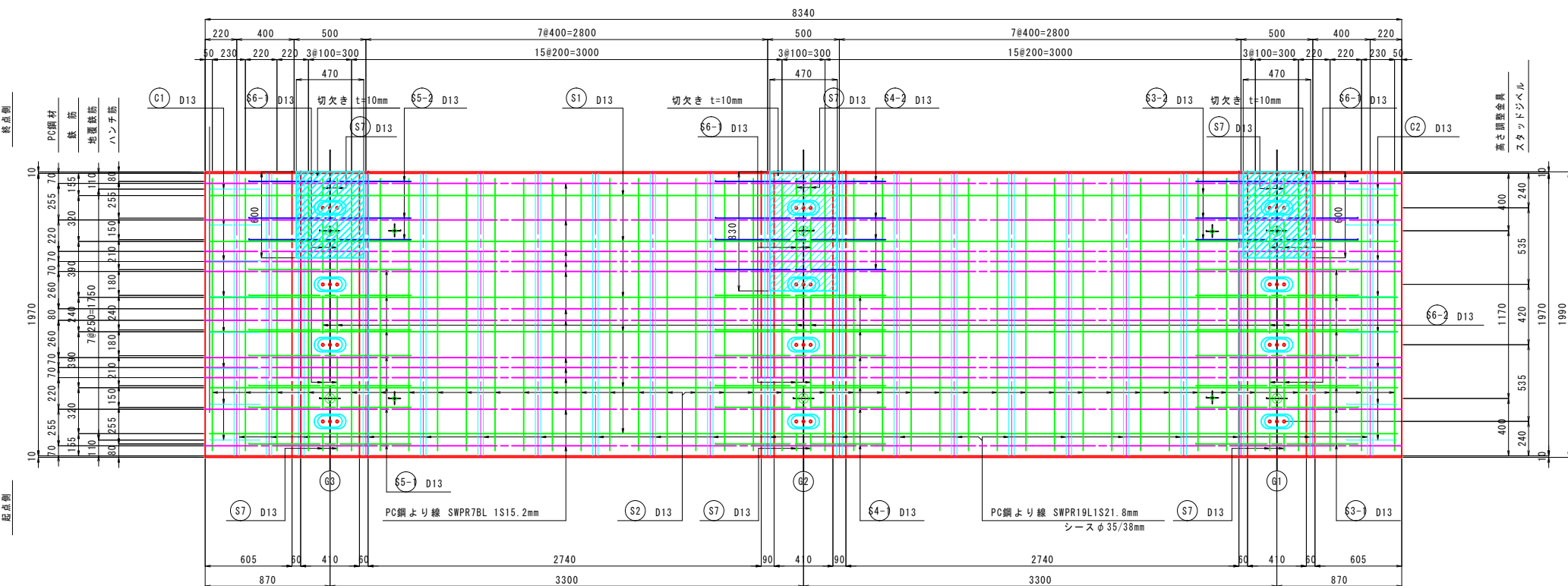
断面図(終点側)

S=1:20



平面図

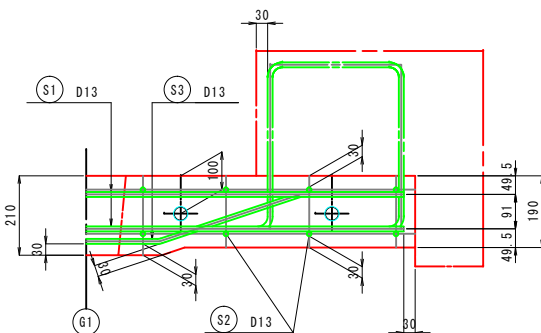
S=1:20



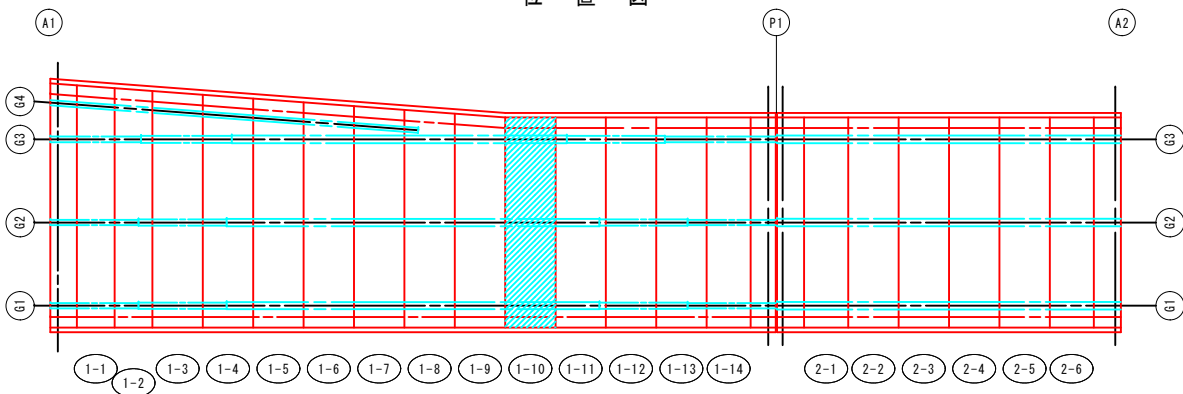
注: 地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対応する。

かぶり詳細図

S=1:10

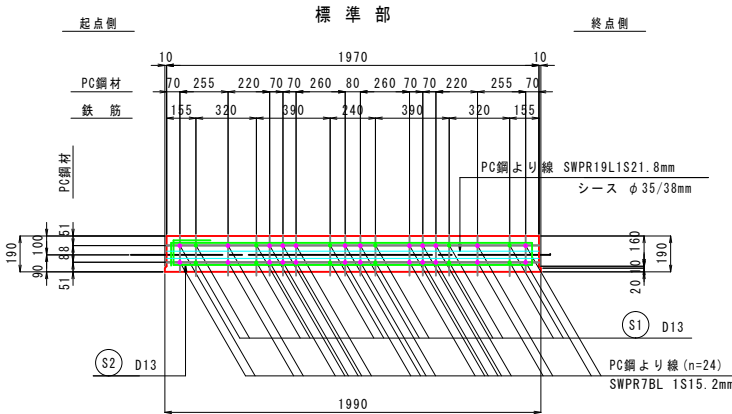


位置図

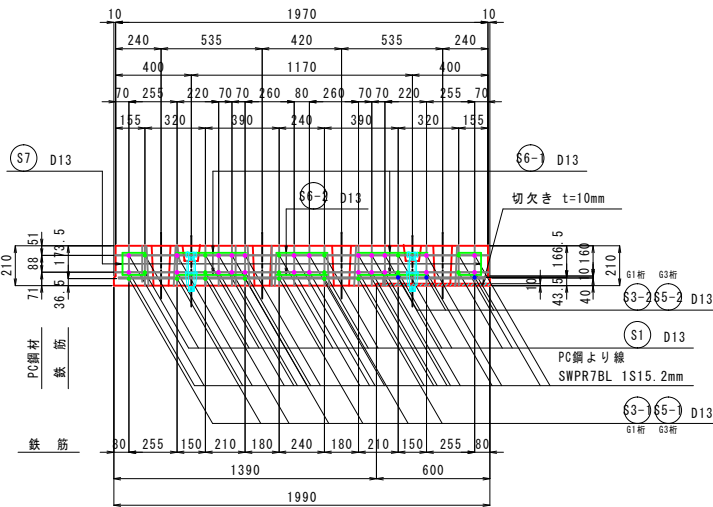


側面図

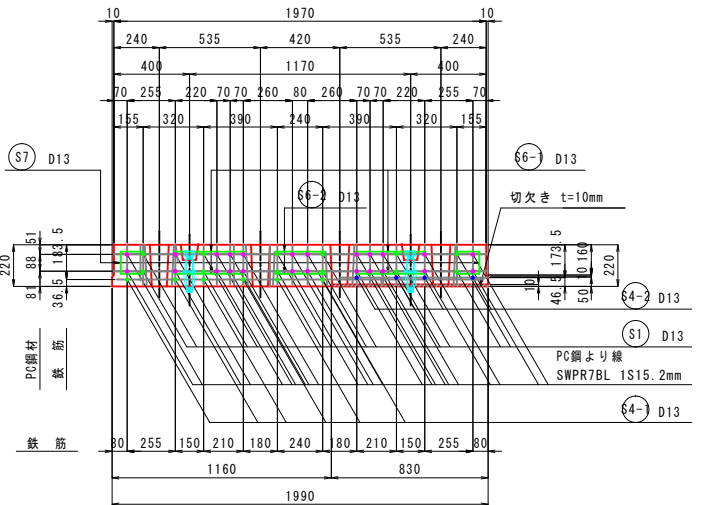
S=1:20



支点部 (G1, G3桁)



支点部 (G2桁)

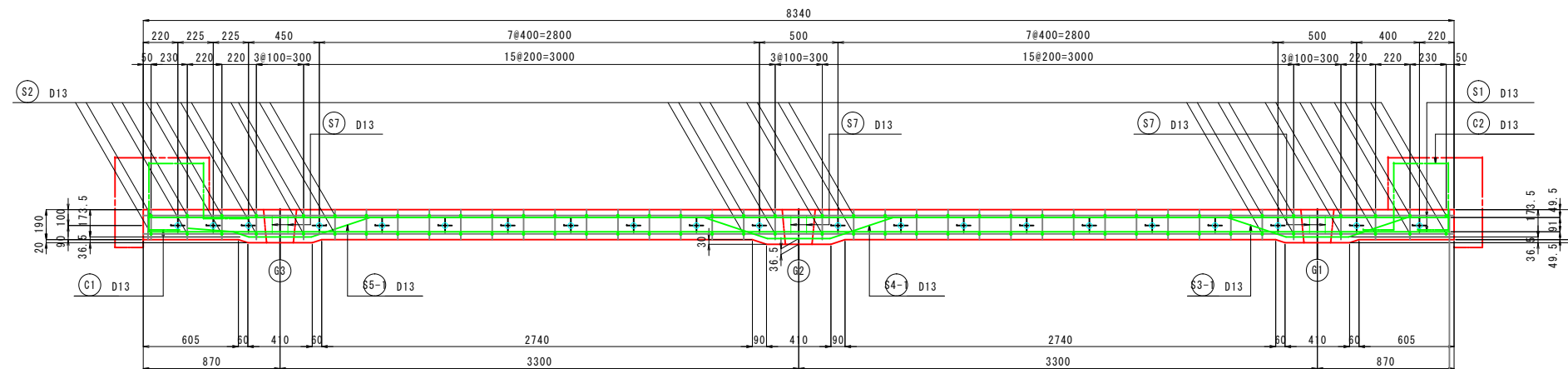


工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その19)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	53/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		



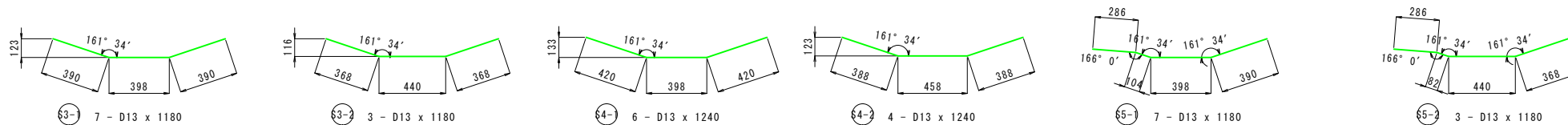
(1-10切欠き版)

断面図(起点側) S=1:20



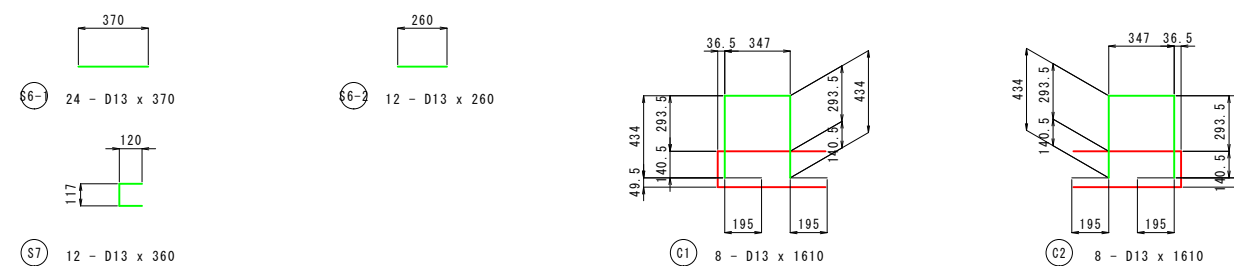
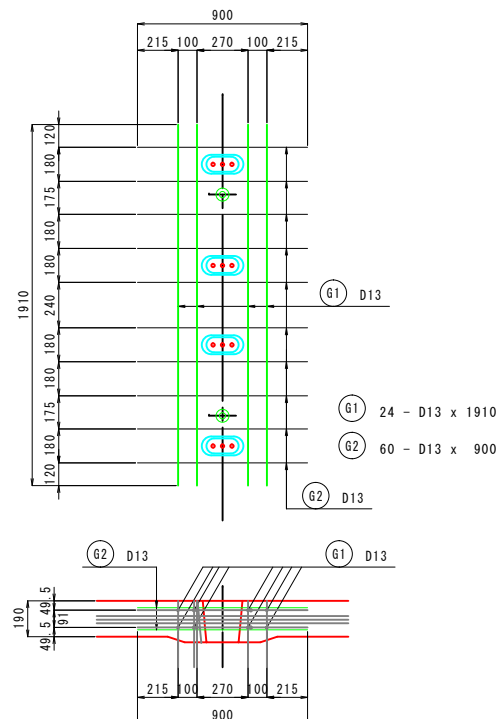
鉄筋加工図 S=1:20

(S2) 40 - D13 x 4340

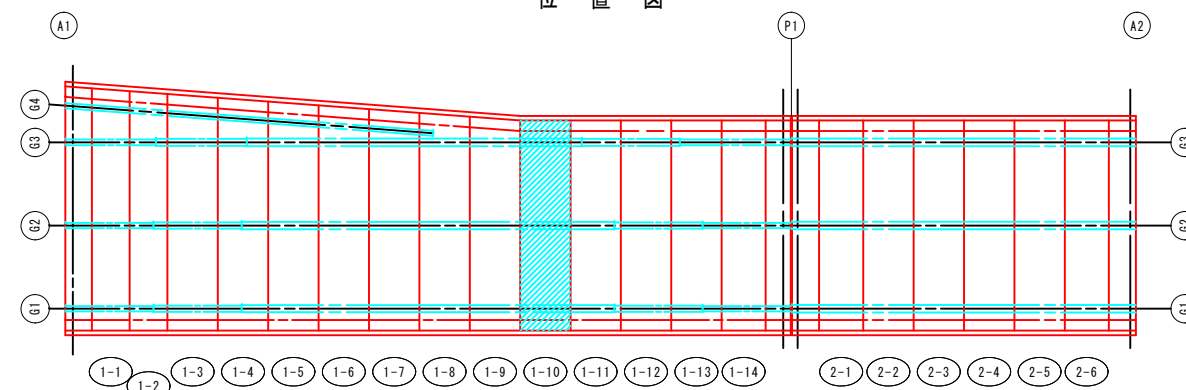


ジベル孔補強筋 S=1:20

N=3箇所



位置図



鉄筋表

(版1枚当り)

[illegible]

注1):コンクリート設計基準強度  $\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$ 。

注2): 使用鉄筋 SD345。

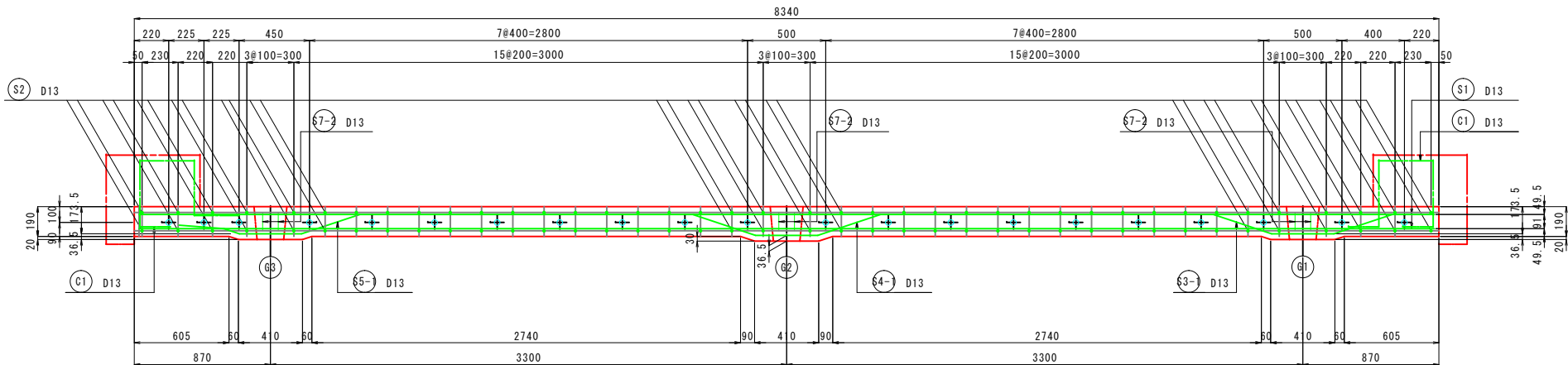
工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	高強度軽量2層プレキャスト PC床版配筋図（その20）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	54/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その21)

(1-11切欠き版)

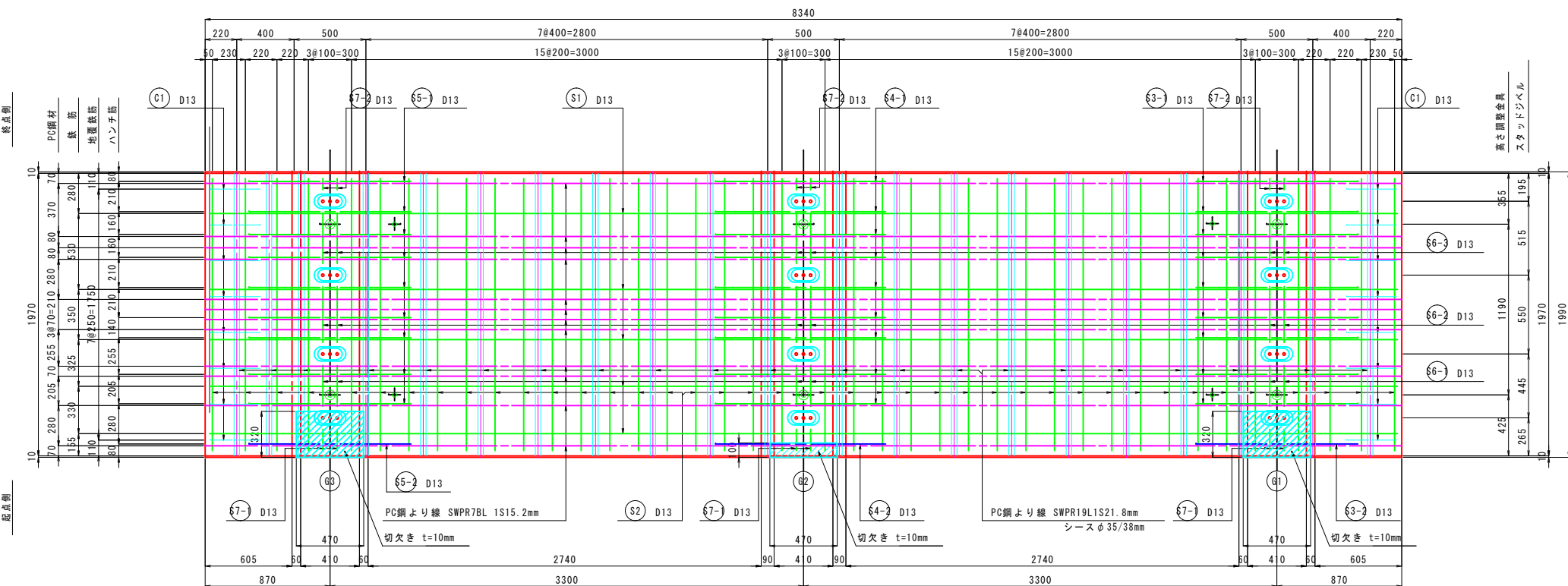
断面図(終点側)

S=1:20



平面図

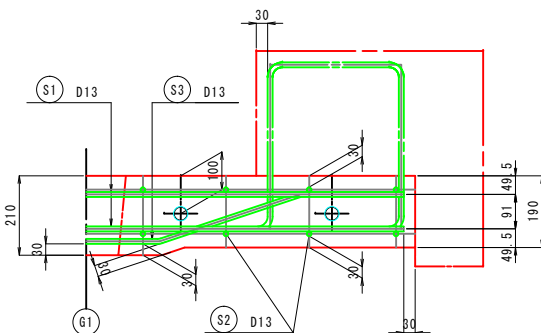
S=1:20



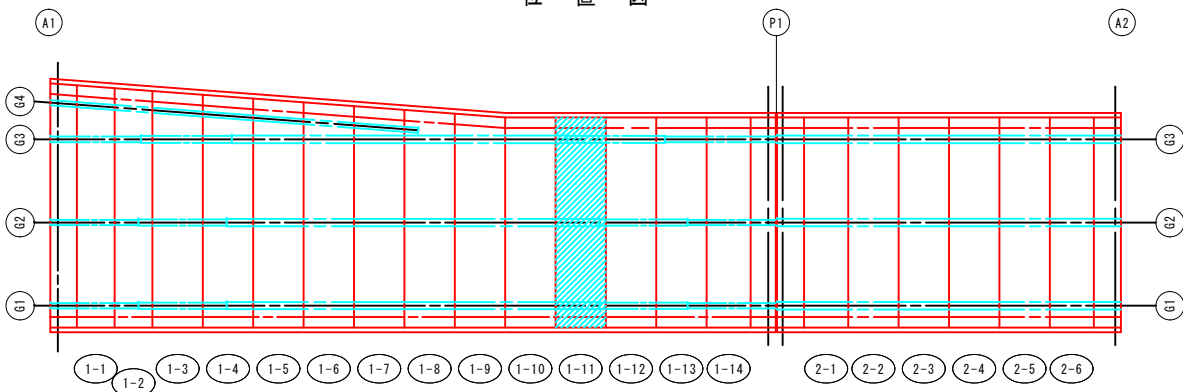
注: 地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対応する。

かぶり詳細図

S=1:10

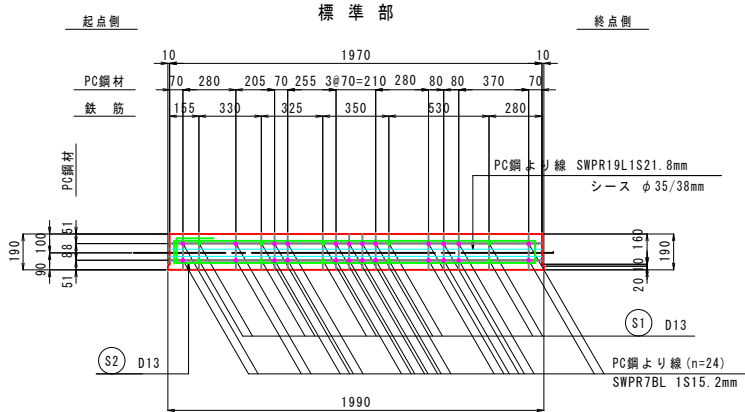


位置図

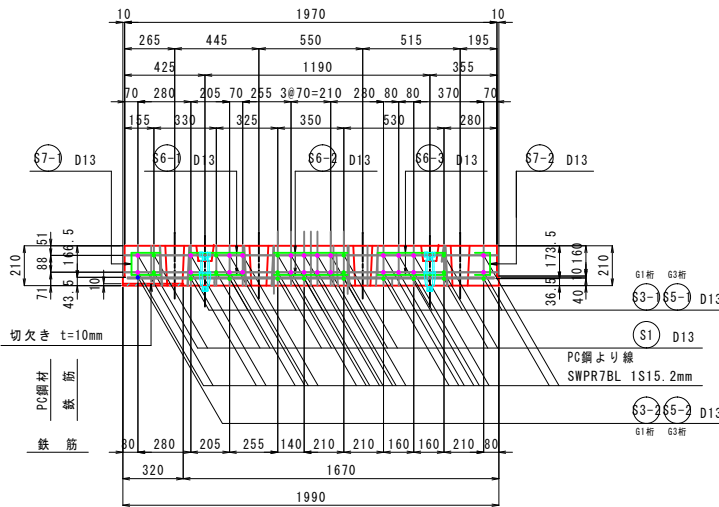


側面図

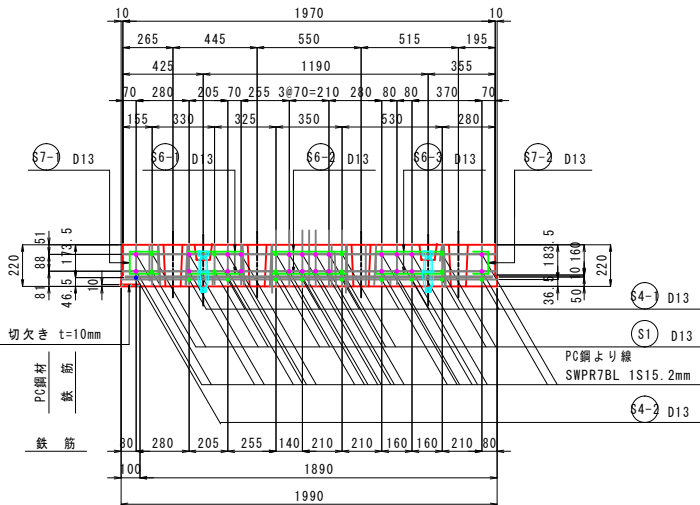
S=1:20



支点部 (G1, G3桁)



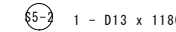
支点部 (G2桁)



工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その21)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	55/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業所名	甲府市		

(1-11切欠き版)

S=1 : 20



S=1:20

[illegible]

(版1枚当り)

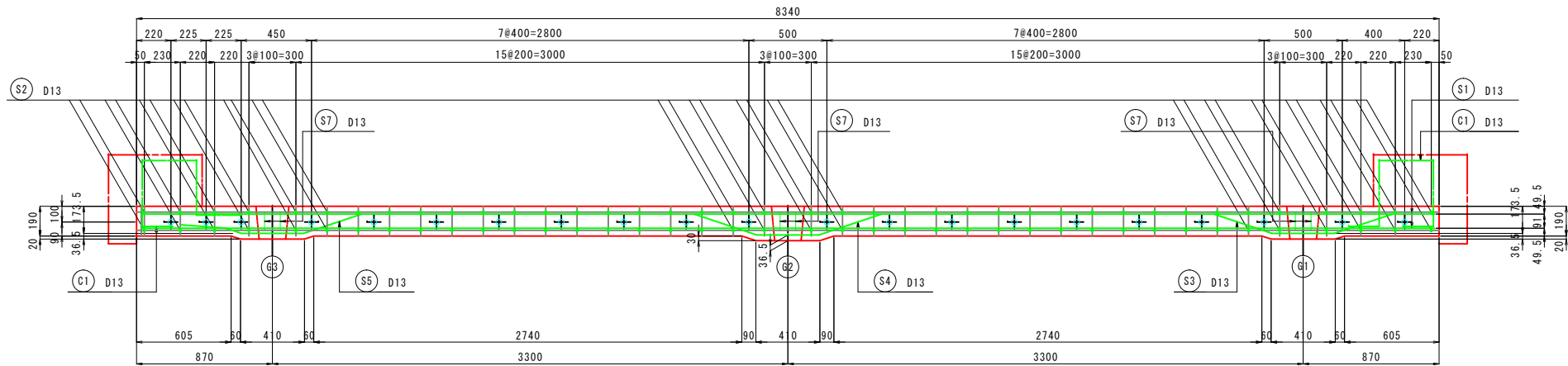
注2): 使用鉄筋 SD345。

工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャスト PC床版配筋図 (その22)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	56/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

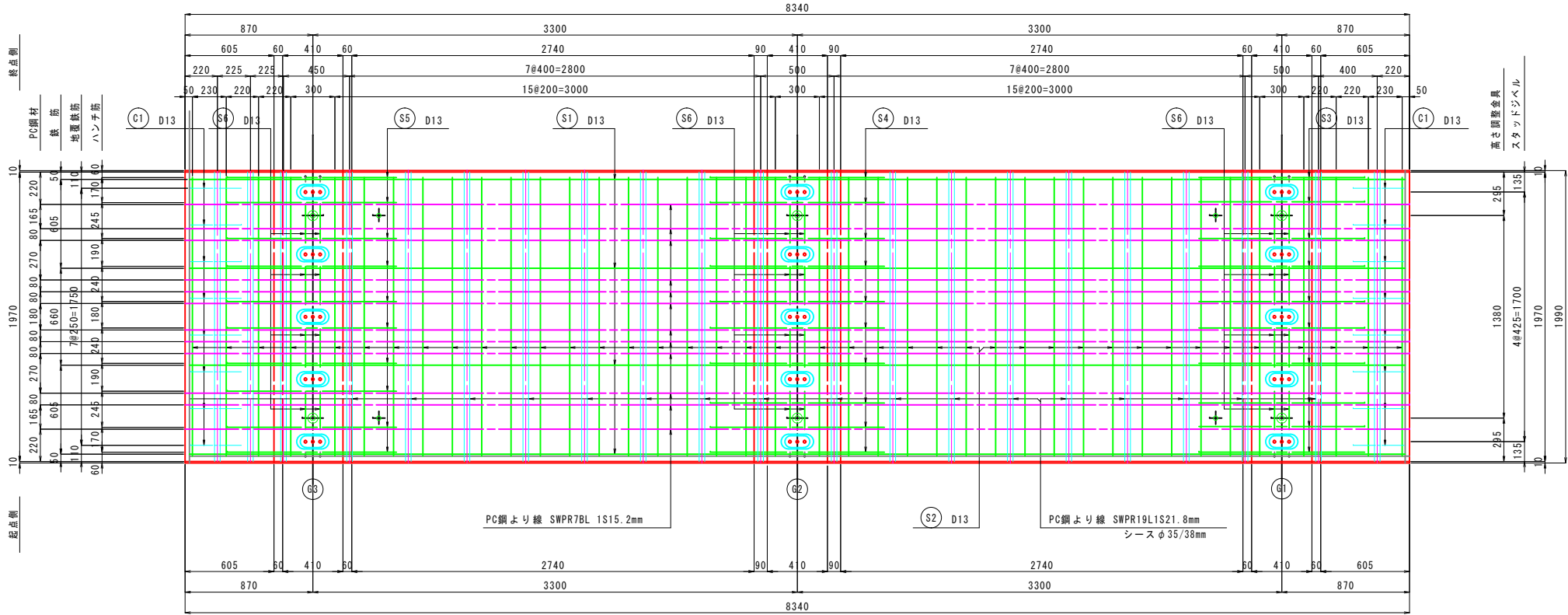
高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その23)

(1-12, 1-13標準版)

断面図 S=1:20

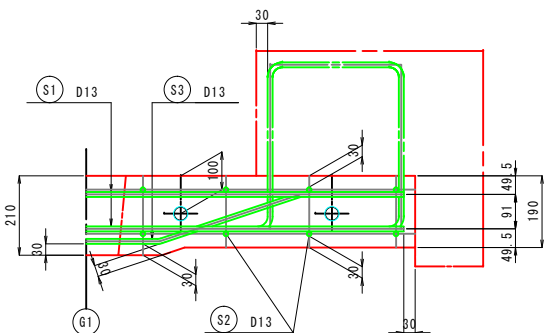


平面図 S=1:20

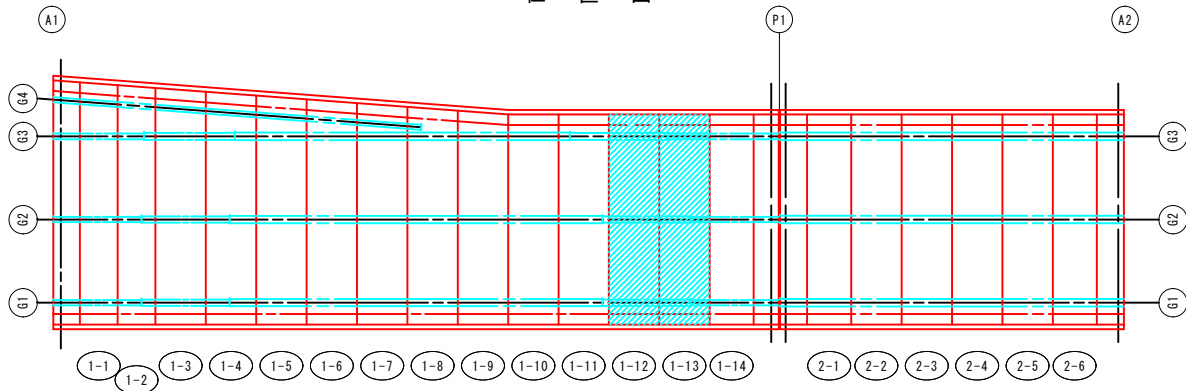


注: 地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対応する。

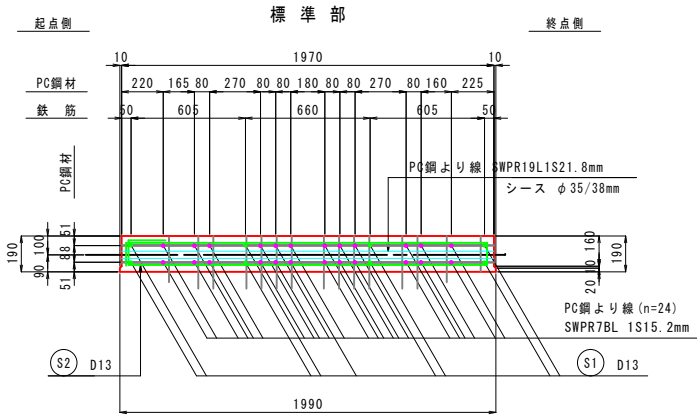
かぶり詳細図 S=1:10



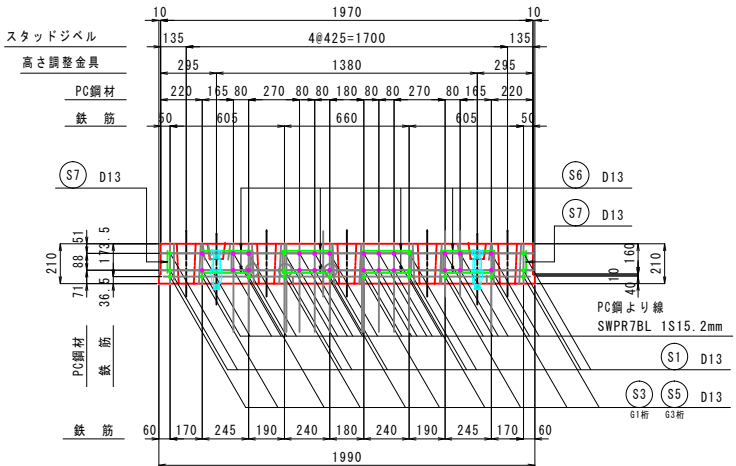
位置図



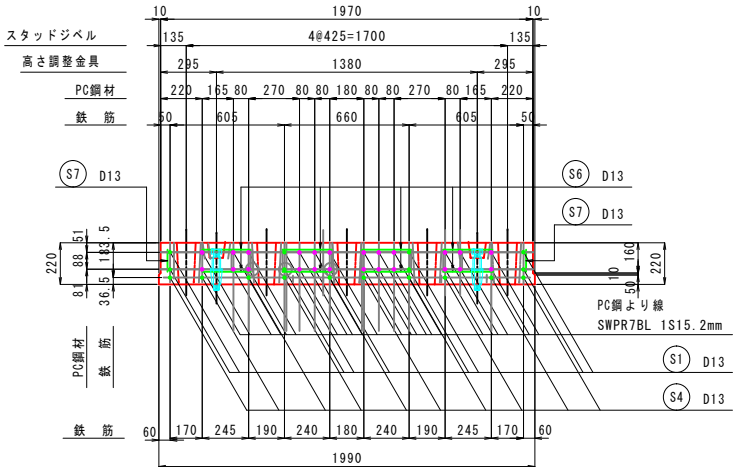
側面図 S=1:20



支点部 (G1, G3桁)



支点部 (G2桁)



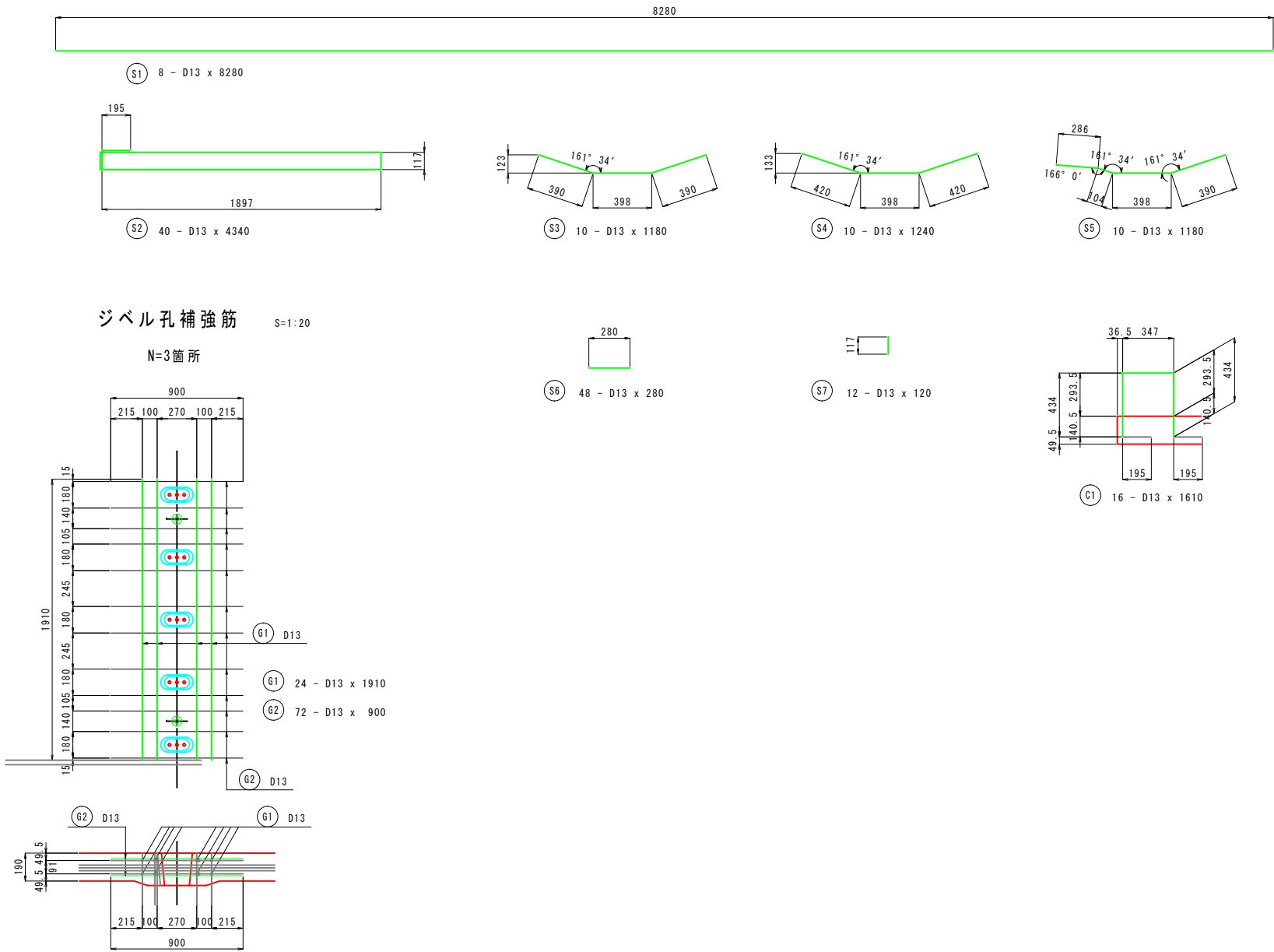
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その23)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	57/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その24)

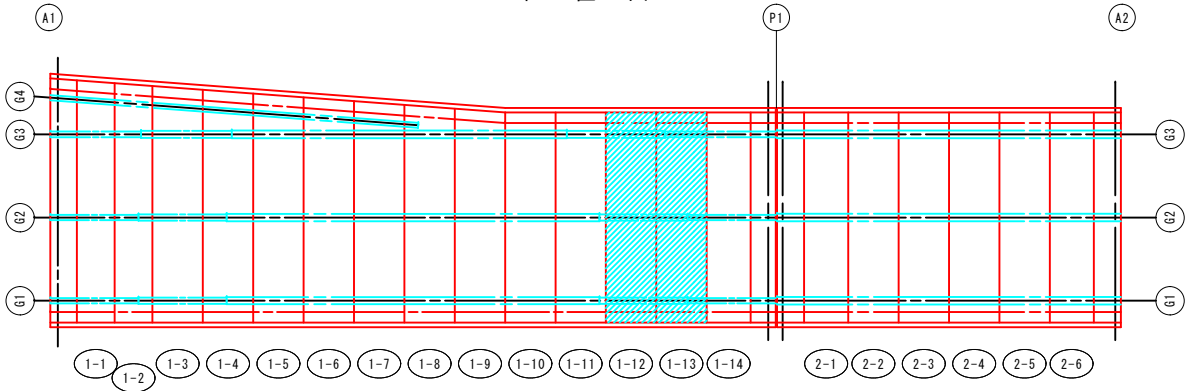
(1-12, 1-13標準版)

鉄筋加工図

S=1:20



位置図



鉄筋表

(版1枚当り)

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り質量	質量	摘要
S1	D13	8280	8	0.995	8.24	66	
S2		4340	40		4.32	173	
S3		1180	10		1.17	12	
S4		1240	10		1.23	12	
S5		1180	10		1.17	12	
S6		280	48		0.28	13	
S7		120	12		0.12	1	
289 kg							
G1	D13	1910	24	0.995	1.90	46	
G2		900	72		0.90	65	
111 kg							
C1	D13	1610	16	0.995	1.60	26	
26 kg							
合計 D13 426 kg							

注1):コンクリート設計基準強度 σck=50N/mm2。

注2):使用鉄筋 SD345。

工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャスト PC床版配筋図(その24)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	58/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

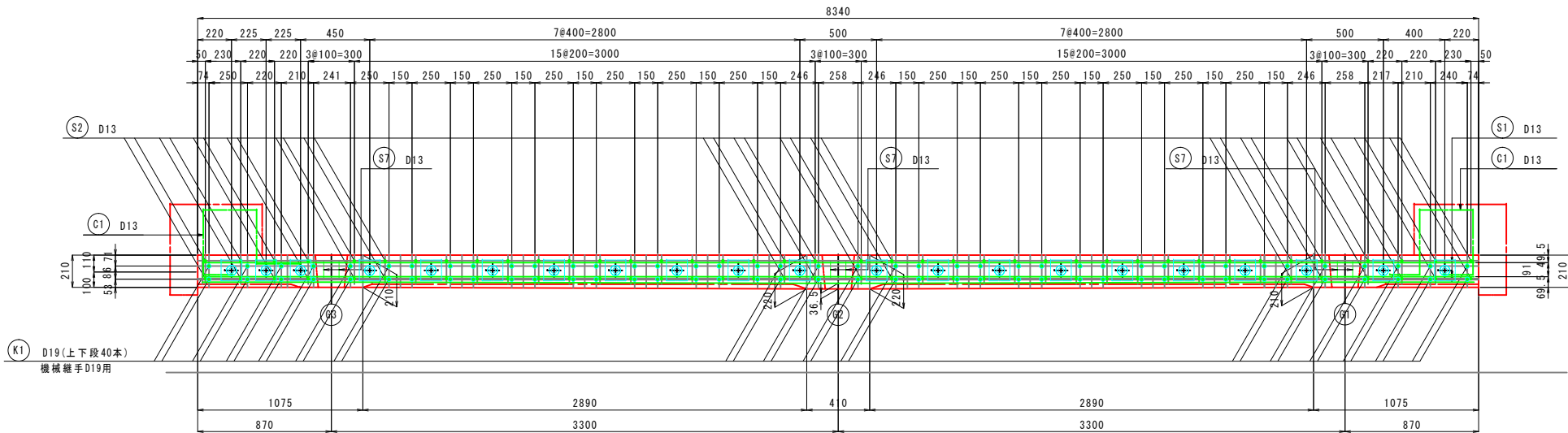


高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その25)

(1-14端部版)

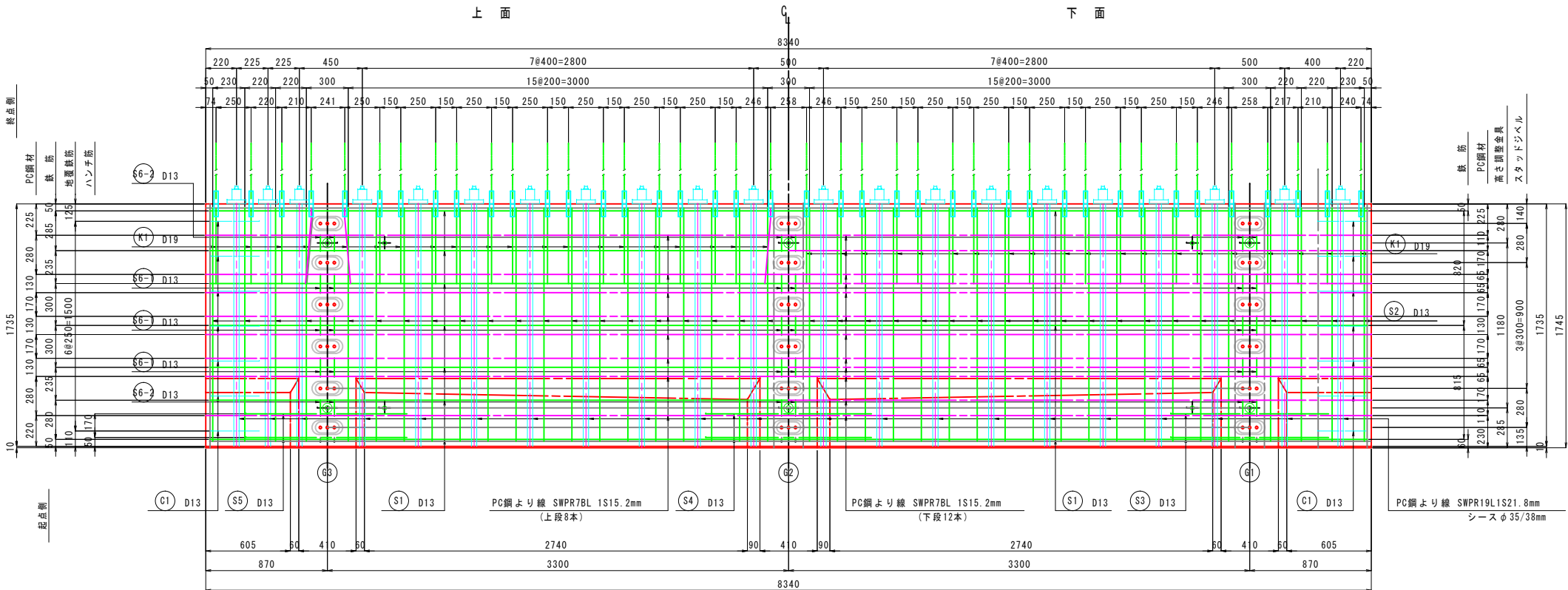
断面図(終点側)

S=1:20



平面図

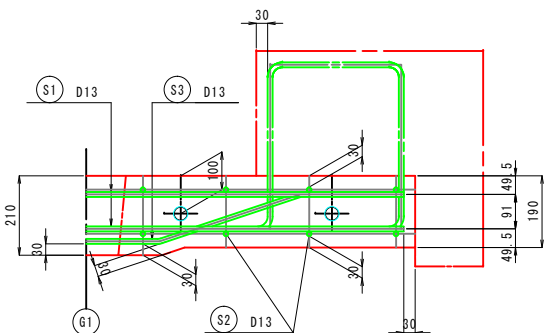
S=1:20



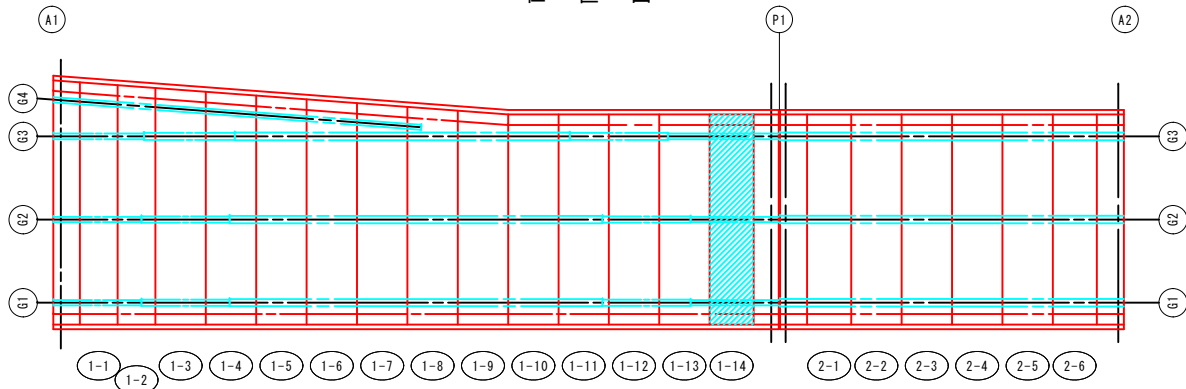
注: 地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対処する。

かぶり詳細図

S=1:10

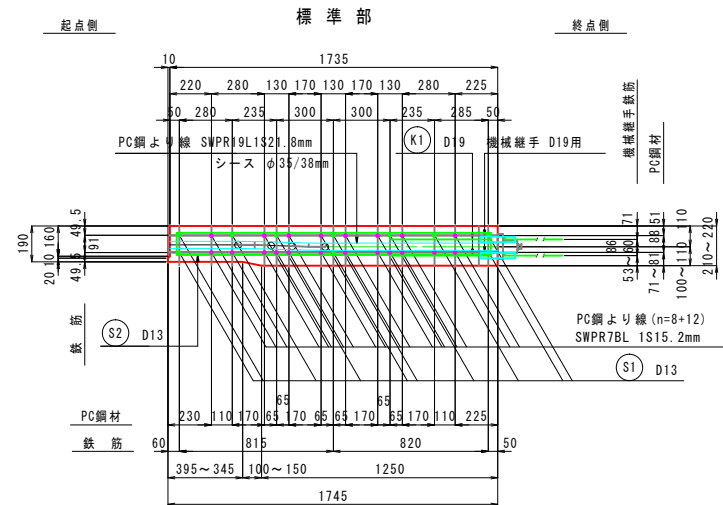


位置図

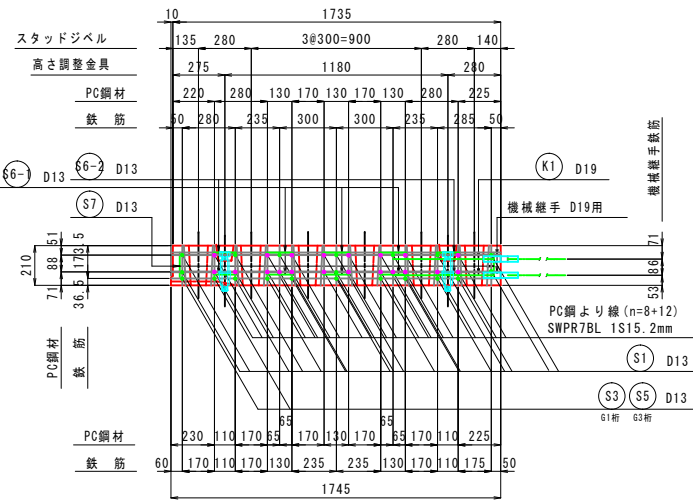


側面図

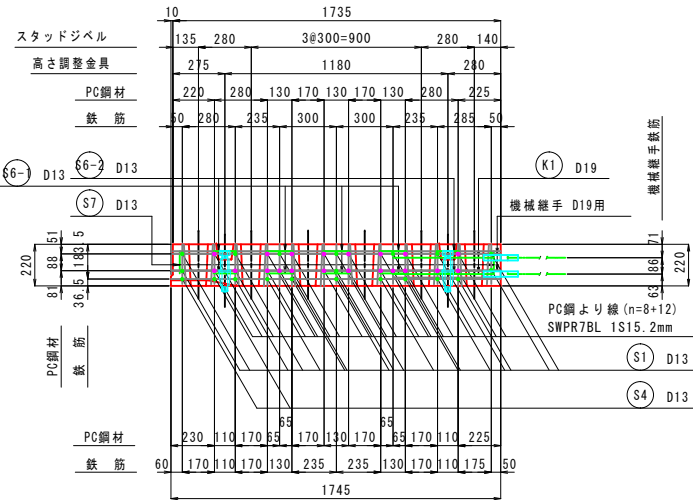
S=1:20



支点部 (G1, G3桁)



支点部 (G2桁)



工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その25)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	59/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

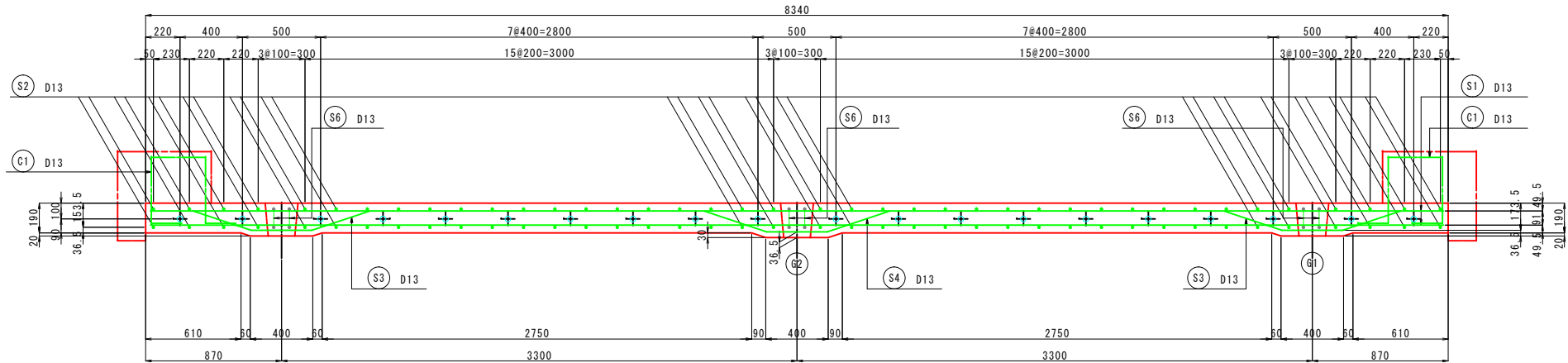




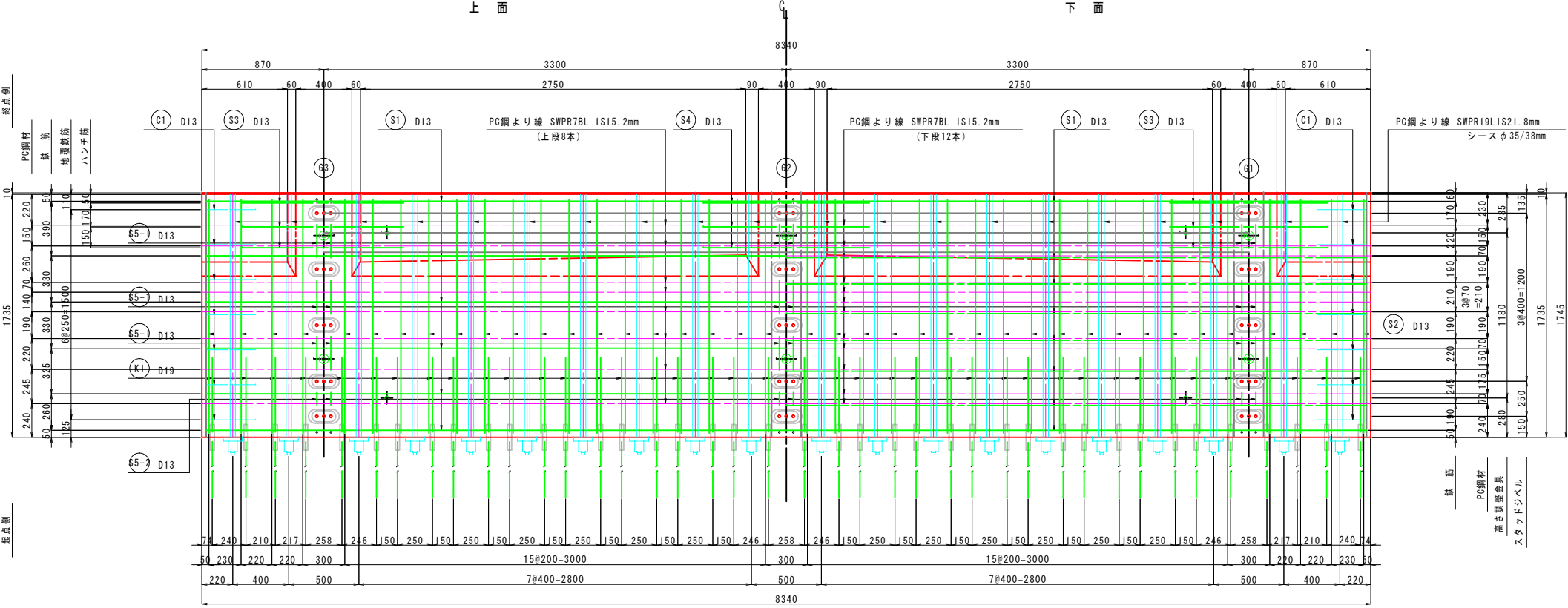
高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その27)

(2-1, 2-6端部版)

断面図(終点側) S=1:20

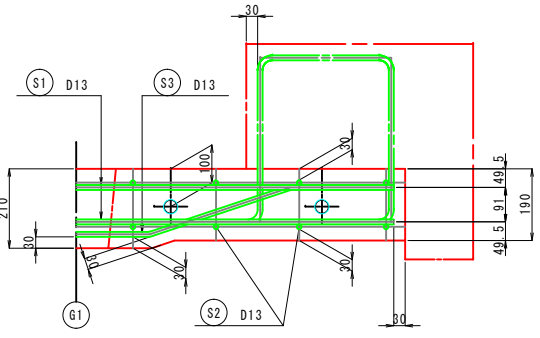


平面図 S=1:20

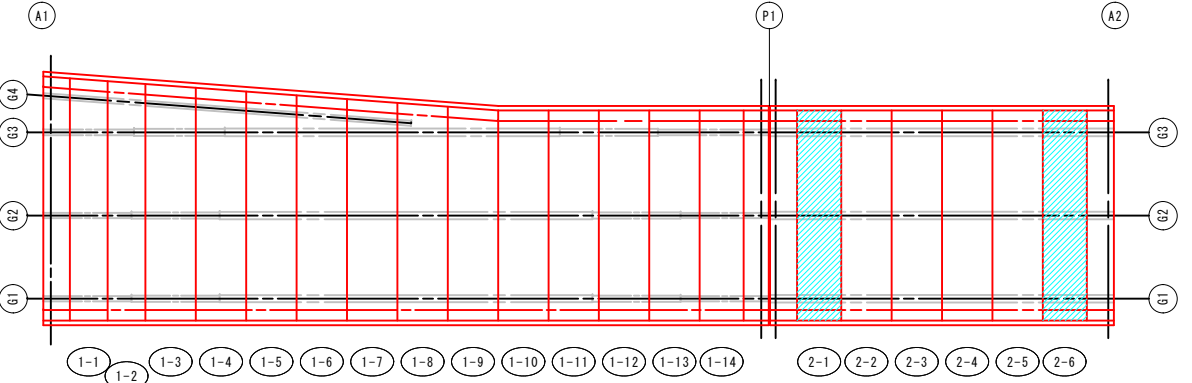


注：地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対処する。

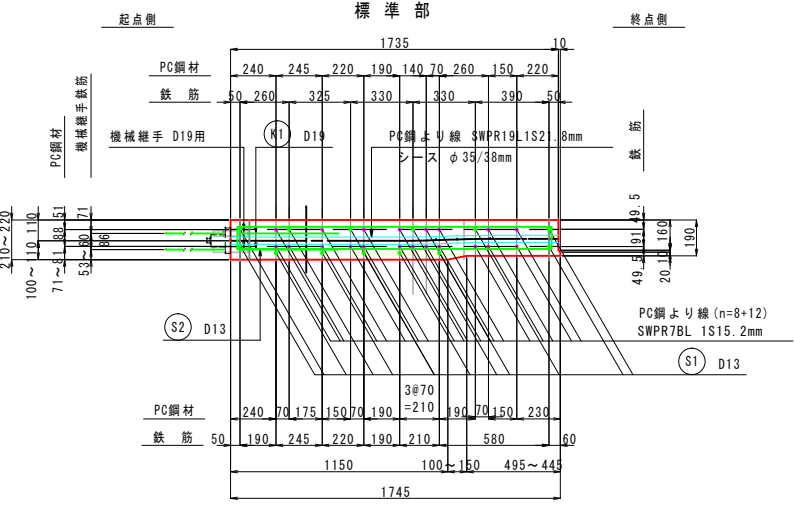
かぶり詳細図 S=1:10



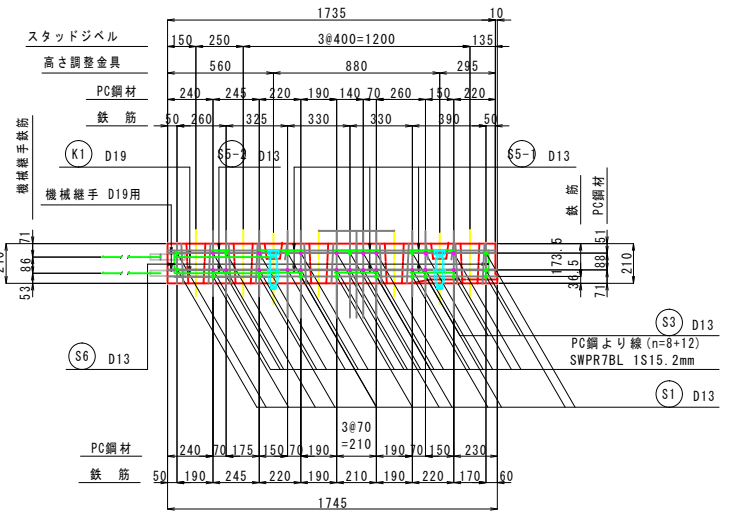
位置図



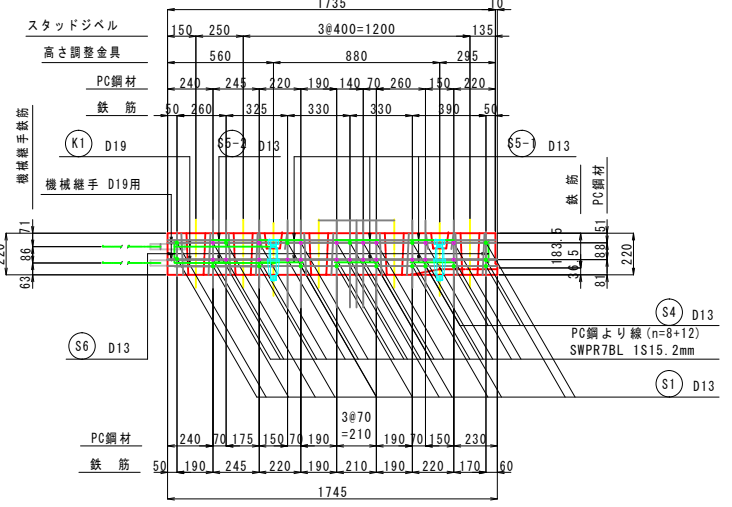
側面図 S=1:20



支点部 (G1, G3桁)



支点部 (G2桁)

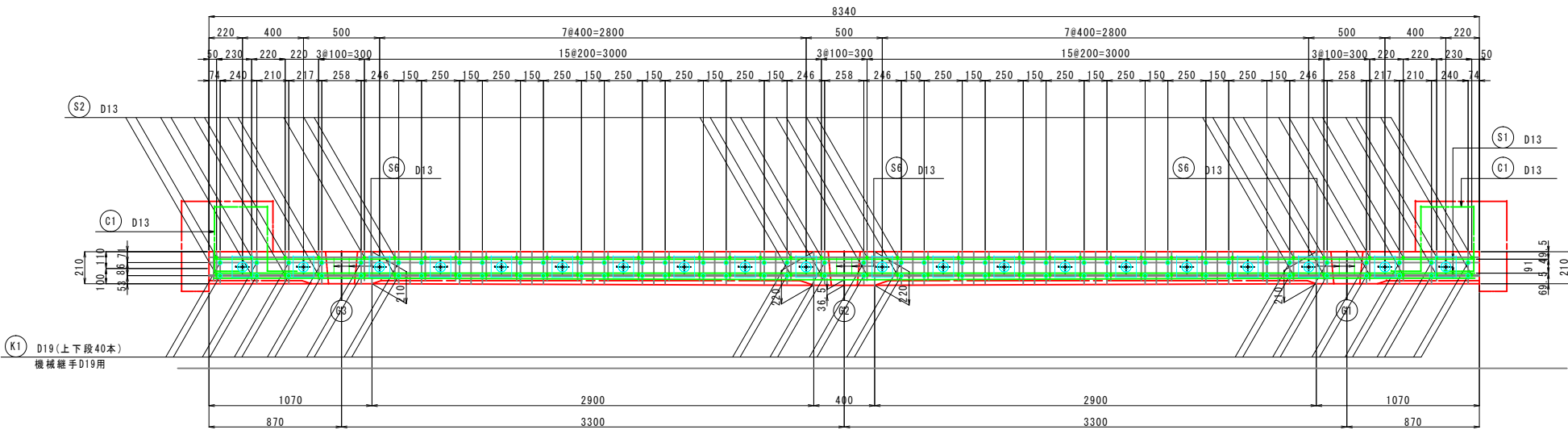


工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャスト PC床版配筋図(その27)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	61/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業所名	甲府市		

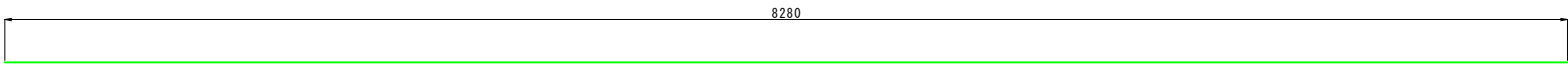
高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その28)

(2-1, 2-6端部版)

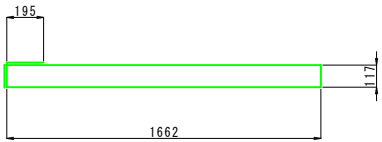
断面図(起点側) S=1:20



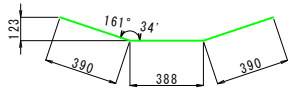
鉄筋加工図 S=1:20



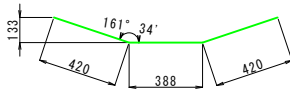
S1 28 - D13 x 8280



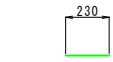
S2 40 - D13 x 3870



S3 6 - D13 x 1170



S4 3 - D13 x 1230



S5-1 36 - D13 x 230



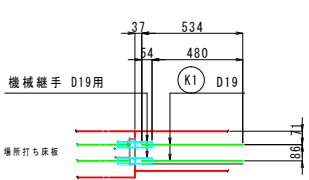
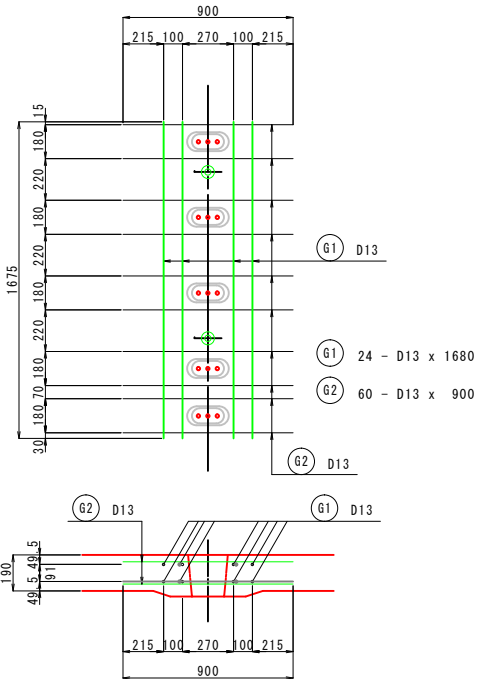
S5-2 12 - D13 x 90



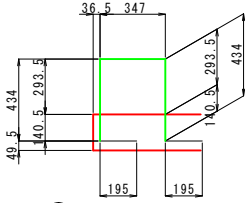
S6 12 - D13 x 130

ジベル孔補強筋 S=1:20

N=3箇所



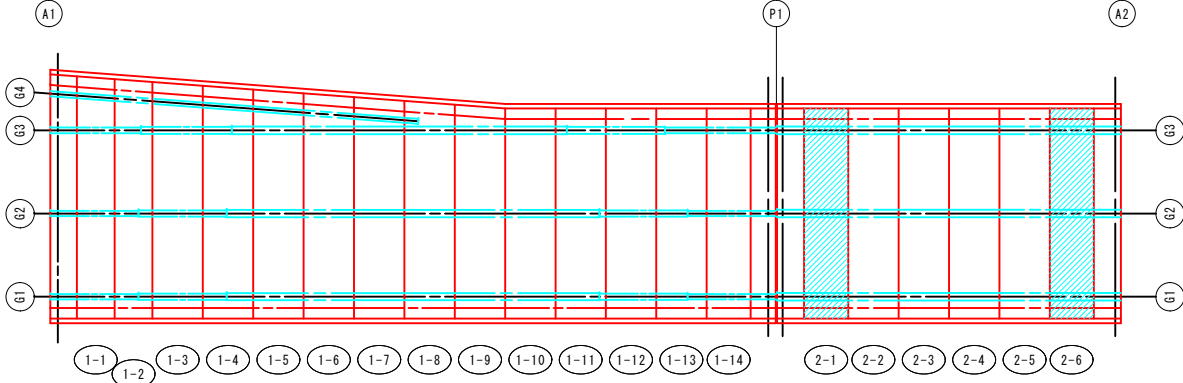
K1 80 - D19 x 530(埋込み側)



C1 14 - D13 x 1610

注: K1鉄筋がジベル孔に干渉する場合は、K1鉄筋を折曲げ配置する。  
また、接続側機械継手及び鉄筋は、場所打ち床版側で計上する。

位置図



鉄筋表

(板1枚当り)						
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り質量	質量
S1	D13	8280	14	0.995	8.24	115
S2	"	3870	40	"	3.85	154
S3	"	1170	6	"	1.16	7
S4	"	1230	3	"	1.22	4
S5-1	"	230	36	"	0.23	8
S5-2	"	90	12	"	0.09	1
S6	"	130	12	"	0.13	2
291 kg						
G1	D13	1680	24	0.995	1.67	40
G2	"	900	60	"	0.90	54
94 kg						
K1	D19	530	80	2.25	1.19	95
95 kg						
C1	D13	1610	14	0.995	1.60	22
22 kg						
D13 407 kg						
D19 95 kg						
合計 502 kg						
機械継手(埋込み側)D19用 80 個						

注1):コンクリート設計基準強度  $\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$

注2):使用鉄筋 SD345

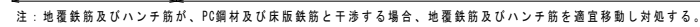
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャスト PC床版配筋図(その28)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	62/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業所名	甲府市		

(2-2標準版)

S=1:20



S=1:20



S=1:10



(P1)



S=1 : 20



支点部 (G1, G3桁)



支 点 部 (G2桁)

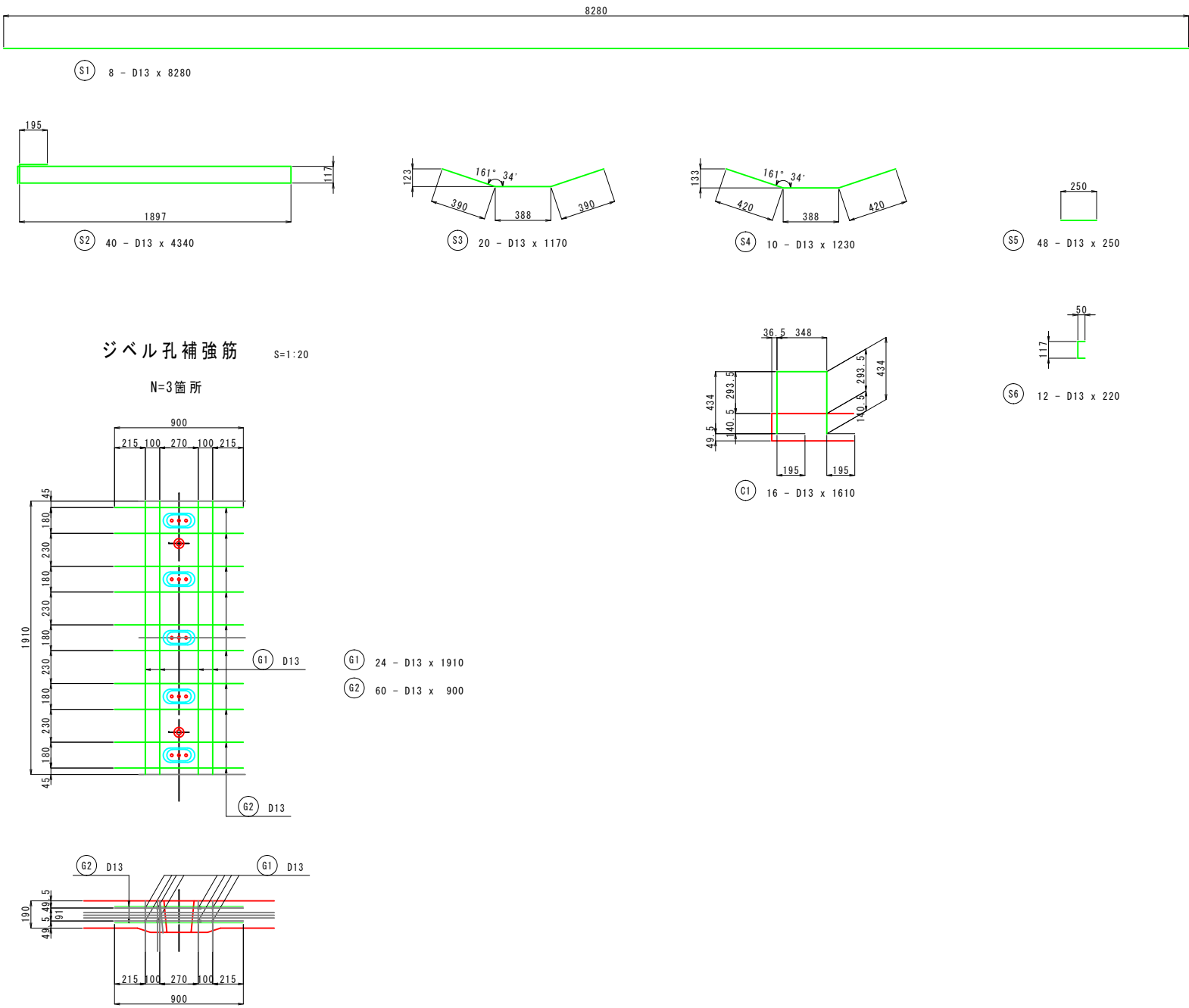


工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	高強度軽量2種プレキャスト PC床版配筋図（その29）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	63/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その30)

(2-2標準版)

鉄筋加工図 S=1:20

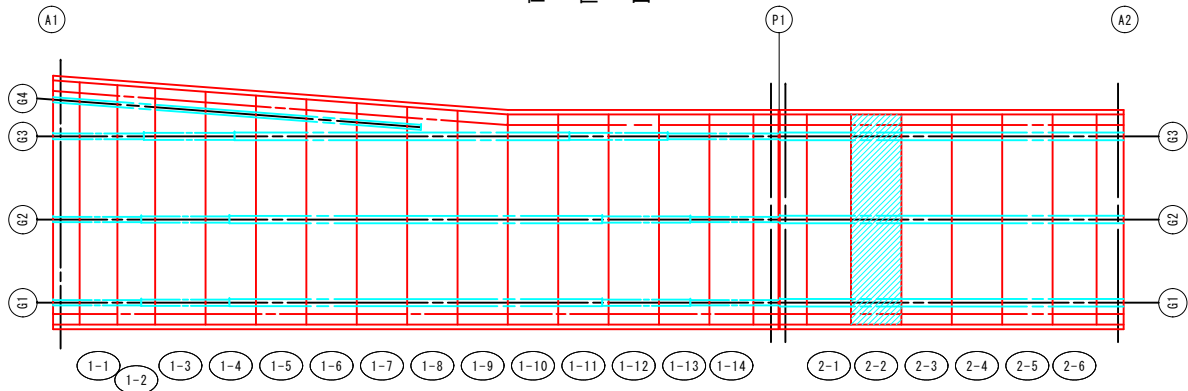


鉄筋表							(版1枚当り)
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り質量	質量	摘要
S1	D13	8280	8	0.995	8.24	66	—
S2	"	4340	40	"	4.32	173	—
S3	"	1170	20	"	1.16	23	—
S4	"	1230	10	"	1.22	12	—
S5	"	250	48	"	0.25	12	—
S6	"	220	12	"	0.22	3	—
							289 kg
G1	D13	1910	24	0.995	1.90	46	—
G2	"	900	60	"	0.90	54	—
							100 kg
C1	D13	1610	16	0.995	1.60	26	—
							26 kg
							合計 D13 415 kg

注1):コンクリート設計基準強度  $\sigma_{ck}$ =50N/mm2

注2):使用鉄筋 SD345

位置図



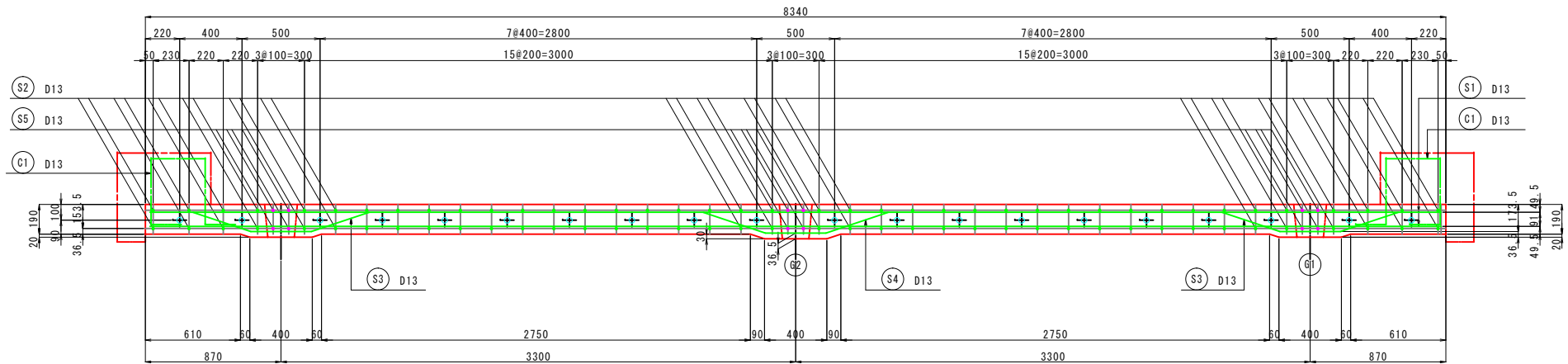
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その30)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	64/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		



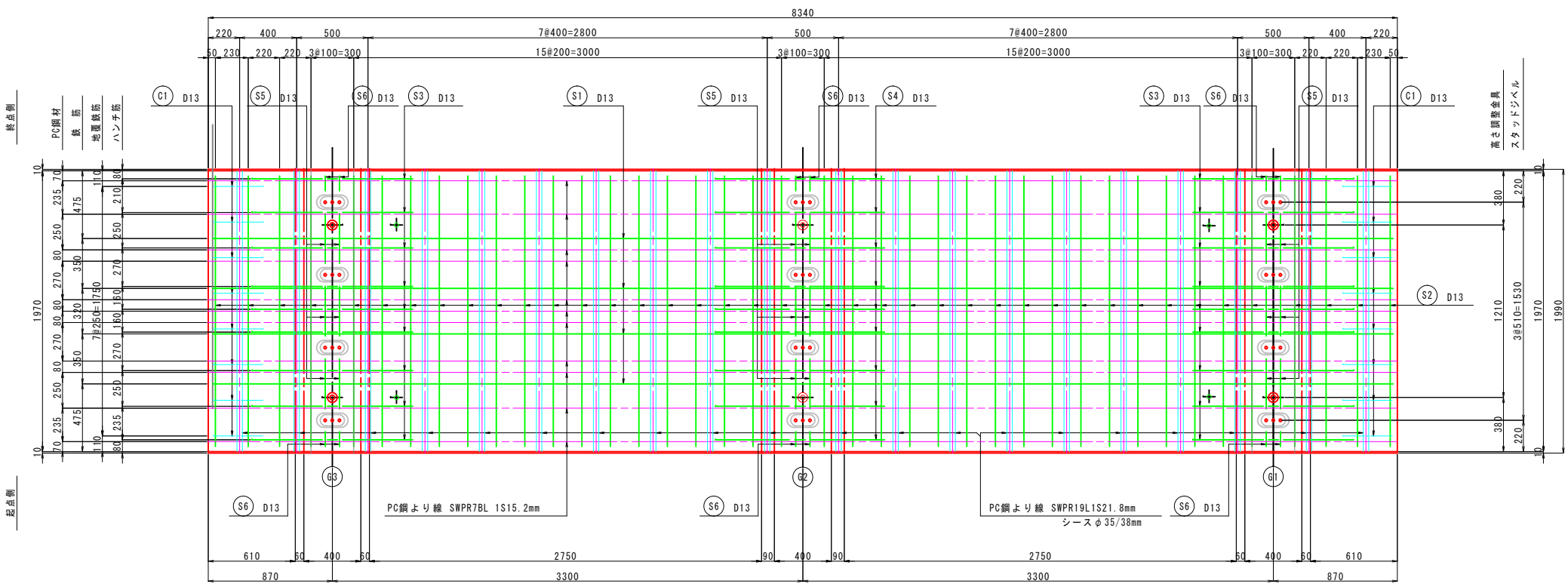
高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その31)

(2-3標準版)

断面図 S=1:20

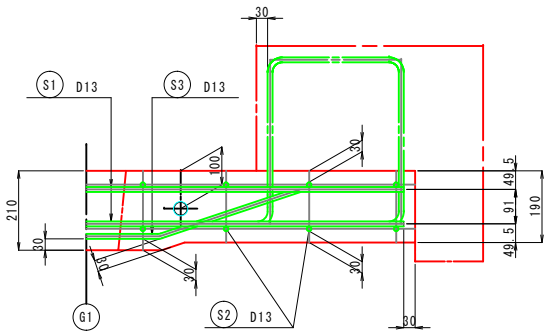


平面図 S=1:20

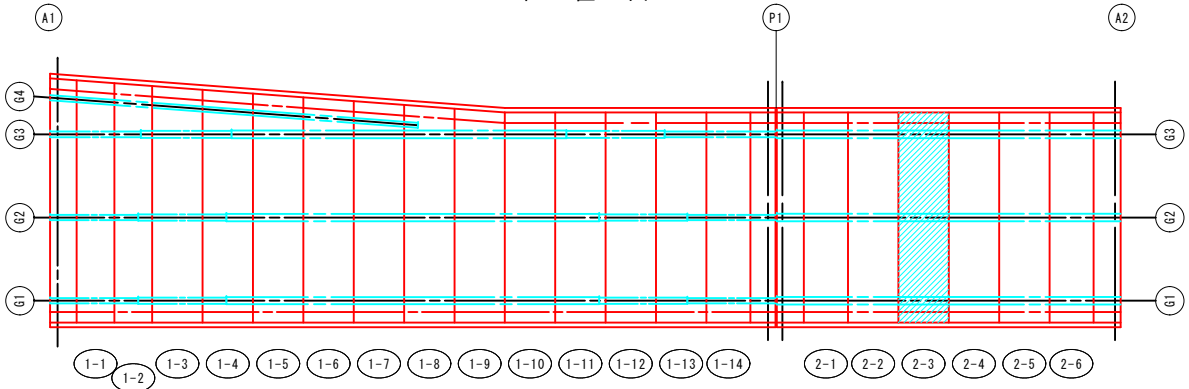


注：地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対応する。

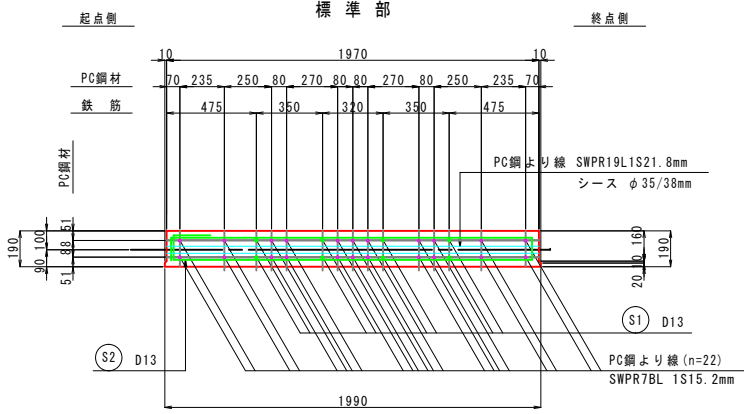
かぶり詳細図 S=1:10



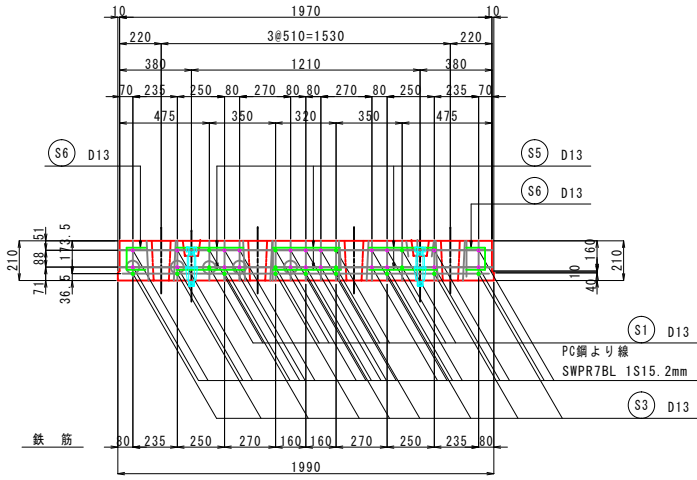
位置図



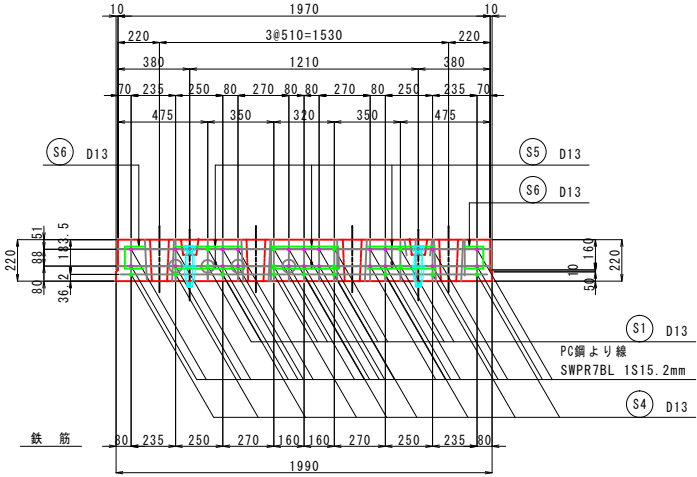
側面図 S=1:20



支点部 (G1, G3桁)



支点部 (G2桁)



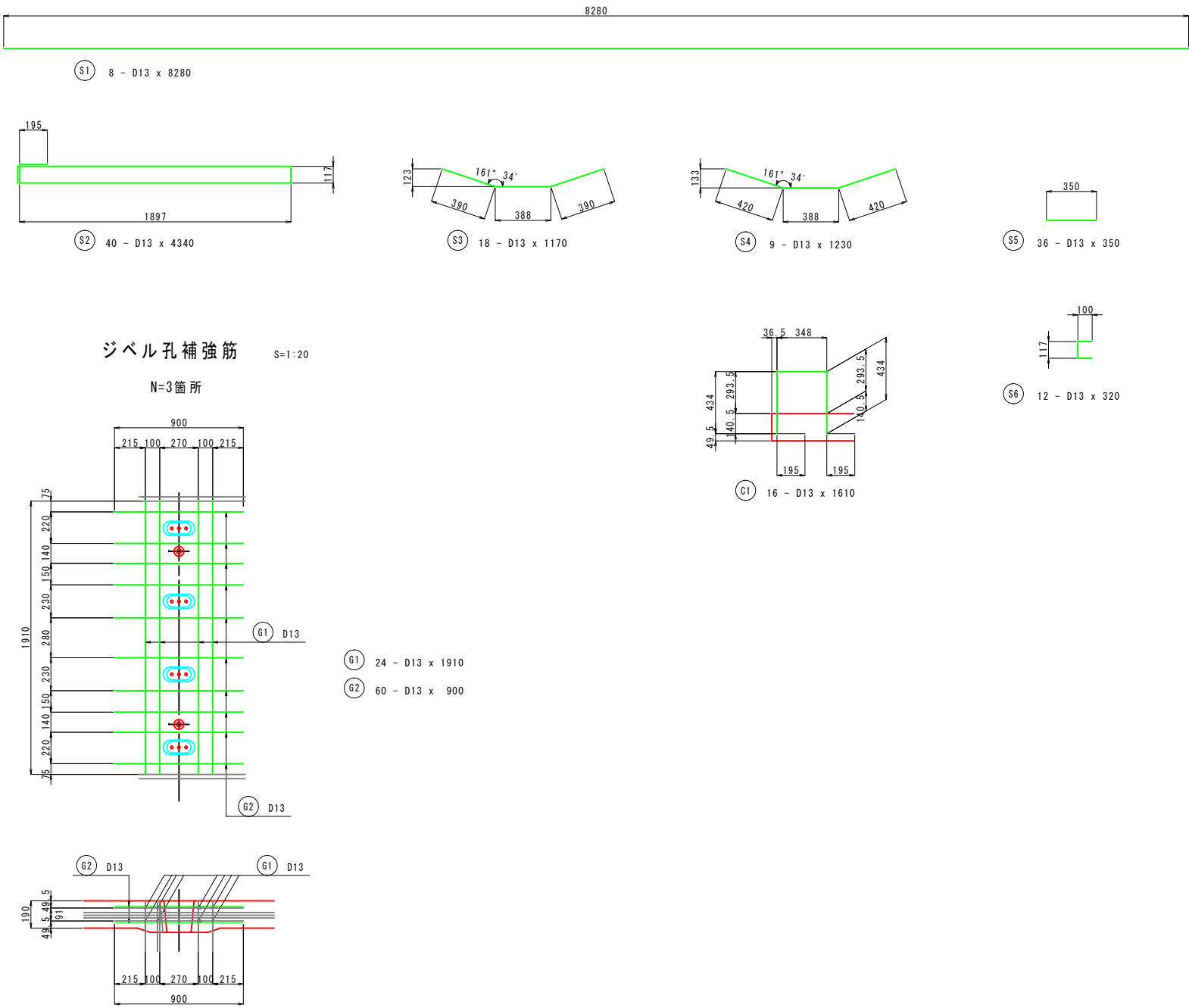
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その31)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	65/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業所名	甲府市		



高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その32)

(2-3標準版)

鉄筋加工図 S=1:20

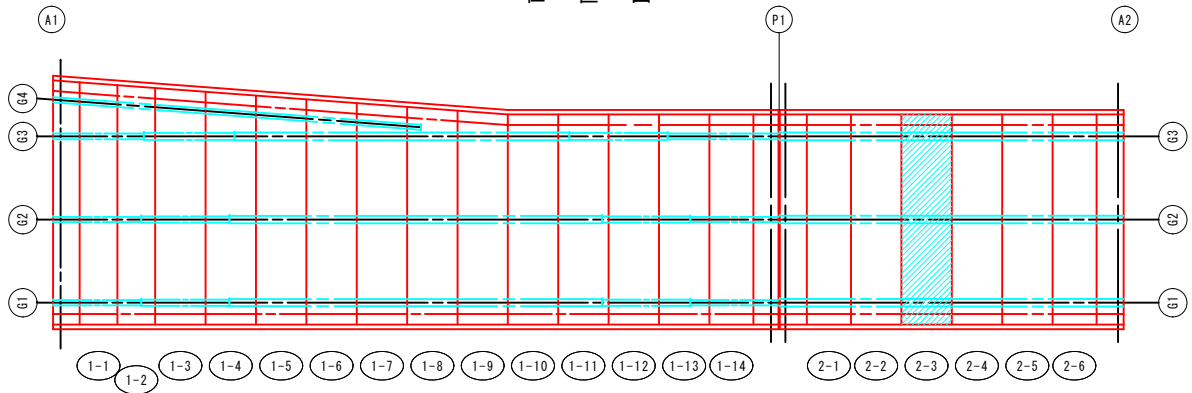


鉄筋表							(版1枚当り)
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り質量	質量	摘 要
S1	D13	8280	8	0.995	8.24	66	—
S2	"	4340	40	"	4.32	173	—
S3	"	1170	18	"	1.16	21	—
S4	"	1230	9	"	1.22	11	—
S5	"	350	36	"	0.35	13	—
S6	"	320	12	"	0.32	4	—
							288 kg
G1	D13	1910	24	0.995	1.90	46	—
G2	"	900	60	"	0.90	54	—
							100 kg
C1	D13	1610	16	0.995	1.60	26	—
							26 kg
							合計 D13 414 kg

注1):コンクリート設計基準強度  $\sigma_{ck}$ =50N/mm2

注2):使用鉄筋 SD345

位置図

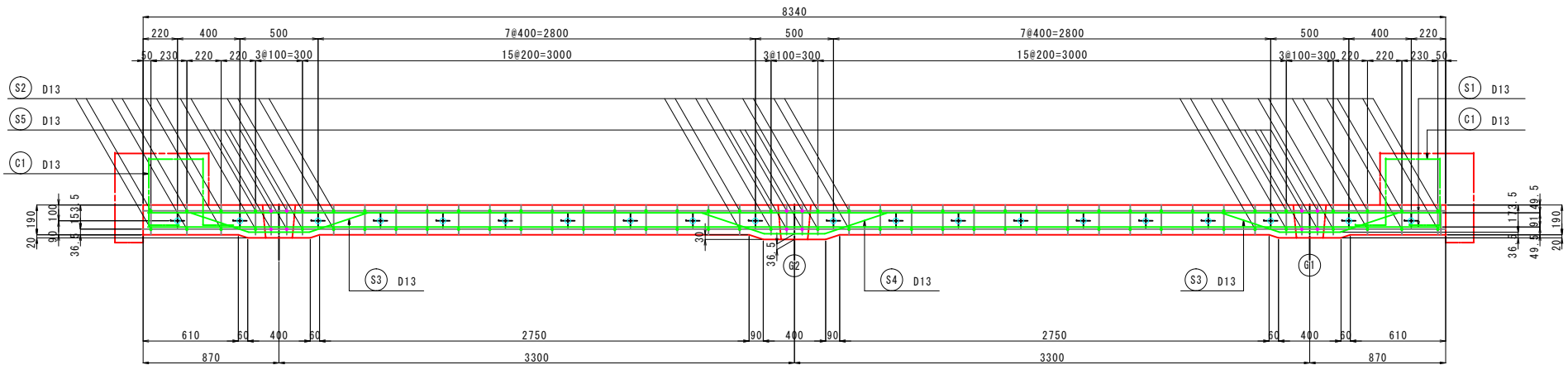


工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャスト PC床版配筋図(その32)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	66/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

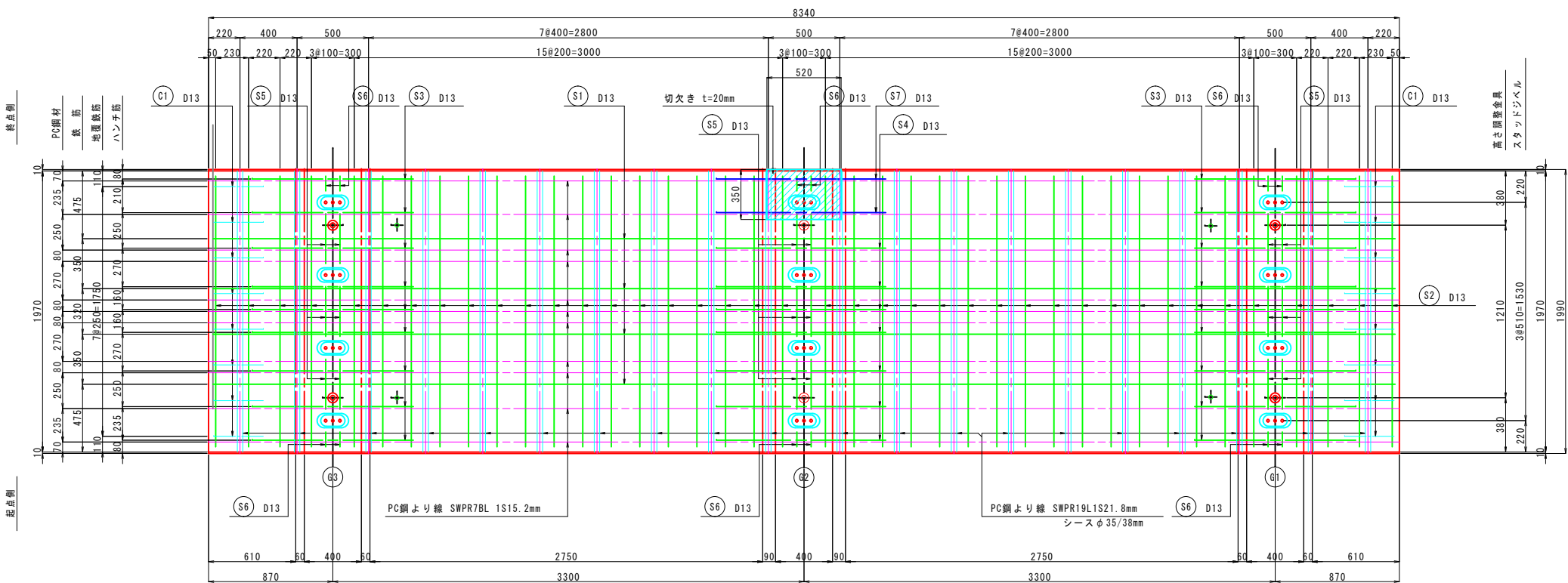
高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その33)

(2-4切欠き版)

断面図 S=1:20

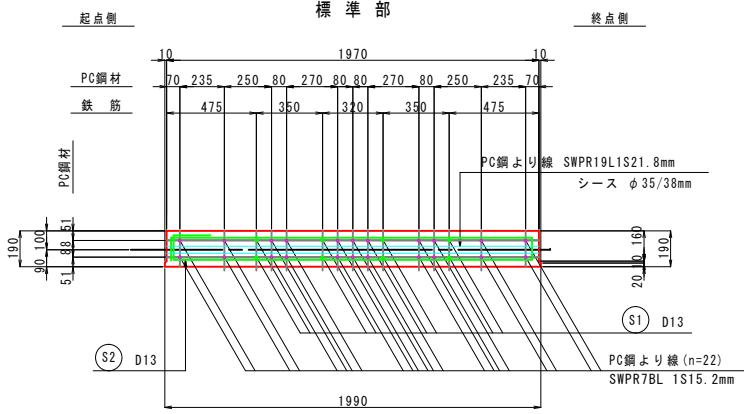


平面図 S=1:20

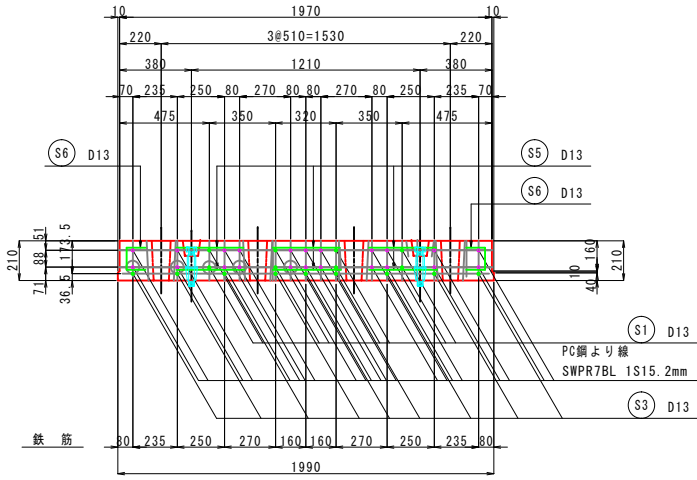


注：地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対応する。

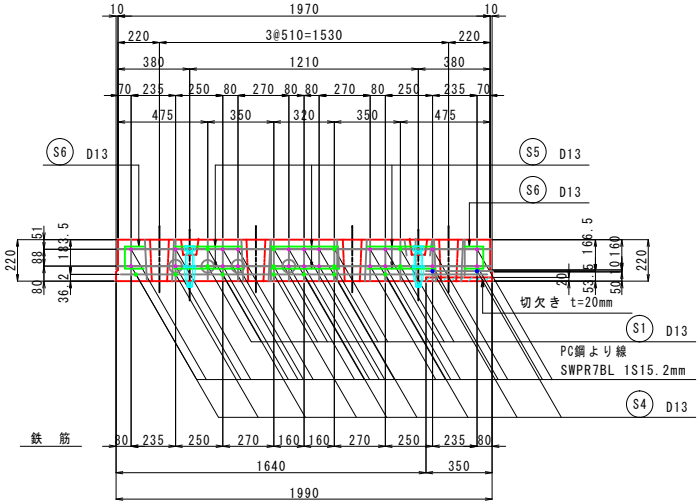
側面図 S=1:20



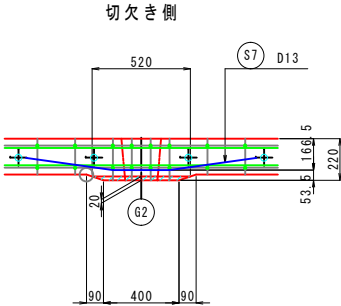
支点部 (G1, G3桁)



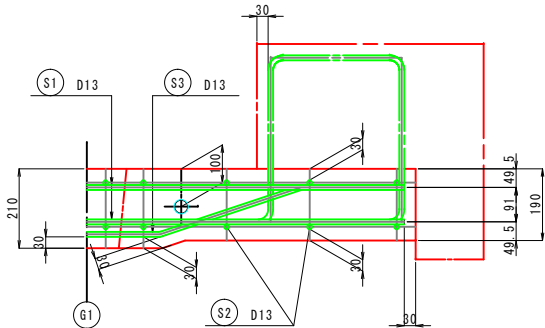
支点部 (G2桁)



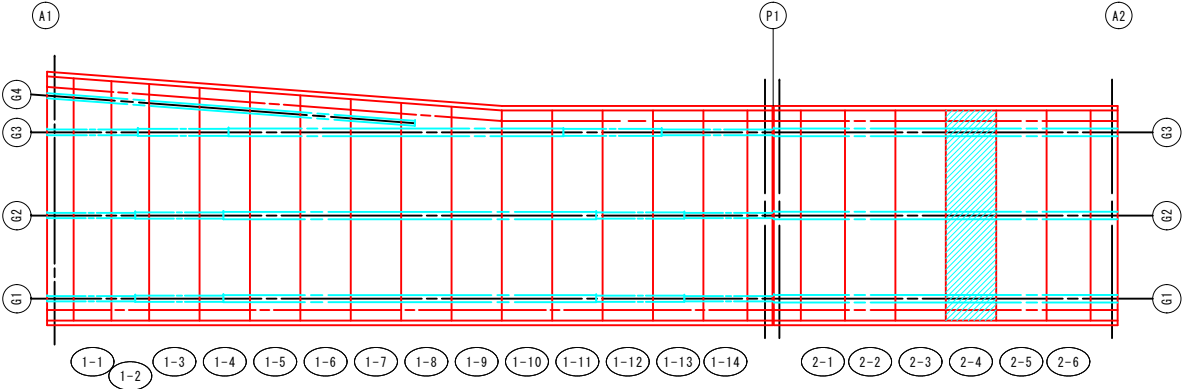
断面図 S=1:20



かぶり詳細図 S=1:10



位置図

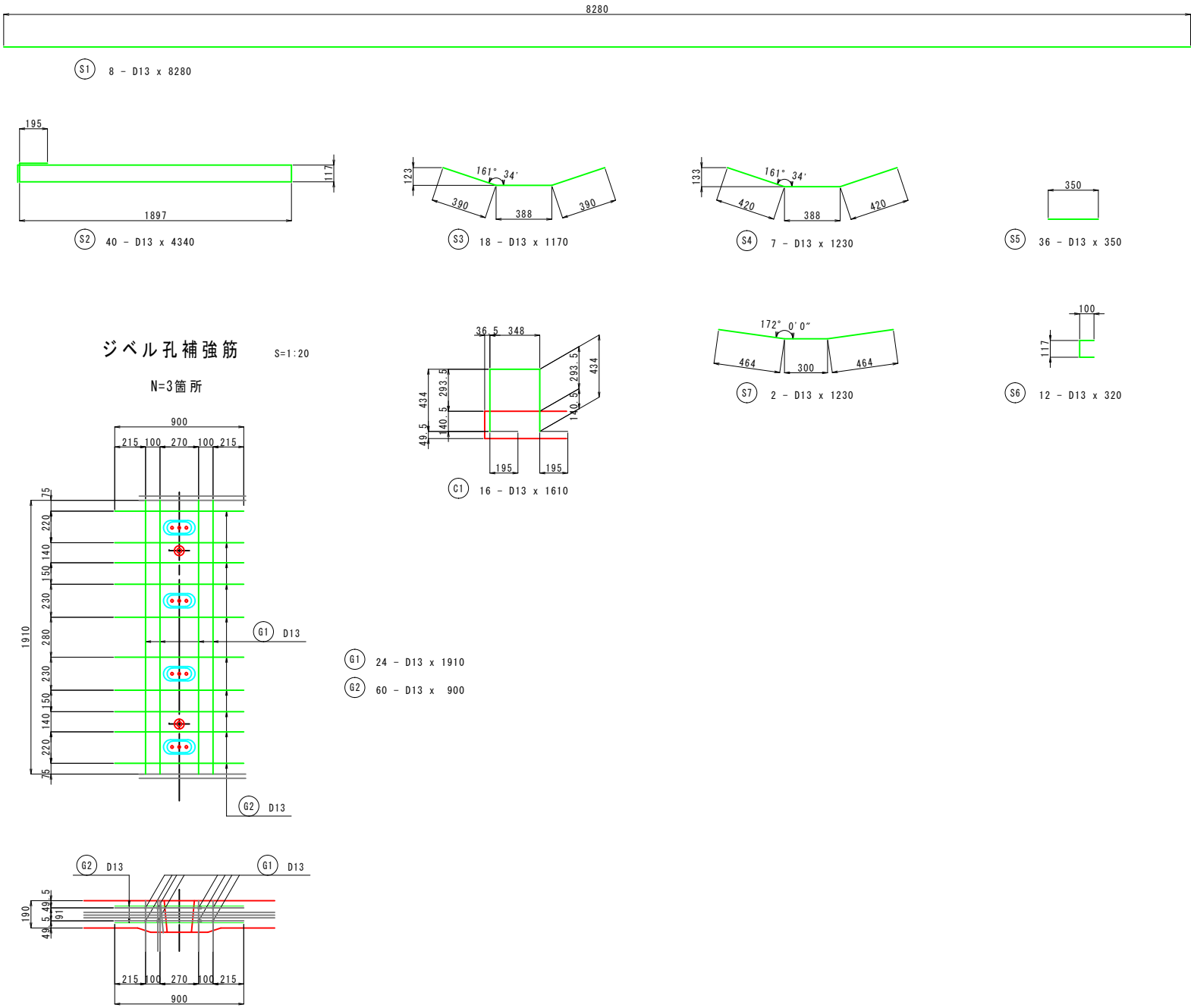


工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その33)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	67/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業所名	甲府市		

高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その34)

(2-4切欠き版)

鉄筋加工図 S=1:20



鉄筋表

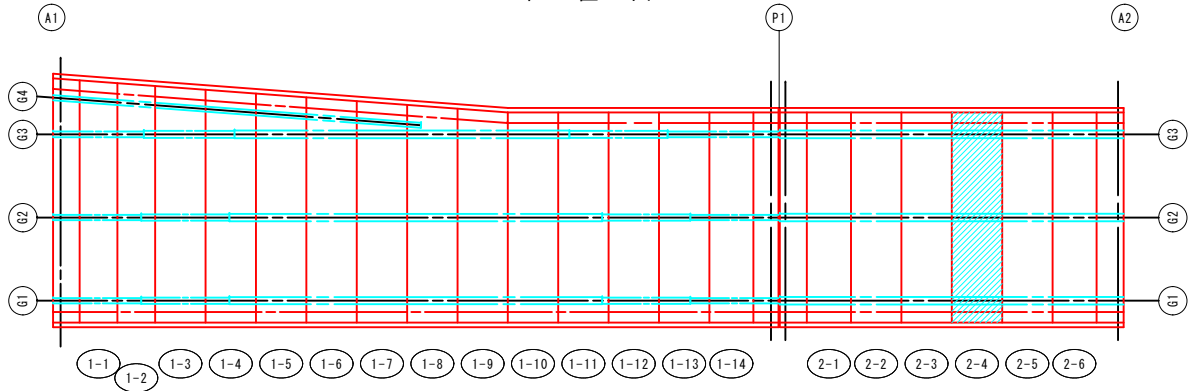
(版1枚当り)

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り質量	質量	摘要
S1	D13	8280	8	0.995	8.24	66	
S2	"	4340	40	"	4.32	173	
S3	"	1170	18	"	1.16	21	
S4	"	1230	7	"	1.22	9	
S5	"	350	36	"	0.35	13	
S6	"	320	12	"	0.32	4	
S7	"	1230	2	"	1.22	2	
						288 kg	
G1	D13	1910	24	0.995	1.90	46	
G2	"	900	60	"	0.90	54	
						100 kg	
C1	D13	1610	16	0.995	1.60	26	
						26 kg	
						合計 D13	414 kg

注1):コンクリート設計基準強度 σck=50N/mm2

注2):使用鉄筋 SD345

位置図

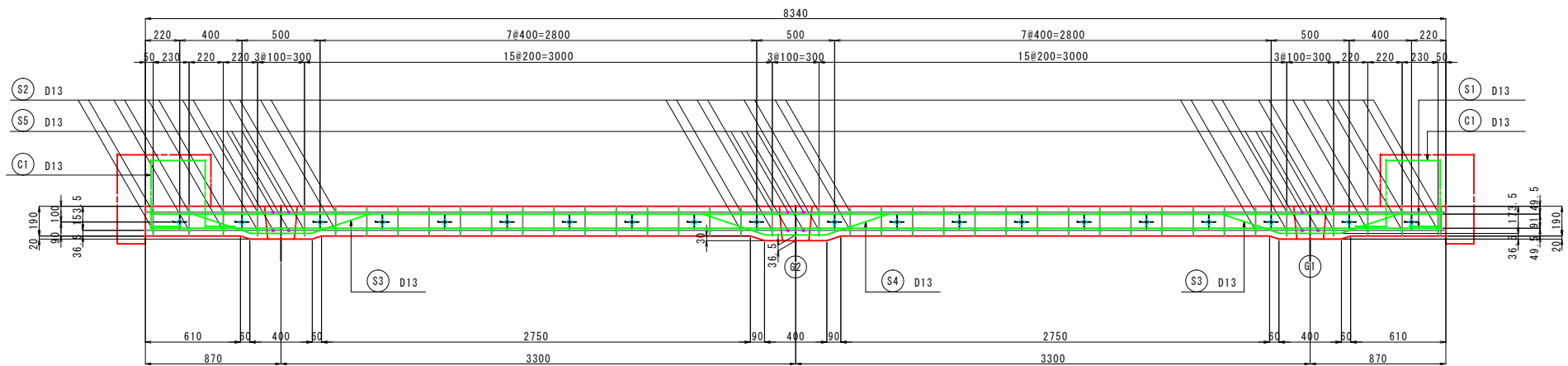


工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その34)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	68/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

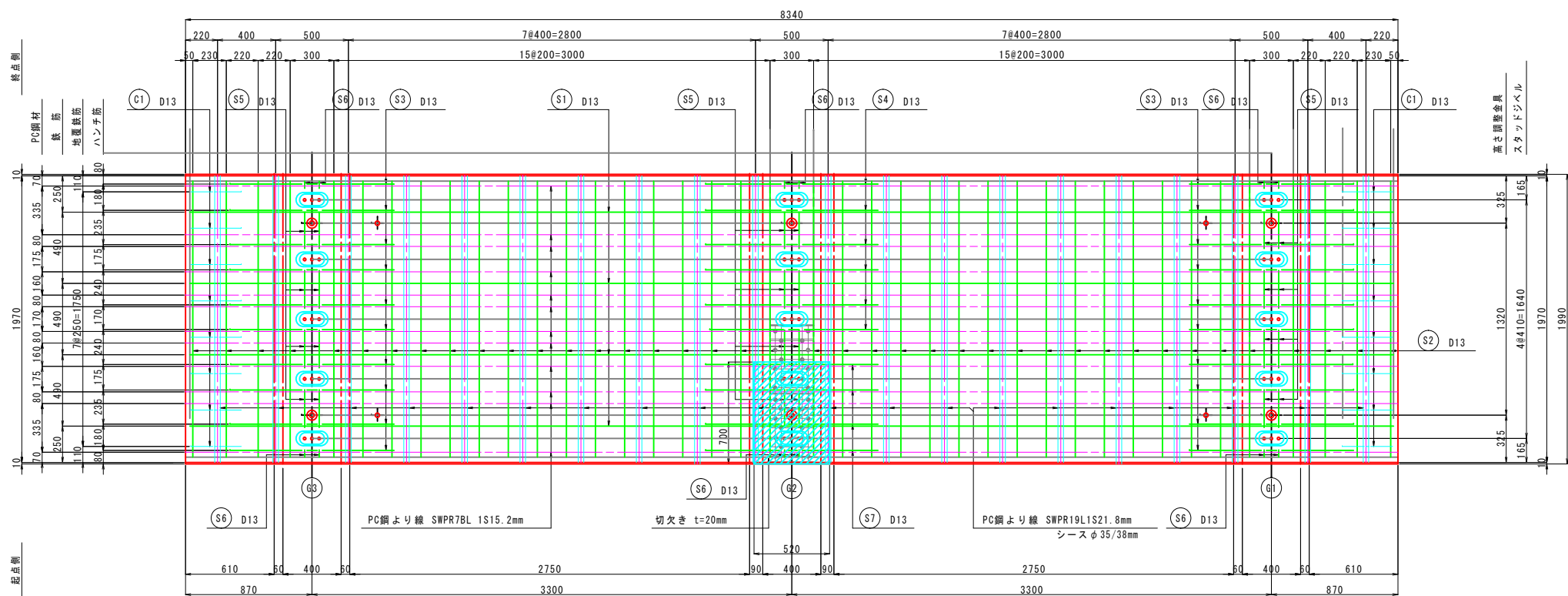
高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その35)

(2-5切欠き版)

断面図 S=1:20

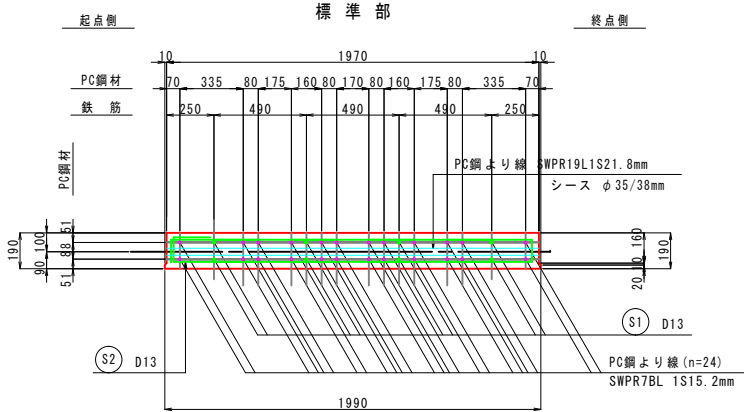


平面図 S=1:20

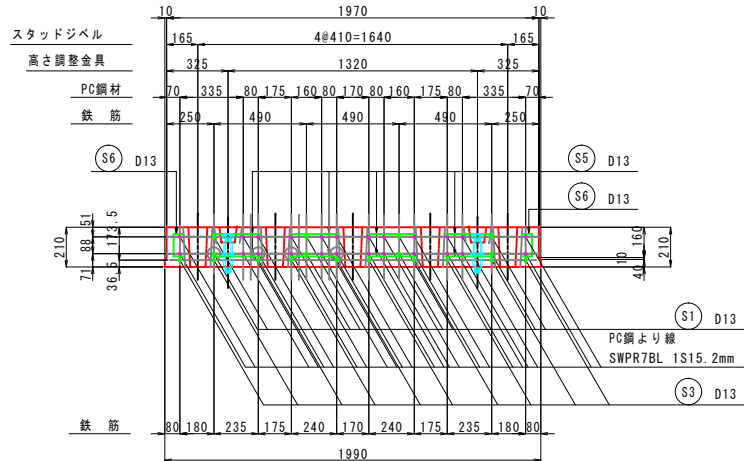


注：地覆鉄筋及びハンチ筋が、PC鋼材及び床版鉄筋と干渉する場合、地覆鉄筋及びハンチ筋を適宜移動し対処する。

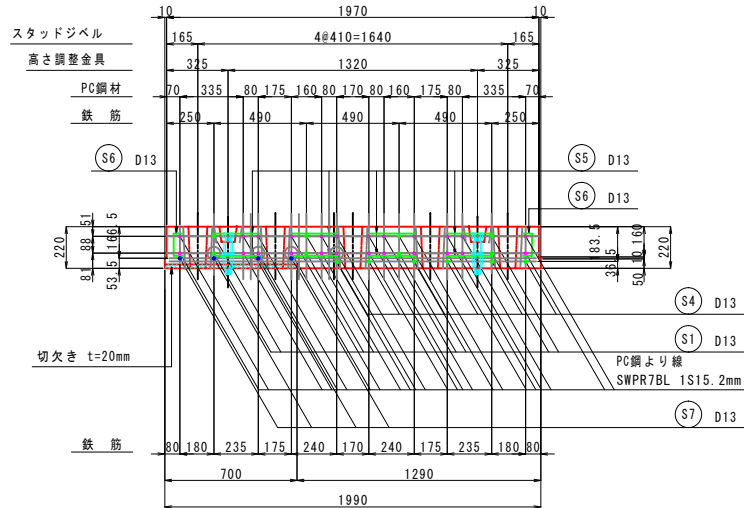
側面図 S=1:20



支点部 (G1, G3桁)

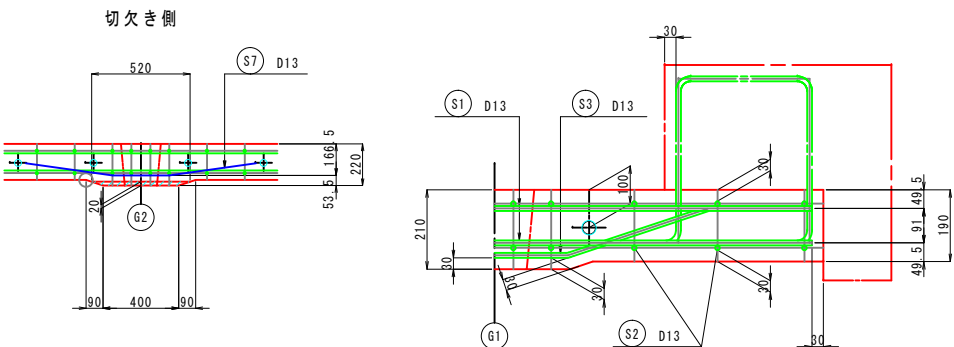


支点部 (G2桁)

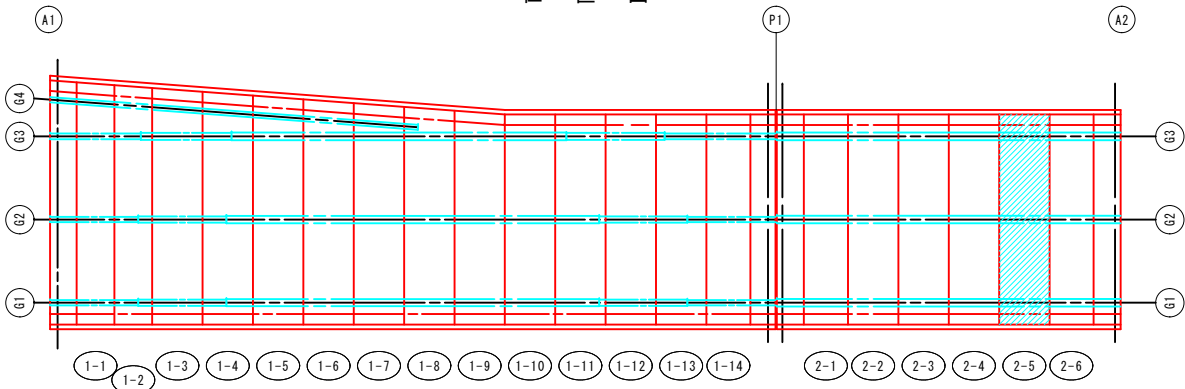


断面図 S=1:20

かぶり詳細図 S=1:10



位置図

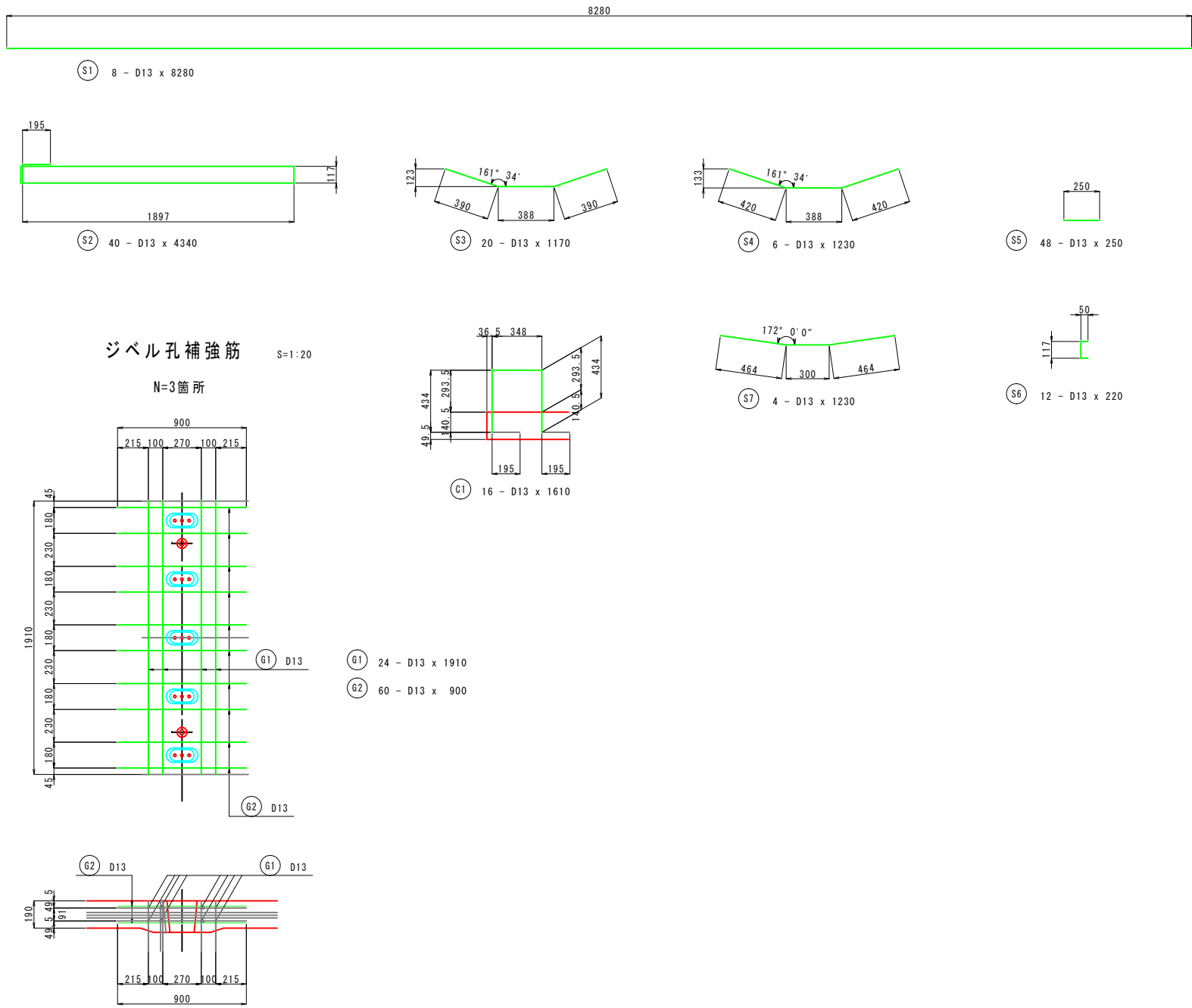


工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その35)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	69/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

高強度軽量2種プレキャストPC床版配筋図(その36)

(2-5切欠き版)

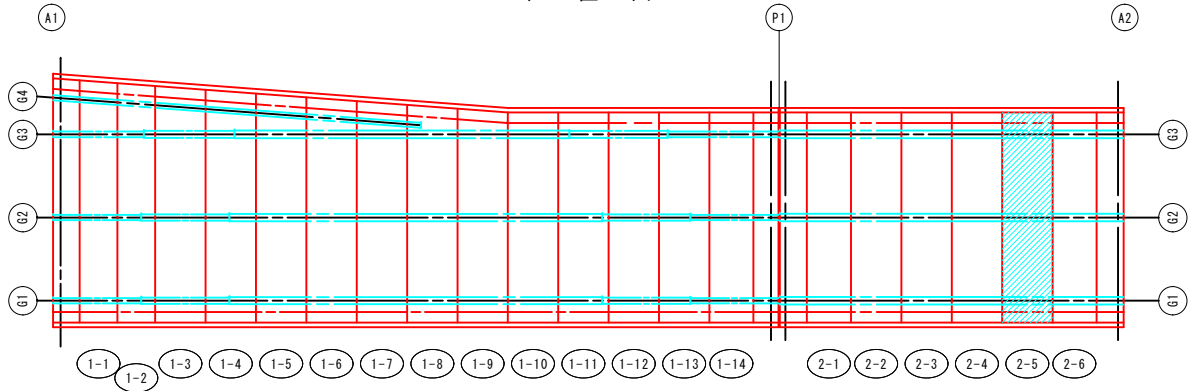
鉄筋加工図 S=1:20



鉄筋表							(版1枚当り)
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り質量	質量	摘要
S1	D13	8280	8	0.995	8.24	66	—
S2	"	4340	40	"	4.32	173	—
S3	"	1170	20	"	1.16	23	—
S4	"	1230	6	"	1.22	7	—
S5	"	250	48	"	0.25	12	—
S6	"	220	12	"	0.22	3	—
S7	"	1230	4	"	1.22	5	—
289 kg							
G1	D13	1910	24	0.995	1.90	46	—
G2	"	900	60	"	0.90	54	—
100 kg							
C1	D13	1610	16	0.995	1.60	26	—
26 kg							
合計 D13							415 kg

注1):コンクリート設計基準強度 σ<sub>ck</sub>=50N/mm<sup>2</sup>  
注2):使用鉄筋 SD345

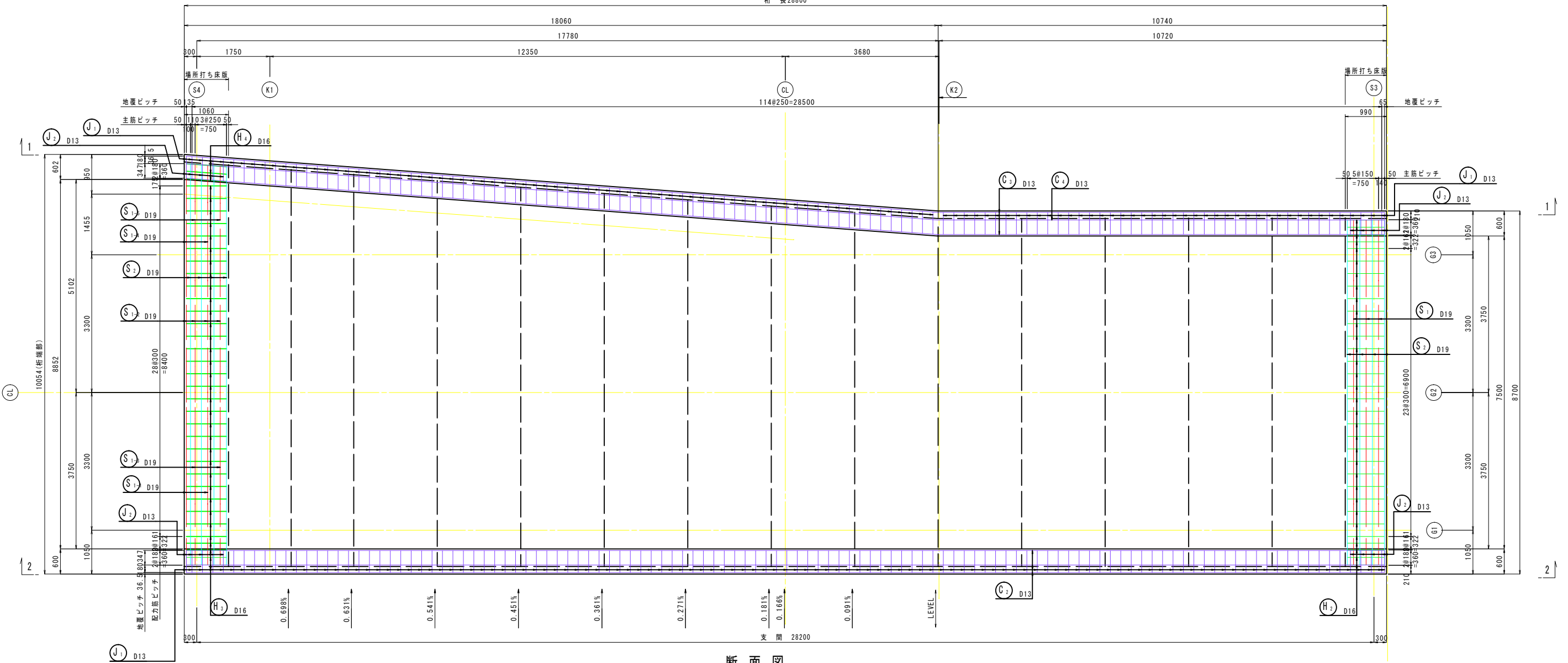
位置図



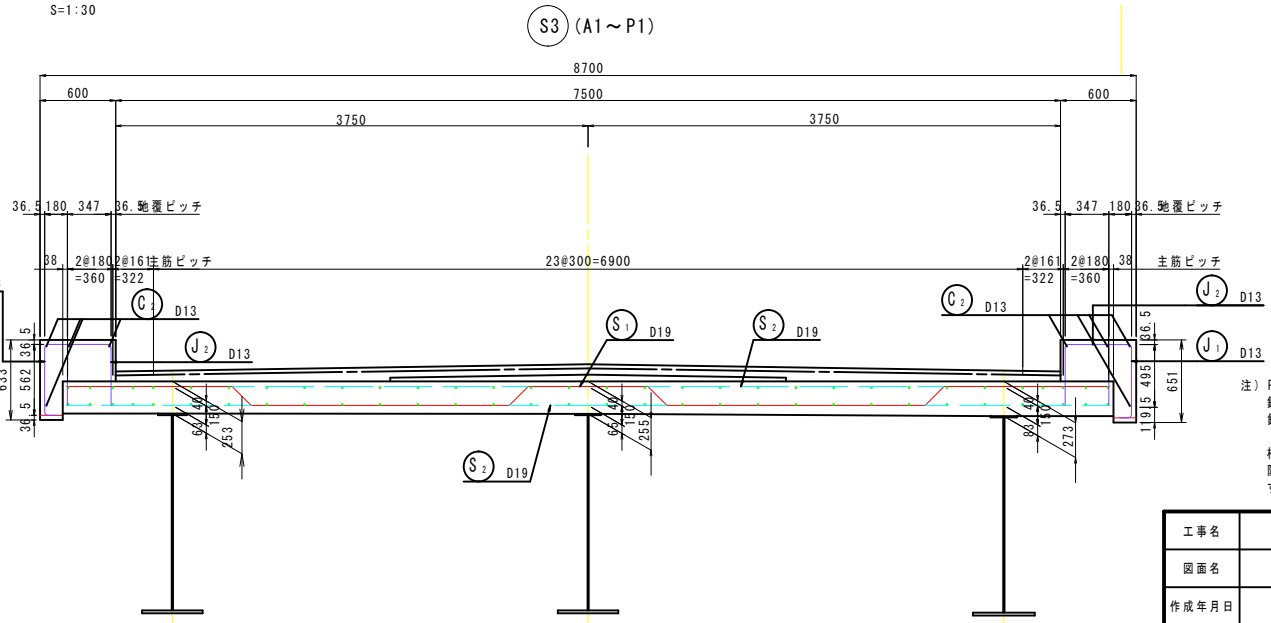
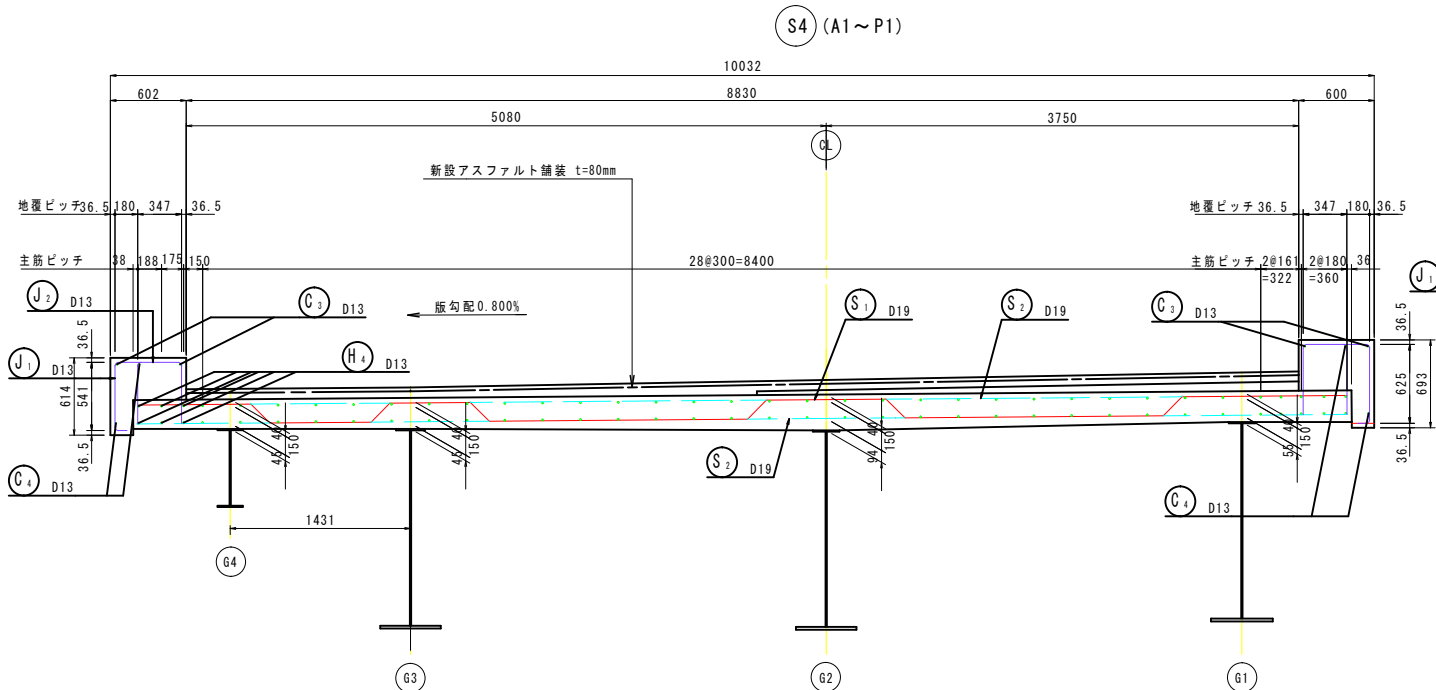
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	高強度軽量2種プレキャスト PC床版配筋図(その36)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	S=1:20	図面番号	70/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

場所打ち床版、地覆工配筋図(その1)

平面図  
S=1:50  
桁 長 28800



断面図  
S=1:30



注) PC床版部のJ2鉄筋は、PC部に計上。  
鉄筋の継手は、同一断面に集めず  
鉄筋径の25倍以上離して施工すること。  
橋軸方向の地覆鉄筋は、組立筋であるため、  
防護柵のアンカーと干渉する場合は適宜  
ずらして設置すること。

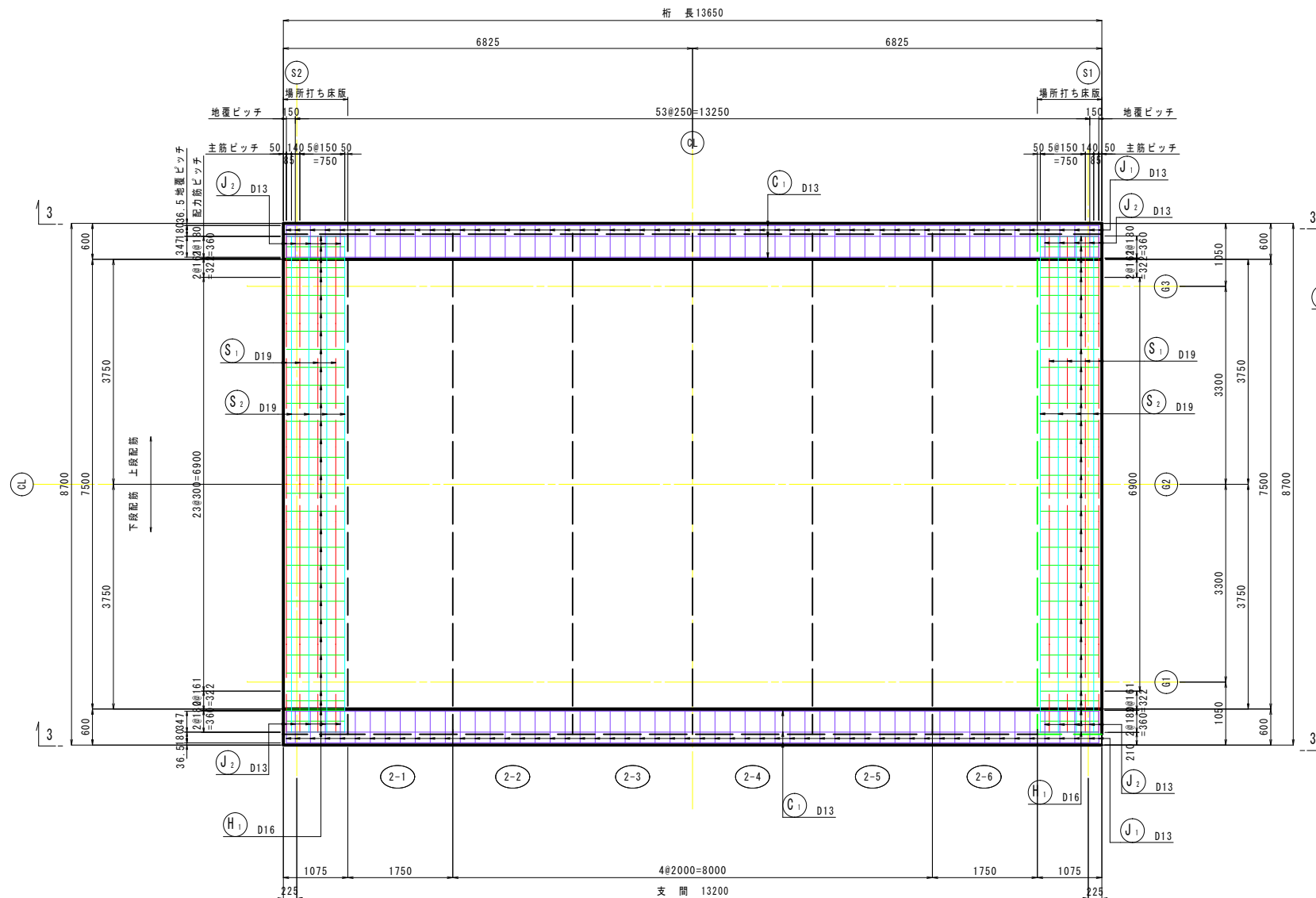
工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	場所打ち床版、地覆工配筋図(その1)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	71/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業所名	甲府市		



場所打ち床版、地覆工配筋図(その2)

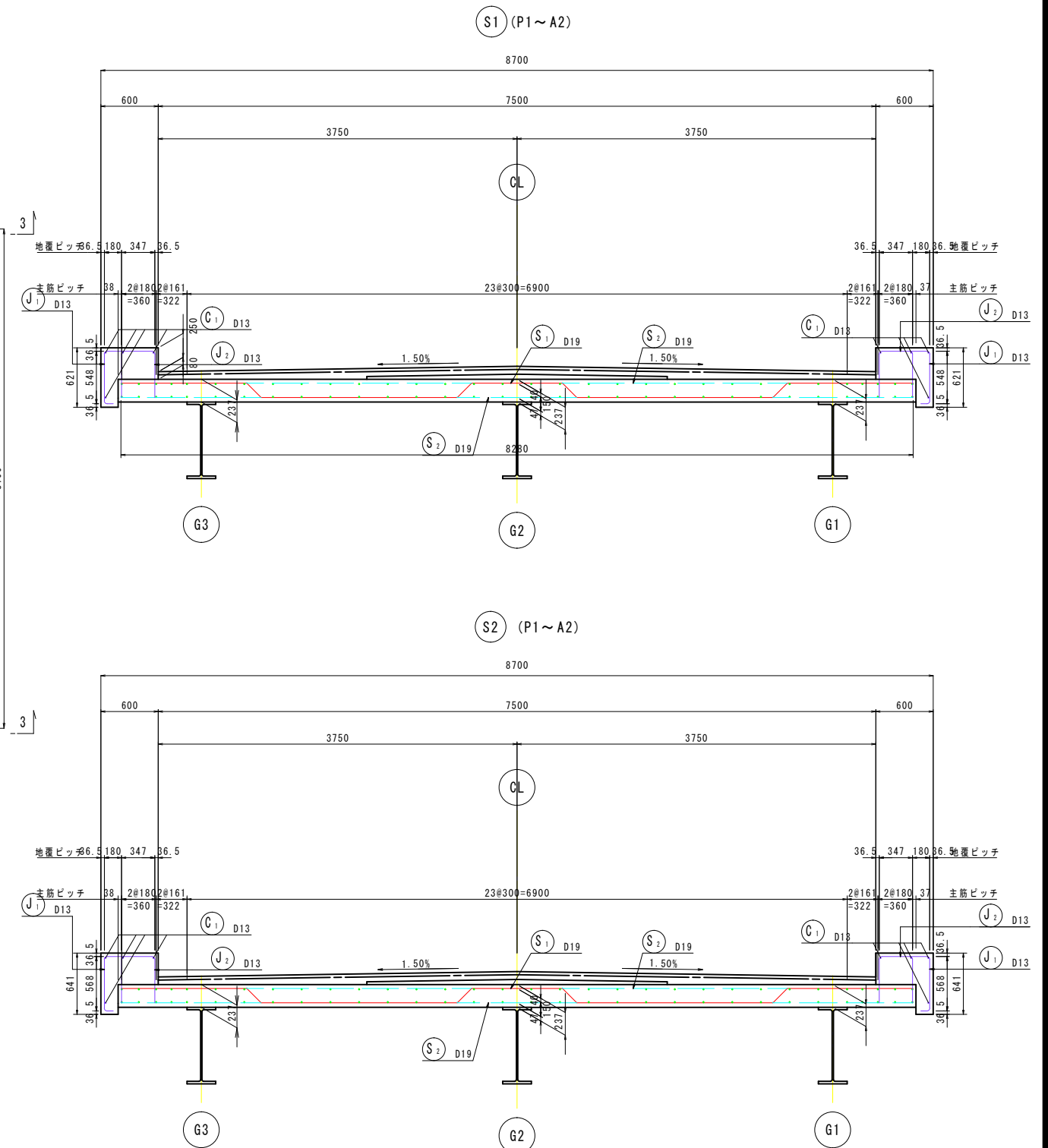
平面図

S=1:50



断面図

S=1:30



注) PC床版部のJ2鉄筋は、PC部にて計上。  
鉄筋の継手は、同一断面に集めず  
鉄筋径の25倍以上離して施工すること。

橋軸方向の地覆鉄筋は、相立筋であるため、防護欄のアンカーと干渉する場合は適宜ずらして設置すること。

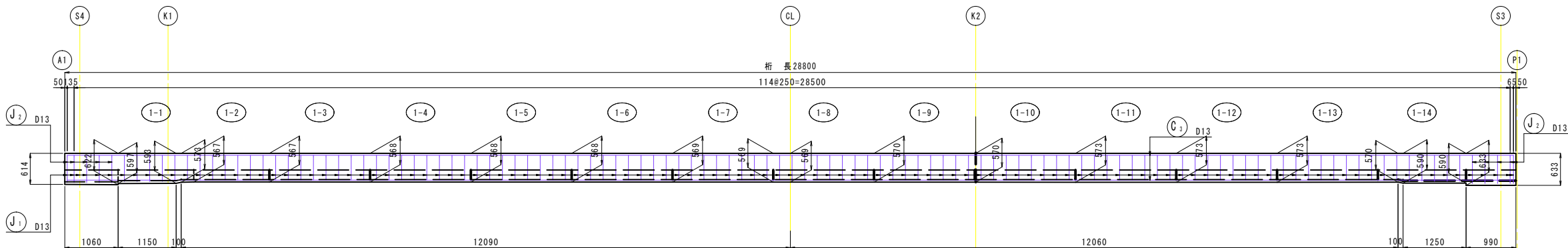
工事名	橋梁補修工事（R5-1）		
図面名	場所打ち床版、地盤工配筋図（その2）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	72/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

場所打ち床版、地覆工配筋図(その3)

地覆配筋

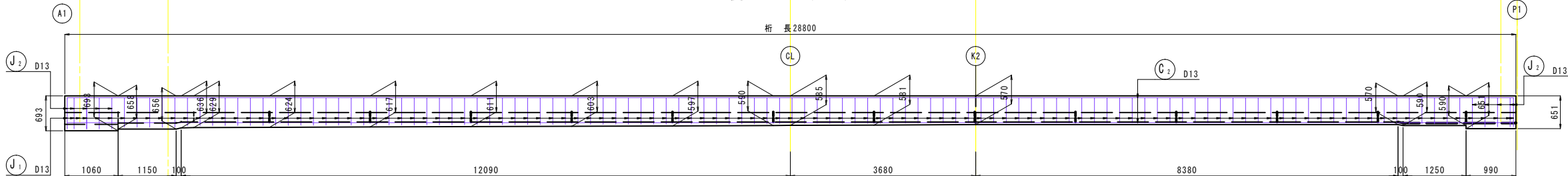
側面図(1-1)

S=1:50



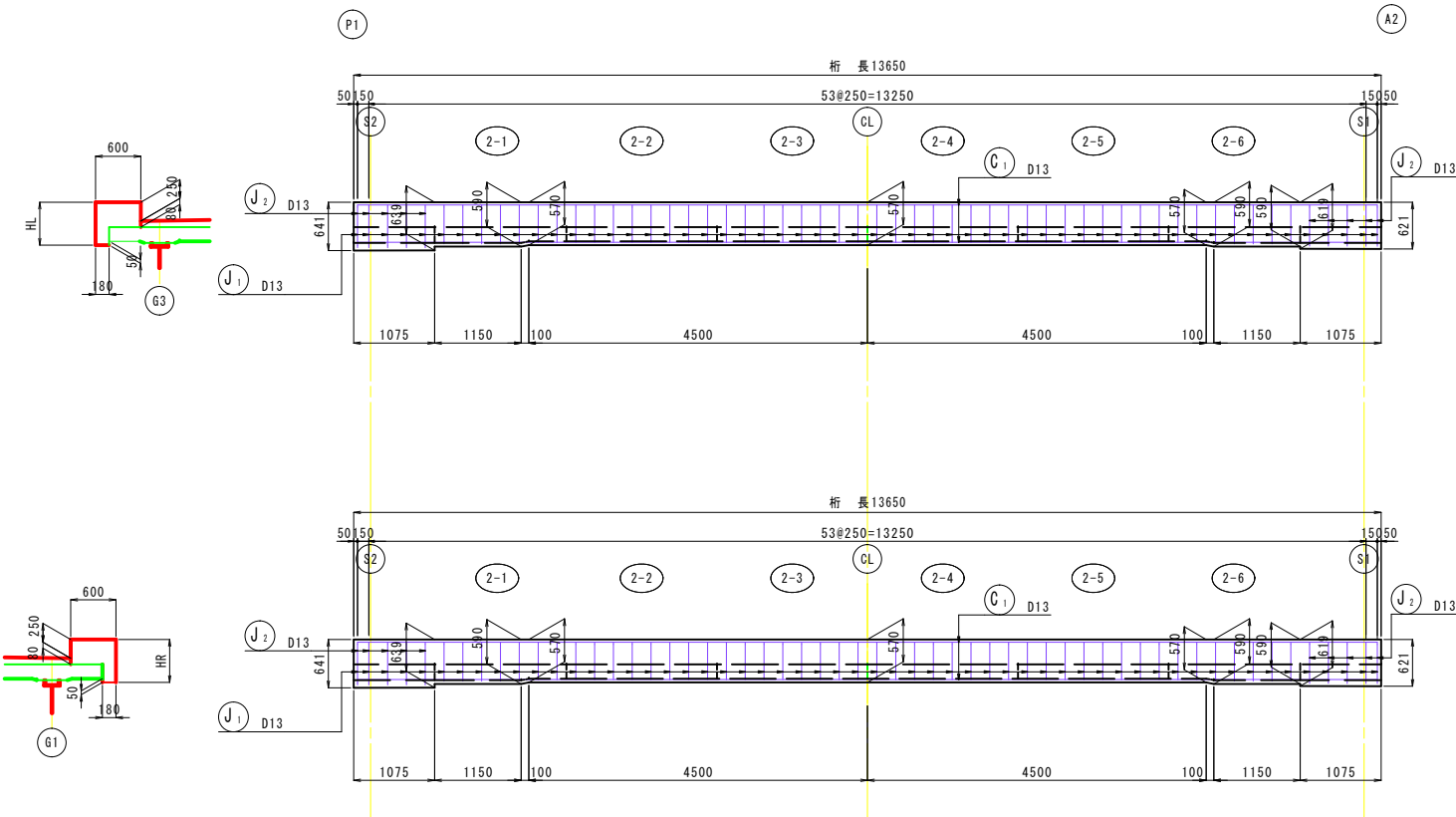
側面図(2-2)

S=1:50



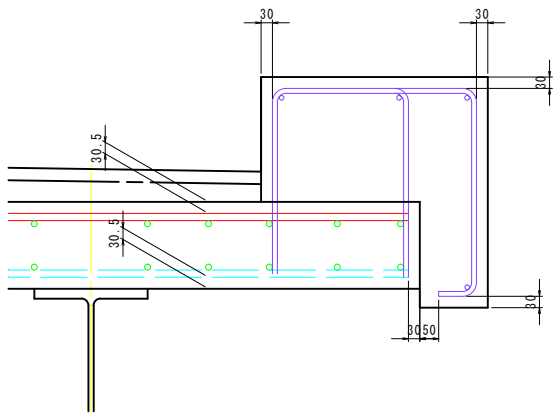
側面図(3-3)

S=1:50



かぶり詳細図

S=1:10



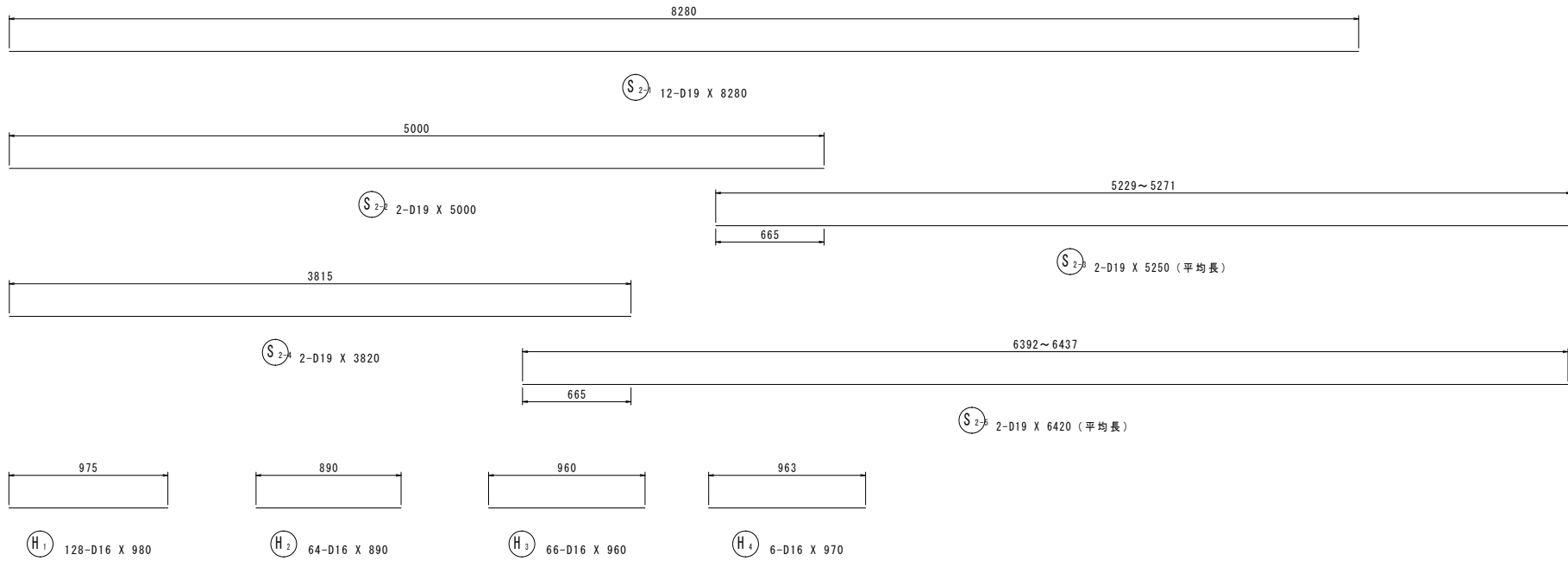
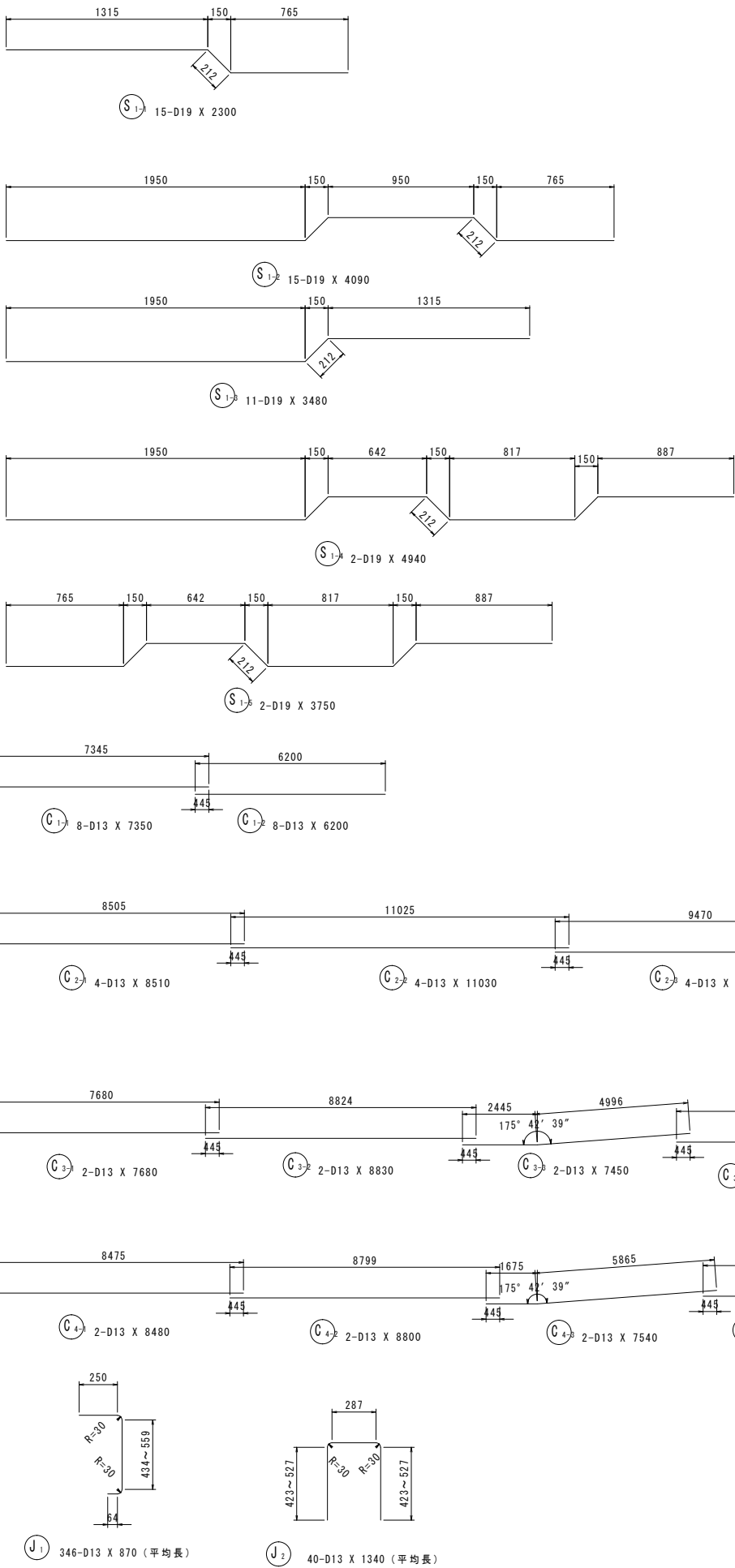
注) PC床版部のJ2鉄筋は、PC部にて計上。  
鉄筋の端手は、同一断面に集めず  
鉄筋径の25倍以上離して施工すること。

橋軸方向の地覆鉄筋は、組立筋であるため、  
防護柵のアンカーと干渉する場合は適宜  
ずらして設置すること。

工事名	橋梁補修工事 (R5-1)		
図面名	場所打ち床版、地覆工配筋図(その3)		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	73/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		

場所打ち床版、地覆工配筋図(その4)

## 鉄筋加工区

 $S=1:20$ 

## 鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単 位	質 量	一本当り質量	質 量	摘 要
C 1-1	D13	7350	8	0.995	7.31	58	————	
C 1-2	D13	6200	8	0.995	6.17	49	————	
C 2-1	D13	8510	4	0.995	8.47	34	————	
C 2-2	D13	11030	4	0.995	11.0	44	————	
C 2-3	D13	9470	4	0.995	9.42	38	————	
C 3-1	D13	7680	2	0.995	7.64	15	————	
C 3-2	D13	8830	2	0.995	8.79	18	————	
C 3-3	D13	7450	2	0.995	7.41	15	————	
C 3-4	D13	6290	2	0.995	6.26	13	————	
C 4-1	D13	8480	2	0.995	8.44	17	————	
C 4-2	D13	8800	2	0.995	8.76	18	————	
C 4-3	D13	7540	2	0.995	7.50	15	————	
C 4-4	D13	5500	2	0.995	5.47	11	————	
345								
H 1	D16	980	128	1.56	1.53	196	————	
H 2	D16	890	64	1.56	1.39	89	————	
H 3	D16	960	66	1.56	1.50	99	————	
H 4	D16	970	6	1.56	1.51	9	————	
393								
J 1	D13	870	346	0.995	0.866	300	⌋	(平均長)
J 2	D13	1340	40	0.995	1.33	53	⌋	(平均長)
353								
S 1-1	D19	2300	15	2.25	5.18	78	————	
S 1-2	D19	4090	15	2.25	9.20	138	————	
S 1-3	D19	3480	11	2.25	7.83	86	————	
S 1-4	D19	4940	2	2.25	11.1	22	————	
S 1-5	D19	3750	2	2.25	8.44	17	————	
S 2-1	D19	8280	12	2.25	18.6	223	————	
S 2-2	D19	5000	2	2.25	11.2	22	————	
S 2-3	D19	5250	2	2.25	11.8	24	————	(平均長)
S 2-4	D19	3820	2	2.25	8.60	17	————	
S 2-5	D19	6420	2	2.25	14.4	29	————	(平均長)
656								
合 計 D19				656 kg				
D16				393 kg				
D13				698 kg				
総質量				1747 kg				

注) 橋軸方向の地覆鉄筋は、組立筋であるため、  
防護柵のアンカーと干渉する場合は適宜  
ずらして設置すること。

工事名	提案補修工事（RS-1）		
図面名	塙所打ち床版、地覆工配筋図（その4）		
作成年月日	2020 年 3 月		
縮尺	図 示	図面番号	74/74
会社名	株式会社 富士エンジニアリング		
事業者名	甲府市		